

石垣市
男女共同参画社会に関する意識調査
結果報告書

令和3（2021）年3月
石垣市

< 目 次 >

第1章 調査概要	
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
(1) 市民意識調査	1
(2) 事業所意識調査	1
(3) 子ども意識調査	1
(4) 職員意識調査	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果（市民意識調査）	
1. 回答者の属性	2
2. 男女平等に関する意識、慣習について	7
3. 家庭生活などについて	12
4. 仕事のことについて	19
5. 女性の活躍について	28
6. 配偶者などからの暴力について	34
7. 男女共同参画行政について	44
第3章 調査結果（事業所意識調査）	
1. 回答者の属性	47
2. 事業所の男女参画への取り組みについて	50
3. 仕事のことについて	53
4. ハラスメントについて	57
5. 育児・介護休業について	59
6. 男女共同参画行政について	61
第4章 調査結果（子ども意識調査 小学生）	
1. 回答者の属性	65
2. 男女の役割などについて	65
3. 将来について	75
第5章 調査結果（子ども意識調査 中学生）	
1. 回答者の属性	77
2. 男女の役割などについて	77
3. 男女共同参画について	88
4. 将来について	95
第6章 調査結果（職員意識調査）	
1. 回答者の属性	97
2. 男女平等に関する意識、慣習について	100
3. 育児休業・介護休業の取得について	104
第7章 参考資料（各種調査票）	
1. 市民調査票	123
2. 事業所調査票	137
3. 小学生調査票	145
4. 中学生調査票	149
5. 職員調査票	156

第1章 調査概要

1. 調査目的

第3次石垣市男女共同参画計画改訂版を策定するにあたり、市民、事業所の男女共同参画に関する意識や実態、期待するニーズを把握するとともに、計画の施策を検討するための基礎資料として活用することを目的に実施した。

2. 調査設計

(1) 市民意識調査

- ・調査対象：20～70歳未満の市民の中から2,000人を無作為に抽出
- ・調査期間：令和2年（2020）9月11日（金）～9月30日（水）*10月9日（金）延長分含む
- ・調査方法：郵送による配布回収
- ・回収状況

配布数	有効回収票	有効回収率
2,000	723	36.2%

(2) 事業所意識調査

- ・調査対象：石垣市商工会に加盟する企業（個人を除く）300社を無作為に抽出
- ・調査期間：令和2年（2020）9月11日（金）～9月30日（水）*10月9日（金）延長分含む
- ・調査方法：郵送による配布回収
- ・回収状況

配布数	有効回収票	有効回収率
300	125	41.7%

(3) 子ども意識調査

- ・調査対象：石垣市内小学5年生、石垣市内中学2年生
- ・調査期間：令和2年（2020）9月10日（木）～9月25日（金）
- ・調査方法：各学校を通じて配布・回収
- ・回収状況

	配布数	有効回収票	有効回収率
小学生	551	514	93.3%
中学生	520	496	95.4%

(4) 職員意識調査

- ・調査対象：石垣市役所全職員
- ・調査期間：令和2年（2020）9月10日（木）～9月25日（金）
- ・調査方法：各部署を通じて配布・回収
- ・回収状況

配布数	有効回収票	有効回収率
1,057	967	91.5%

3. 調査結果の見方

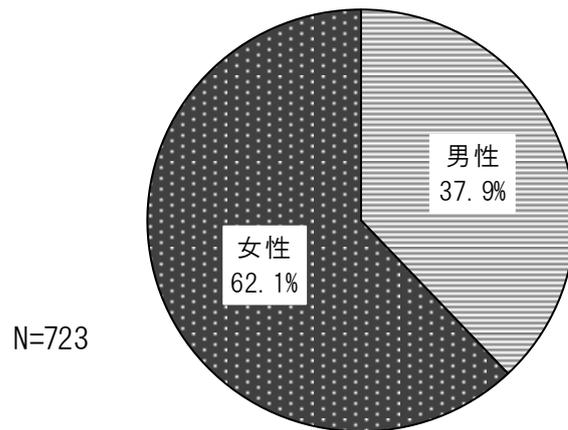
- ・表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。
- ・結果数値（%）は、小数点第2位を四捨五入しており、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- ・複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を越えています。

第2章 調査結果（市民意識調査）

1. 回答者の属性

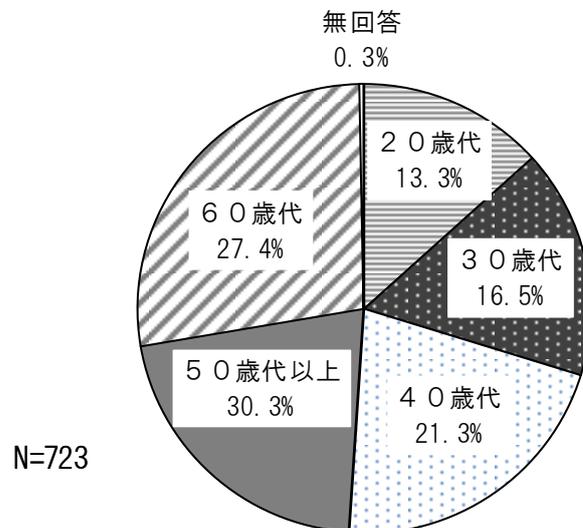
問1 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

性別について、「女性」（62.1%）で6割、「男性」（37.9%）で4割弱となっている。



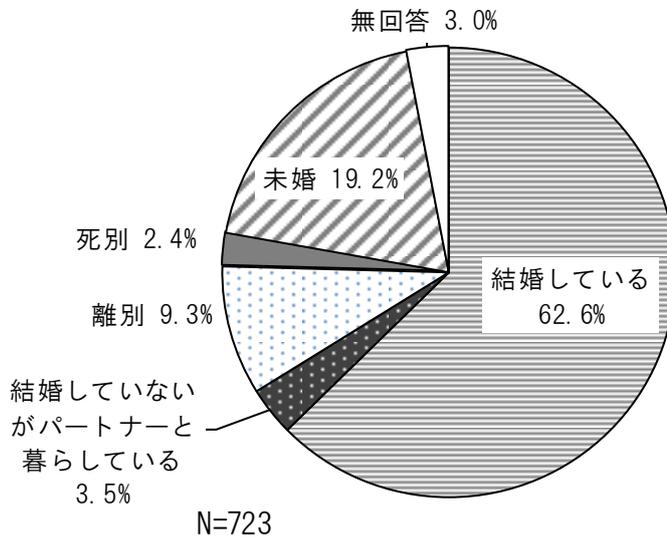
問2 年齢はおいくつですか。（○は1つ）

年齢をみると、「50歳代以上」（30.3%）で最も割合が高く、「60歳代」（27.4%）、「40歳代」（21.3%）、と続く。



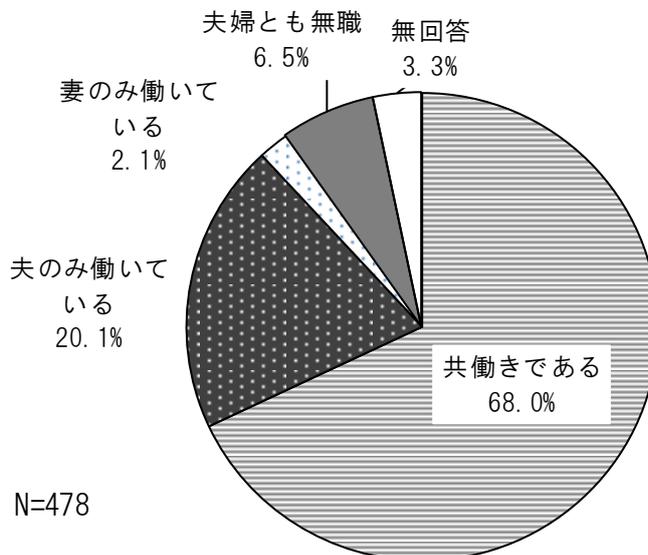
問3 あなたは、現在結婚していますか。（○は1つ）

婚姻状況について、「結婚している」（62.6%）が6割で最も割合が高く、「未婚」（19.2%）で2割となっている。



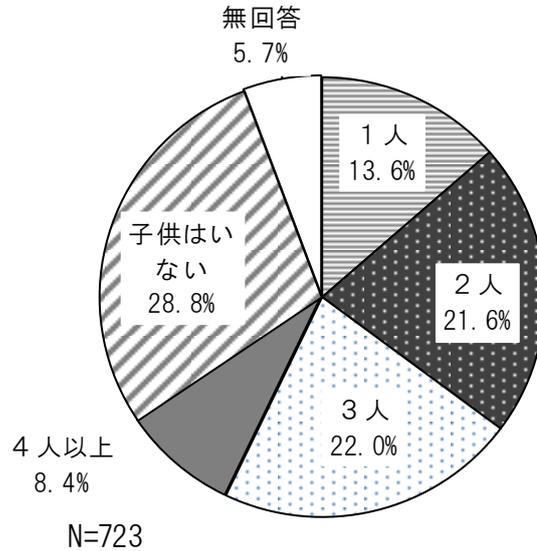
問3-1 問3で「1. 結婚している」または「2. 結婚していないがパートナーと暮らしている」と答えた方へお尋ねします。
あなたは共働きですか。（出産、育児等で休業中の方は働いているものとみなします）

働き方について、「共働きである」（68.0%）が7割と最も割合が高く、「夫のみ働いている」（20.1%）が2割と続く。



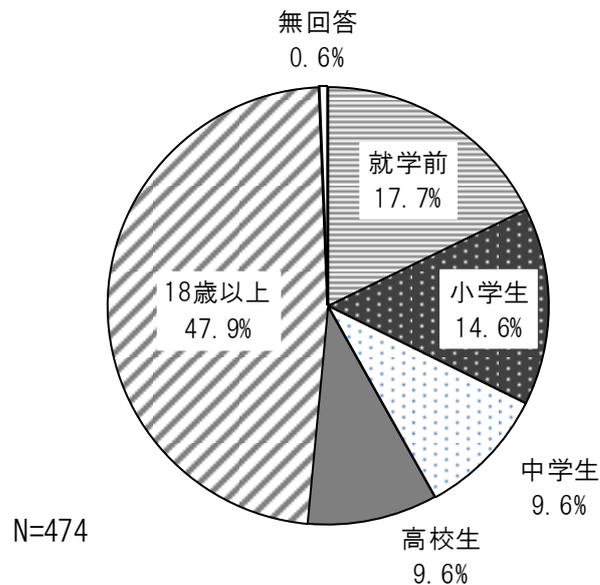
問4 あなたはお子さんがいますか。（○は1つ）

お子さんについて、「子供はいない」（28.8%）が最も割合が高く、「3人」（22.0%）、「2人」（21.6%）と続く。



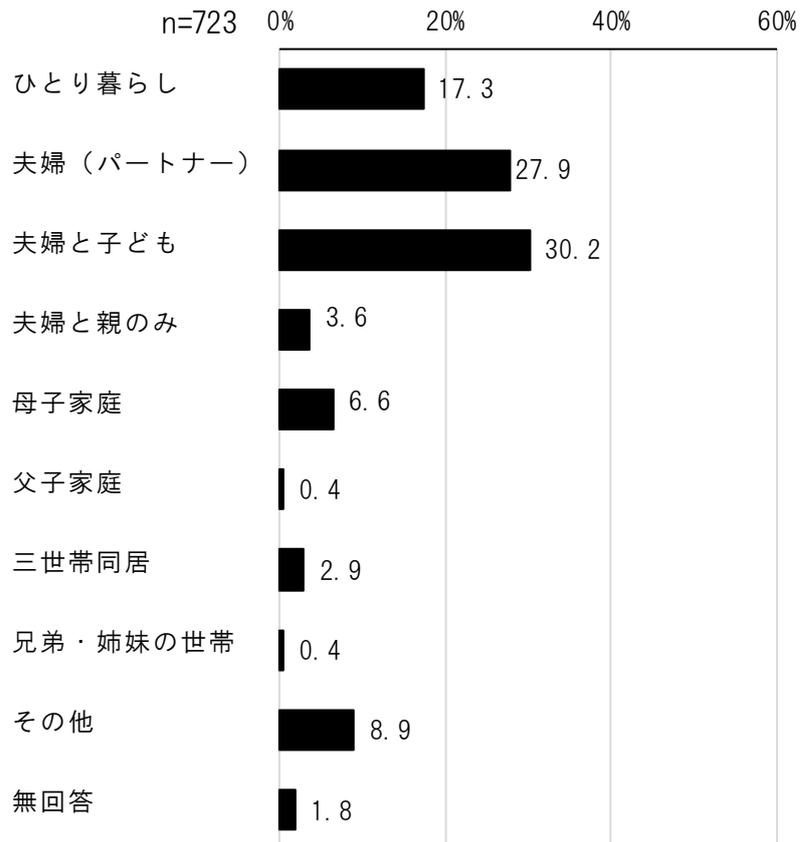
問4-1 問4でのお子さんがある方にお尋ねします。
お子さんはどちらにあたりますか。（○はいくつでも）

子どもの年齢について、「18歳以上」（47.9%）で最も高く、「就学前」（17.7%）、「小学生」（14.6%）と続く。



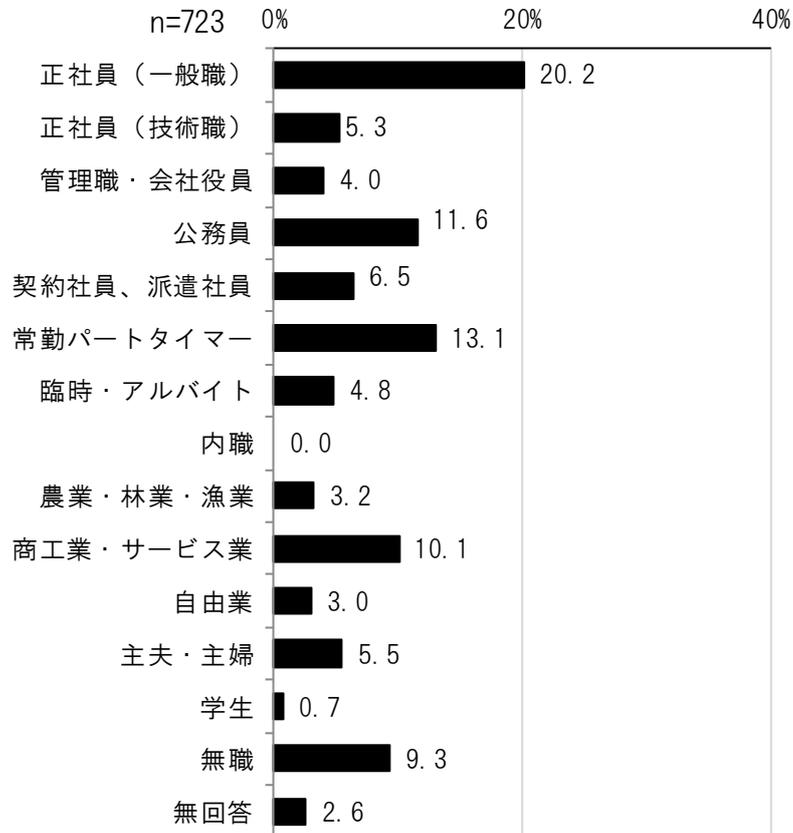
問5 あなたは現在どのような家族構成ですか。（○は1つ）

家族構成について、「夫婦と子ども」（30.2%）で最も高く、「夫婦（パートナー）」（27.9%）、「ひとり暮らし」（17.3%）と続く。



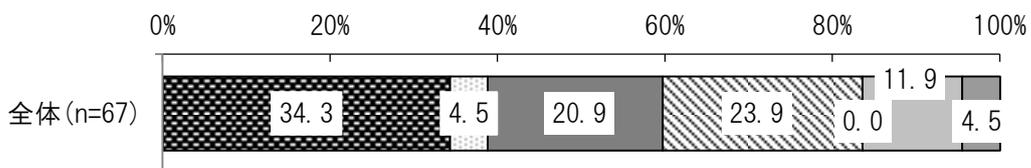
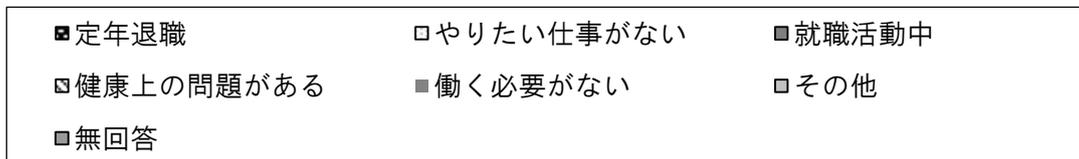
問6 あなたの職業は何ですか。次の1～14の中から1つお選びください。（○は1つ）（出産、育児等で休業中の方は働いているものとみなします）

職業について、「正社員（一般職）」（20.2%）で割合が最も高く、「常勤パートタイマー」（13.1%）、「公務員」（11.6%）、「商工業・サービス業」（10.1%）と続く。



問6-1 現在、仕事をしていない理由をお答えください。（○は1つ）

無職の理由について、「定年退職」（34.3%）の割合が最も高く、「健康上の問題がある」（23.9%）、「就職活動中」（20.9%）と続く。

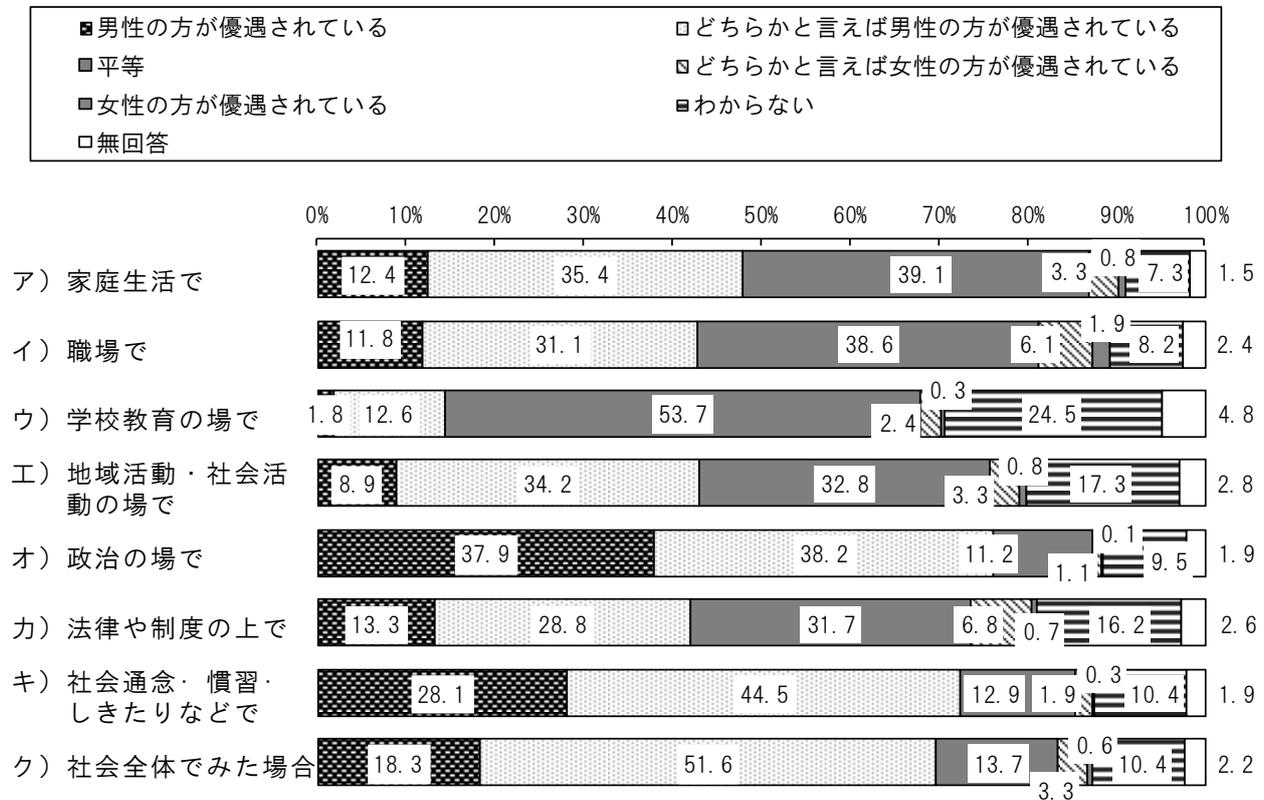


2. 男女平等に関する意識、慣習について

問7 あなたは、次にあげるア～クの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの分野について、あなたの考えに近いものを1～6の中からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

男女の地位の平等について、「平等」の回答が半数を超えたのは『ウ) 学校教育の場で』(53.7%)のみとなっている。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合わせた割合をみると、『オ) 政治の場で』(76.1%)や『キ) 社会通念・慣習・しきたりなどで』(72.6%)で7割を越える。



第2章 調査結果（市民意識調査）

ア) 家庭生活で

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらか と言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	90 12.4	256 35.4	283 39.1	24 3.3	6 0.8	53 7.3	11 1.5
性 別	男性	274 100.0	22 8.0	86 31.4	128 46.7	10 3.6	2 0.7	23 8.4	3 1.1
	女性	449 100.0	68 15.1	170 37.9	155 34.5	14 3.1	4 0.9	30 6.7	8 1.8
年 齢	20歳代	96 100.0	6 6.3	29 30.2	49 51.0	1 1.0	1 1.0	9 9.4	1 1.0
	30歳代	119 100.0	13 10.9	37 31.1	52 43.7	10 8.4	-	7 5.9	-
	40歳代	154 100.0	17 11.0	59 38.3	55 35.7	4 2.6	2 1.3	15 9.7	2 1.3
	50歳代	154 100.0	22 14.3	61 39.6	55 35.7	2 1.3	3 1.9	10 6.5	1 0.6
	60歳代	198 100.0	32 16.2	69 34.8	71 35.9	7 3.5	-	12 6.1	7 3.5

イ) 職場で

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらか と言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	85 11.8	225 31.1	279 38.6	44 6.1	14 1.9	59 8.2	17 2.4
性 別	男性	274 100.0	34 12.4	78 28.5	108 39.4	20 7.3	10 3.6	20 7.3	4 1.5
	女性	449 100.0	51 11.4	147 32.7	171 38.1	24 5.3	4 0.9	39 8.7	13 2.9
年 齢	20歳代	96 100.0	10 10.4	21 21.9	40 41.7	12 12.5	2 2.1	11 11.5	-
	30歳代	119 100.0	9 7.6	35 29.4	50 42.0	9 7.6	5 4.2	10 8.4	1 0.8
	40歳代	154 100.0	14 9.1	52 33.8	62 40.3	10 6.5	1 0.6	14 9.1	1 0.6
	50歳代	154 100.0	18 11.7	43 27.9	71 46.1	8 5.2	5 3.2	6 3.9	3 1.9
	60歳代	198 100.0	34 17.2	73 36.9	55 27.8	5 2.5	1 0.5	18 9.1	12 6.1

ウ) 学校教育の場で

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらか と言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	13 1.8	91 12.6	388 53.7	17 2.4	2 0.3	177 24.5	35 4.8
性 別	男性	274 100.0	7 2.6	24 8.8	157 57.3	11 4.0	1 0.4	62 22.6	12 4.4
	女性	449 100.0	6 1.3	67 14.9	231 51.4	6 1.3	1 0.2	115 25.6	23 5.1
年 齢	20歳代	96 100.0	1 1.0	7 7.3	59 61.5	4 4.2	-	23 24.0	2 2.1
	30歳代	119 100.0	1 0.8	13 10.9	70 58.8	2 1.7	-	31 26.1	2 1.7
	40歳代	154 100.0	2 1.3	22 14.3	89 57.8	3 1.9	-	36 23.4	2 1.3
	50歳代	154 100.0	4 2.6	19 12.3	84 54.5	5 3.2	1 0.6	37 24.0	4 2.6
	60歳代	198 100.0	5 2.5	30 15.2	85 42.9	3 1.5	1 0.5	49 24.7	25 12.6

第2章 調査結果（市民意識調査）

工) 地域活動・社会活動の場で

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と 言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらか と 言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	64 8.9	247 34.2	237 32.8	24 3.3	6 0.8	125 17.3	20 2.8
性 別	男性	274 100.0	17 6.2	90 32.8	106 38.7	15 5.5	5 1.8	36 13.1	5 1.8
	女性	449 100.0	47 10.5	157 35.0	131 29.2	9 2.0	1 0.2	89 19.8	15 3.3
年 齢	20歳代	96 100.0	7 7.3	15 15.6	42 43.8	6 6.3	-	26 27.1	-
	30歳代	119 100.0	10 8.4	37 31.1	37 31.1	6 5.0	1 0.8	26 21.8	2 1.7
	40歳代	154 100.0	21 13.6	50 32.5	55 35.7	5 3.2	1 0.6	19 12.3	3 1.9
	50歳代	154 100.0	13 8.4	58 37.7	48 31.2	6 3.9	2 1.3	25 16.2	2 1.3
	60歳代	198 100.0	13 6.6	87 43.9	54 27.3	1 0.5	2 1.0	29 14.6	12 6.1

オ) 政治の場で

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と 言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらか と 言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	274 37.9	276 38.2	81 11.2	8 1.1	1 0.1	69 9.5	14 1.9
性 別	男性	274 100.0	76 27.7	114 41.6	47 17.2	7 2.6	1 0.4	24 8.8	5 1.8
	女性	449 100.0	198 44.1	162 36.1	34 7.6	1 0.2	-	45 10.0	9 2.0
年 齢	20歳代	96 100.0	34 35.4	36 37.5	13 13.5	-	-	13 13.5	-
	30歳代	119 100.0	49 41.2	39 32.8	14 11.8	2 1.7	-	13 10.9	2 1.7
	40歳代	154 100.0	70 45.5	56 36.4	18 11.7	1 0.6	1 0.6	7 4.5	1 0.6
	50歳代	154 100.0	56 36.4	69 44.8	11 7.1	3 1.9	-	14 9.1	1 0.6
	60歳代	198 100.0	65 32.8	75 37.9	24 12.1	2 1.0	-	22 11.1	10 5.1

カ) 法律や制度の場で

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と 言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらか と 言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	96 13.3	208 28.8	229 31.7	49 6.8	5 0.7	117 16.2	19 2.6
性 別	男性	274 100.0	26 9.5	62 22.6	118 43.1	28 10.2	4 1.5	30 10.9	6 2.2
	女性	449 100.0	70 15.6	146 32.5	111 24.7	21 4.7	1 0.2	87 19.4	13 2.9
年 齢	20歳代	96 100.0	9 9.4	23 24.0	33 34.4	12 12.5	-	19 19.8	-
	30歳代	119 100.0	13 10.9	31 26.1	37 31.1	8 6.7	3 2.5	27 22.7	-
	40歳代	154 100.0	35 22.7	50 32.5	41 26.6	14 9.1	1 0.6	12 7.8	1 0.6
	50歳代	154 100.0	18 11.7	45 29.2	55 35.7	8 5.2	-	24 15.6	4 2.6
	60歳代	198 100.0	21 10.6	58 29.3	62 31.3	7 3.5	1 0.5	35 17.7	14 7.1

第2章 調査結果（市民意識調査）

キ) 社会通念・慣習・しきたりなどで

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらかと 言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	203 28.1	322 44.5	93 12.9	14 1.9	2 0.3	75 10.4	14 1.9
性 別	男性	274 100.0	65 23.7	124 45.3	46 16.8	10 3.6	1 0.4	24 8.8	4 1.5
	女性	449 100.0	138 30.7	198 44.1	47 10.5	4 0.9	1 0.2	51 11.4	10 2.2
年 齢	20歳代	96 100.0	15 15.6	43 44.8	20 20.8	1 1.0	1 1.0	16 16.7	- -
	30歳代	119 100.0	42 35.3	47 39.5	12 10.1	6 5.0	- -	11 9.2	1 0.8
	40歳代	154 100.0	55 35.7	67 43.5	21 13.6	3 1.9	- -	7 4.5	1 0.6
	50歳代	154 100.0	42 27.3	79 51.3	12 7.8	2 1.3	1 0.6	17 11.0	1 0.6
	60歳代	198 100.0	49 24.7	85 42.9	27 13.6	2 1.0	- -	24 12.1	11 5.6

ク) 社会全体でみた場合

(上段：実数、下段：割合)

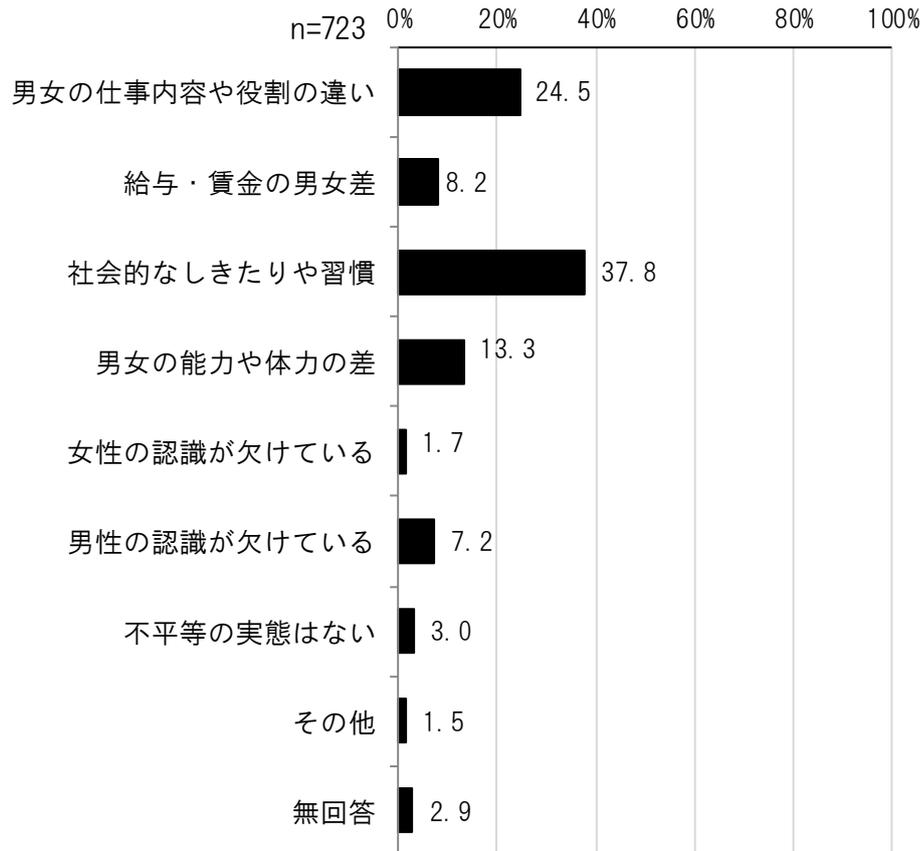
		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 の方が優遇 されている	平 等	どちらかと 言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		723 100.0	132 18.3	373 51.6	99 13.7	24 3.3	4 0.6	75 10.4	16 2.2
性 別	男性	274 100.0	38 13.9	140 51.1	47 17.2	19 6.9	4 1.5	23 8.4	3 1.1
	女性	449 100.0	94 20.9	233 51.9	52 11.6	5 1.1	- -	52 11.6	13 2.9
年 齢	20歳代	96 100.0	10 10.4	44 45.8	26 27.1	5 5.2	- -	11 11.5	- -
	30歳代	119 100.0	24 20.2	61 51.3	10 8.4	10 8.4	1 0.8	12 10.1	1 0.8
	40歳代	154 100.0	39 25.3	71 46.1	24 15.6	4 2.6	2 1.3	12 7.8	2 1.3
	50歳代	154 100.0	22 14.3	96 62.3	15 9.7	3 1.9	1 0.6	15 9.7	2 1.3
	60歳代	198 100.0	37 18.7	99 50.0	24 12.1	2 1.0	- -	25 12.6	11 5.6

問8 男女の不平等が生じる原因は何だと思いますか。特に感じることを1つ選んで、○をつけてください。（○は1つ）

男女不平等の原因について、「社会的なしきたりや習慣」（37.8%）で最も割合が高く、「男女の仕事内容や役割の違い」（24.5%）、「男女の能力や体力の差」（13.3%）と続く。

男女別にみると、「社会的なしきたりや習慣」では男性（33.2%）より女性（40.5%）で高くなっている。

年齢別にみると、「男女の仕事内容や役割の違い」では、30歳以上になると年齢が上がるにつれて割合も高くなっている。



（上段：実数、下段：割合）

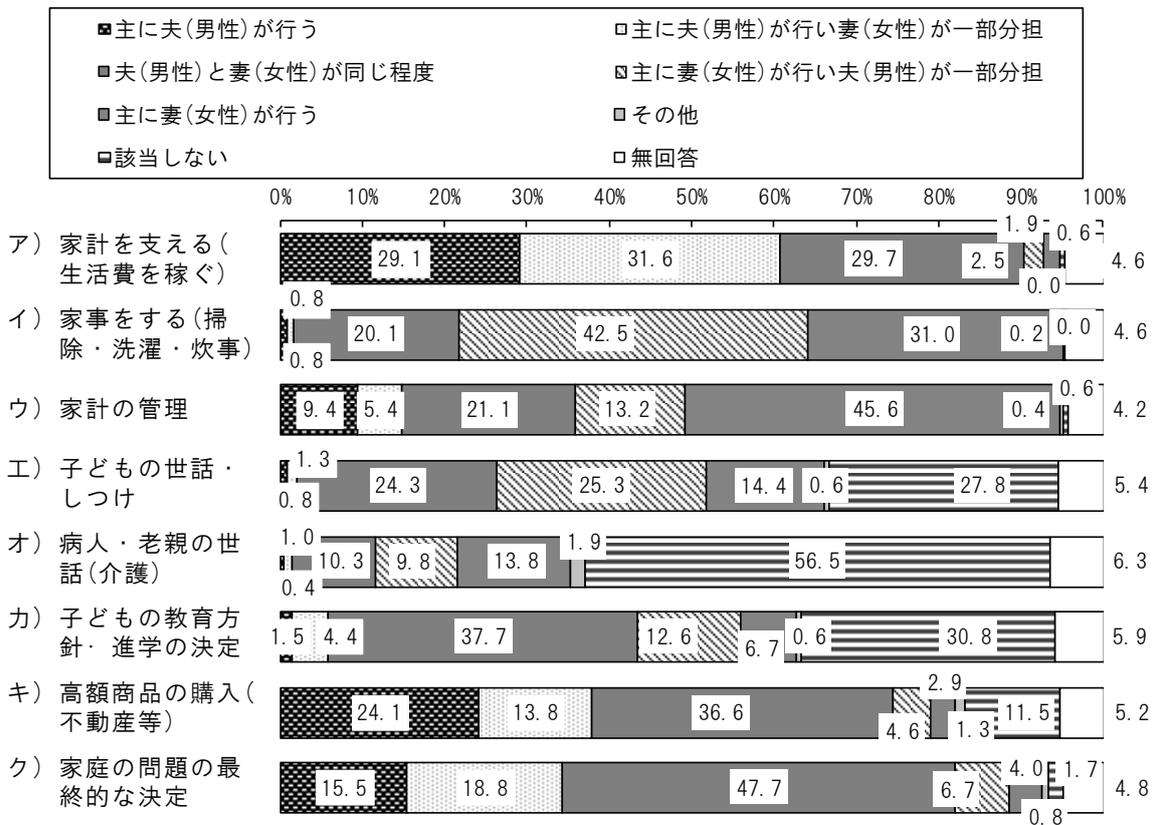
	全体	男女の仕事内容や役割の違い	給与・賃金の男女差	社会的なしきたりや習慣	男女の能力や体力の差	女性の認識が欠けている	男性の認識が欠けている	不平等の実態はない	その他	無回答
		実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数
全体	723	177	59	273	96	12	52	22	11	21
性別										
男性	274	77	21	91	30	6	24	9	7	9
女性	449	100	38	182	66	6	28	13	4	12
年齢										
20歳代	96	20	3	39	21	2	4	2	3	2
30歳代	119	23	6	54	21	1	8	1	2	3
40歳代	154	31	13	66	17	4	11	8	2	2
50歳代	154	35	15	64	15	2	13	3	2	5
60歳代	198	68	21	49	22	3	16	8	2	9

3. 家庭生活などについて

問9 あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の事がらを、現在主にどなたが行っていますか。ア～クの各項目において、それぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

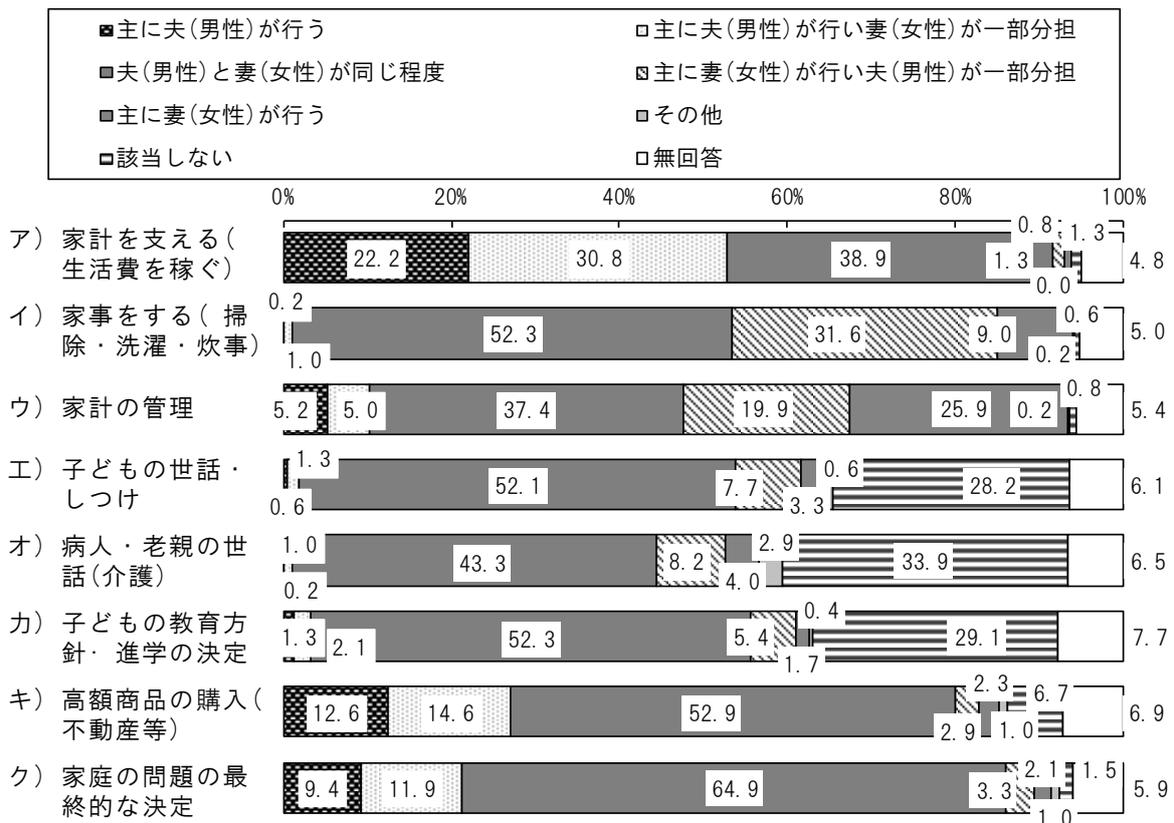
家庭内の役割について、「主に夫（男性）が行う」と「主に夫（男性）が行い妻（女性）が一部負担」を合わせた項目では、『ア）家計を支える（生活費を稼ぐ）』（60.7%）で6割と最も高くなっている。

一方、「主に妻（女性）が行い夫（男性）が一部負担」と「主に妻（女性）が行う」を合わせた項目では、『ウ）家計の管理』（58.8%）や、『エ）子どもの世話・しつけ』（39.7%）で割合が高くなっている。



問10 あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の事がらを、今後主にどなたに行ってもらいたいと思いますか。ア～クの各項目において、それぞれ1つずつ選んで、○をつけてください

家庭内の役割について、全ての項目において、「夫（男性）と妻（女性）が同じ程度」の割合が最も高くなっており、特に、『ク）家庭の問題の最終的な決定』（64.9%）でも割合が最も高く、『キ）高額商品の購入（不動産等）』（52.9%）、『力）子どもの教育方針・進学決定』（52.3%）、『イ）家事をする（掃除・洗濯・炊事）』（52.3%）、『エ）子どもの世話・しつけ』（52.1%）で5割を超える。
主に夫（男性）が行う」と「主に夫が行い妻が一部負担」を合わせた項目では、『ア）家計を支える（生活費を稼ぐ）』（53.0%）で5割と最も高くなっている。



問11 あなたは、次のような事柄についてどのくらいの時間をかけていますか。ア～カの各項目において、それぞれおおよそ何時間ぐらい時間を割いているか、数字を記入してください。平日と休日を分けてご回答ください。（※なしの場合は「0」、30分の場合は「0.5」等をご記入ください）

各項目での平日の平均時間について、全体では「オ）就労時間」が7.09時間と最も長く、「エ）睡眠」6.45時間となる。

一方休日の平均時間について、全体で「カ）自由時間」が5.29時間と最も多く、「エ）睡眠」6.93時間、「ア）家事（炊事・洗濯・買物等）3.18時間と続く。

男女別にみると、「ア）家事（炊事・洗濯・買物等）、「イ）育児・子どもの学習」の項目で差が大きくなっており、どちらの項目も平日・休日ともに女性の時間が長い。

■平日

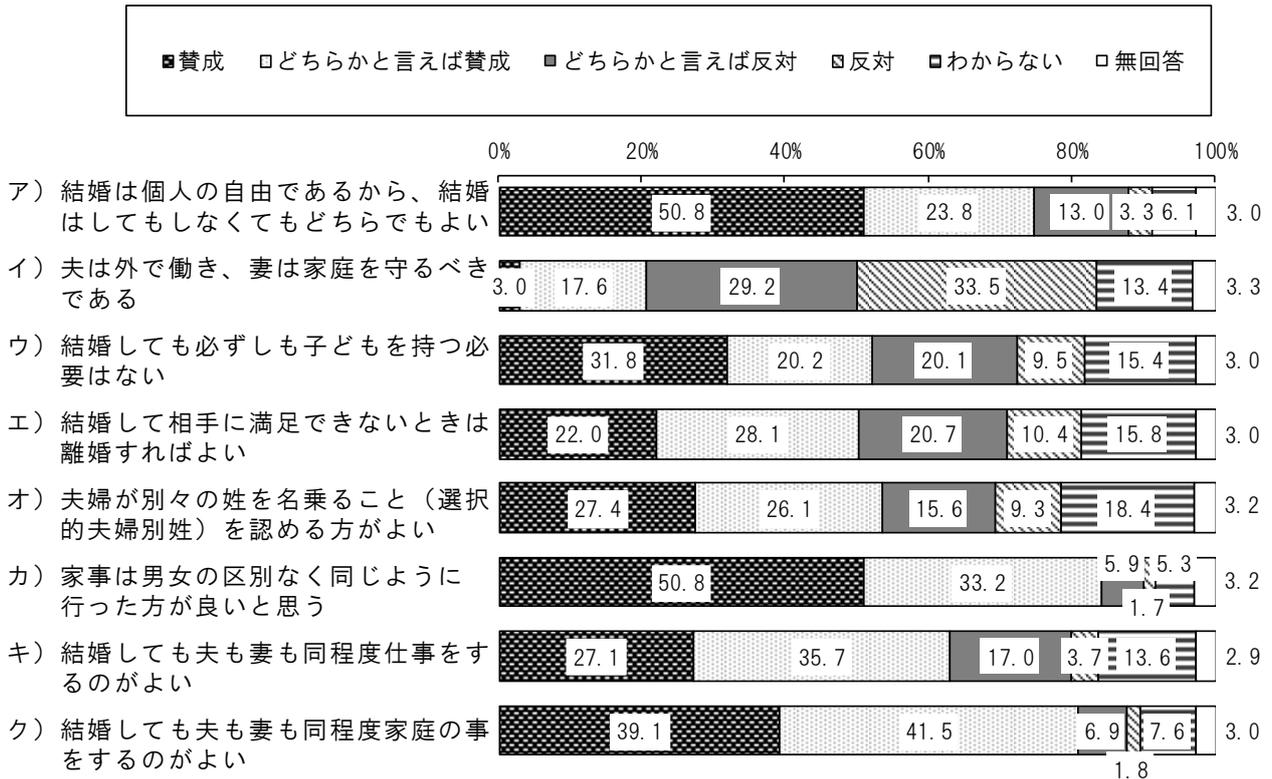
		ア) 家事（炊事・洗濯・買物等）	イ) 育児・子どもの学習等	ウ) 病人・高齢者等の世話	エ) 睡眠	オ) 就労時間（通勤・休憩時間含む）	カ) 自由時間（余暇）
		平均	平均	平均	平均	平均	平均
全体		2.71	1.57	0.18	6.45	7.09	3.03
性別	男性	1.35	0.44	0.14	6.42	8.64	3.11
	女性	3.5	2.23	0.2	6.48	6.15	2.98
年齢	20歳代	2.61	4.11	0	6.95	6.39	4.08
	30歳代	2.86	3.7	0.01	6.55	7.41	2.08
	40歳代	2.95	1.31	0.09	6.39	7.6	2.49
	50歳代	2.32	0.63	0.22	6.41	8.46	3.05
	60歳代	2.77	0.15	0.4	6.35	5.38	3.86

■休日

		ア) 家事（炊事・洗濯・買物等）	イ) 育児・子どもの学習等	ウ) 病人・高齢者等の世話	エ) 睡眠	オ) 就労時間（通勤・休憩時間含む）	カ) 自由時間（余暇）
		平均	平均	平均	平均	平均	平均
全体		3.18	2.53	0.33	6.93	1.92	5.29
性別	男性	1.63	1.03	0.25	6.92	2.69	6.14
	女性	4.11	3.42	0.37	6.93	1.45	4.77
年齢	20歳代	3.06	6.73	0	7.58	2.68	6.57
	30歳代	3.46	5.55	0.02	7.18	1.66	4.19
	40歳代	3.24	2.56	0.15	6.98	1.93	4.46
	50歳代	3.15	0.87	0.41	6.96	2.37	6.24
	60歳代	2.97	0.15	0.75	6.49	1.49	5.62

問12 結婚や家庭生活に関するア～クのことについて、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

結婚や家庭生活に関する考えについて、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた項目を見ると、『カ）家事は男女の区別なく同じように行った方が良いと思う』（84.0%）で最も高く、『ク）結婚しても夫も妻も同程度家庭の事をするのがよい』（83.6%）、『ア）結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい』（74.6%）と続く。



第2章 調査結果（市民意識調査）

ア) 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛 成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反 対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	367 50.8	172 23.8	94 13.0	24 3.3	44 6.1	22 3.0
性 別	男性	274 100.0	108 39.4	78 28.5	39 14.2	17 6.2	20 7.3	12 4.4
	女性	449 100.0	259 57.7	94 20.9	55 12.2	7 1.6	24 5.3	10 2.2
年 齢	20歳代	96 100.0	66 68.8	18 18.8	1 1.0	1 1.0	5 5.2	5 5.2
	30歳代	119 100.0	76 63.9	27 22.7	9 7.6	2 1.7	2 1.7	3 2.5
	40歳代	154 100.0	88 57.1	43 27.9	12 7.8	3 1.9	5 3.2	3 1.9
	50歳代	154 100.0	73 47.4	40 26.0	21 13.6	4 2.6	11 7.1	5 3.2
	60歳代	198 100.0	64 32.3	44 22.2	49 24.7	14 7.1	21 10.6	6 3.0

イ) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛 成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反 対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	22 3.0	127 17.6	211 29.2	242 33.5	97 13.4	24 3.3
性 別	男性	274 100.0	14 5.1	50 18.2	80 29.2	78 28.5	40 14.6	12 4.4
	女性	449 100.0	8 1.8	77 17.1	131 29.2	164 36.5	57 12.7	12 2.7
年 齢	20歳代	96 100.0	1 1.0	7 7.3	30 31.3	35 36.5	18 18.8	5 5.2
	30歳代	119 100.0	3 2.5	19 16.0	34 28.6	38 31.9	22 18.5	3 2.5
	40歳代	154 100.0	7 4.5	17 11.0	50 32.5	59 38.3	18 11.7	3 1.9
	50歳代	154 100.0	2 1.3	39 25.3	38 24.7	53 34.4	17 11.0	5 3.2
	60歳代	198 100.0	9 4.5	45 22.7	59 29.8	56 28.3	21 10.6	8 4.0

ウ) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛 成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反 対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	230 31.8	146 20.2	145 20.1	69 9.5	111 15.4	22 3.0
性 別	男性	274 100.0	63 23.0	50 18.2	63 23.0	43 15.7	44 16.1	11 4.0
	女性	449 100.0	167 37.2	96 21.4	82 18.3	26 5.8	67 14.9	11 2.4
年 齢	20歳代	96 100.0	52 54.2	19 19.8	9 9.4	2 2.1	9 9.4	5 5.2
	30歳代	119 100.0	57 47.9	24 20.2	13 10.9	6 5.0	16 13.4	3 2.5
	40歳代	154 100.0	54 35.1	47 30.5	19 12.3	7 4.5	24 15.6	3 1.9
	50歳代	154 100.0	37 24.0	31 20.1	44 28.6	16 10.4	22 14.3	4 2.6
	60歳代	198 100.0	30 15.2	25 12.6	59 29.8	38 19.2	39 19.7	7 3.5

エ) 結婚して相手に満足できないときは離婚すればよい

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	159 22.0	203 28.1	150 20.7	75 10.4	114 15.8	22 3.0
性別	男性	274 100.0	46 16.8	78 28.5	58 21.2	38 13.9	43 15.7	11 4.0
	女性	449 100.0	113 25.2	125 27.8	92 20.5	37 8.2	71 15.8	11 2.4
年齢	20歳代	96 100.0	24 25.0	26 27.1	15 15.6	10 10.4	16 16.7	5 5.2
	30歳代	119 100.0	35 29.4	25 21.0	26 21.8	15 12.6	15 12.6	3 2.5
	40歳代	154 100.0	40 26.0	48 31.2	35 22.7	6 3.9	21 13.6	4 2.6
	50歳代	154 100.0	31 20.1	60 39.0	29 18.8	10 6.5	21 13.6	3 1.9
	60歳代	198 100.0	29 14.6	43 21.7	45 22.7	34 17.2	40 20.2	7 3.5

オ) 夫婦が別々の姓を名乗ること（選択的夫婦別姓）を認める方がよい

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	198 27.4	189 26.1	113 15.6	67 9.3	133 18.4	23 3.2
性別	男性	274 100.0	67 24.5	65 23.7	43 15.7	42 15.3	46 16.8	11 4.0
	女性	449 100.0	131 29.2	124 27.6	70 15.6	25 5.6	87 19.4	12 2.7
年齢	20歳代	96 100.0	36 37.5	26 27.1	11 11.5	1 1.0	17 17.7	5 5.2
	30歳代	119 100.0	39 32.8	37 31.1	13 10.9	9 7.6	18 15.1	3 2.5
	40歳代	154 100.0	51 33.1	46 29.9	19 12.3	13 8.4	21 13.6	4 2.6
	50歳代	154 100.0	37 24.0	39 25.3	25 16.2	16 10.4	33 21.4	4 2.6
	60歳代	198 100.0	35 17.7	41 20.7	45 22.7	28 14.1	42 21.2	7 3.5

カ) 家事は男女の区別なく同じように行った方がよいと思う

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	367 50.8	240 33.2	43 5.9	12 1.7	38 5.3	23 3.2
性別	男性	274 100.0	110 40.1	96 35.0	25 9.1	7 2.6	25 9.1	11 4.0
	女性	449 100.0	257 57.2	144 32.1	18 4.0	5 1.1	13 2.9	12 2.7
年齢	20歳代	96 100.0	65 67.7	19 19.8	3 3.1	1 1.0	2 2.1	6 6.3
	30歳代	119 100.0	78 65.5	27 22.7	5 4.2	1 0.8	5 4.2	3 2.5
	40歳代	154 100.0	81 52.6	53 34.4	8 5.2	1 0.6	8 5.2	3 1.9
	50歳代	154 100.0	73 47.4	49 31.8	12 7.8	3 1.9	13 8.4	4 2.6
	60歳代	198 100.0	70 35.4	90 45.5	15 7.6	6 3.0	10 5.1	7 3.5

キ) 結婚しても夫も妻も同程度仕事をするのがよい

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛 成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反 対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	196 27.1	258 35.7	123 17.0	27 3.7	98 13.6	21 2.9
性 別	男性	274 100.0	62 22.6	97 35.4	43 15.7	17 6.2	44 16.1	11 4.0
	女性	449 100.0	134 29.8	161 35.9	80 17.8	10 2.2	54 12.0	10 2.2
年 齢	20歳代	96 100.0	25 26.0	36 37.5	13 13.5	3 3.1	14 14.6	5 5.2
	30歳代	119 100.0	30 25.2	36 30.3	25 21.0	5 4.2	20 16.8	3 2.5
	40歳代	154 100.0	51 33.1	52 33.8	28 18.2	4 2.6	16 10.4	3 1.9
	50歳代	154 100.0	42 27.3	52 33.8	24 15.6	7 4.5	26 16.9	3 1.9
	60歳代	198 100.0	48 24.2	80 40.4	33 16.7	8 4.0	22 11.1	7 3.5

ク) 結婚しても夫も妻も同程度家庭の事をするのがよい

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	賛 成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反 対	わからない	無回答
全 体		723 100.0	283 39.1	300 41.5	50 6.9	13 1.8	55 7.6	22 3.0
性 別	男性	274 100.0	84 30.7	124 45.3	18 6.6	9 3.3	28 10.2	11 4.0
	女性	449 100.0	199 44.3	176 39.2	32 7.1	4 0.9	27 6.0	11 2.4
年 齢	20歳代	96 100.0	46 47.9	36 37.5	3 3.1	1 1.0	5 5.2	5 5.2
	30歳代	119 100.0	49 41.2	48 40.3	6 5.0	2 1.7	11 9.2	3 2.5
	40歳代	154 100.0	68 44.2	60 39.0	10 6.5	3 1.9	10 6.5	3 1.9
	50歳代	154 100.0	54 35.1	66 42.9	14 9.1	2 1.3	14 9.1	4 2.6
	60歳代	198 100.0	66 33.3	89 44.9	17 8.6	5 2.5	14 7.1	7 3.5

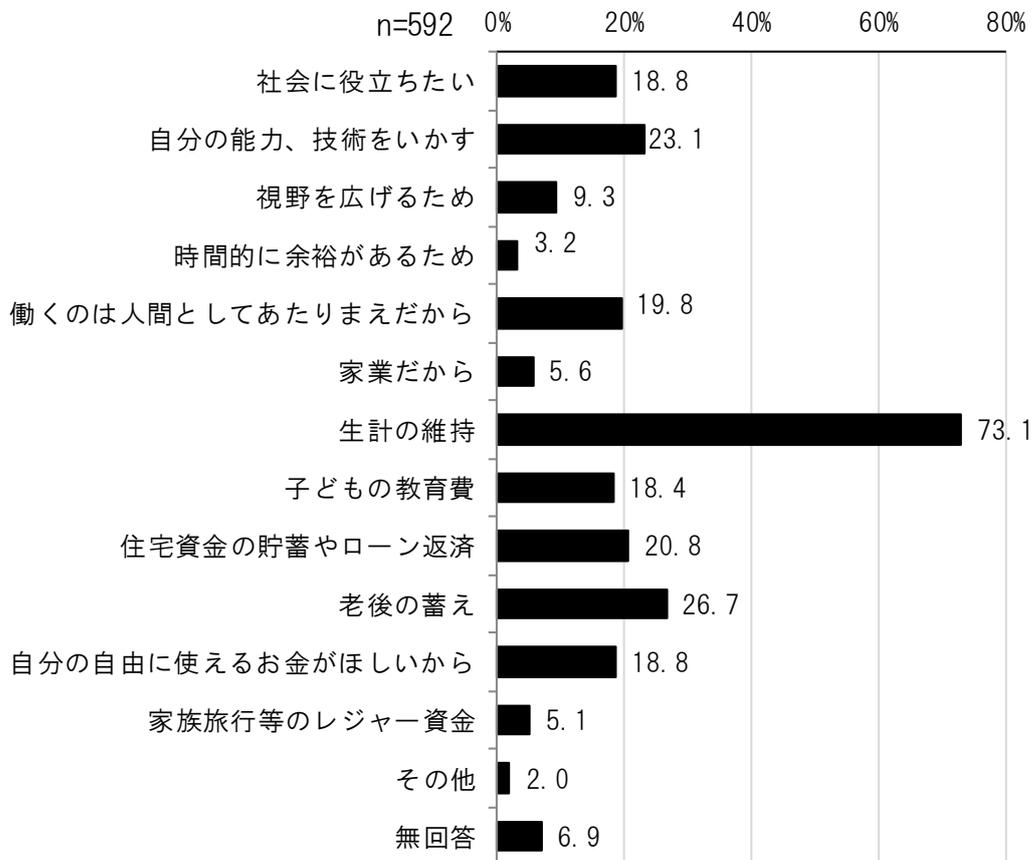
4. 仕事のことについて

問13 あなたが働いている理由について、あてはまるものを次の中から選んでください。（○は3つまで）

働いている理由について、「生計の維持」（73.1%）が7割で突出して高く、「老後の蓄え」（26.7%）、「自分の能力、技術をいかす」（23.1%）と続く。

男女別にみると、「自分の能力、技術をいかす」では女性（25.7%）が男性（19.3%）より高くなっている。

年齢別にみると、「子どもの教育費」は30歳代、40歳代で他の年齢より割合が高く、「老後の蓄え」は年齢が上がるにつれて高くなっている。



第2章 調査結果（市民意識調査）

（上段：実数、下段：割合）

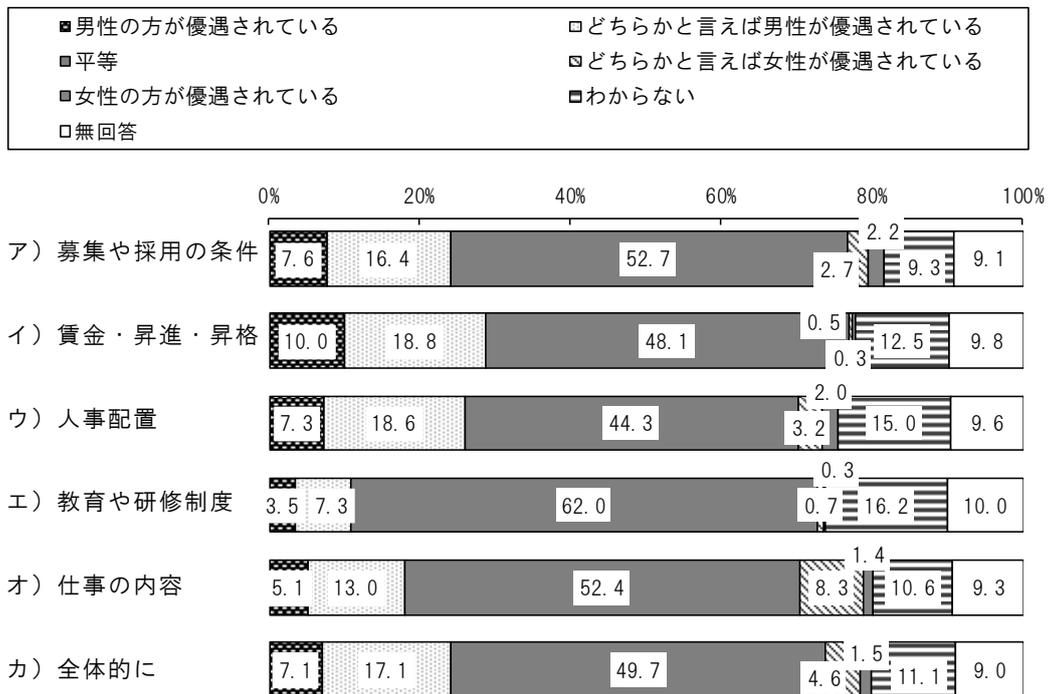
		全 体	社会に役立ちたい	自分の能力、技術をいかす	視野を広げるため	時間的に余裕があるため	働くのは人間としてあたりまえだから	家業だから	生計の維持	子どもの教育費
全 体		592 100.0	111 18.8	137 23.1	55 9.3	19 3.2	117 19.8	33 5.6	433 73.1	109 18.4
性別	男性	238 100.0	53 22.3	46 19.3	20 8.4	2 0.8	55 23.1	14 5.9	162 68.1	39 16.4
	女性	354 100.0	58 16.4	91 25.7	35 9.9	17 4.8	62 17.5	19 5.4	271 76.6	70 19.8
年齢	20歳代	81 100.0	13 16.0	16 19.8	14 17.3	4 4.9	17 21.0	5 6.2	56 69.1	9 11.1
	30歳代	103 100.0	20 19.4	25 24.3	14 13.6	3 2.9	19 18.4	4 3.9	78 75.7	33 32.0
	40歳代	141 100.0	31 22.0	44 31.2	12 8.5	1 0.7	33 23.4	7 5.0	111 78.7	42 29.8
	50歳代	139 100.0	30 21.6	30 21.6	8 5.8	4 2.9	28 20.1	7 5.0	109 78.4	20 14.4
	60歳代	127 100.0	17 13.4	22 17.3	7 5.5	7 5.5	19 15.0	10 7.9	78 61.4	5 3.9
		全 体	住宅資金の貯蓄やローン返済	老後の蓄え	自分の自由に使えるお金がほしいから	家族旅行等のレジャー資金	その他	無回答		
全 体		592 100.0	123 20.8	158 26.7	111 18.8	30 5.1	12 2.0	41 6.9		
性別	男性	238 100.0	46 19.3	59 24.8	40 16.8	13 5.5	5 2.1	26 10.9		
	女性	354 100.0	77 21.8	99 28.0	71 20.1	17 4.8	7 2.0	15 4.2		
年齢	20歳代	81 100.0	16 19.8	9 11.1	31 38.3	7 8.6	2 2.5	5 6.2		
	30歳代	103 100.0	20 19.4	17 16.5	33 32.0	3 2.9	2 1.9	3 2.9		
	40歳代	141 100.0	24 17.0	26 18.4	17 12.1	10 7.1	3 2.1	7 5.0		
	50歳代	139 100.0	31 22.3	45 32.4	14 10.1	8 5.8	3 2.2	12 8.6		
	60歳代	127 100.0	31 24.4	61 48.0	16 12.6	2 1.6	2 1.6	14 11.0		

問14 あなたの職場では、次にあげる場面で、性別によって差があると思いますか。ア～カの各場面において、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

職場における性別の差異について、「平等」の割合をみると『エ) 教育や研修制度』(62.0%)で6割と最も高くなっている。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかと言えば男性が優遇されている」を合わせた割合をみると、全ての場面で「女性の方が優遇されている」と「どちらかと言えば女性が優遇されている」を合わせた割合よりも高くなっている。

特に『イ) 賃金・昇進・昇格』(28.8%)で、他の場面よりも高い。



第2章 調査結果（市民意識調査）

ア) 募集や採用の条件

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平 等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		592 100.0	45 7.6	97 16.4	312 52.7	16 2.7	13 2.2	55 9.3	54 9.1
性 別	男性	238 100.0	27 11.3	43 18.1	116 48.7	4 1.7	1 0.4	16 6.7	31 13.0
	女性	354 100.0	18 5.1	54 15.3	196 55.4	12 3.4	12 3.4	39 11.0	23 6.5
年 齢	20歳代	81 100.0	4 4.9	7 8.6	57 70.4	2 2.5	2 2.5	4 4.9	5 6.2
	30歳代	103 100.0	8 7.8	12 11.7	63 61.2	3 2.9	4 3.9	9 8.7	4 3.9
	40歳代	141 100.0	10 7.1	31 22.0	74 52.5	5 3.5	4 2.8	11 7.8	6 4.3
	50歳代	139 100.0	9 6.5	20 14.4	78 56.1	4 2.9	1 0.7	13 9.4	14 10.1
	60歳代	127 100.0	14 11.0	26 20.5	40 31.5	2 1.6	2 1.6	18 14.2	25 19.7

イ) 賃金・昇進・昇格に

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平 等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		592 100.0	59 10.0	111 18.8	285 48.1	3 0.5	2 0.3	74 12.5	58 9.8
性 別	男性	238 100.0	25 10.5	49 20.6	109 45.8	1 0.4	1 0.4	21 8.8	32 13.4
	女性	354 100.0	34 9.6	62 17.5	176 49.7	2 0.6	1 0.3	53 15.0	26 7.3
年 齢	20歳代	81 100.0	2 2.5	11 13.6	53 65.4	1 1.2	1 1.2	8 9.9	5 6.2
	30歳代	103 100.0	14 13.6	10 9.7	60 58.3	-	-	15 14.6	4 3.9
	40歳代	141 100.0	15 10.6	25 17.7	80 56.7	1 0.7	-	13 9.2	7 5.0
	50歳代	139 100.0	13 9.4	29 20.9	65 46.8	1 0.7	1 0.7	15 10.8	15 10.8
	60歳代	127 100.0	15 11.8	35 27.6	27 21.3	-	-	23 18.1	27 21.3

ウ) 人事配置

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平 等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		592 100.0	43 7.3	110 18.6	262 44.3	19 3.2	12 2.0	89 15.0	57 9.6
性 別	男性	238 100.0	19 8.0	49 20.6	90 37.8	15 6.3	7 2.9	26 10.9	32 13.4
	女性	354 100.0	24 6.8	61 17.2	172 48.6	4 1.1	5 1.4	63 17.8	25 7.1
年 齢	20歳代	81 100.0	2 2.5	15 18.5	44 54.3	5 6.2	2 2.5	8 9.9	5 6.2
	30歳代	103 100.0	9 8.7	15 14.6	54 52.4	4 3.9	4 3.9	13 12.6	4 3.9
	40歳代	141 100.0	12 8.5	27 19.1	66 46.8	6 4.3	4 2.8	20 14.2	6 4.3
	50歳代	139 100.0	7 5.0	23 16.5	63 45.3	4 2.9	2 1.4	25 18.0	15 10.8
	60歳代	127 100.0	13 10.2	30 23.6	34 26.8	-	-	23 18.1	27 21.3

第2章 調査結果（市民意識調査）

エ) 教育や研修制度

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平 等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		592 100.0	21 3.5	43 7.3	367 62.0	4 0.7	2 0.3	96 16.2	59 10.0
性 別	男性	238 100.0	9 3.8	17 7.1	144 60.5	3 1.3	1 0.4	31 13.0	33 13.9
	女性	354 100.0	12 3.4	26 7.3	223 63.0	1 0.3	1 0.3	65 18.4	26 7.3
年 齢	20歳代	81 100.0	2 2.5	8 9.9	60 74.1	1 1.2	-	5 6.2	5 6.2
	30歳代	103 100.0	2 1.9	3 2.9	78 75.7	1 1.0	1 1.0	14 13.6	4 3.9
	40歳代	141 100.0	7 5.0	8 5.7	98 69.5	1 0.7	1 0.7	19 13.5	7 5.0
	50歳代	139 100.0	4 2.9	8 5.8	80 57.6	1 0.7	-	31 22.3	15 10.8
	60歳代	127 100.0	6 4.7	16 12.6	50 39.4	-	-	27 21.3	28 22.0

オ) 仕事の内容

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平 等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		592 100.0	30 5.1	77 13.0	310 52.4	49 8.3	8 1.4	63 10.6	55 9.3
性 別	男性	238 100.0	17 7.1	36 15.1	106 44.5	26 10.9	6 2.5	15 6.3	32 13.4
	女性	354 100.0	13 3.7	41 11.6	204 57.6	23 6.5	2 0.6	48 13.6	23 6.5
年 齢	20歳代	81 100.0	2 2.5	10 12.3	45 55.6	10 12.3	2 2.5	7 8.6	5 6.2
	30歳代	103 100.0	4 3.9	6 5.8	63 61.2	14 13.6	1 1.0	11 10.7	4 3.9
	40歳代	141 100.0	9 6.4	14 9.9	88 62.4	10 7.1	3 2.1	12 8.5	5 3.5
	50歳代	139 100.0	4 2.9	22 15.8	68 48.9	14 10.1	2 1.4	14 10.1	15 10.8
	60歳代	127 100.0	11 8.7	25 19.7	45 35.4	1 0.8	-	19 15.0	26 20.5

カ) 全体的に

(上段：実数、下段：割合)

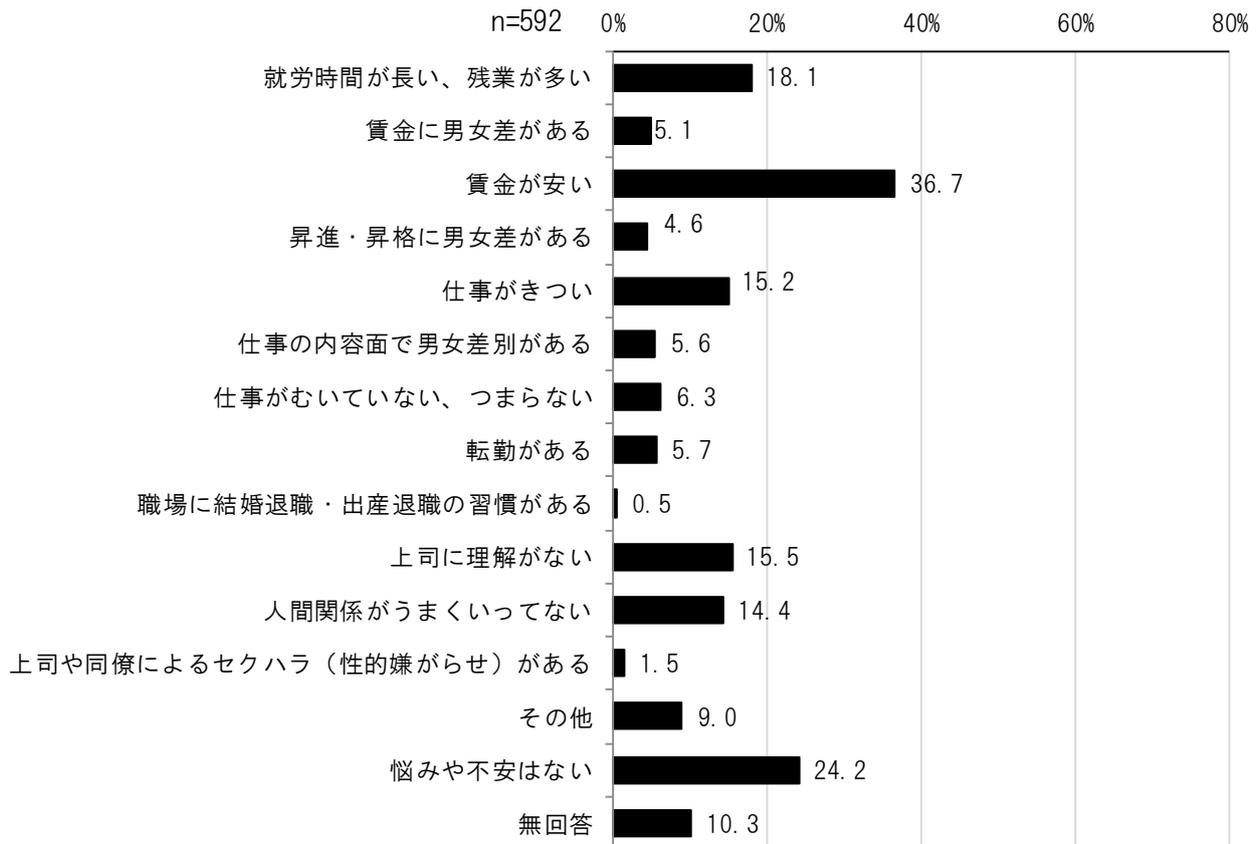
		全 体	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 が優遇され ている	平 等	どちらかと 言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		592 100.0	42 7.1	101 17.1	294 49.7	27 4.6	9 1.5	66 11.1	53 9.0
性 別	男性	238 100.0	19 8.0	47 19.7	101 42.4	14 5.9	6 2.5	20 8.4	31 13.0
	女性	354 100.0	23 6.5	54 15.3	193 54.5	13 3.7	3 0.8	46 13.0	22 6.2
年 齢	20歳代	81 100.0	4 4.9	12 14.8	47 58.0	7 8.6	1 1.2	5 6.2	5 6.2
	30歳代	103 100.0	7 6.8	12 11.7	59 57.3	6 5.8	2 1.9	13 12.6	4 3.9
	40歳代	141 100.0	10 7.1	27 19.1	80 56.7	5 3.5	4 2.8	10 7.1	5 3.5
	50歳代	139 100.0	8 5.8	21 15.1	70 50.4	8 5.8	2 1.4	15 10.8	15 10.8
	60歳代	127 100.0	13 10.2	29 22.8	37 29.1	1 0.8	-	23 18.1	24 18.9

問15 あなたが仕事をする上での仕事に関する悩みや不安について、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

仕事をする上での悩みや不安について、「賃金が安い」（36.7%）の割合が最も高く、「悩みや不安はない」（24.2%）、「就労時間が長い、残業が多い」（18.1%）と続く。

男女別にみると、「賃金が安い」においては、男性（33.2%）より女性（39.0%）で高くなっている。

年齢別にみると、「人間関係がうまくいっていない」では30歳代以降になると、年齢が上がるにつれて割合は低くなっている。



第2章 調査結果（市民意識調査）

（上段：実数、下段：割合）

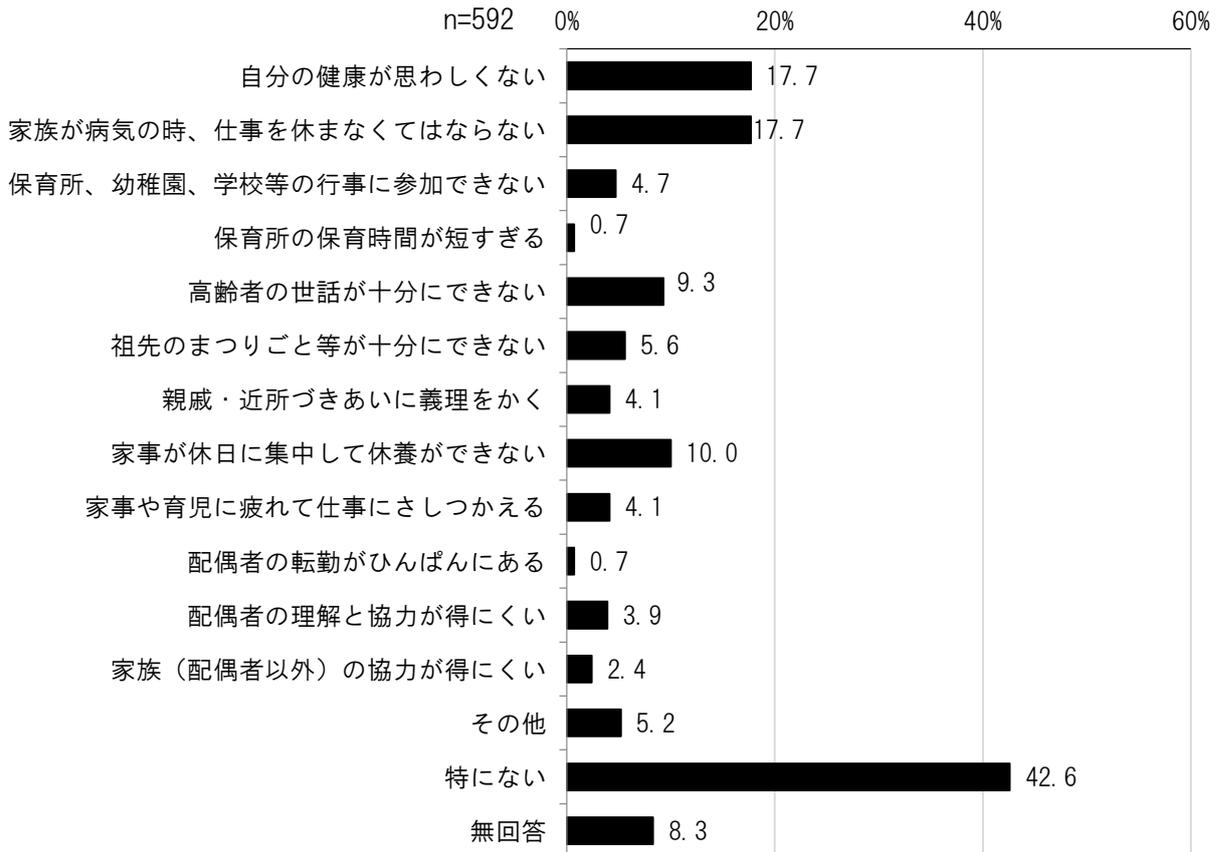
		全 体	就労時間が長い、残業が多い	賃金に男女差がある	賃金が安い	昇進・昇格に男女差がある	仕事が見つからない	仕事の内容面で男女差別がある	仕事がむいていない、つまらない	転職がある
全 体		592 100.0	107 18.1	30 5.1	217 36.7	27 4.6	90 15.2	33 5.6	37 6.3	34 5.7
性別	男性	238 100.0	48 20.2	10 4.2	79 33.2	9 3.8	38 16.0	20 8.4	21 8.8	20 8.4
	女性	354 100.0	59 16.7	20 5.6	138 39.0	18 5.1	52 14.7	13 3.7	16 4.5	14 4.0
年 齢	20歳代	81 100.0	15 18.5	-	26 32.1	-	14 17.3	2 2.5	10 12.3	8 9.9
	30歳代	103 100.0	27 26.2	5 4.9	40 38.8	6 5.8	15 14.6	6 5.8	11 10.7	7 6.8
	40歳代	141 100.0	29 20.6	7 5.0	54 38.3	7 5.0	22 15.6	8 5.7	8 5.7	9 6.4
	50歳代	139 100.0	26 18.7	9 6.5	48 34.5	9 6.5	25 18.0	7 5.0	6 4.3	10 7.2
	60歳代	127 100.0	10 7.9	9 7.1	49 38.6	5 3.9	14 11.0	10 7.9	2 1.6	-
		全 体	職場に結婚退職・出産退職の習慣がある	上司に理解がない	人間関係がうまくいっていない	上司や同僚によるセクハラ（性的嫌がらせ）がある	その他	悩みや不安はない	無回答	
全 体		592 100.0	3 0.5	92 15.5	85 14.4	9 1.5	53 9.0	143 24.2	61 10.3	
性別	男性	238 100.0	2 0.8	38 16.0	41 17.2	5 2.1	18 7.6	50 21.0	33 13.9	
	女性	354 100.0	1 0.3	54 15.3	44 12.4	4 1.1	35 9.9	93 26.3	28 7.9	
年 齢	20歳代	81 100.0	-	7 8.6	11 13.6	-	6 7.4	24 29.6	4 4.9	
	30歳代	103 100.0	2 1.9	23 22.3	22 21.4	2 1.9	13 12.6	27 26.2	5 4.9	
	40歳代	141 100.0	-	25 17.7	27 19.1	1 0.7	15 10.6	34 24.1	6 4.3	
	50歳代	139 100.0	1 0.7	22 15.8	18 12.9	3 2.2	14 10.1	23 16.5	18 12.9	
	60歳代	127 100.0	-	15 11.8	7 5.5	3 2.4	5 3.9	35 27.6	27 21.3	

問16 あなたが仕事を続けていく上で、仕事以外のことで悩み・不安等がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

仕事以外での悩み・不安等の内容について、「特にない」（42.6%）を除くと、「自分の健康が思わしくない」、「家族が病気の時、仕事を休まなくてはならない」（17.7%）で最も高く、「家事が休日に集中して休業ができない」（10.0%）と続く。

男女別にみると、「特にない」を除くと、「家事が休日に集中して仕事にさしつかえる」と「家族が病気の時、仕事を休まなくてはならない」では男性より女性の割合が高くなっている。

年齢別にみると、「高齢者の世話が十分にできない」では50歳代（17.3%）で他の年齢より高い。



第2章 調査結果（市民意識調査）

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	自分の健康 が思わしく ない	家族が病気 の時、仕事 を休まなく てはならな い	保育所、幼 稚園、学校 等の行事に 参加できな い	保育所の保 育時間が短 すぎる	高齢者の世 話が十分に できない	祖先のまつ りごと等が 十分にでき ない	親戚・近所 づきあいに 義理をかく
全 体		592 100.0	105 17.7	105 17.7	28 4.7	4 0.7	55 9.3	33 5.6	24 4.1
性別	男性	238 100.0	48 20.2	37 15.5	13 5.5	2 0.8	28 11.8	18 7.6	14 5.9
	女性	354 100.0	57 16.1	68 19.2	15 4.2	2 0.6	27 7.6	15 4.2	10 2.8
年齢	20歳代	81 100.0	8 9.9	10 12.3	3 3.7	1 1.2	1 1.2	4 4.9	2 2.5
	30歳代	103 100.0	16 15.5	22 21.4	8 7.8	3 2.9	5 4.9	4 3.9	4 3.9
	40歳代	141 100.0	25 17.7	24 17.0	11 7.8	-	8 5.7	8 5.7	4 2.8
	50歳代	139 100.0	29 20.9	30 21.6	6 4.3	-	24 17.3	11 7.9	9 6.5
	60歳代	127 100.0	27 21.3	19 15.0	-	-	17 13.4	6 4.7	5 3.9
		全 体	家事や育児 に疲れて仕 事にさしつ かえる	配偶者の転 勤がひんぱ んにある	配偶者の理 解と協力が 得にくい	家族（配偶 者以外）の 協力が得に くい	その他	特にない	無回答
全 体		592 100.0	24 4.1	4 0.7	23 3.9	14 2.4	31 5.2	252 42.6	49 8.3
性別	男性	238 100.0	6 2.5	-	8 3.4	6 2.5	8 3.4	96 40.3	29 12.2
	女性	354 100.0	18 5.1	4 1.1	15 4.2	8 2.3	23 6.5	156 44.1	20 5.6
年齢	20歳代	81 100.0	3 3.7	1 1.2	3 3.7	1 1.2	-	51 63.0	5 6.2
	30歳代	103 100.0	9 8.7	2 1.9	5 4.9	2 1.9	5 4.9	41 39.8	4 3.9
	40歳代	141 100.0	8 5.7	1 0.7	8 5.7	5 3.5	12 8.5	59 41.8	6 4.3
	50歳代	139 100.0	2 1.4	-	6 4.3	4 2.9	11 7.9	48 34.5	12 8.6
	60歳代	127 100.0	2 1.6	-	1 0.8	2 1.6	3 2.4	53 41.7	21 16.5

5. 女性の活躍について

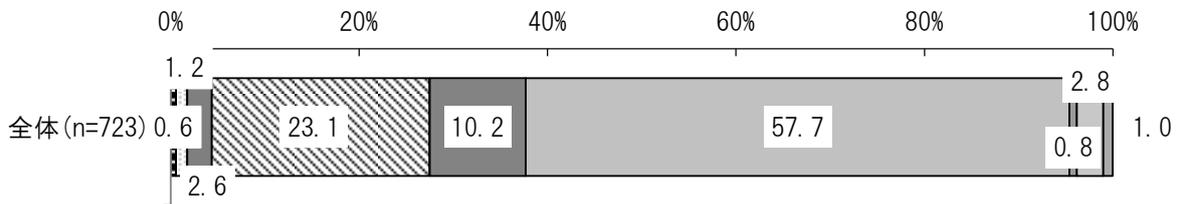
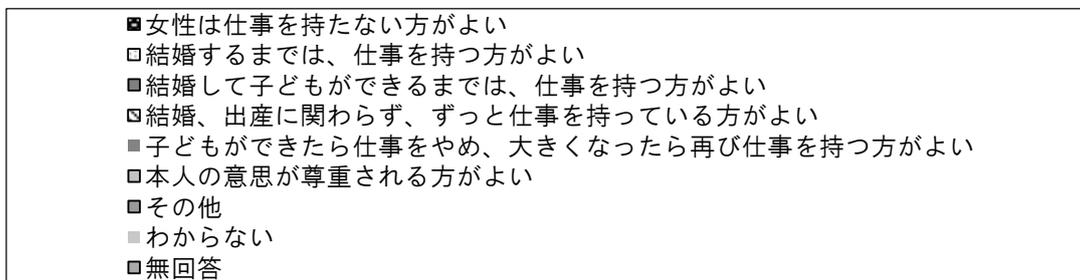
問17 一般的に、女性が仕事を持つことについて、あなたはどうお考えですか。
（○は1つ）

女性が仕事を持つことについて、「本人の意思が尊重される方がよい」（57.7%）が5割で最も割合が高く、「結婚、出産に関わらず、ずっと仕事を持っている方がよい」（23.1%）と続く。

男女別にみると、「女性は仕事を持たない方がよい」や「結婚するまでは、仕事を持つ方がよい」、「結婚して子どもができるまでは、仕事を持つ方がよい」ではわずかではあるが男性で一定の割合がある。

年齢別にみると、「本人の意思が尊重される方がよい」では20歳代（76.0%）、30歳代（73.9%）で7割を越える。

「結婚、出産に関わらず、ずっと仕事を持っている方がよい」では60歳代（31.3%）で最も高くなっている。



（上段：実数、下段：割合）

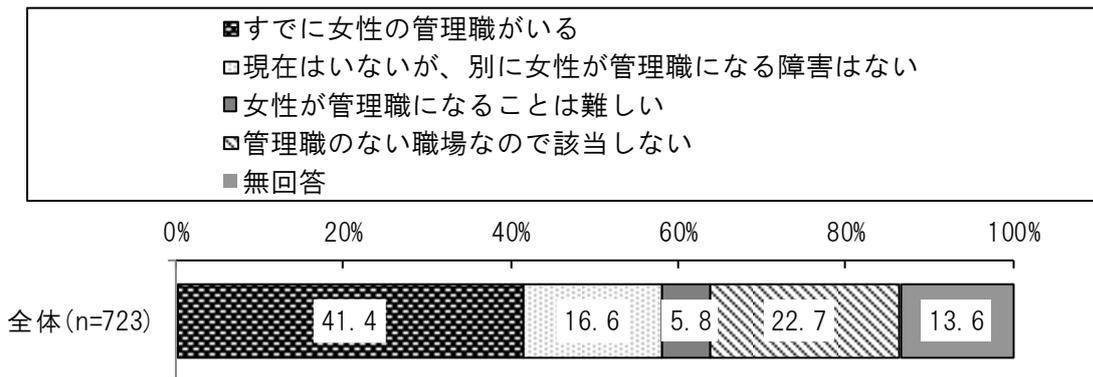
	全 体	回答内容								無回答	
		女性は仕事を持たない方がよい	結婚するまでは、仕事を持つ方がよい	結婚して子どもができるまでは、仕事を持つ方がよい	結婚、出産に関わらず、ずっと仕事を持っている方がよい	子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい	本人の意思が尊重される方がよい	その他	わからない		
全 体	723 100.0	4 0.6	9 1.2	19 2.6	167 23.1	74 10.2	417 57.7	6 0.8	20 2.8	7 1.0	
性別	男性	274 100.0	4 1.5	5 1.8	11 4.0	61 22.3	29 10.6	149 54.4	3 1.1	7 2.6	5 1.8
	女性	449 100.0	- 0.9	4 0.9	8 1.8	106 23.6	45 10.0	268 59.7	3 0.7	13 2.9	2 0.4
年齢	20歳代	96 100.0	- -	1 1.0	2 2.1	14 14.6	4 4.2	73 76.0	- -	2 2.1	- -
	30歳代	119 100.0	- -	- -	2 1.7	17 14.3	6 5.0	88 73.9	1 0.8	3 2.5	2 1.7
	40歳代	154 100.0	1 0.6	1 0.6	4 2.6	41 26.6	11 7.1	91 59.1	2 1.3	3 1.9	- -
	50歳代	154 100.0	1 0.6	3 1.9	3 1.9	33 21.4	22 14.3	82 53.2	3 1.9	6 3.9	1 0.6
	60歳代	198 100.0	2 1.0	4 2.0	7 3.5	62 31.3	31 15.7	82 41.4	- -	6 3.0	4 2.0

問18 あなたの職場での女性管理職（係長以上）登用状況について、1つだけ選んでください（○は1つ）

職場での女性管理職（係長以上）登用状況について、「すでに女性の管理職がいる」（41.4%）で割合が最も高く、「管理職のない職場なので該当しない」（22.7%）、「現在はいないが、別に女性が管理職になる障害はない」（16.6%）と続く。

男女別にみると、「現在はいないが、別に女性が管理職になる障害はない」では女性（12.5%）より男性（23.4%）で割合が高くなっている。

年齢別にみると、20～40歳代では「すでに女性の管理職がいる」の割合が5割前後となっている。



（上段：実数、下段：割合）

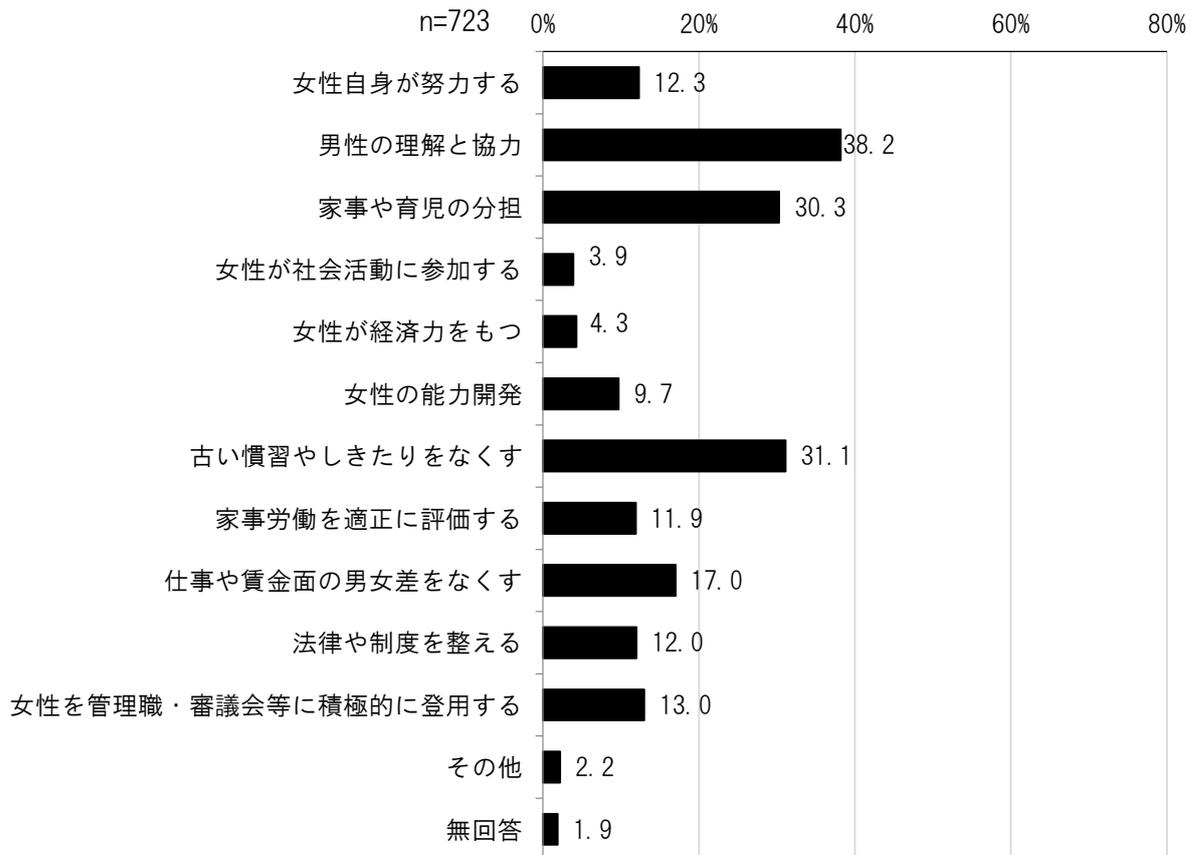
		全 体	すでに女性 の管理職が いる	現在はいないが、別に 女性が管理 職になる障 害はない	女性が管理 職になるこ とは難しい	管理職のない職場なので 該当しない	無回答
全 体		723 100.0	299 41.4	120 16.6	42 5.8	164 22.7	98 13.6
性 別	男性	274 100.0	111 40.5	64 23.4	14 5.1	58 21.2	27 9.9
	女性	449 100.0	188 41.9	56 12.5	28 6.2	106 23.6	71 15.8
年 齢	20歳代	96 100.0	47 49.0	24 25.0	3 3.1	16 16.7	6 6.3
	30歳代	119 100.0	56 47.1	25 21.0	8 6.7	19 16.0	11 9.2
	40歳代	154 100.0	80 51.9	21 13.6	10 6.5	30 19.5	13 8.4
	50歳代	154 100.0	66 42.9	18 11.7	11 7.1	46 29.9	13 8.4
	60歳代	198 100.0	49 24.7	32 16.2	10 5.1	52 26.3	55 27.8

問19 女性の社会進出は進みつつありますが、今後さらに、女性が社会進出するために、特に重要だと思うものを次の中から選んでください。（〇は2つまで）

女性が社会進出するために重要だと思うことについて、「男性の理解と協力」（38.2%）で割合が最も高く、「古い慣習やしきたりをなくす」（31.1%）、「家事や育児の分担」（30.3%）で3割と続く。

男女別にみると、「女性自身が努力する」、「家事や育児の分担」では10%以上の、「女性を管理職・審議会等に積極的に登用する」では5.6%の男女間での差がある。

年齢別にみると、20代では「男性の理解と協力」（46.9%）で、30代では「古い慣習やしきたりをなくす」（38.7%）で他の年齢よりも割合が最も高くなっている。



第2章 調査結果（市民意識調査）

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	女性自身が 努力する	男性の理解 と協力	家事や育児 の負担	女性が社会 活動に参加 する	女性が経済 力をもつ	女性の能力 開発	古い慣習や しきたりを なくす	家事労働を 適正に評価 する
全 体		723 100.0	89 12.3	276 38.2	219 30.3	28 3.9	31 4.3	70 9.7	225 31.1	86 11.9
性別	男性	274 100.0	53 19.3	105 38.3	64 23.4	12 4.4	8 2.9	29 10.6	92 33.6	21 7.7
	女性	449 100.0	36 8.0	171 38.1	155 34.5	16 3.6	23 5.1	41 9.1	133 29.6	65 14.5
年 齢	20歳代	96 100.0	4 4.2	45 46.9	39 40.6	3 3.1	3 3.1	8 8.3	36 37.5	7 7.3
	30歳代	119 100.0	18 15.1	35 29.4	43 36.1	4 3.4	2 1.7	8 6.7	46 38.7	22 18.5
	40歳代	154 100.0	13 8.4	59 38.3	46 29.9	3 1.9	9 5.8	9 5.8	55 35.7	25 16.2
	50歳代	154 100.0	23 14.9	60 39.0	50 32.5	6 3.9	8 5.2	15 9.7	39 25.3	10 6.5
	60歳代	198 100.0	31 15.7	75 37.9	40 20.2	12 6.1	9 4.5	29 14.6	49 24.7	22 11.1
		全 体	仕事や賃金 面の男女差 をなくす	法律や制度 を整える	女性を管理 職・審議会 等に積極的 に登用する	その他	無回答			
全 体		723 100.0	123 17.0	87 12.0	94 13.0	16 2.2	14 1.9			
性別	男性	274 100.0	45 16.4	32 11.7	26 9.5	9 3.3	7 2.6			
	女性	449 100.0	78 17.4	55 12.2	68 15.1	7 1.6	7 1.6			
年 齢	20歳代	96 100.0	12 12.5	6 6.3	12 12.5	2 2.1	2 2.1			
	30歳代	119 100.0	19 16.0	13 10.9	9 7.6	4 3.4	2 1.7			
	40歳代	154 100.0	27 17.5	17 11.0	22 14.3	6 3.9	1 0.6			
	50歳代	154 100.0	27 17.5	26 16.9	21 13.6	3 1.9	3 1.9			
	60歳代	198 100.0	38 19.2	25 12.6	30 15.2	1 0.5	6 3.0			

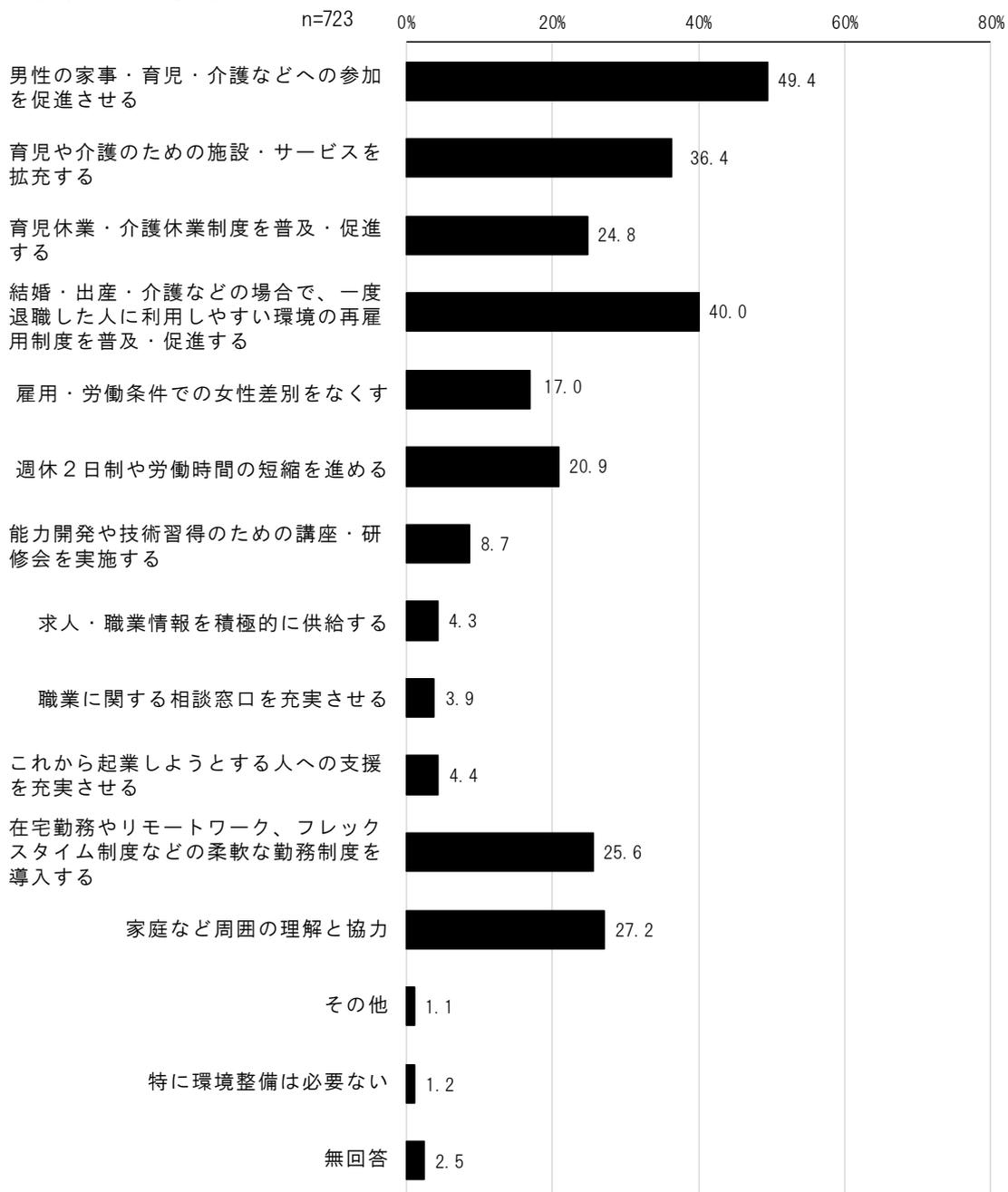
問20 女性が仕事を続けていくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。（〇は3つまで）

女性が仕事を続けていくために必要な環境整備について、「男性の家事・育児・介護などへの参加を促進させる」（49.4%）で最も割合が高く、「結婚・出産・介護などの場合で、一度退職した人に利用しやすい環境の再雇用制度を普及・促進する」（40.0%）、「育児や介護のための施設・サービスを拡充する」（36.4%）と続く。

男女別にみると、「男性の家事・育児・介護などへの参加を推進させる」では女性（52.1%）で5割となり、男性（44.9%）の4割を超える。

一方で、「育児休業・介護休業制度を普及・促進する」では男性（30.3%）が女性（41.4%）より高くなっている。

年齢別にみると、「家庭など周囲の理解と協力」では30歳代（30.3%）と50歳代（31.8%）で3割と他の年齢よりも高い。



第2章 調査結果（市民意識調査）

（上段：実数、下段：割合）

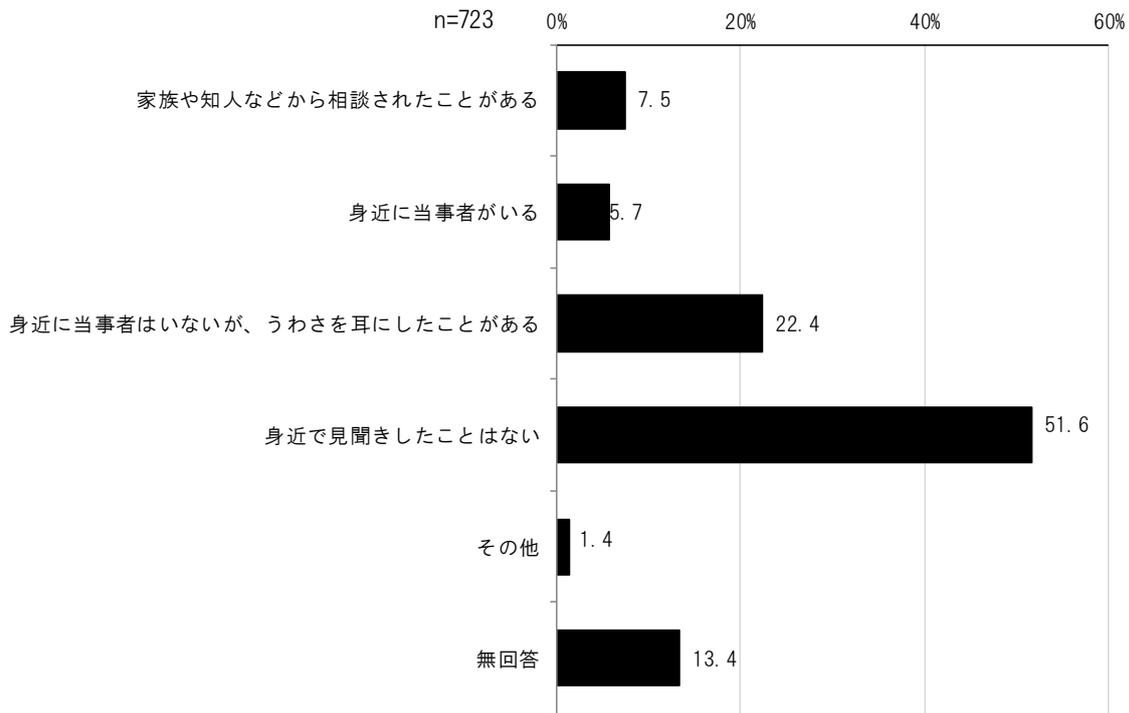
		全 体	男性の家事・育児・介護などへの参加を促進させる	育児や介護のための施設・サービスを拡充する	育児休業・介護休業制度を普及・促進する	結婚・出産・介護などの場合で、一度退職した人に利用しやすい環境の再雇用制度を普及・促進する	雇用・労働条件での女性差別をなくす	週休2日制や労働時間の短縮を進める	能力開発や技術習得のための講座・研修会を実施する	求人・職業情報を積極的に供給する
全 体		723 100.0	357 49.4	263 36.4	179 24.8	289 40.0	123 17.0	151 20.9	63 8.7	31 4.3
性別	男性	274 100.0	123 44.9	100 36.5	83 30.3	103 37.6	49 17.9	57 20.8	17 6.2	13 4.7
	女性	449 100.0	234 52.1	163 36.3	96 21.4	186 41.4	74 16.5	94 20.9	46 10.2	18 4.0
年齢	20歳代	96 100.0	49 51.0	36 37.5	28 29.2	40 41.7	13 13.5	23 24.0	4 4.2	3 3.1
	30歳代	119 100.0	64 53.8	45 37.8	33 27.7	42 35.3	13 10.9	31 26.1	6 5.0	3 2.5
	40歳代	154 100.0	82 53.2	63 40.9	40 26.0	65 42.2	28 18.2	22 14.3	12 7.8	-
	50歳代	154 100.0	68 44.2	47 30.5	33 21.4	60 39.0	29 18.8	40 26.0	14 9.1	13 8.4
	60歳代	198 100.0	93 47.0	72 36.4	44 22.2	82 41.4	39 19.7	35 17.7	26 13.1	12 6.1
全 体		723 100.0	職業に関する相談窓口を充実させる	これから起業しようとする人への支援を充実させる	在宅勤務やリモートワーク、フレックスタイトム制度などの柔軟な勤務制度を導入する	家庭など周囲の理解と協力	その他	特に環境整備は必要ない	無回答	
全 体		723 100.0	28 3.9	32 4.4	185 25.6	197 27.2	8 1.1	9 1.2	18 2.5	
性別	男性	274 100.0	13 4.7	13 4.7	62 22.6	71 25.9	5 1.8	7 2.6	9 3.3	
	女性	449 100.0	15 3.3	19 4.2	123 27.4	126 28.1	3 0.7	2 0.4	9 2.0	
年齢	20歳代	96 100.0	5 5.2	2 2.1	30 31.3	21 21.9	1 1.0	1 1.0	2 2.1	
	30歳代	119 100.0	2 1.7	2 1.7	34 28.6	36 30.3	3 2.5	1 0.8	2 1.7	
	40歳代	154 100.0	1 0.6	10 6.5	40 26.0	39 25.3	3 1.9	2 1.3	3 1.9	
	50歳代	154 100.0	8 5.2	7 4.5	45 29.2	49 31.8	1 0.6	2 1.3	4 2.6	
	60歳代	198 100.0	12 6.1	11 5.6	36 18.2	51 25.8	-	3 1.5	7 3.5	

6. 配偶者などからの暴力について

問21 あなたは、配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中、元配偶者も含む）や交際相手からの暴力について、身近で見聞きしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

配偶者や交際相手からの暴力で、見聞きしたことがあるかについて、「身近で見聞きしたことはない」（51.6%）で最も高くなっている。

「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」（22.4%）、「家族や知人などから相談されたことがある」（7.5%）、「身近に当事者がいる」（5.7%）を合わせると3割が当事者との関わりがある。



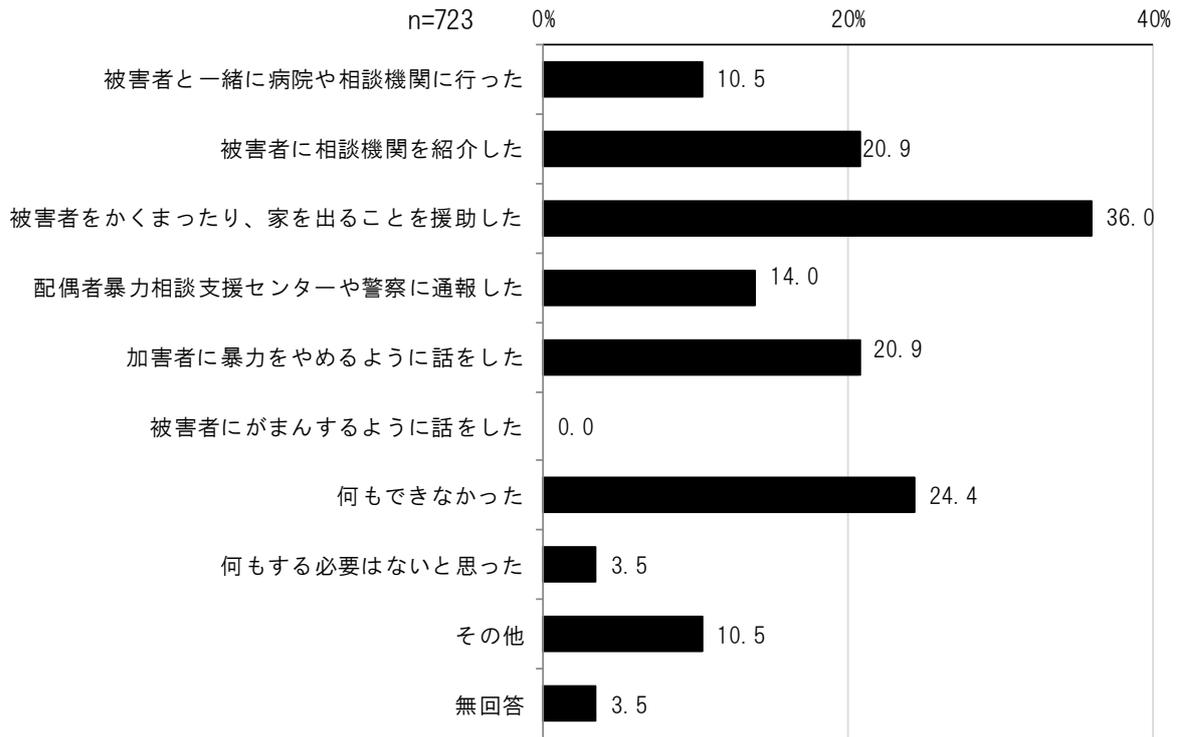
（上段：実数、下段：割合）

		全 体	家族や知人 などから相 談されたこ とがある	身近に当事 者がいる	身近に当事 者はいない が、うわさ を耳にした ことがある	身近で見聞 きしたこ とはない	その他	無回答
全 体		723 100.0	54 7.5	41 5.7	162 22.4	373 51.6	10 1.4	97 13.4
性 別	男性	274 100.0	8 2.9	7 2.6	67 24.5	160 58.4	2 0.7	32 11.7
	女性	449 100.0	46 10.2	34 7.6	95 21.2	213 47.4	8 1.8	65 14.5
年 齢	20歳代	96 100.0	5 5.2	5 5.2	12 12.5	64 66.7	-	10 10.4
	30歳代	119 100.0	14 11.8	10 8.4	26 21.8	66 55.5	1 0.8	5 4.2
	40歳代	154 100.0	9 5.8	9 5.8	34 22.1	86 55.8	3 1.9	13 8.4
	50歳代	154 100.0	8 5.2	4 2.6	32 20.8	88 57.1	2 1.3	20 13.0
	60歳代	198 100.0	18 9.1	13 6.6	58 29.3	69 34.8	3 1.5	48 24.2

問2 1-1 そのことを知ってどうしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。
（〇はいくつでも）

知った時の行動について、「被害者をおかまったり、家を出ることを援助した」（36.0%）が3割で最も高く、「何もできなかった」（24.4%）、「被害者に相談機関を紹介した」、「加害者に暴力をやめるように話をした」（20.9%）となっている。

男女別にみると、男性では「被害者をおかまったり、家を出ることを援助した」（53.3%）、「加害者に暴力をやめるように話をした」（40.0%）で女性よりも割合が特に高くなっている。



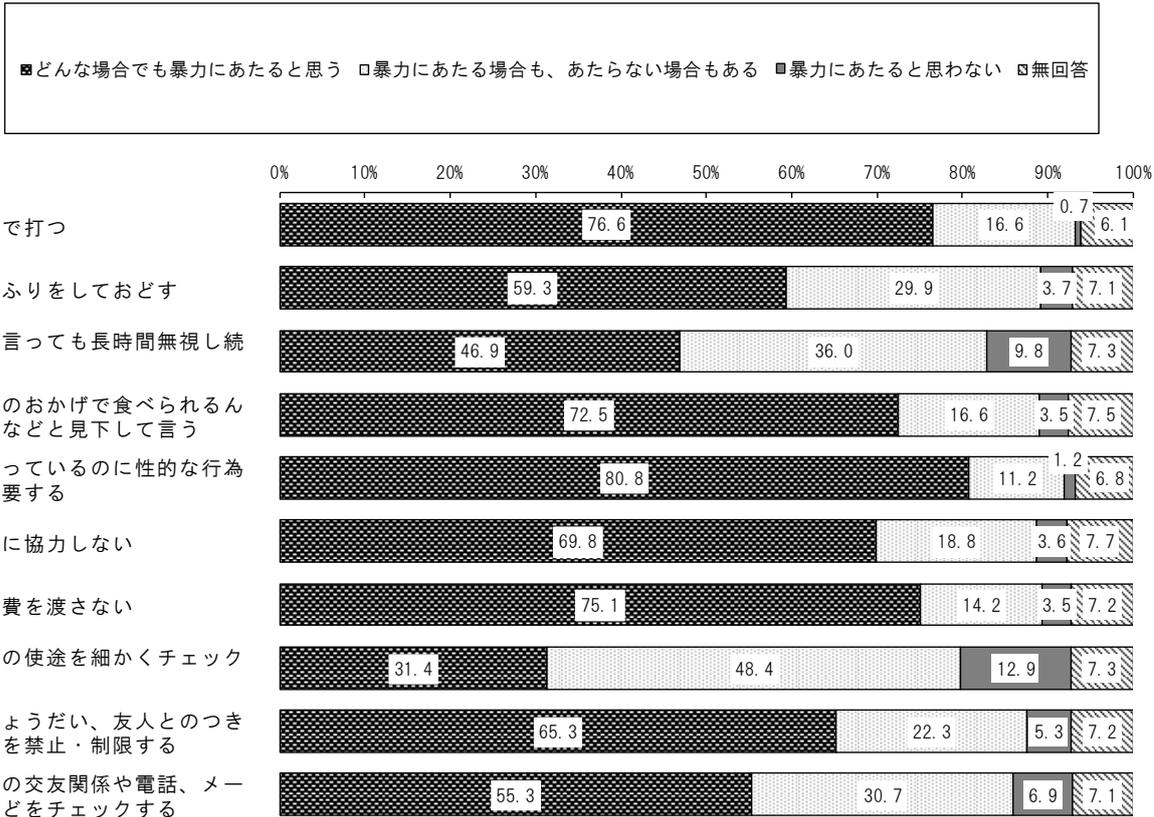
（上段：実数、下段：割合）

	全体	被害者と一緒に病院や相談機関に行った	被害者に相談機関を紹介した	被害者をおかまったり、家を出ることを援助した	配偶者暴力相談支援センターや警察に通報した	加害者に暴力をやめるように話をした	被害者ががまんするように話をした	何もできなかった	何もする必要はないと思った	その他	無回答
		実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)
全体	86	9	18	31	12	18	-	21	3	9	3
性別											
男性	15	2	3	8	3	6	-	3	1	2	-
	100.0	13.3	20.0	53.3	20.0	40.0	-	20.0	6.7	13.3	-
女性	71	7	15	23	9	12	-	18	2	7	3
	100.0	9.9	21.1	32.4	12.7	16.9	-	25.4	2.8	9.9	4.2
年齢											
20歳代	10	1	1	1	2	4	-	2	2	2	-
	100.0	10.0	10.0	10.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0	-
30歳代	21	2	5	7	4	4	-	4	1	2	-
	100.0	9.5	23.8	33.3	19.0	19.0	-	19.0	4.8	9.5	-
40歳代	18	2	2	7	3	3	-	6	-	2	-
	100.0	11.1	11.1	38.9	16.7	16.7	-	33.3	-	11.1	-
50歳代	12	1	2	4	1	-	-	2	-	1	1
	100.0	8.3	16.7	33.3	8.3	-	-	16.7	-	8.3	8.3
60歳代	25	3	8	12	2	7	-	7	-	2	2
	100.0	12.0	32.0	48.0	8.0	28.0	-	28.0	-	8.0	8.0

問22 あなたは、夫婦や恋人の間で次のア～コのようなことが行われた場合、それを暴力だと思えますか。あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

夫婦や恋人間で暴力だと思うことについて、10項目中8項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が5割を越えている。特に『オ)嫌がっているのに性的な行為を強制する』(80.8%)で最も高くなっている。

一方で、『ク)お金の使途を細かくチェックする』では「暴力にあたる場合も、あたらない場合もある」(48.4%)では4割となり、他の項目よりも割合が高い。



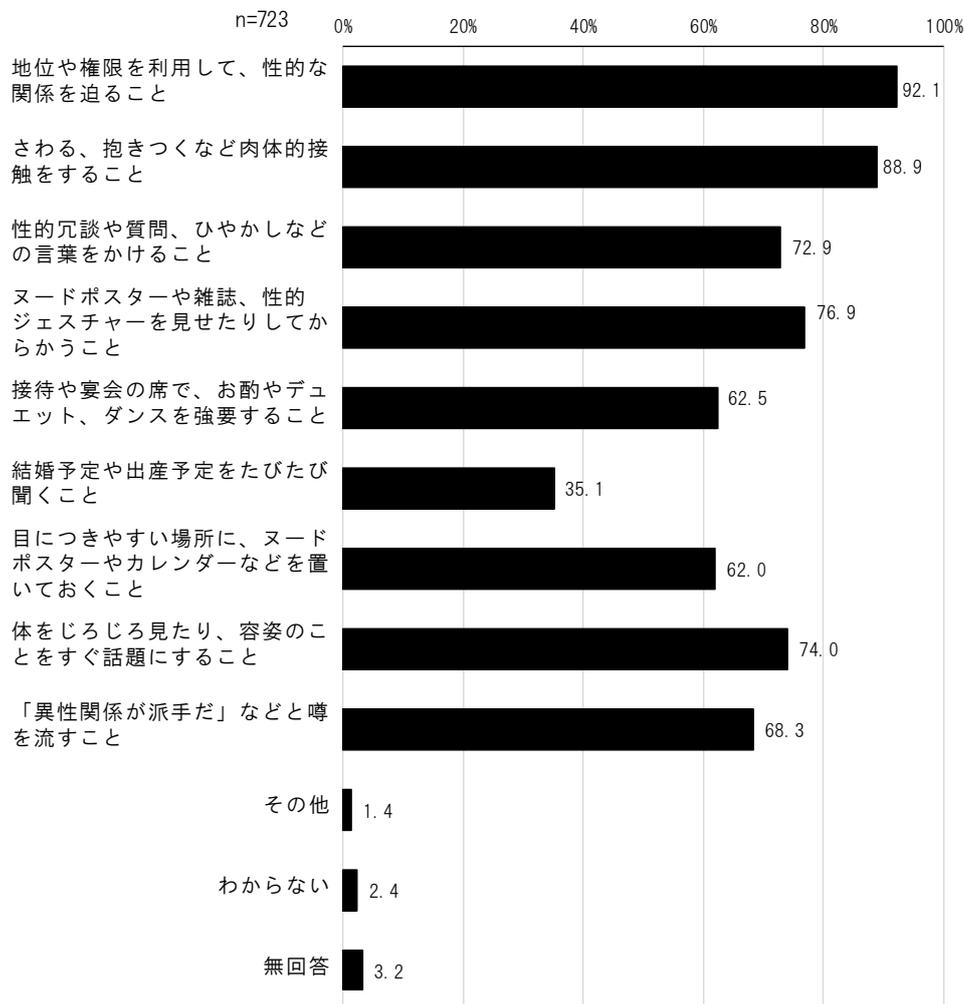
問23 職場や学校でのセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）が問題になっていますが、あなたはセクシュアル・ハラスメントだと思うのは次のどれですか。該当するものすべて選んでください。（○はいくつでも）

セクシュアル・ハラスメントだと思う項目について、「結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと」を除く全ての項目で、セクシュアル・ハラスメントという認識が5割を越えている。

「結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと」は3割程度にとどまる。

男女別にみると、「体をじろじろ見たり、容姿のことをすぐ話題にすること」では男性（69.7%）より女性（76.6%）で高くなっている。

年齢別にみると、「ヌードポスターや雑誌、性的ジェスチャーを見せたりしてからかうこと」について、20歳代（81.3%）では8割に対して、60歳代（66.2%）では6割と年齢差がみられる。



第2章 調査結果（市民意識調査）

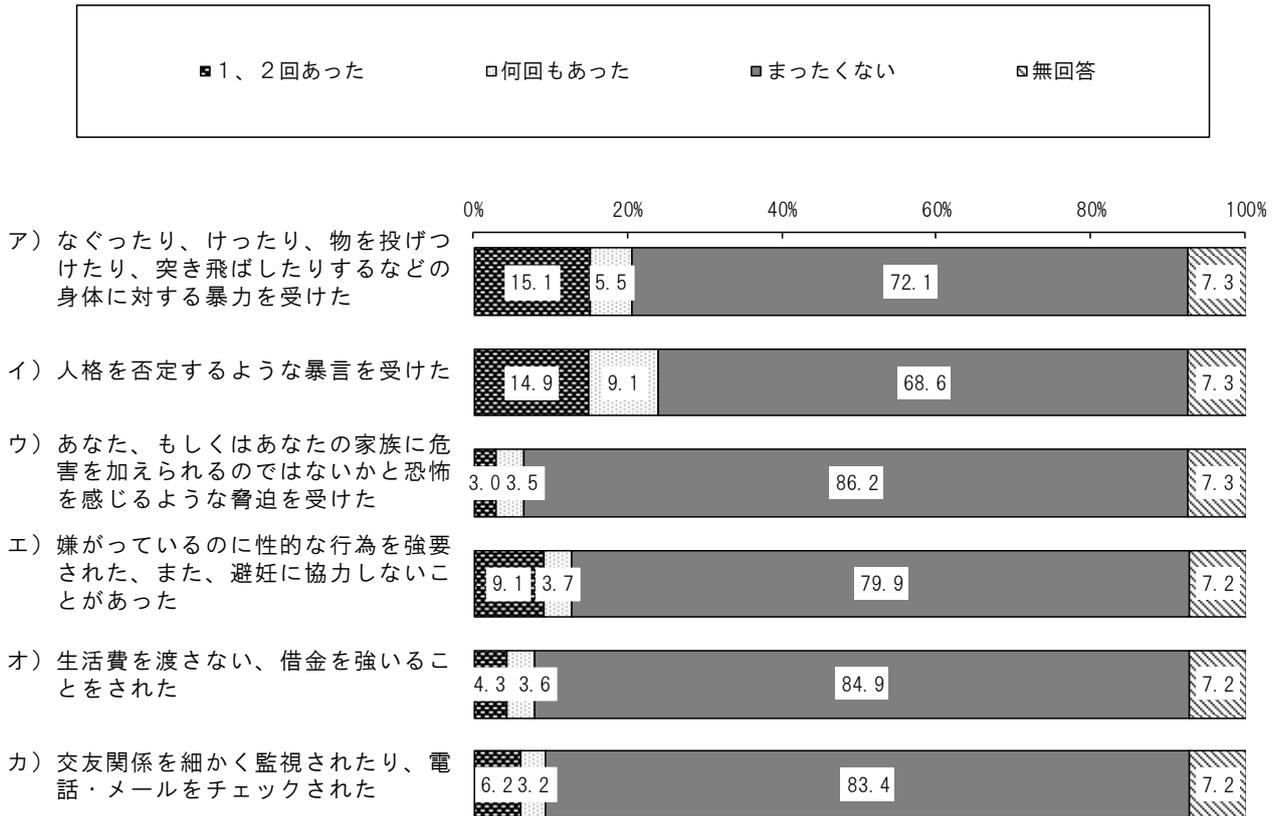
（上段：実数、下段：割合）

		全 体	地位や権限 を利用して、性的な 関係を迫ること	さわる、抱き つづくなどの 肉体的接触を すること	性的冗談や 質問、ひやの かし言葉など をかけること	ヌードポス ターや雑誌、性的 ジェスチャーを 見せたりするこ と	接待や宴会 の席で、お酌やデ ュエット、ダンス を強要すること	結婚予定や 出産予定を聞 くこと	目につきや すい場所に、ヌ ードポスターや カレンダーなど を置いておくこ と	体をじろじ ろ見たり、容 姿の話題に すること
全 体		723 100.0	666 92.1	643 88.9	527 72.9	556 76.9	452 62.5	254 35.1	448 62.0	535 74.0
性別	男性	274 100.0	250 91.2	236 86.1	194 70.8	206 75.2	172 62.8	92 33.6	178 65.0	191 69.7
	女性	449 100.0	416 92.7	407 90.6	333 74.2	350 78.0	280 62.4	162 36.1	270 60.1	344 76.6
年齢	20歳代	96 100.0	89 92.7	87 90.6	75 78.1	78 81.3	60 62.5	33 34.4	61 63.5	75 78.1
	30歳代	119 100.0	115 96.6	108 90.8	86 72.3	94 79.0	75 63.0	46 38.7	71 59.7	93 78.2
	40歳代	154 100.0	148 96.1	143 92.9	117 76.0	128 83.1	103 66.9	66 42.9	111 72.1	123 79.9
	50歳代	154 100.0	144 93.5	139 90.3	117 76.0	122 79.2	100 64.9	55 35.7	100 64.9	116 75.3
	60歳代	198 100.0	168 84.8	165 83.3	131 66.2	133 67.2	113 57.1	53 26.8	104 52.5	127 64.1
		全 体	「異性関係 が派手だ」 などと噂を 流すこと	その他	わからない	無回答				
全 体		723 100.0	494 68.3	10 1.4	17 2.4	23 3.2				
性別	男性	274 100.0	180 65.7	7 2.6	9 3.3	8 2.9				
	女性	449 100.0	314 69.9	3 0.7	8 1.8	15 3.3				
年齢	20歳代	96 100.0	66 68.8	-	3 3.1	2 2.1				
	30歳代	119 100.0	85 71.4	4 3.4	2 1.7	1 0.8				
	40歳代	154 100.0	116 75.3	2 1.3	2 1.3	2 1.3				
	50歳代	154 100.0	108 70.1	-	4 2.6	3 1.9				
	60歳代	198 100.0	118 59.6	4 2.0	6 3.0	15 7.6				

問24 あなたは、配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中、元配偶者も含む）や交際相手から、次のア～カのようなことをされたことがありますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

配偶者や交際相手からの受けた暴力について、「まったくない」との回答では、全ての項目で半数を超えているものの、「1、2回あった」では一定の割合がいる。

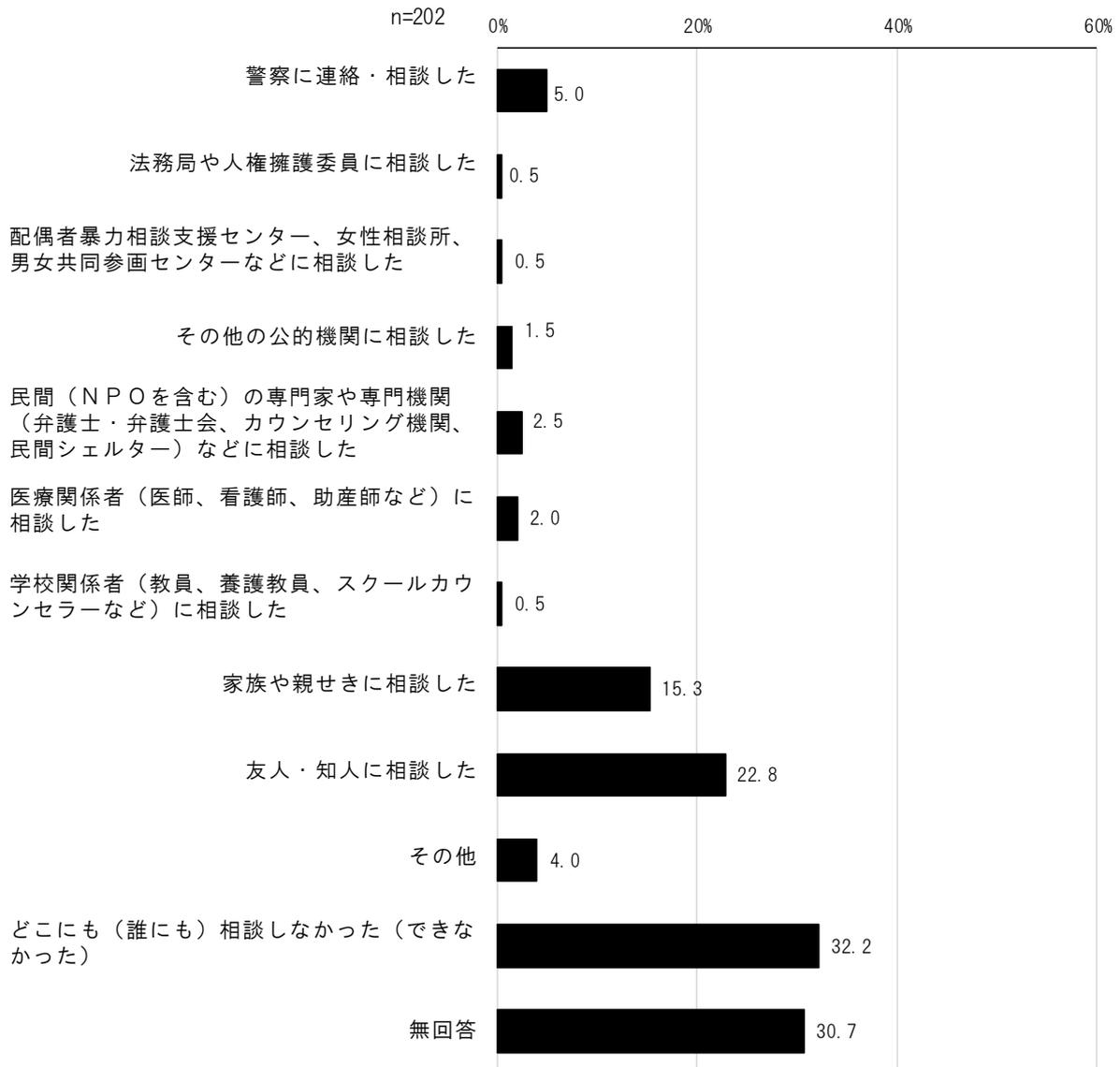
特に、「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた」（15.1%）や「人格を否定するような暴言を受けた」（14.9%）で割合が高くなっている。



問25 あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

被害にあった際の対応をみると、「どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）」（32.2%）で最も高くなっている。

相談先としては、「友人・知人に相談した」（22.8%）で最も高く、「家族や親せきに相談した」（15.3%）、「警察に連絡・相談した」（5.0%）と続く。



第2章 調査結果（市民意識調査）

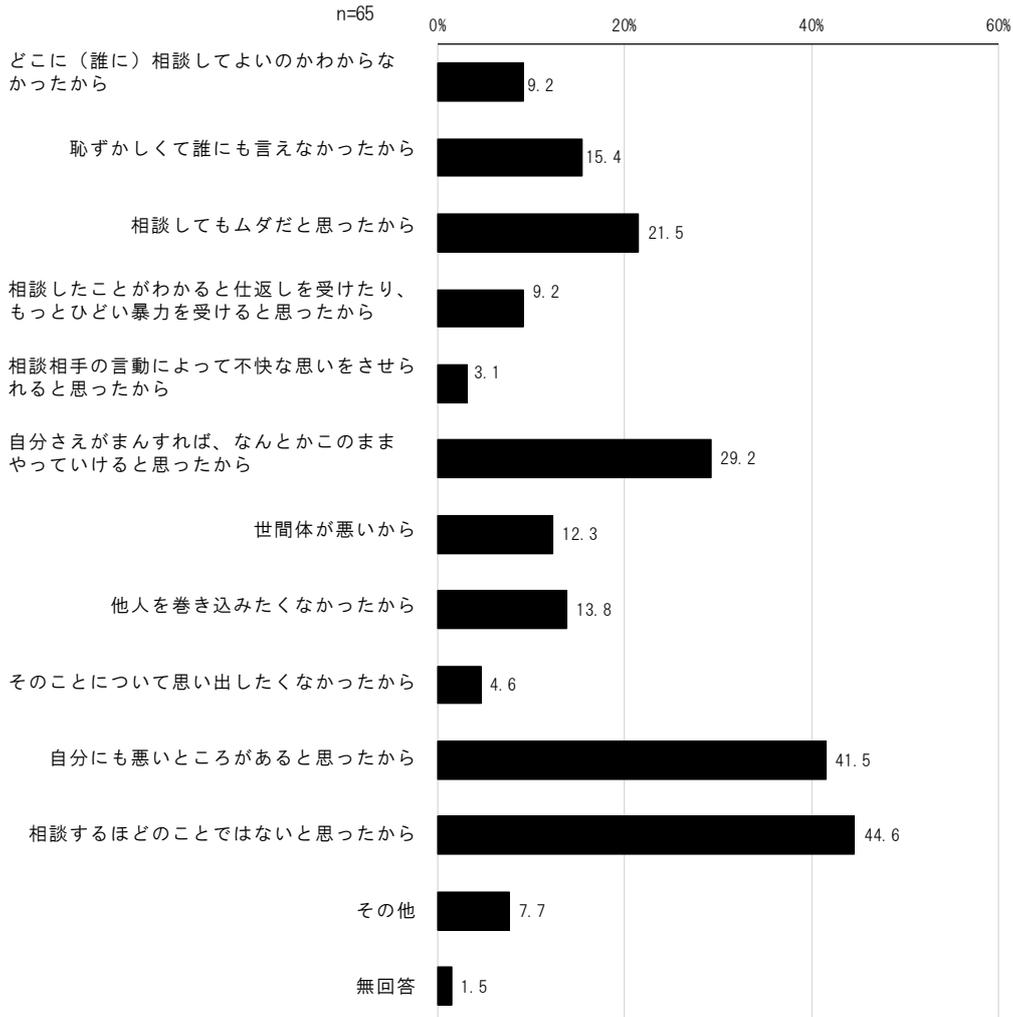
（上段：実数、下段：割合）

		全 体	警察に連絡・相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	配偶者暴力相談支援センター、女性相談所、男女共同参画センターなどに相談した	その他の公的機関に相談した	民間（NPOを含む）の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセリング機関、民間シェルター）などに相談した	医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した	学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した	家族や親せきに相談した
全 体		202 100.0	10 5.0	1 0.5	1 0.5	3 1.5	5 2.5	4 2.0	1 0.5	31 15.3
性別	男性	71 100.0	1 1.4	-	-	1 1.4	-	1 1.4	-	7 9.9
	女性	131 100.0	9 6.9	1 0.8	1 0.8	2 1.5	5 3.8	3 2.3	1 0.8	24 18.3
年齢	20歳代	16 100.0	-	-	-	-	-	1 6.3	-	1 6.3
	30歳代	24 100.0	2 8.3	-	-	-	1 4.2	1 4.2	-	6 25.0
	40歳代	44 100.0	2 4.5	-	1 2.3	1 2.3	2 4.5	1 2.3	1 2.3	6 13.6
	50歳代	42 100.0	1 2.4	1 2.4	-	1 2.4	1 2.4	-	-	4 9.5
	60歳代	74 100.0	5 6.8	-	-	1 1.4	1 1.4	1 1.4	-	14 18.9
	全 体	202 100.0	46 22.8	8 4.0	65 32.2	62 30.7				
性別	男性	71 100.0	10 14.1	2 2.8	23 32.4	30 42.3				
	女性	131 100.0	36 27.5	6 4.6	42 32.1	32 24.4				
年齢	20歳代	16 100.0	1 6.3	1 6.3	6 37.5	8 50.0				
	30歳代	24 100.0	7 29.2	-	10 41.7	2 8.3				
	40歳代	44 100.0	14 31.8	1 2.3	15 34.1	10 22.7				
	50歳代	42 100.0	9 21.4	2 4.8	15 35.7	12 28.6				
	60歳代	74 100.0	15 20.3	3 4.1	19 25.7	29 39.2				

問25-1 どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。
あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

相談しなかった理由について、「相談するほどのことではないと思ったから」（44.6%）、「自分にも悪いところがあると思ったから」（41.5%）で4割と他の項目よりも高くなっている。

男女別にみると、「自分にも悪いところがあると思ったから」では、男性（60.9%）が女性（31.0%）よりも3割程高くなっている。



第2章 調査結果（市民意識調査）

（上段：実数、下段：割合）

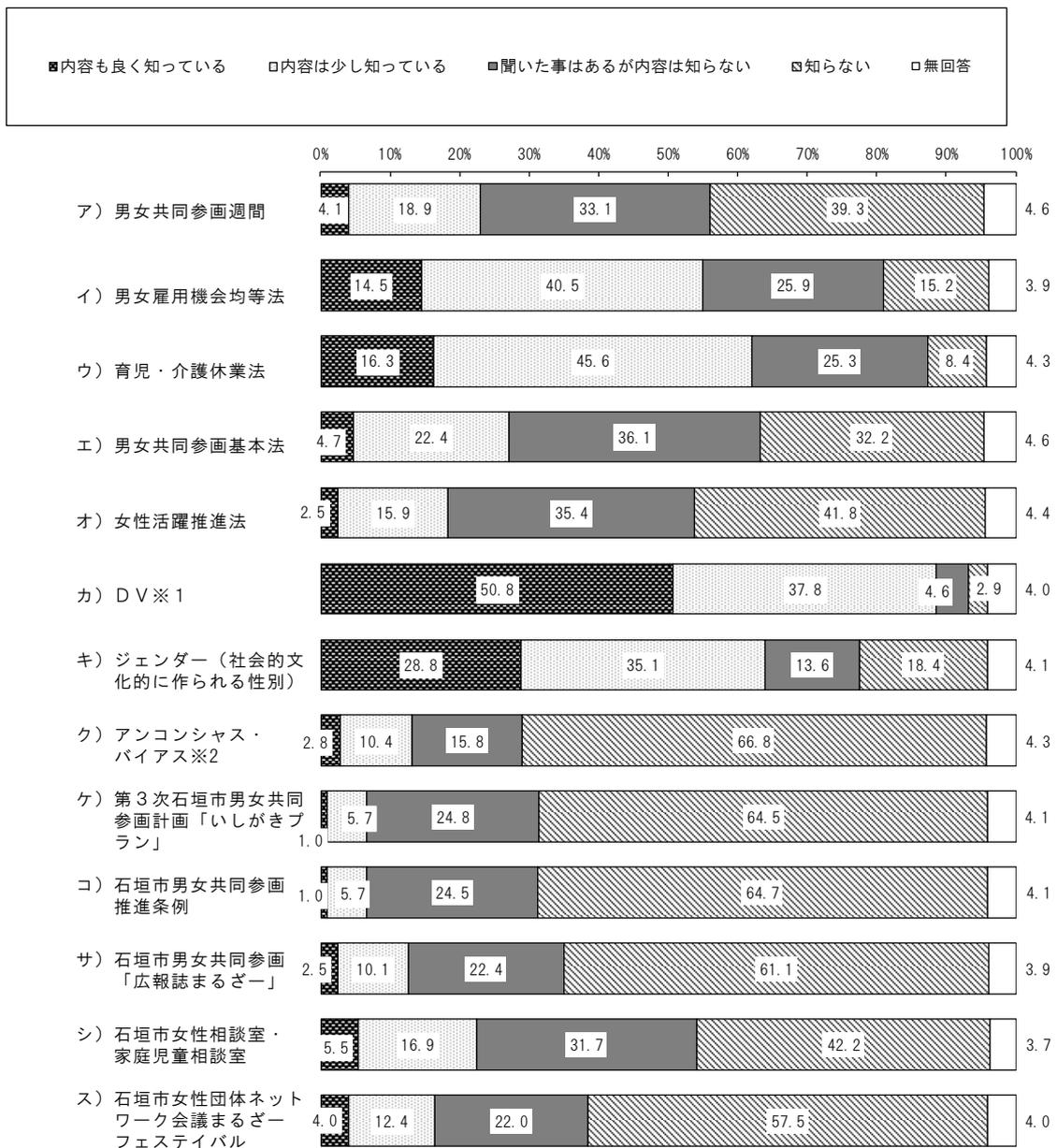
		全 体	どこに（誰に）相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談してもムダだと思ったから	相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていたらと思ったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから
全 体		65 100.0	6 9.2	10 15.4	14 21.5	6 9.2	2 3.1	19 29.2	8 12.3	9 13.8
性別	男性	23 100.0	-	3 13.0	6 26.1	-	-	5 21.7	2 8.7	2 8.7
	女性	42 100.0	6 14.3	7 16.7	8 19.0	6 14.3	2 4.8	14 33.3	6 14.3	7 16.7
年齢	20歳代	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7
	30歳代	10 100.0	-	-	2 20.0	-	-	3 30.0	2 20.0	-
	40歳代	15 100.0	1 6.7	4 26.7	4 26.7	-	1 6.7	6 40.0	2 13.3	4 26.7
	50歳代	15 100.0	2 13.3	1 6.7	4 26.7	4 26.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7	1 6.7
	60歳代	19 100.0	2 10.5	4 21.1	3 15.8	1 5.3	-	6 31.6	2 10.5	3 15.8
			全 体	そのことについて思い出さなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答		
全 体		65 100.0	3 4.6	27 41.5	29 44.6	5 7.7	1 1.5			
性別	男性	23 100.0	1 4.3	14 60.9	12 52.2	1 4.3	1 4.3			
	女性	42 100.0	2 4.8	13 31.0	17 40.5	4 9.5	-			
年齢	20歳代	6 100.0	-	4 66.7	4 66.7	-	-			
	30歳代	10 100.0	-	5 50.0	5 50.0	1 10.0	-			
	40歳代	15 100.0	1 6.7	5 33.3	5 33.3	1 6.7	-			
	50歳代	15 100.0	1 6.7	5 33.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7			
	60歳代	19 100.0	1 5.3	8 42.1	10 52.6	2 10.5	-			

7. 男女共同参画行政について

問26 あなたは次にあげる言葉を知っていますか。次のア～スの言葉について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

男女共同参画に関連する言葉について、「内容も良く知っている」と「内容は少し知っている」を合わせた知っている割合は、『カ) DV』で(88.6%)で8割を越えて最も高く、『キ) ジェンダー』(63.9%)、『ウ) 育児・介護休業法』(61.9%)と続く。

一方、「知らない」の割合をみると、『ク) アンコンシャス・バイアス』(66.8%)、『ケ) 第3次石垣市男女共同参画計画』(64.5%)、『コ) 石垣市男女共同参画推進条例』(64.7%)、『サ) 石垣市男女共同参画「広報誌まるざー」』(61.1%)で6割を越える。



※1（配偶者、交際相手等に対する身体的、精神的、性的な暴力）

※2（無意識の偏見）

問27 男女共同参画社会の実現を目指して、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを次の中から選んでください。（〇は3つまで）

市が力を入れていくべきこととして、「育児・介護の支援充実や就労環境の整備など、仕事と家庭・地域生活の両立を支援する」（43.2%）や「職場における男女格差是正、労働時間短縮、育児・介護休業制度の普及促進を図る」（40.8%）で4割と、他の項目よりも高くなっている。



第2章 調査結果（市民意識調査）

（上段：実数、下段：割合）

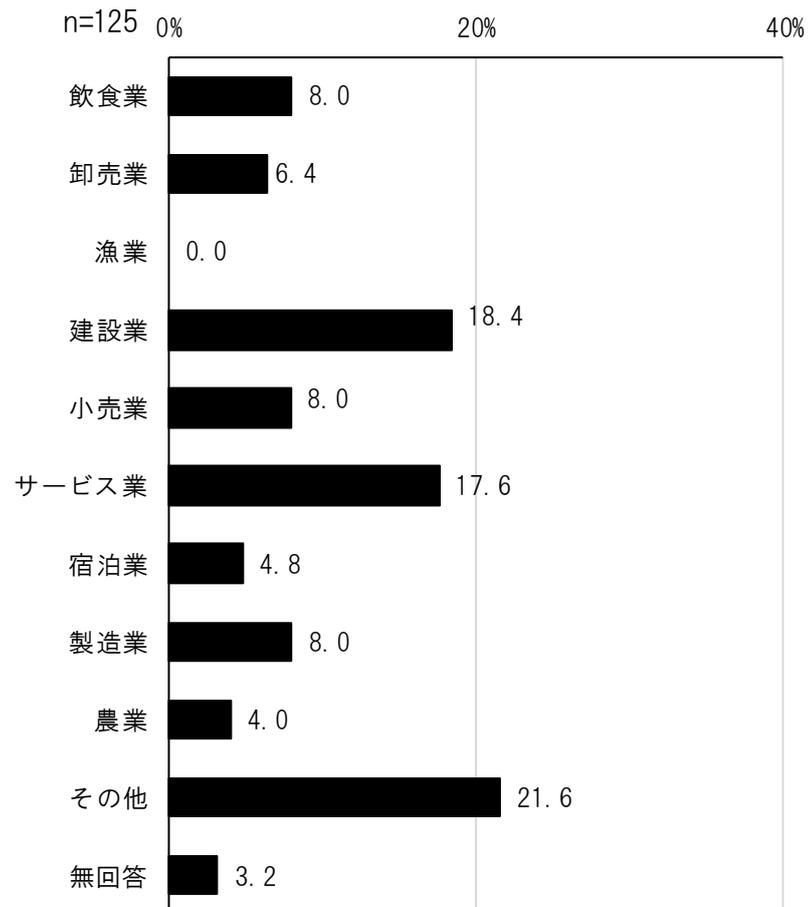
		全体	学校現場における男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	生涯学習の場における男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	広報誌やパンフレットで男女の平等と相互の理解や協力についての啓発を充実する	男性に対する意識啓発を充実する	女性に対する意識啓発を充実する	女性の就業支援のため、就業情報の提供や職業訓練を充実する	職場における男女格差是正、労働時間短縮、育児・介護休業制度の普及促進を図る	育児・介護の支援充実や就労環境の整備など、仕事と家庭・地域生活の両立を支援する
全体		723 100.0	246 34.0	140 19.4	84 11.6	126 17.4	64 8.9	131 18.1	295 40.8	312 43.2
性別	男性	274 100.0	97 35.4	61 22.3	40 14.6	47 17.2	31 11.3	39 14.2	106 38.7	97 35.4
	女性	449 100.0	149 33.2	79 17.6	44 9.8	79 17.6	33 7.3	92 20.5	189 42.1	215 47.9
年齢	20歳代	96 100.0	25 26.0	19 19.8	9 9.4	12 12.5	7 7.3	18 18.8	53 55.2	46 47.9
	30歳代	119 100.0	35 29.4	21 17.6	6 5.0	24 20.2	14 11.8	29 24.4	47 39.5	58 48.7
	40歳代	154 100.0	71 46.1	33 21.4	21 13.6	34 22.1	10 6.5	24 15.6	54 35.1	65 42.2
	50歳代	154 100.0	55 35.7	24 15.6	21 13.6	27 17.5	17 11.0	27 17.5	64 41.6	71 46.1
	60歳代	198 100.0	58 29.3	42 21.2	27 13.6	29 14.6	16 8.1	32 16.2	77 38.9	72 36.4
		全体	配偶者等に対する暴力（セクハラ・DVなど）の根絶と被害者に対する支援を充実する	女性の社会参画を促進するための研修などを充実する	相談窓口を充実する	市の審議会など、政策・方針を決定する場への積極的な女性の登用を図る	防災や感染症対策などにおいて、男女共同参画を推進する	その他	無回答	
全体		723 100.0	132 18.3	46 6.4	108 14.9	111 15.4	30 4.1	13 1.8	46 6.4	
性別	男性	274 100.0	53 19.3	17 6.2	44 16.1	37 13.5	16 5.8	9 3.3	19 6.9	
	女性	449 100.0	79 17.6	29 6.5	64 14.3	74 16.5	14 3.1	4 0.9	27 6.0	
年齢	20歳代	96 100.0	21 21.9	5 5.2	14 14.6	12 12.5	4 4.2	2 2.1	3 3.1	
	30歳代	119 100.0	17 14.3	5 4.2	16 13.4	20 16.8	1 0.8	3 2.5	6 5.0	
	40歳代	154 100.0	41 26.6	5 3.2	18 11.7	20 13.0	5 3.2	3 1.9	7 4.5	
	50歳代	154 100.0	23 14.9	11 7.1	26 16.9	27 17.5	8 5.2	4 2.6	5 3.2	
	60歳代	198 100.0	29 14.6	20 10.1	34 17.2	31 15.7	12 6.1	1 0.5	25 12.6	

第3章 調査結果（事業所意識調査）

1. 回答者の属性

問1 貴事業所の主な業種はなんですか。（○は1つ）

事業所の業種について、「その他」（21.6%）で最も高く、「建設業」（18.4%）、「サービス業」（17.6%）と続く。

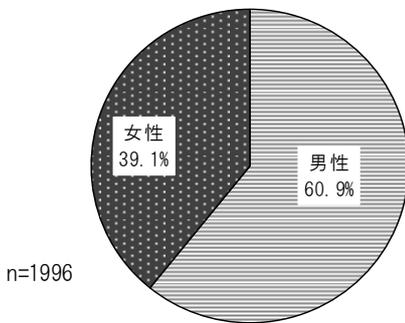


問2 貴事業所の雇用状況と管理職数についてご回答ください。
 （いない場合は「0」を記入）

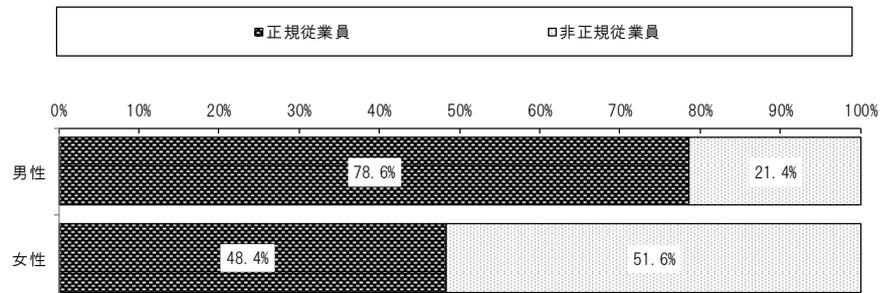
従業員の男女構成比をみると、「男性」（60.9%）が6割、「女性」（39.1%）が4割となっている。正規従業員の割合を比較すると、「男性」（78.6%）で7割強、「女性」（48.4%）で4割強となり、で女性が約3割低い。

女性管理職の在籍状況をみると、女性管理職が「いる」（32.8%）は3割程度にとどまっている。

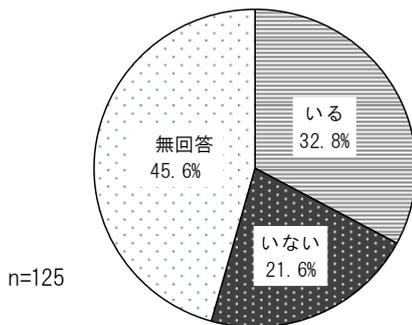
男女別従業員割合



男女別正規従業員と非正規従業員割合



女性管理職の有無

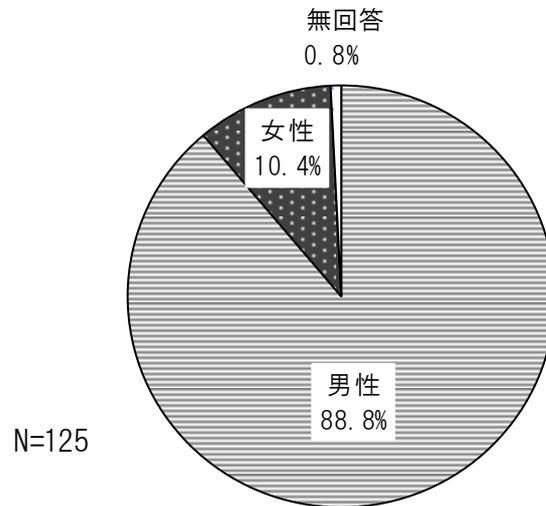


男女別従業員構成割合と管理職の割合

区分	従業員構成		管理職 （配下の従業員を 指揮・監督する立 場にある役職）
	正規従業員	非正規従業員 （パート・アルバイト・嘱託・派遣社員）	
男性 n=1215	955 78.6%	260 21.4%	222 18.3%
女性 n=781	378 48.4%	403 51.6%	69 8.8%
合計 n=1996	1,333 66.8%	663 33.2%	291 14.6%

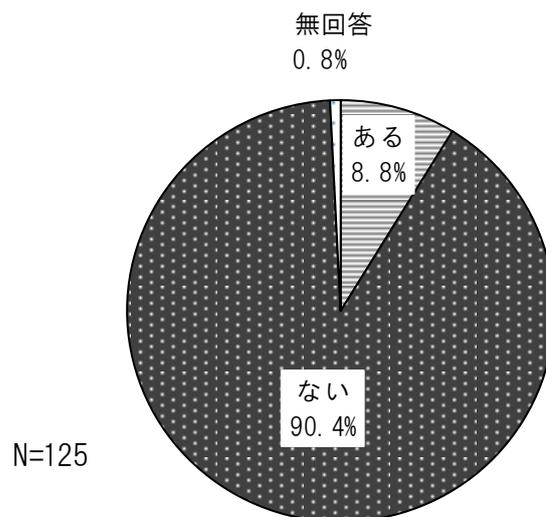
問3 事業主様の性別はどちらですか。（○は1つ）

事業主の性別をみると、「男性」（88.8%）で9割弱、女性（10.4%）で1割となっている。



問4 貴事業所には、労働組合がありますか。（○は1つ）

労働組合についてみると、「ない」（90.4%）が9割、「ある」（8.8%）となっている。

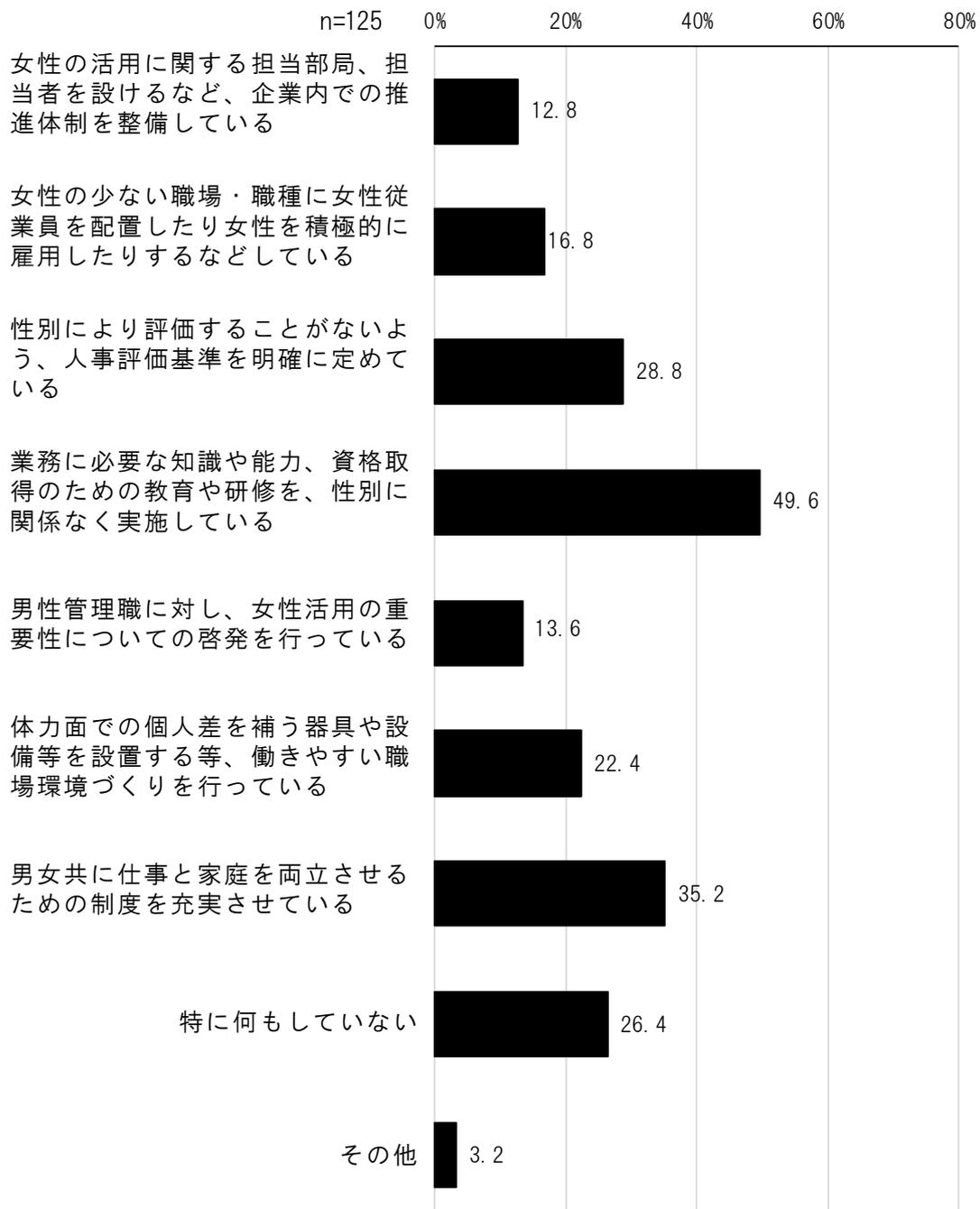


2. 事業所の男女参画への取り組みについて

問5 貴事業所では、職場において、女性も男性も平等に働ける環境づくりに向けてどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

男女平等に働ける環境づくりについて、「業務に必要な知識や能力、資格取得のための教育や研修を、性別に関係なく実施している」（49.6%）で割合が最も高く、「男女共に仕事と家庭を両立させるための制度を充実させている」（35.2%）と続く。

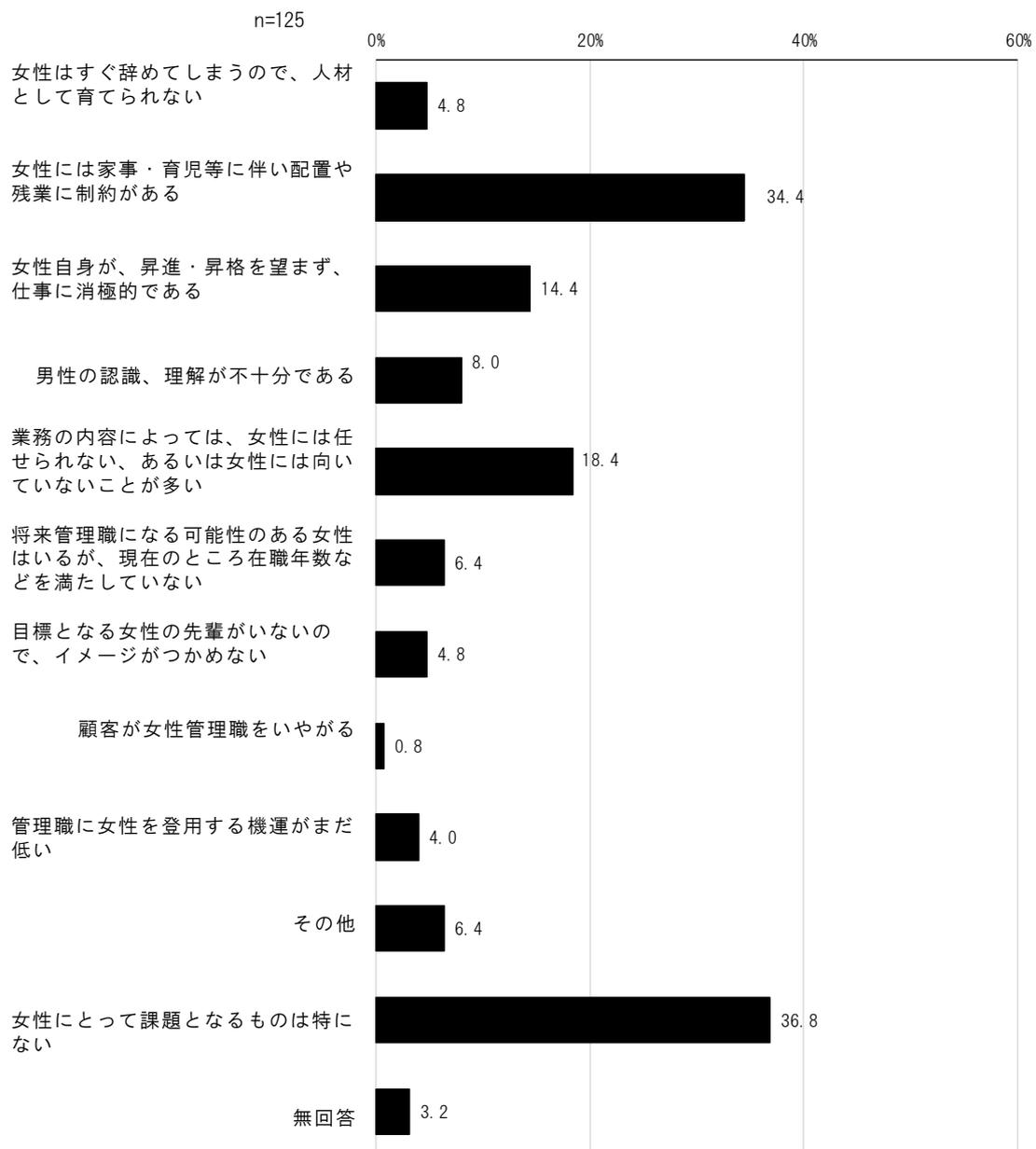
一方、「特になにもない」（26.4%）については2割強となっている。



問6 貴事業所では、女性も男性も同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題となっていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

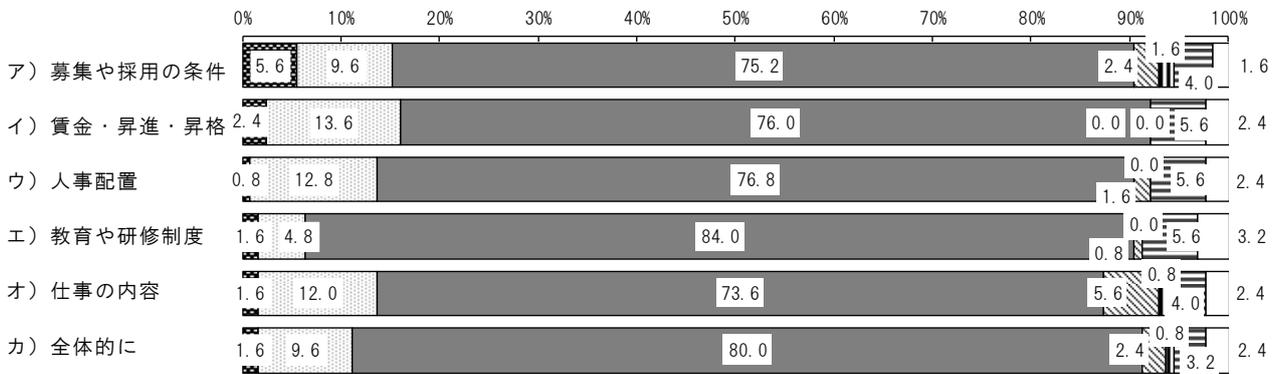
女性にとって課題となっていることについて、「女性にとって課題となるものは特にない」(36.8%)で割合が最も高くなっている。

課題となっている項目としては、「女性には家事・育児等に伴い配置や残業に制約がある」(34.4%)で割合が最も高く、「業務の内容によっては、女性には任せられない、あるいは女性には向いていないことが多い」(18.4%)、「女性自身が、昇進・昇格を望まず、仕事に消極的である」(14.4%)と続く。



問7 貴事業所では、次にあげる面で、性別によって差があると思いますか。ア～カの各面において、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

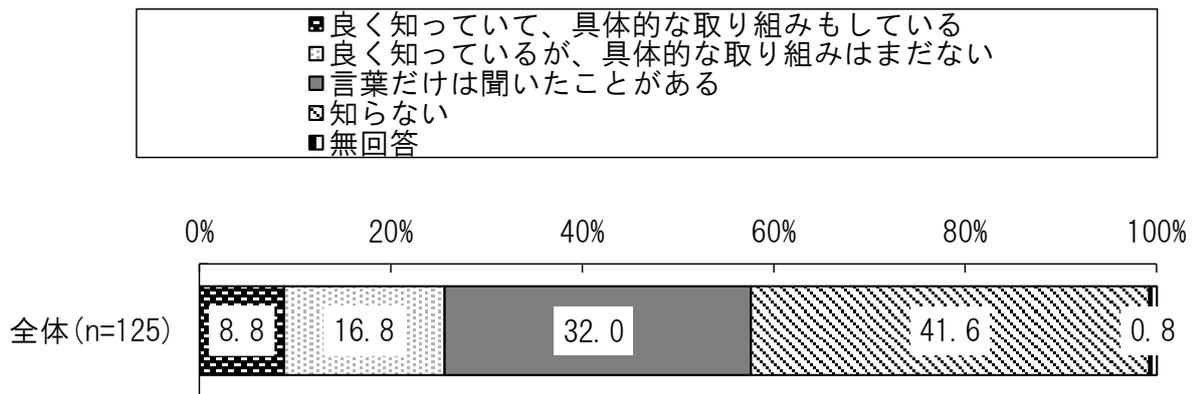
事業所における各場面において、全ての項目で「平等」が7割を越えて最も高くなっている。「男性の方が優遇されている」と「どちらかと言えば男性が優遇されている」を合わせた割合をみると、『ア）賃金・昇進・昇格』（16.0%）で他の場面よりもわずかに高い。



3. 仕事のことについて

問8 「ポジティブ・アクション」を知っていますか。（○は1つ）

ポジティブアクションの認知について、「知らない」（41.6%）で割合が最も高くなっている。「良く知っている、具体的な取り組みもしている」（8.8%）と「良く知っているが、具体的な取り組みはまだない」（16.8%）を合わせると2割強にとどまる。



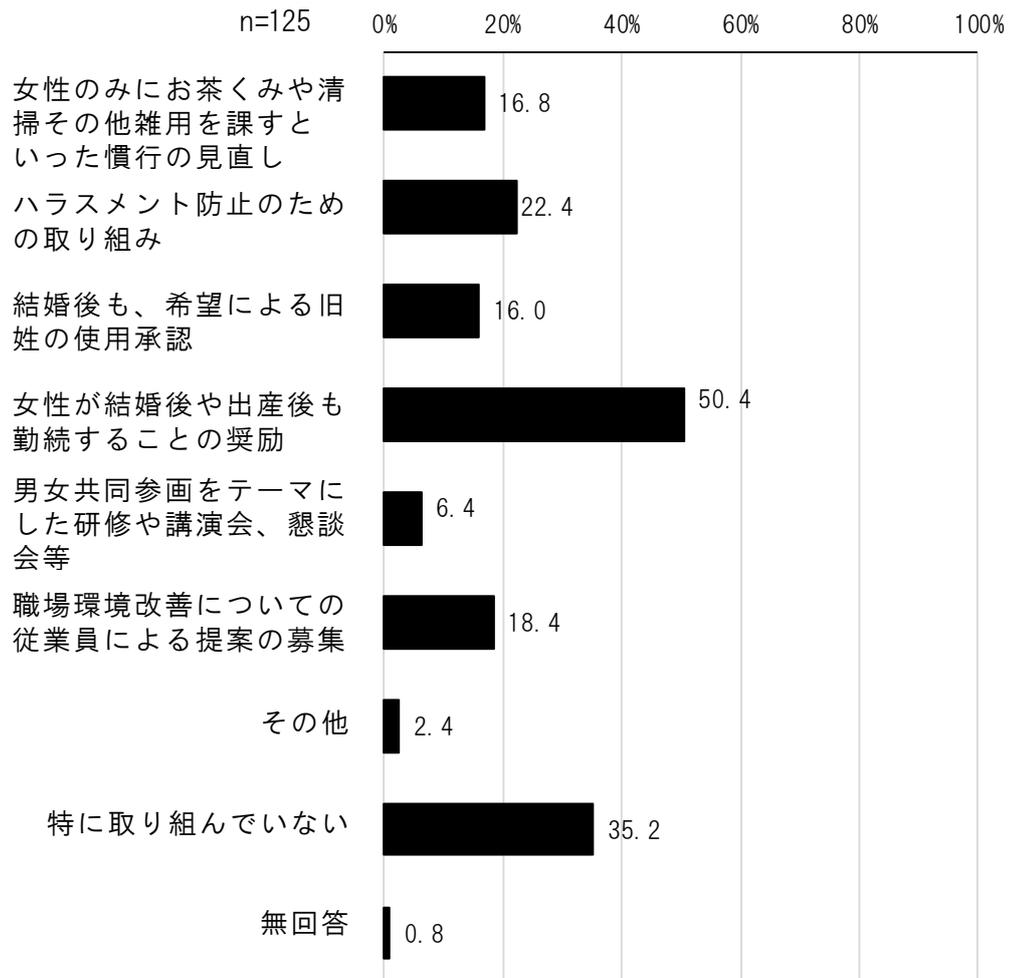
【ポジティブ・アクションとは】

これまでの慣行や性別による役割分担意識などから、男女の労働者の間に格差が生じている場合（例えば、営業職に女性がほとんどいない、課長以上の管理職は男性が大半であるなど）、このような格差を解消するために個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組みをいいます。

問9 貴事業所では、男女がともに働きやすいような職場環境づくりのために、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

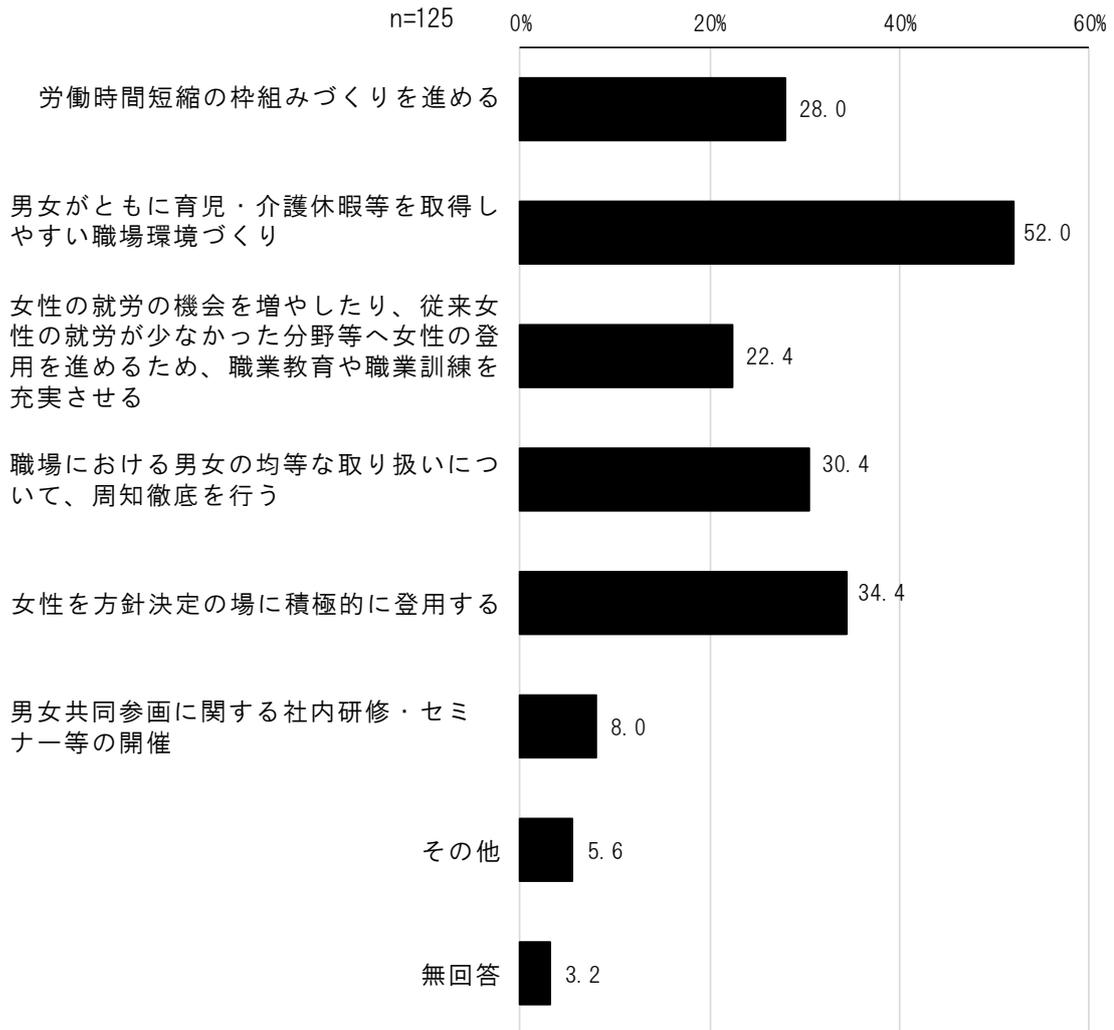
男女がともに働きやすい職場環境づくりのためにしている取り組みについて、「女性が結婚後や出産後も勤務することの奨励」（50.4%）で割合が最も高く、「ハラスメント防止のための取り組み」（22.4%）、「職場環境改善についての従業員による提案の募集」（18.4%）と続く。

一方で、「特に取り組んでいない」（35.2%）では3割が何も取り組みを行っていない。



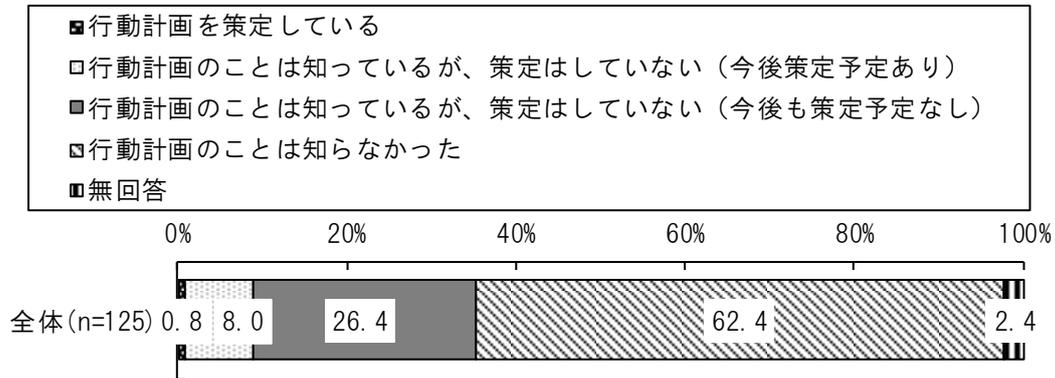
問10 男女共同参画社会を形成していくために、今後、貴事業所としてどのように取り組んでいくべきだと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

男女共同参画を形成していくための今後の取り組むべきことについて、「男女がともに育児・介護休暇等を取得しやすい職場環境づくり」（52.0%）で5割を越えて最も高く、「女性を方針決定の場に積極的に登用する」（34.4%）、「職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底を行う」（30.4%）と続く。



問11 貴事業所では、女性活躍推進法等に基づく「一般事業主行動計画」を策定していますか。（○は1つ）

女性活躍推進法等に基づく「一般事業主行動計画」の策定状況について、「行動計画のことは知らなかった」（62.4%）で6割と最も高くなっている。「行動計画を策定している」（0.8%）や「今後策定予定あり」（8.0%）についてはわずかである。



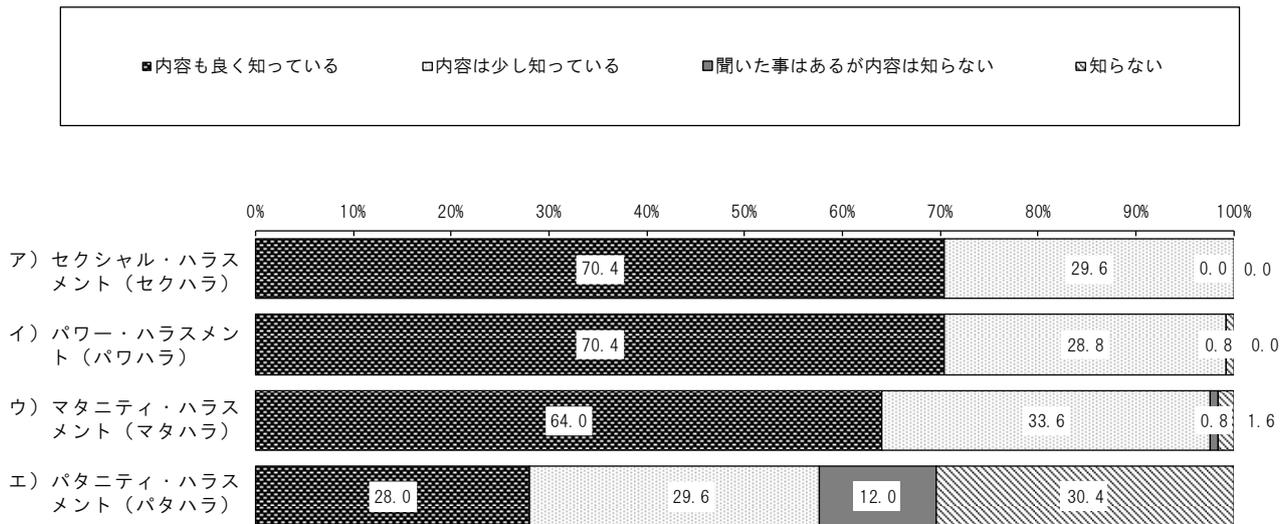
【女性活躍推進法 一般事業主行動計画】

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）により、常時雇用する労働者の数が301人以上の事業主は、女性労働者の活躍推進に関する取組として「一般事業主行動計画」を策定し、公表することが義務づけられています。（労働者300人以下の事業主は努力義務）令和4（2022）年4月からは、一般事業主行動計画の策定・公表の義務が、常時雇用する労働者の数が「101人以上」の事業主まで拡大されます。

4. ハラスメントについて

問12 あなたは以下のハラスメントを知っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

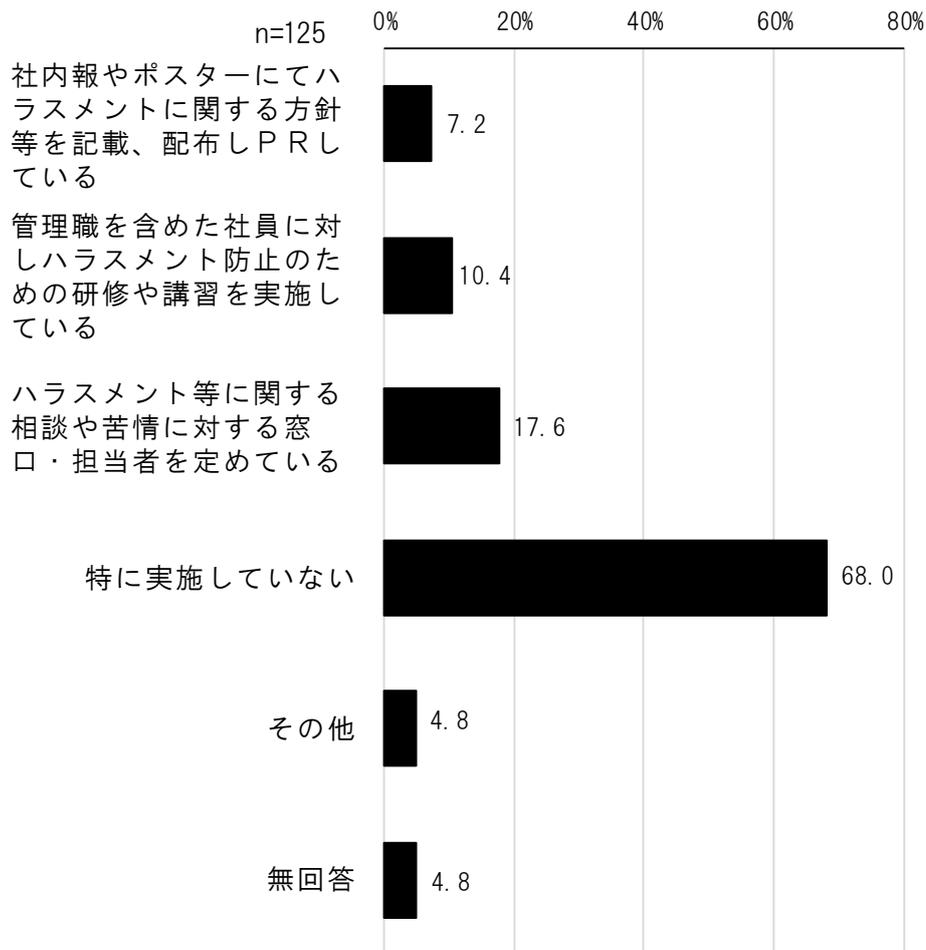
各項目のハラスメントの認知について、「内容も良く知っている」と「内容は少し知っている」を合わせた割合は、『エ）パタハラ』を除く全ての項目で9割を越えており、認知は高くなっている。一方で、『エ）パタハラ』については、「知らない」（30.4%）が3割となっている。



問13 貴事業所では、ハラスメントの防止に向け取り組んでいることはありますか。
（あてはまるものをすべてに○）

ハラスメントの防止に向けた取り組みについて、「特に実施していない」（68.0%）が6割で最も高くなっている。

実施されている取り組みをみると、「ハラスメント等に関する相談や苦情に対する窓口・担当者を定めている」（17.6%）で、他の項目より割合が高くなっている。



5. 育児・介護休業について

問14 貴事業所では、下記のア～ウまでの各種休業制度の規定がありますか。制度が「ある」場合は、取得できる職員の範囲（正社員、派遣・契約社員、パート・アルバイト）について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

各種休業制度について、「ある」の割合はいずれの項目においても、正社員で高く、『ア）産前・産後休業制度』、『イ）育児休業制度』で5割を超える。

『ウ）介護休業制度』では「ない」（33.6%）が3割強となっている。

（上段：実数、下段：割合）

	全体	ある			ない	検討中	無回答
		正社員	派遣・契約社員	パート・アルバイト			
ア）産前・産後休業制度	125	71	26	30	29	16	7
	100.0	56.8	20.8	24.0	23.2	12.8	5.6
イ）育児休業制度	125	64	24	26	32	17	9
	100.0	51.2	19.2	20.8	25.6	13.6	7.2
ウ）介護休業制度	125	52	20	20	42	20	10
	100.0	41.6	16.0	16.0	33.6	16.0	8.0

問15 産前・産後休業、育児休業、介護休業の取得状況について、雇用形態別（正規雇用・非正規雇用）及び男女別にお答えください。（いない場合は「0」人と記入して下さい）

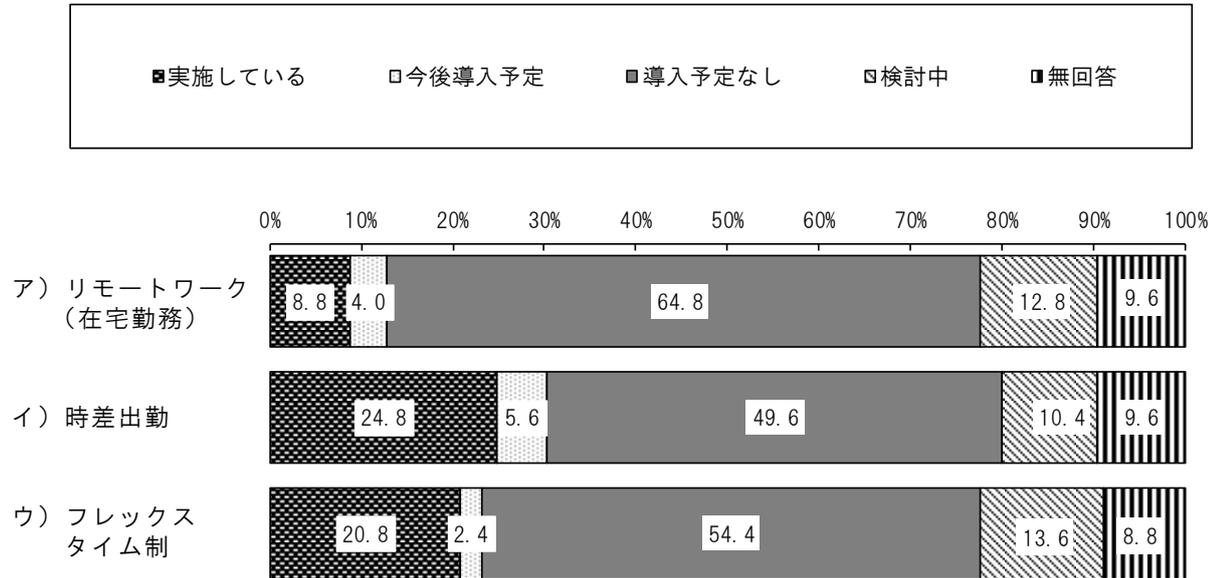
各休業制度の取得率について、出産した女性従業員のうちすべての正規従業員が「産前・産後休業」、「育児休業」を取得している。

男性の「育児休業」取得者は、「正規」（86.7%）で割合が高くなっている。

出産に関すること					
昨年度（令和元年度）中に 出産した女性従業員	計 26人	正規 13人 50.0%	昨年度（令和元年度）中に 配偶者が出産した男性従業員	計 35人	正規 32人 91.4%
		非正規 13人 50.0%			非正規 3人 8.6%
		うち、産前・産後休業を 取得した女性従業員			計 21人
うち、育児休業を取得し た女性従業員	計 24人	非正規 9人 42.9%	非正規 1人 14.3%		
介護に関すること					
介護休業を取得した女性従業員	計 2人	正規 2人 100.0%	介護休業を取得した男性従業員	計 1人	正規 1人 100.0%
		非正規 0人 0.0%			非正規 0人 0.0%

問16 次の多様な働き方の実施状況と今後の導入意向について、次のア～ウについて、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

多様な働き方の取り組み状況について、全ての項目で「導入予定なし」の割合が最も高くなっている。「実施している」取り組みについては、『イ）時差出勤』の項目で2割を超える。

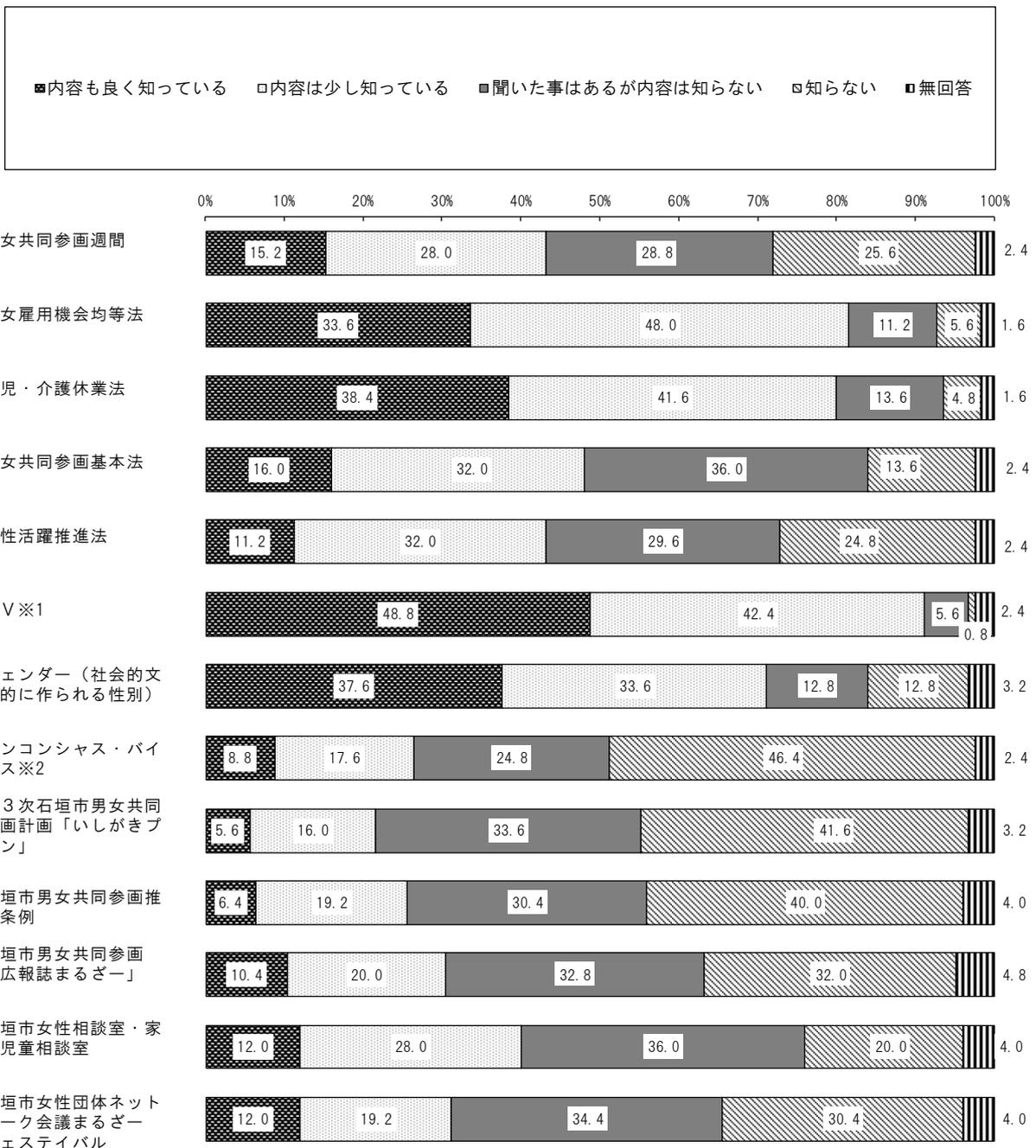


6. 男女共同参画行政について

問17 あなたは次にあげる言葉を知っていますか。次のア～スの言葉について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

男女共同参画に関連する言葉の認知について、「内容も良く知っている」と「内容は少し知っている」を合わせた割合では、『カ) DV』(91.2%)で9割を越えて最も高く、『イ) 男女雇用機会均等法』(81.6%)、「『ウ) 育児・介護休業法』(80.0%)と続く。

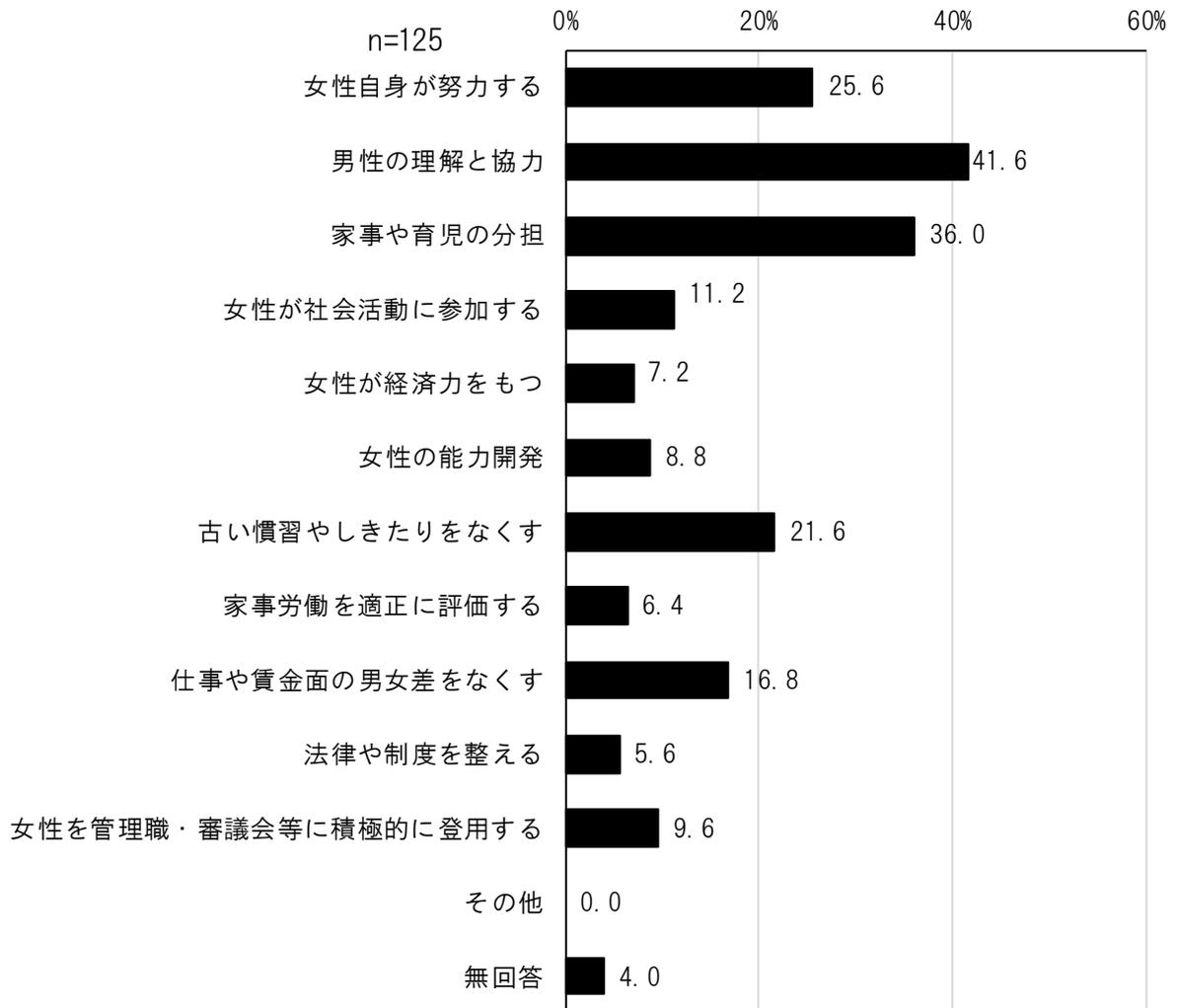
「知らない」では、『ク) アンコンシャス・バイアス』(46.4%)で最も高く、『ケ) 第3次石垣市男女共同参画計画「いしがきプラン」』(41.6%)、『コ) 石垣市男女共同参画推進条例』(40.0%)で4割を越える。



※1（配偶者、交際相手等に対する身体的、精神的、性的な暴力）
 ※2（無意識の偏見）

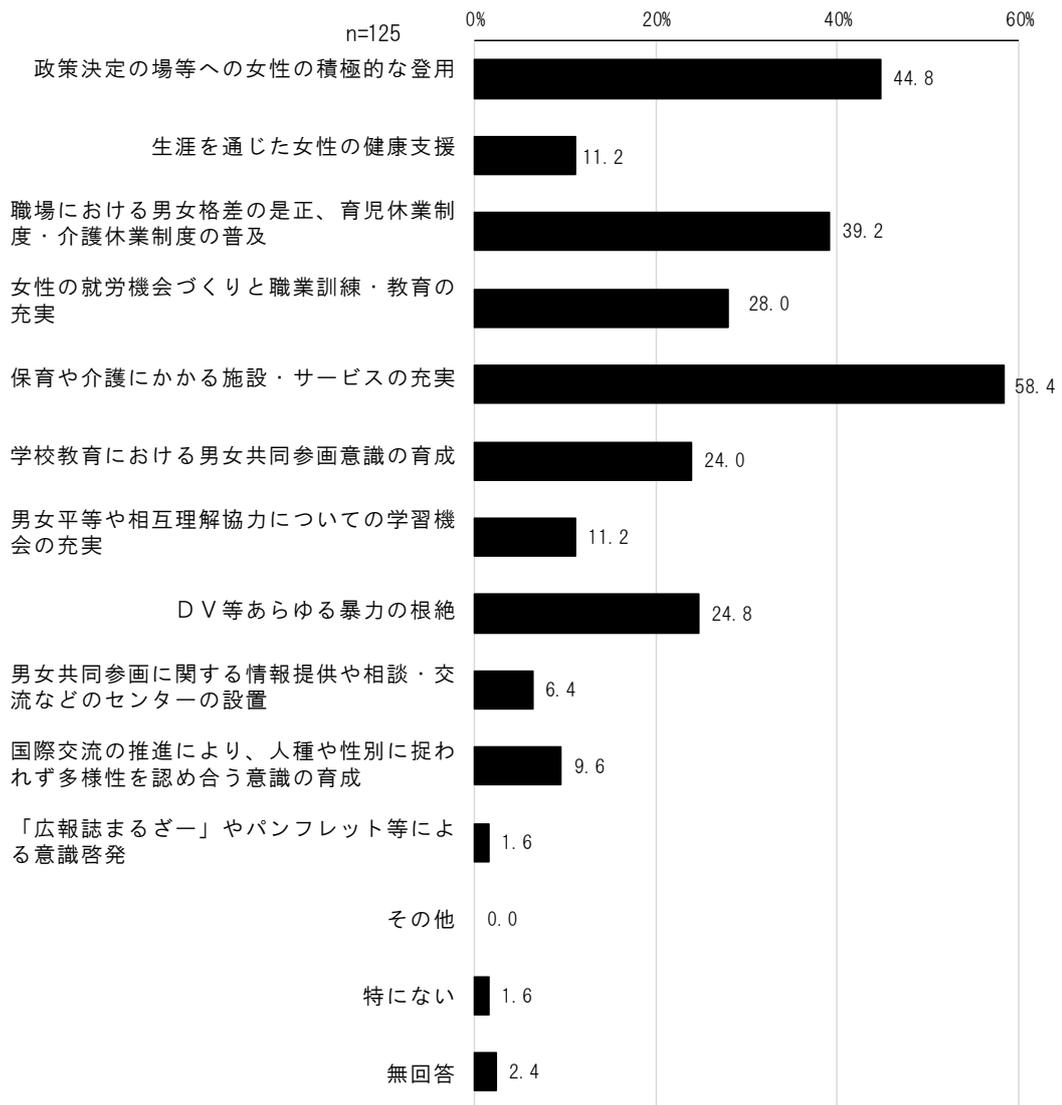
問18 女性の社会進出は進みつつありますが、今後さらに、女性が社会進出するために、特に重要だと思うものを次の中から選んでください。（○は2つまで）

今後さらに女性が社会進出するために、特に重要だと思うことについて、「男性の理解と協力」（41.6%）の割合が最も高く、「家事や育児の分担」（36.0%）、「女性自身が努力する」（25.6%）と続く。



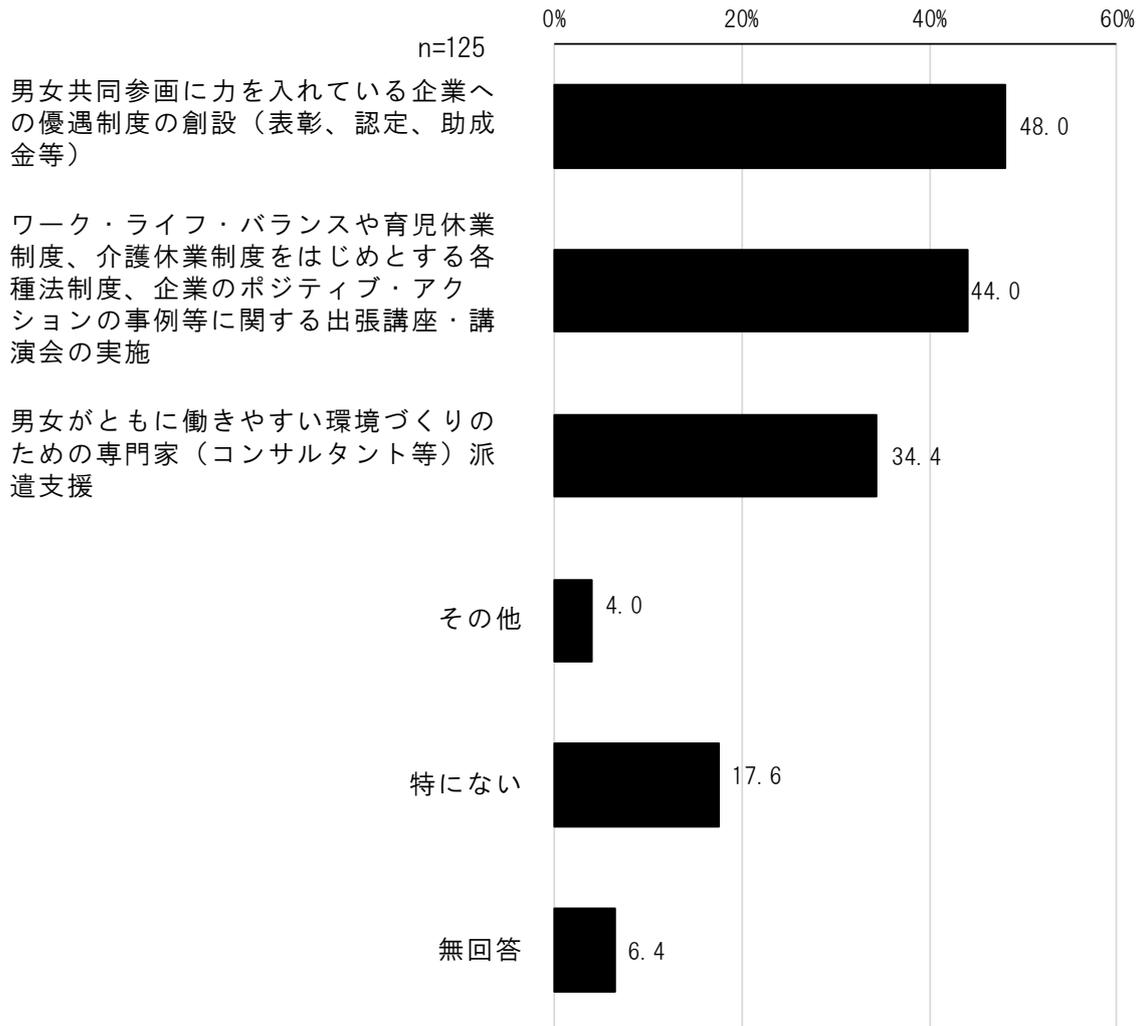
問19 男女共同参画社会の実現を目指して、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを次の中から選んでください。（○は3つまで）

男女共同参画社会の実現のために、今後、市が力をいれていくべきことについて、「保育や介護にかかる施設・サービスの充実」(58.4%)で最も割合が高く、「政策決定の場等への女性の積極的な登用」(44.8%)、「職場における男女格差の是正、育児休業制度・介護休業制度の普及」(39.2%)と続く。



問20 男女共同参画社会の実現を目指して取り組むうえで、今後、どのような後押し（制度等）があれば、貴事業所として取り組みを推進していくことができると思いますか。あてはまるものを次の中から選んでください。（〇は3つまで）

男女共同参画社会実現のための取り組み推進に必要な後押し（制度）について、「男女共同参画に力を入れている企業への優遇制度の創設（表彰、認定、女性金等）」（48.0%）で最も高く、「ワーク・ライフ・バランスや育児休業制度、介護休業制度をはじめとする各種法制度、企業のポジティブ・アクションの事例等に関する出張講座・講演会の実施」（44.4%）と続く。

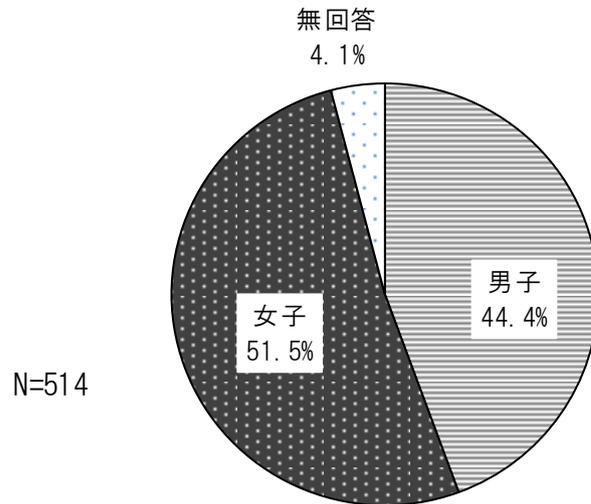


第4章 調査結果（子ども意識調査 小学生）

1. 回答者の属性

問1 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

回答者の性別をみると、男子が44.4%、女性が51.5%となっている。

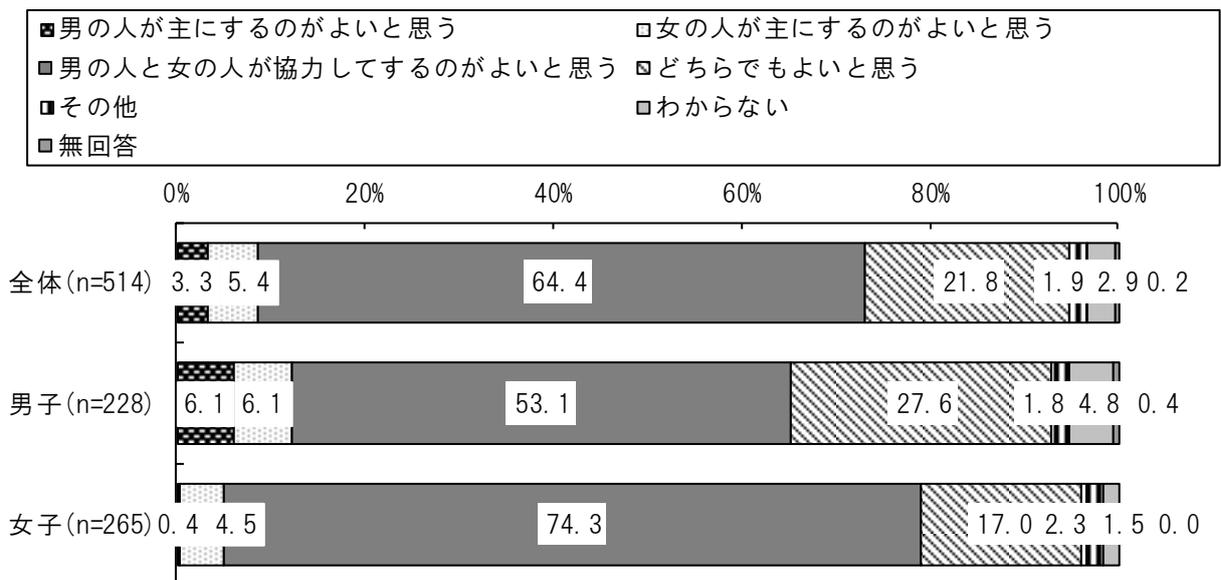


2. 男女の役割などについて

問2 あなたは家で、家事はだれがするのがよいと思いますか。（○は1つ）

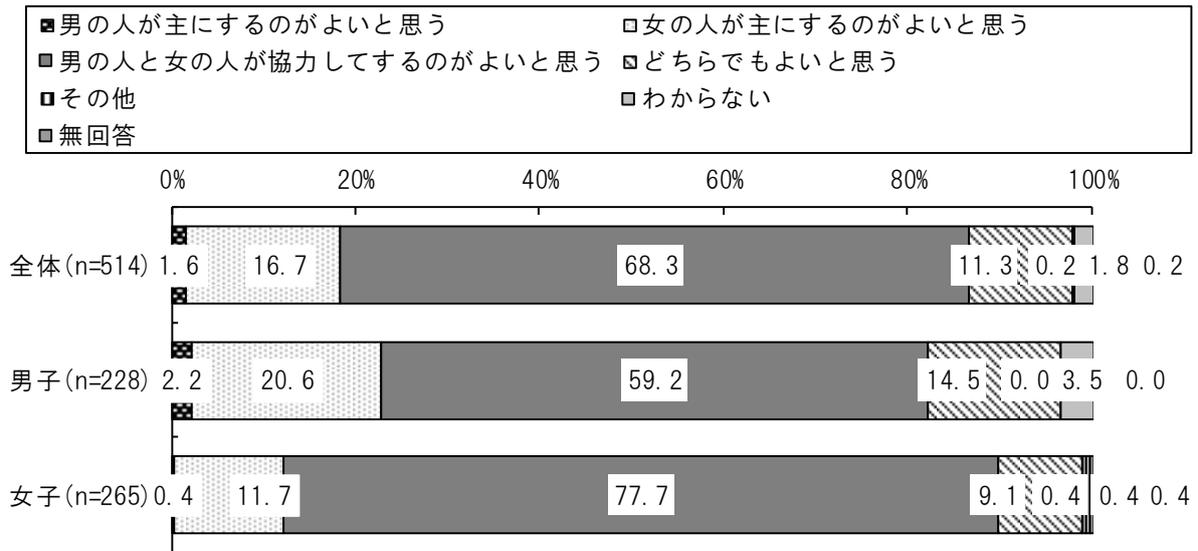
家事はだれがするのがよいと思うかについて、「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」（64.6%）で最も高く、「どちらでもよいと思う」（21.8%）と続く。

男女別にみると、「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」の割合は、女子（74.3%）では7割を越えており、男性（53.1%）を上回っている。



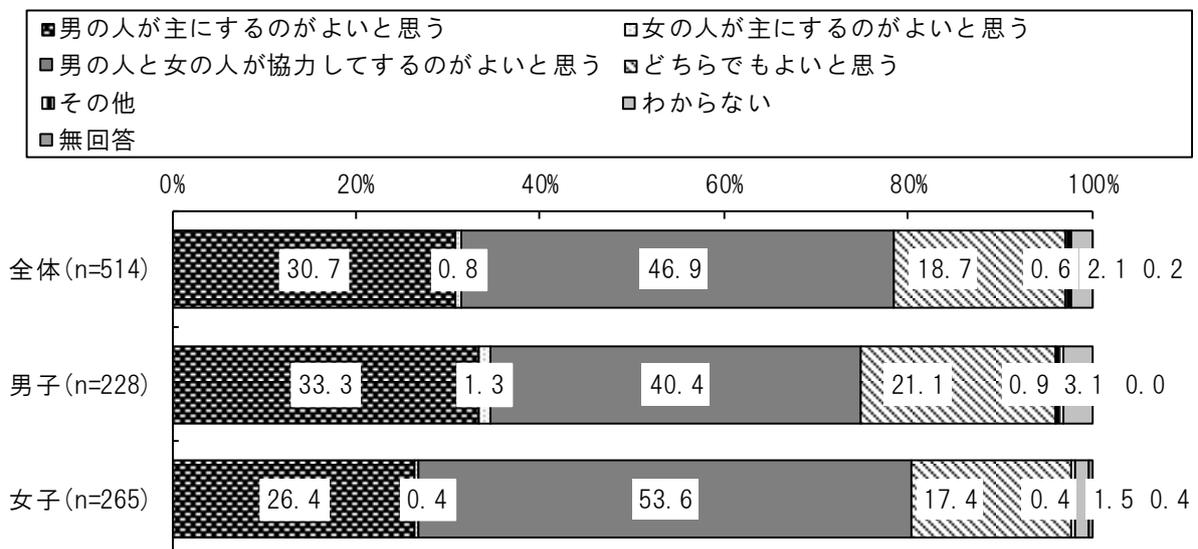
問3 あなたは、子どもが小さいときの子育ては、だれがするのがよいと思いますか。（○は1つ）

子育ては誰がするのがよいと思うかについて、全体では「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」（68.3%）が最も高くなっている。
男女別にみると、「女の人が主にするのがよいと思う」の割合は男子（20.6%）が女子（11.7%）よりも高くなっている。



問4 あなたは、お金を稼ぐ仕事はだれがするのがよいと思いますか。（○は1つ）

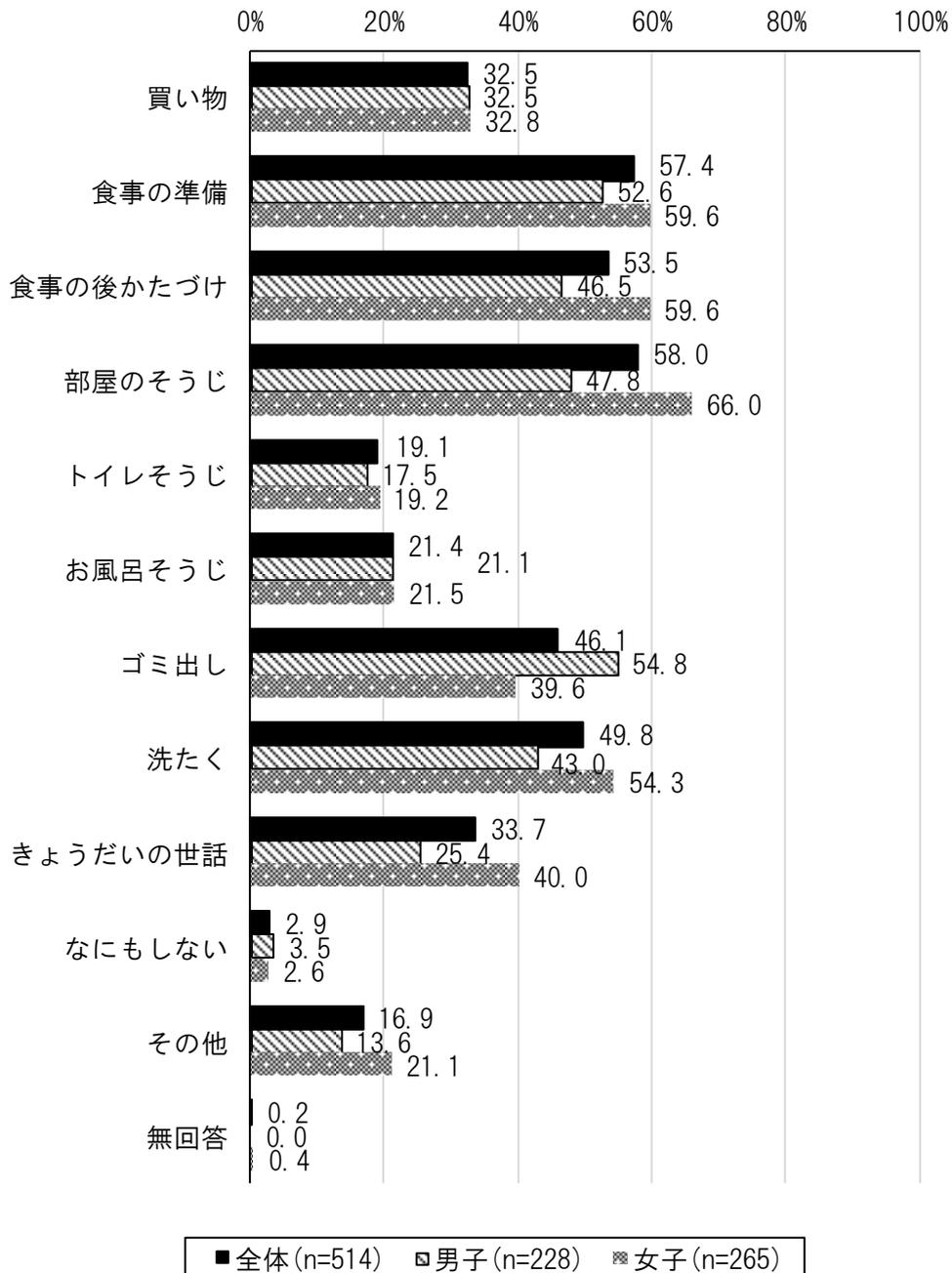
お金を稼ぐのは誰がよいと思うかについて、全体では「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」（46.9%）が最も高く、「男の人が主にするのがよいと思う」（30.7%）と続く。
男女別にみると、「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」の割合は女子（53.6%）が男子（40.4%）よりも高くなっている。



問5 あなたは家で、どのようなお手伝いをしていますか。（〇はいくつでも）

家でのお手伝いについて、全体では「部屋のそうじ」(58.0%)が最も高く、「食事の準備」(57.4%)、「食事の後かたづけ」(53.5%)と続く。

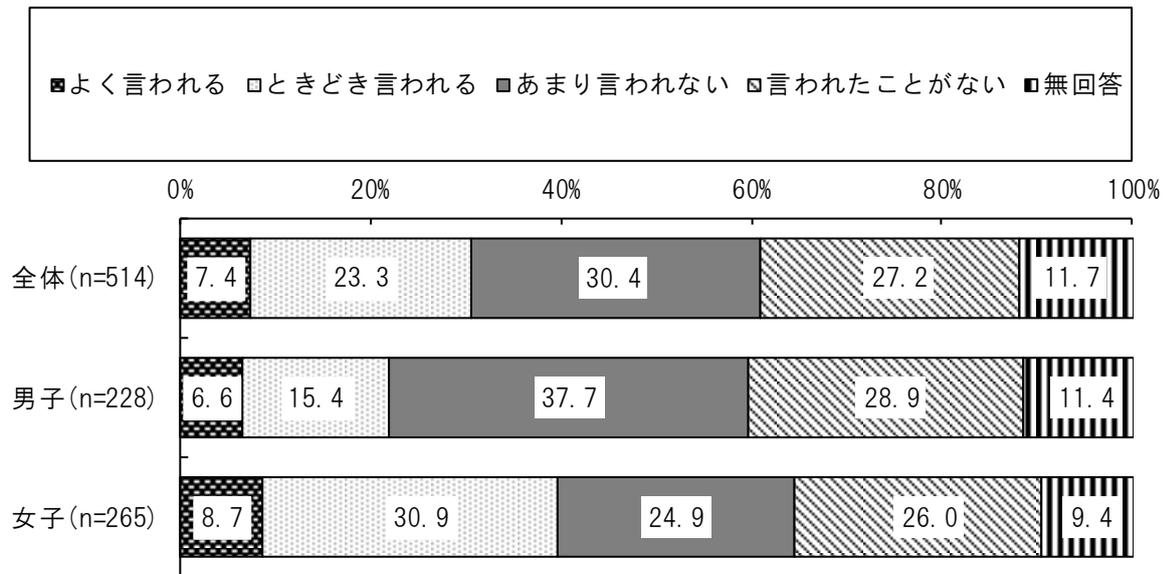
男女別にみると、「ゴミ出し」を除く全ての項目で、女子が男子よりも割合が高くなっている。特に、「部屋のそうじ」、「きょうだいの世話」では2割程の差がある。



問6 あなたは、「男の子だから〇〇しなさい」や「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。（〇は1つ）

男らしさや女らしさを言われた経験について、全体では「あまり言われたい」（30.4%）で最も割合が高く、「言われたことがない」（27.2%）と合わせると5割を超える。

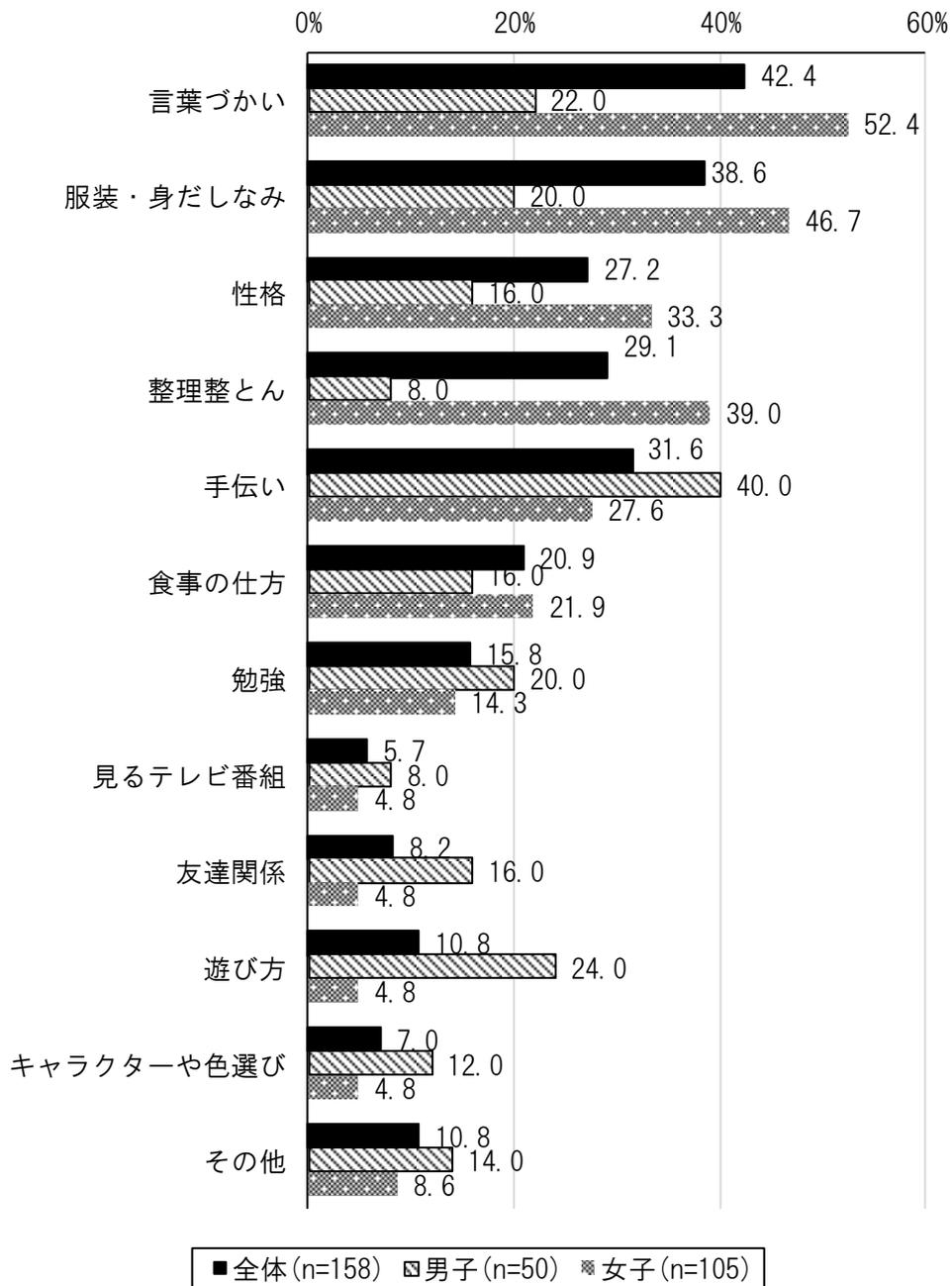
男女別にみると、「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた割合では、男子（22.0%）より女子（39.6%）で高くなっている。



問6-1 問6で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
 どんなことについて言われましたか。（〇は1つ）

言われた内容について、全体では「言葉づかい」(42.4%)で最も高く、「服装・身だしなみ」(38.6%)、「手伝い」(31.6%)と続く。

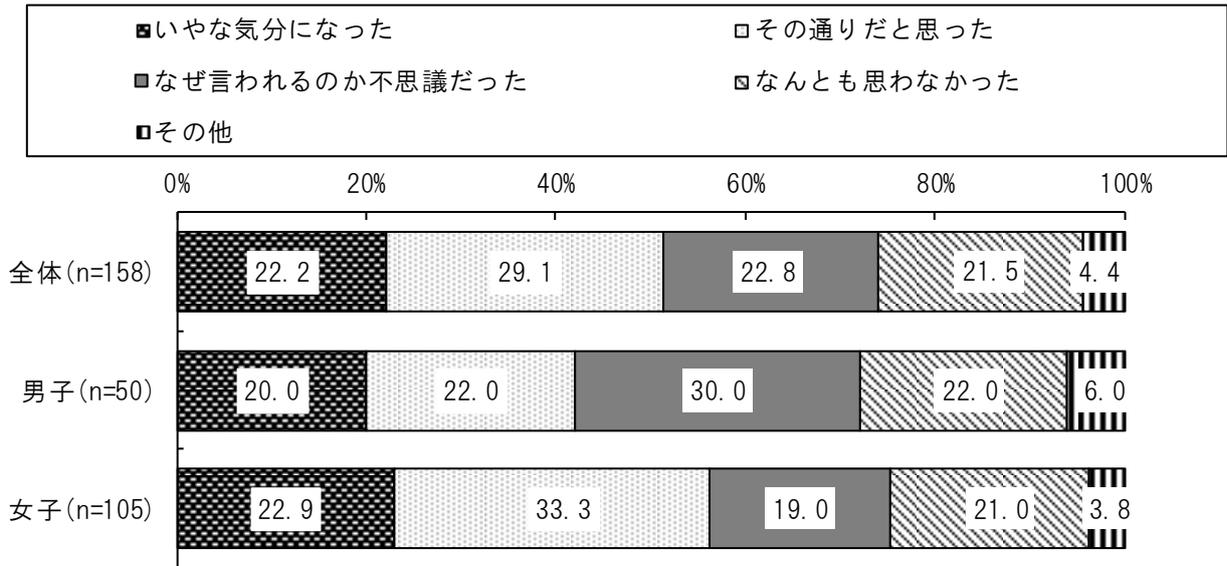
男女別にみると、男子では「手伝い」(40.0%)で、女子では「言葉づかい」(52.4%)で最も割合が高くなっている。



問6-2 問6で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
あなたはその時どんな気持ちになりましたか。（〇は1つ）

男らしさや女らしさを要求されたときにどのような気持ちになったかについて、全体では「その通りだと思った」（29.1%）の割合が最も高くなっている。

男女別にみると、「その通りだと思った」では女子（33.3%）が男子（22.0%）より高くなっているのに対し、「なぜ言われるのか不思議だった」の割合では男子（30.0%）が女子（19.0%）より高い。

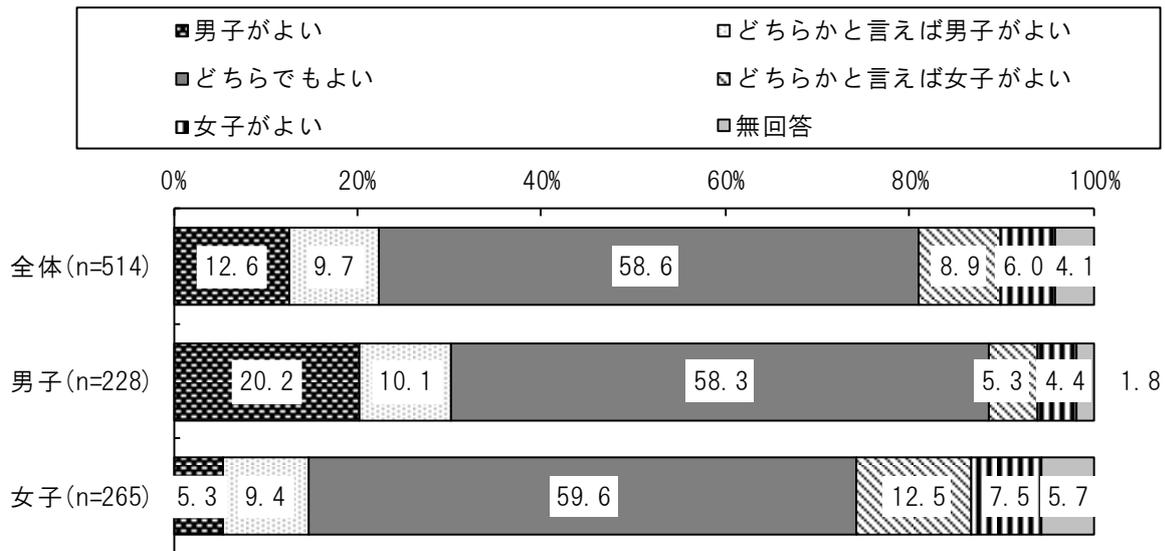


問7 あなたは、次の学校内の代表者は男女どちらがよいと思いますか。ア～エにおいて、あなたの考えに近いものを1～5の中からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。（○は1つ）

ア) 児童会長

児童会長について、全体では「どちらでもよい」(58.6%)の割合が最も高くなっている。

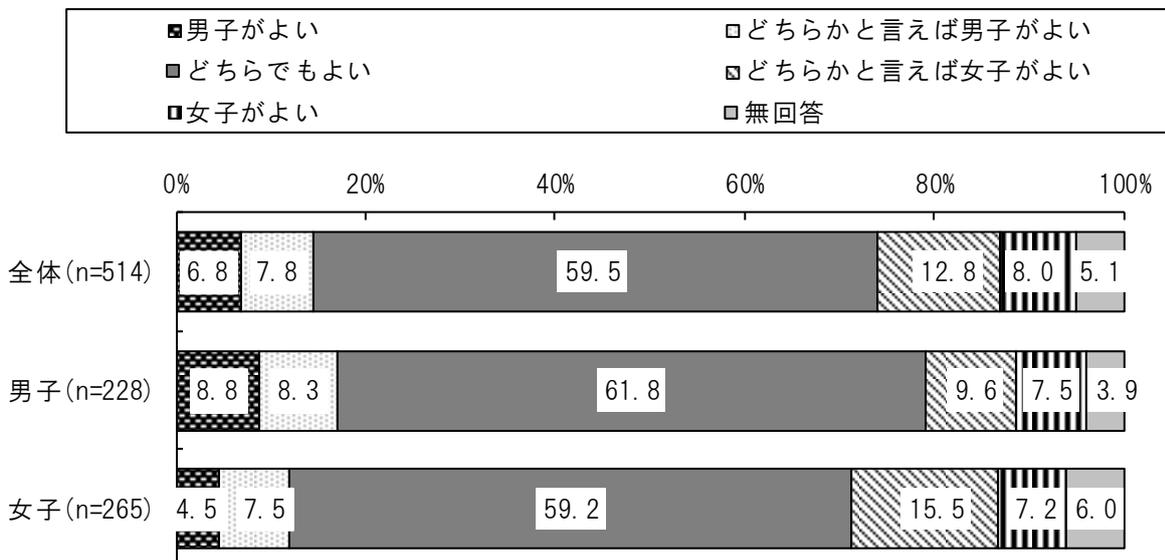
男女別にみると、男子では「男子がよい」と「どちらかと言えば男子がよい」を合わせた割合(30.3%)は3割となり、女子では「どちらかと言えば女子がよい」と「女子がよい」を合わせた割合(20.0%)は2割であり、同性の割合が高くなっている。



イ) 児童会副会長

児童会副会長について、全体では「どちらでもよい」(59.5%)で最も高くなっている。

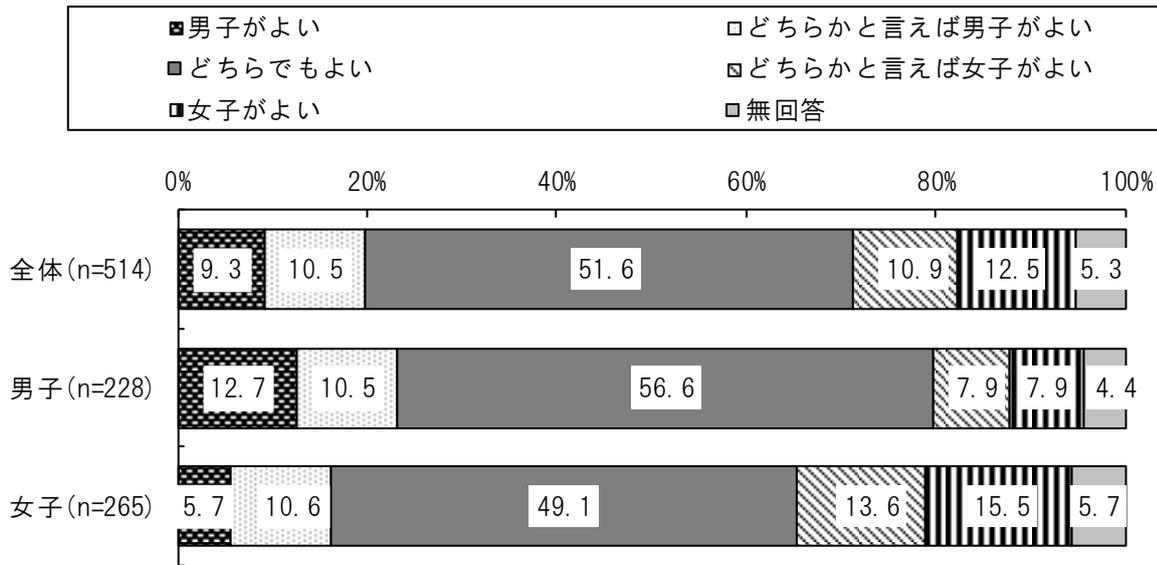
男女別にみると、「どちらかといえば女子がよい」の割合は女子(15.5%)が男子(9.6%)より高い。



ウ) 学級委員長

学級委員長について、全体では「どちらでもよい」(51.6%)の割合が最も高くなっている。男女別にみると、「男子がよい」と「どちらかと言えば男子がよい」を合わせた割合は男子(23.2%)が女子(16.3%)より高い。

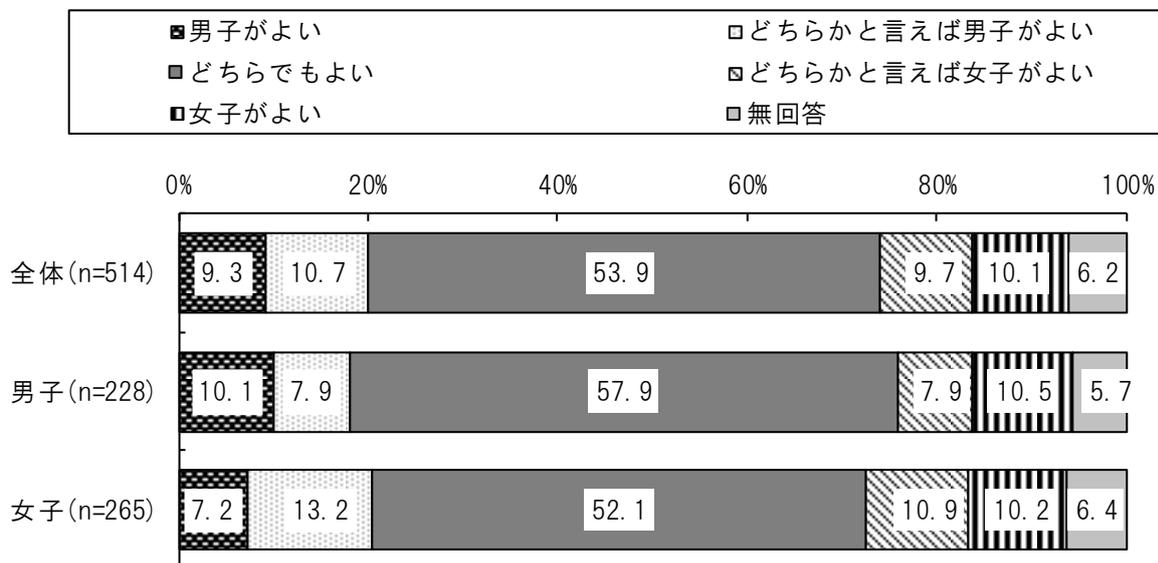
一方「どちらかと言えば女子がよい」と「女子がよい」を合わせた割合(29.1%)は男子(15.8%)が女子(29.1%)より高くなっている。



エ) 学級副委員長

学級副委員長について、全体では「どちらでもよい」(53.9%)の割合が最も高くなっている。

男女別にみると、「どちらかと言えば男子がよい」は女子(13.2%)が男子(7.9%)よりわずかに高くなっている。

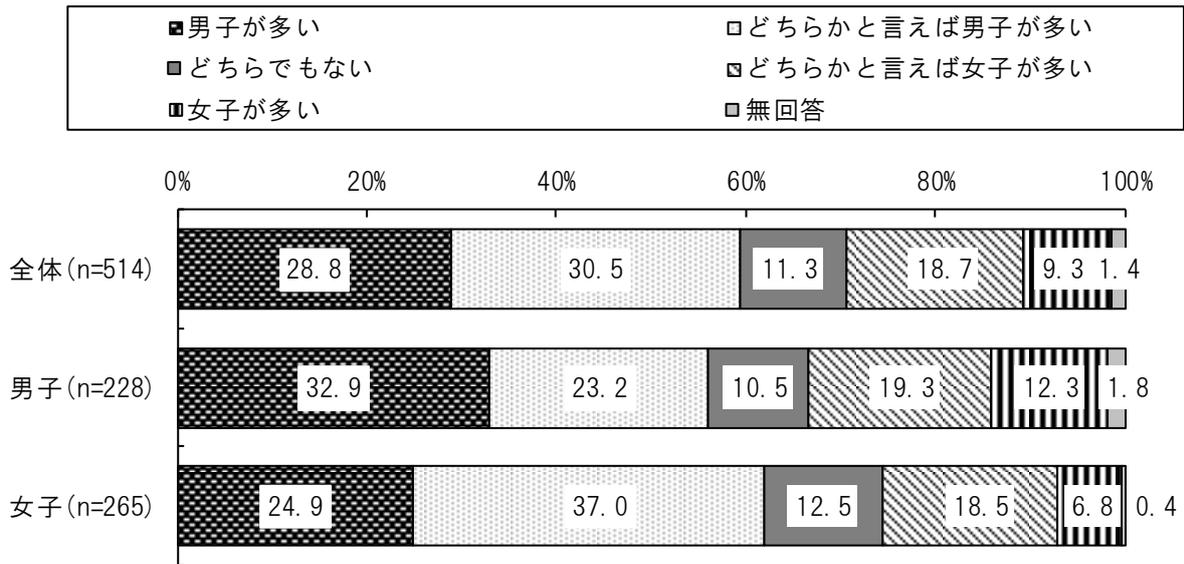


問7 あなたは、次の授業での場面で、積極的に参加している児童は、男女どちらが多いと思いますか。ア～ウにおいて、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。（○は1つ）

ア) 積極的に手を挙げたり、発言したりすること

積極的な発言について、全体では「どちらでもない」(30.5%)が最も高く、「男子が多い」(28.8%)、「どちらかと言えば女子が多い」(18.7%)と続く。

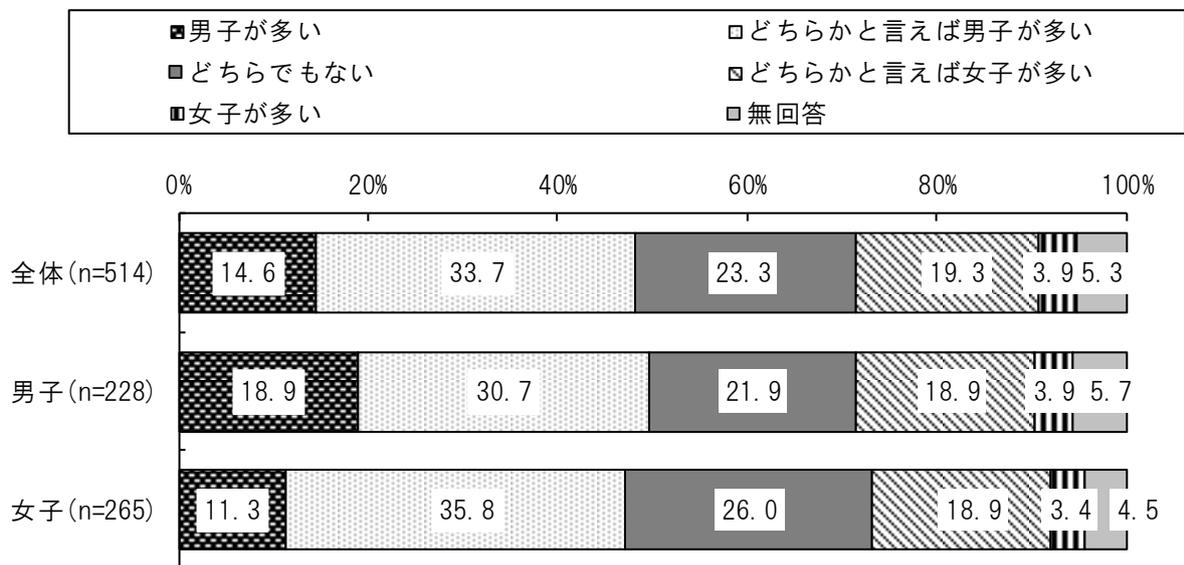
男女別にみると、男子では「男子が多い」(32.9%)が、女子では「どちらでもない」(37.0%)で最も割合が高くなっている。



イ) 理科の実験

理科の実験について、全体では「どちらかと言えば男子が多い」(33.7%)が最も高く、「男子が多い」(14.6%)と合わせると、4割を越える。

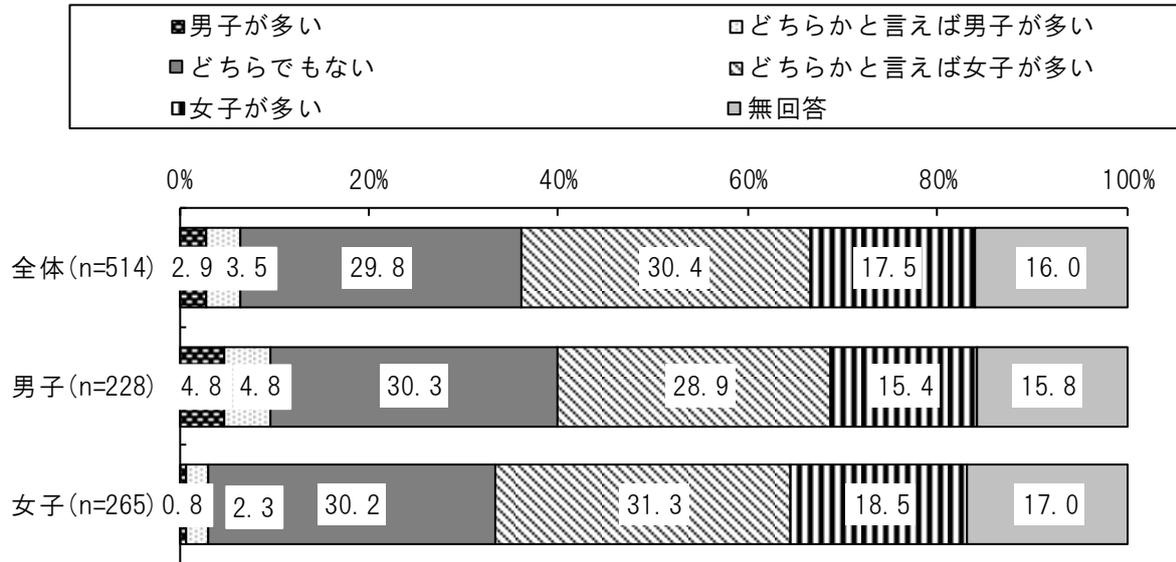
男女別にみると、「男子が多い」の割合は男子(18.9%)が女子(11.3%)より高くなっている。



ウ) 家庭科の調理実習

家庭科の調理実習について、全体では「どちらかと言えば女子が多い」(30.4%)で最も高く、「女子が多い」を合わせると4割を超える。

男女別にみると、「男子が多い」と「どちらかと言えば男子が多い」を合わせた割合は、男子(9.6%)が女子(3.1%)がわずかに高くなっている。



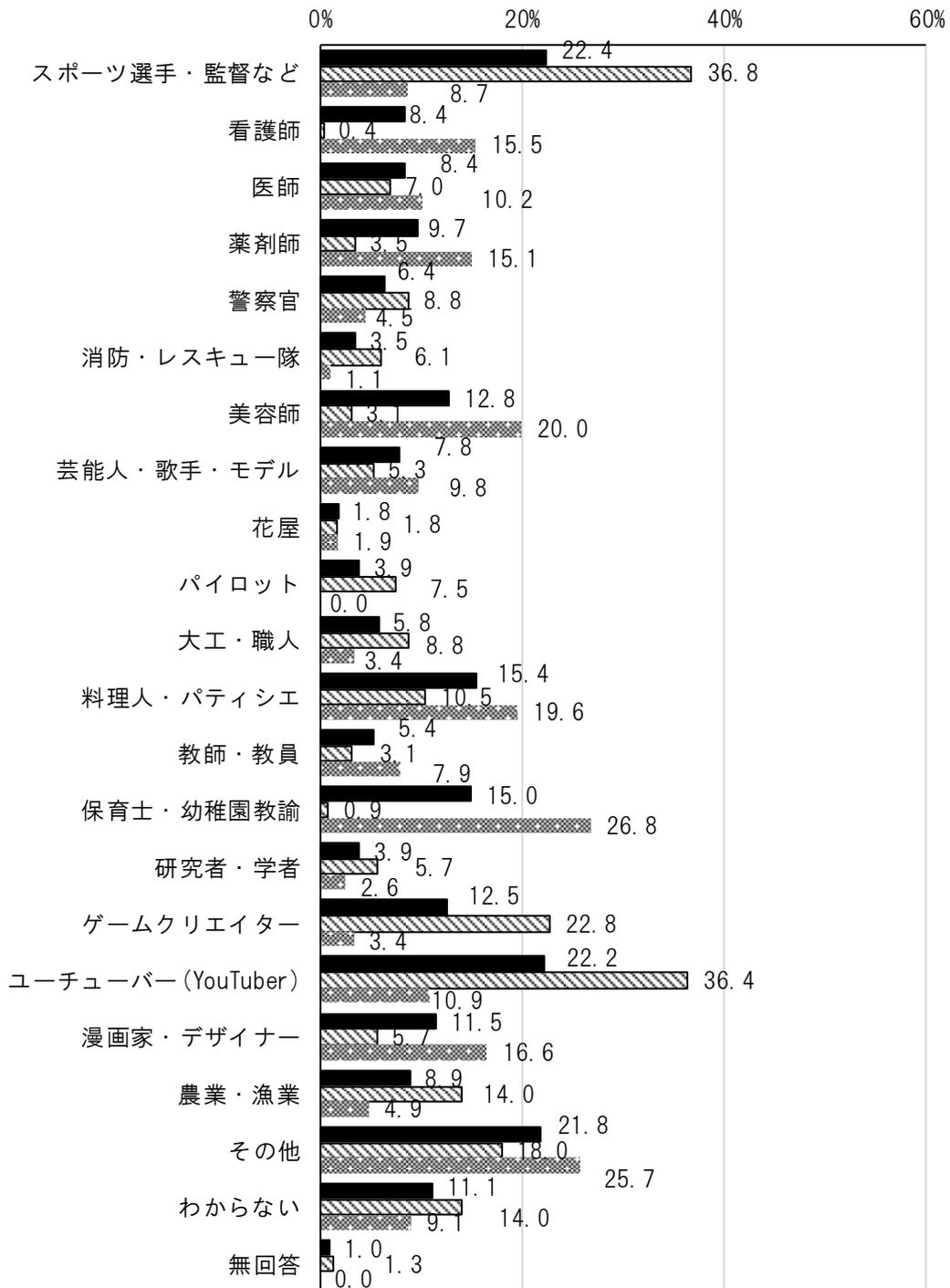
3. 将来について

問9 将来、どのような仕事に就きたいと思いますか。（○は3つまで）

将来に就きたい職業について、全体では「スポーツ選手・監督など」（22.4%）で最も高く、「ユーチューバー（YouTuber）」（22.2%）、「その他」（21.8%）と続く。

男女別にみると、男子では「スポーツ選手・監督など」（36.8%）で最も高く、「ユーチューバー（YouTuber）」（36.4%）、「ゲームクリエイター」（22.8%）と続く。

一方、女子では「保育士・幼稚園教諭」（26.8%）で最も高く、「その他」（25.7%）、「美容師」（20.0%）と続く。



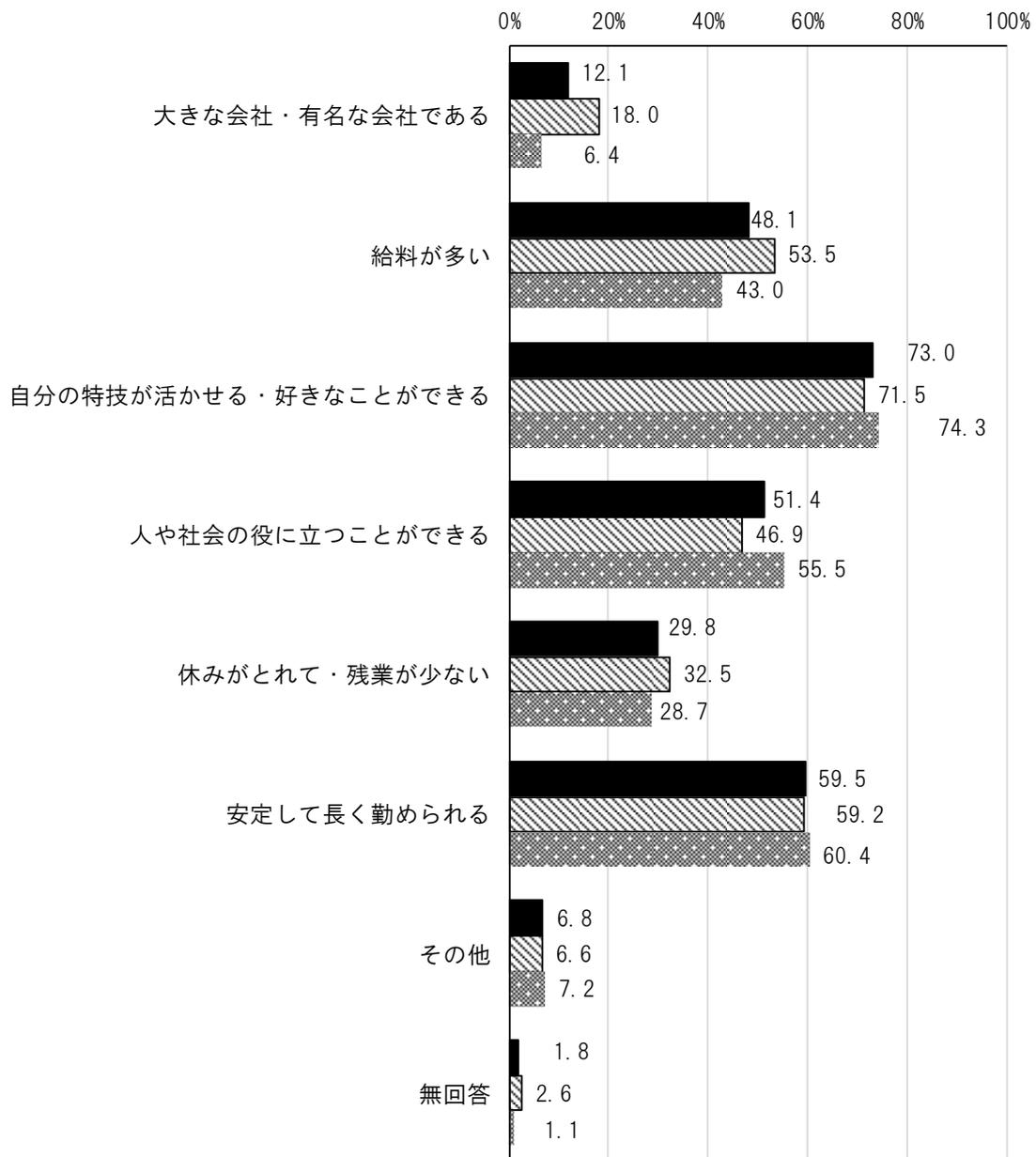
■全体 (n=514) □男子 (n=228) ※女子 (n=265)

問10 将来の仕事を考える時に大事に考えることは何ですか。（○はいくつでも）

将来の仕事を考える時に大事に考えることについて、「自分の特技が活かせる・好きなことができる」（73.0%）の割合が最も高く、「安定して長く勤められる」（59.5%）、「人や会社の役に立つことができる」（51.4%）と続く。

男女別にみると、男子では「自分の特技が活かせる・好きなことができる」（71.5%）で最も高く、「安定して長く勤められる」（59.2%）、「給料が多い」（53.5%）と続く。

一方、女子では「自分の特技が活かせる・好きなことができる」（74.3%）の割合が最も高く、「安定して長く勤められる」（60.4%）、「人や会社の役に立つことができる」（55.5%）と続く。



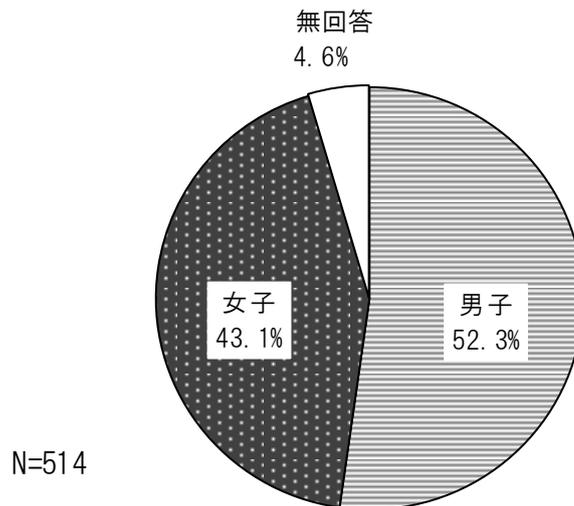
■全体 (n=514) ▨男子 (n=228) ▩女子 (n=265)

第5章 調査結果（子ども意識調査 中学生）

1. 回答者の属性

問1 あなたの性別はどちらですか。○は1つ

回答者の性別をみると、男子が52.3%、女子が51.5%となっている。

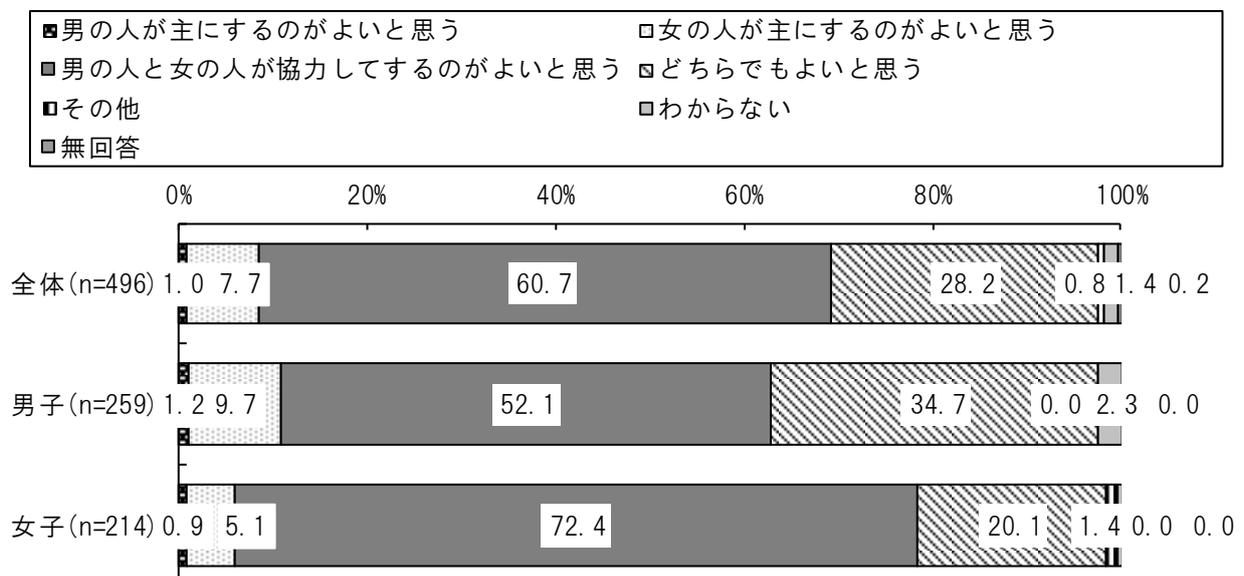


2. 男女の役割などについて

問2 あなたは家で、家事はだれがするのがよいと思いますか。（○は1つ）

家事をするのはだれがよいと思うかについて、全体では「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」（60.7%）で最も高く、「どちらでもよいと思う」（28.2%）と続く。

男女別にみると、「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」の割合は女子（72.4%）が7割を越えており、男性（52.1%）を上回っている。

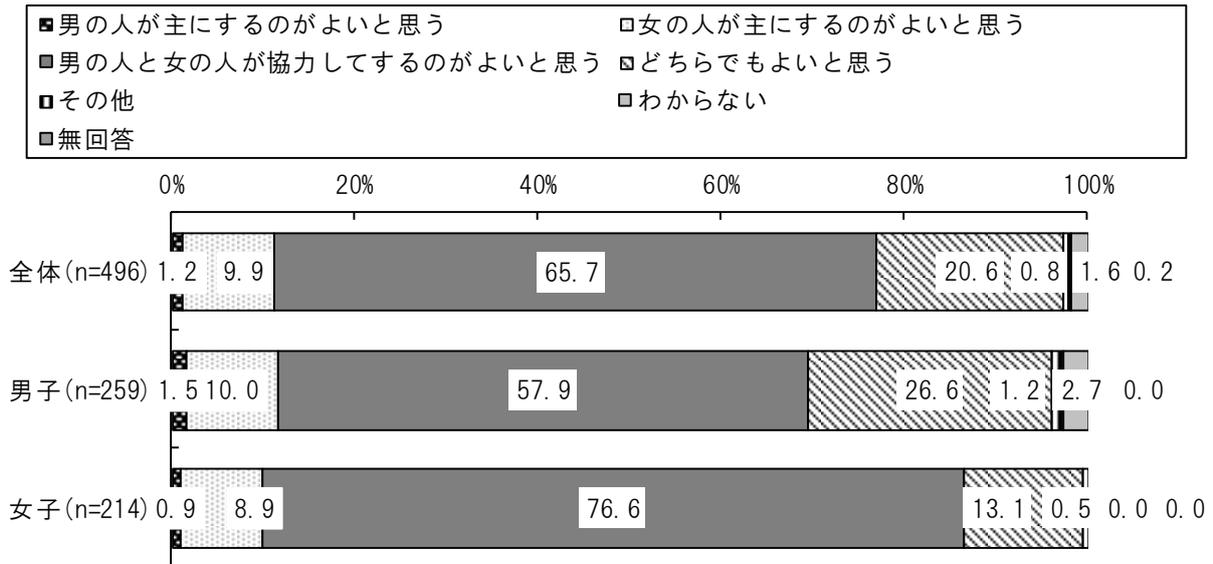


問3 あなたは、子どもが小さいときの子育ては、だれがするのがよいと思いますか。（○は1つ）

子育ては誰がするのがよいと思うかについて、全体では「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」（65.7%）が最も高くなっている。

男女別にみると、「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」の割合は女子（76.6%）で男子（57.9%）よりも高くなっている。

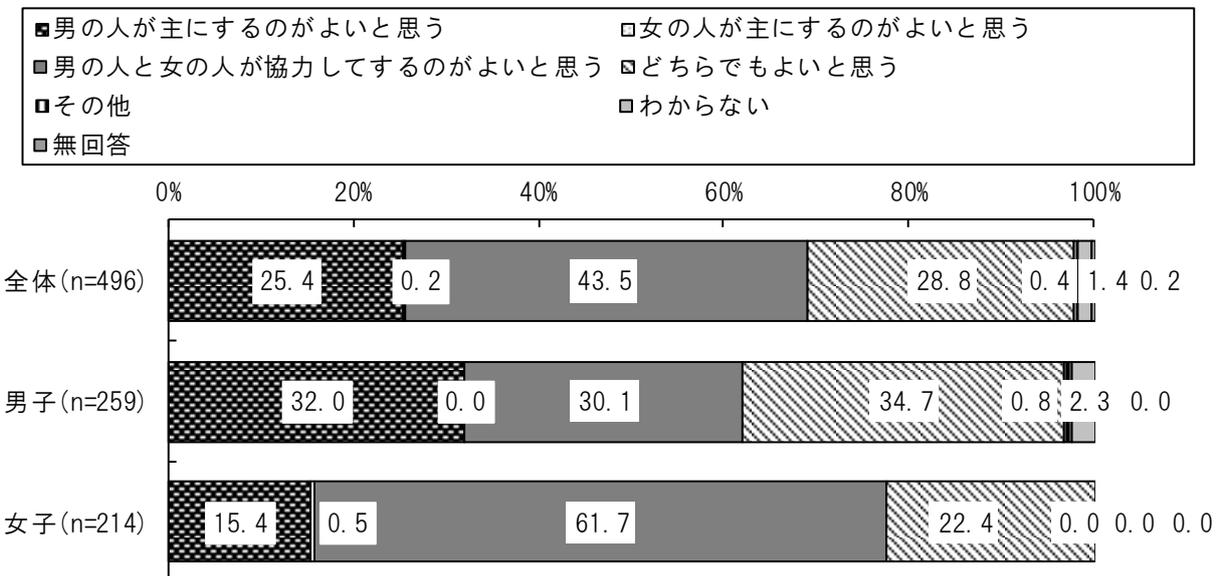
「どちらでもよいと思う」では男子（26.6%）が女子（13.1%）よりも高くなっている。



問4 あなたは、お金を稼ぐ仕事はだれがするのがよいと思いますか。（○は1つ）

お金を稼ぐのは誰がよいと思うかについて、全体では「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」（43.5%）が最も高く、「どちらでもよい」（28.8%）と続く。

男女別にみると、「男の人と女の人が協力してするのがよいと思う」の割合は女子（61.7%）が6割となり、男子（30.1%）よりも3割高くなっている。



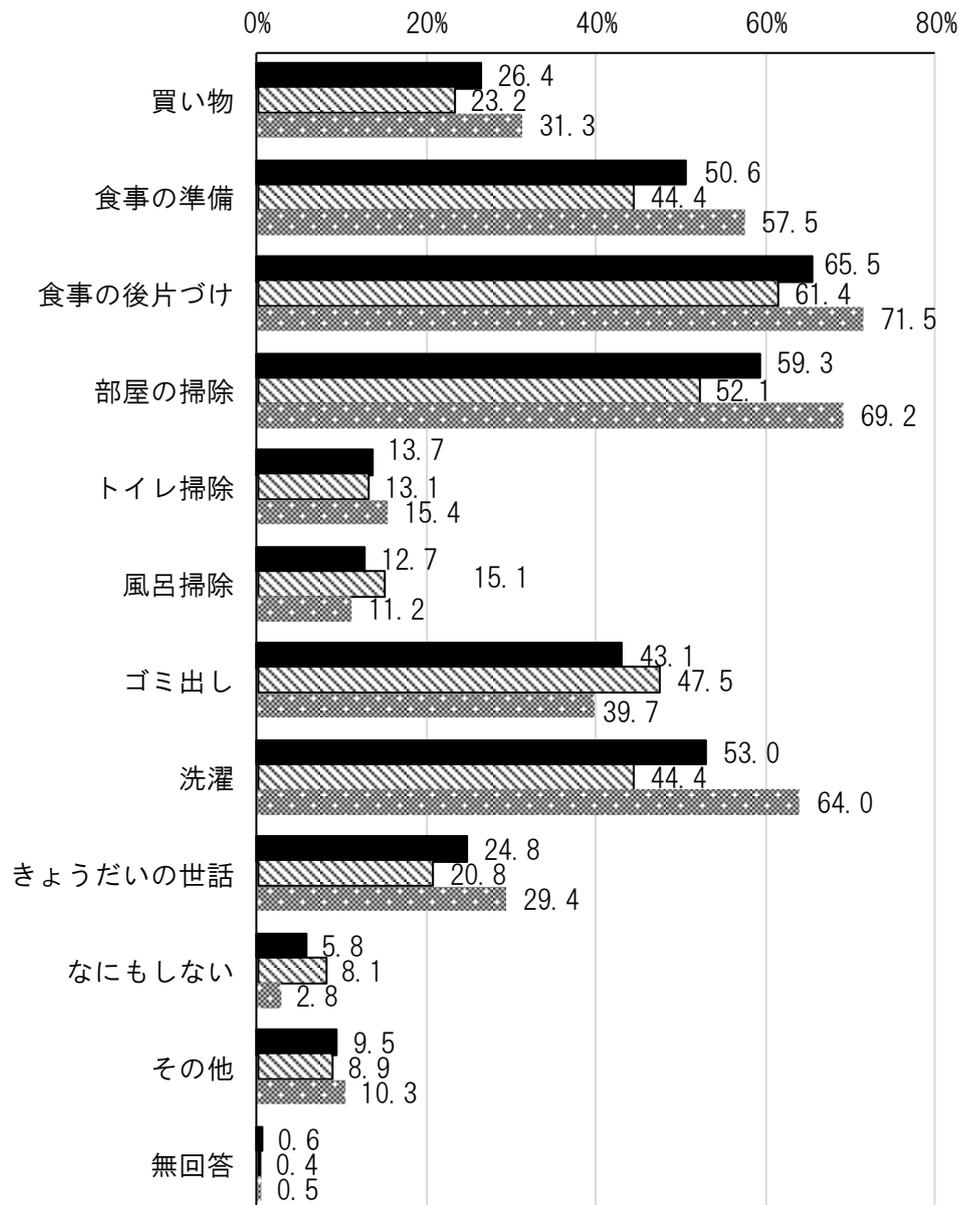
問5 あなたは家で、どのようなお手伝いをしていますか。（〇はいくつでも）

家でのお手伝いについて、全体では「食事の後片付け」(65.5%)で最も高く、「部屋の掃除」(59.3%)、「洗濯」(53.0%)と続く。

男女別にみると、男子では「食事の後片づけ」(61.4%)で最も高く、「部屋の掃除」(52.1%)、「ゴミ出し」(47.5%)と続く。

一方で、女子では「食事の後片付け」(71.5%)で最も高く、「部屋の掃除」(69.2%)、「洗濯」(64.0%)となっている。

「なにもしない」の割合は、男子(8.1%)が女子(2.8%)が高い。

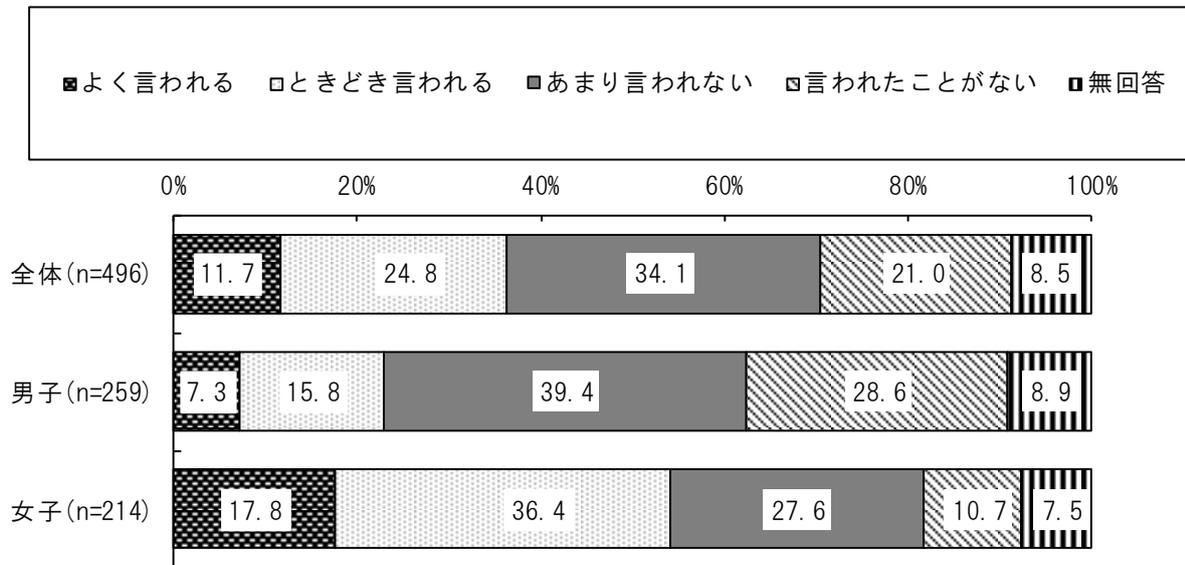


■全体 (n=496) ▨男子 (n=259) ▩女子 (n=214)

問6 あなたは、「男の子だから〇〇しなさい」や「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。（〇は1つ）

男らしさや女らしさを言われた経験について、全体では「あまり言われたい」（34.1%）が最も高く、「ときどき言われる」（24.8%）、「言われたことがない」（21.0%）と続く。

男女別にみると、「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせた割合をみると、男子（23.1%）の2割より、女子（54.2%）で高くなっている。

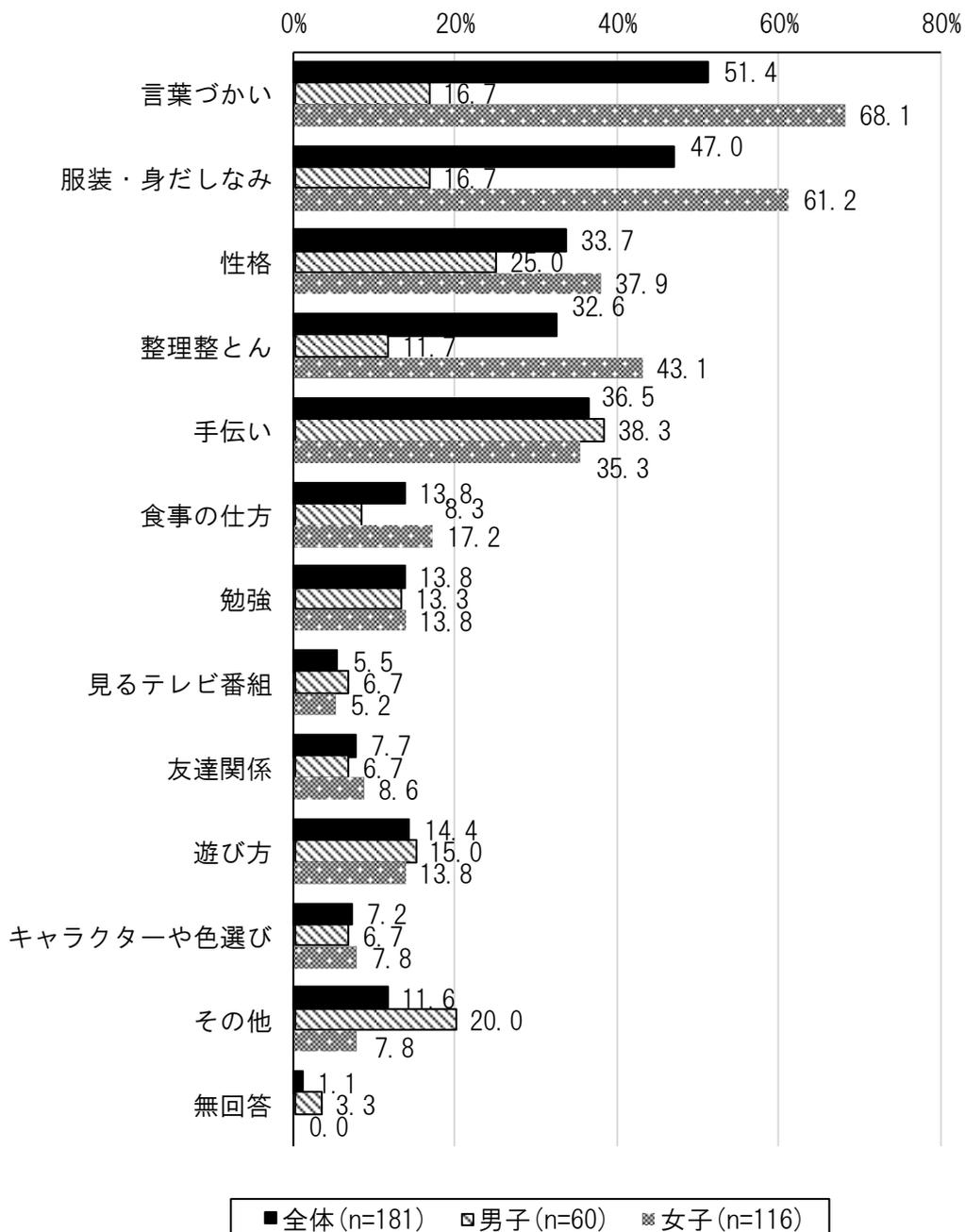


問6-1 問6で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
 どんなことについて言われましたか。（〇は1つ）

言われた内容について、全体では「言葉遣い」(51.4%)で最も高く、「服装・身だしなみ」(47.0%)、「手伝い」(36.5%)と続く。

男女別にみると、男子では「手伝い」(38.3%)で最も高く、「性格」(25.0%)、「その他」(20.0%)と続く。

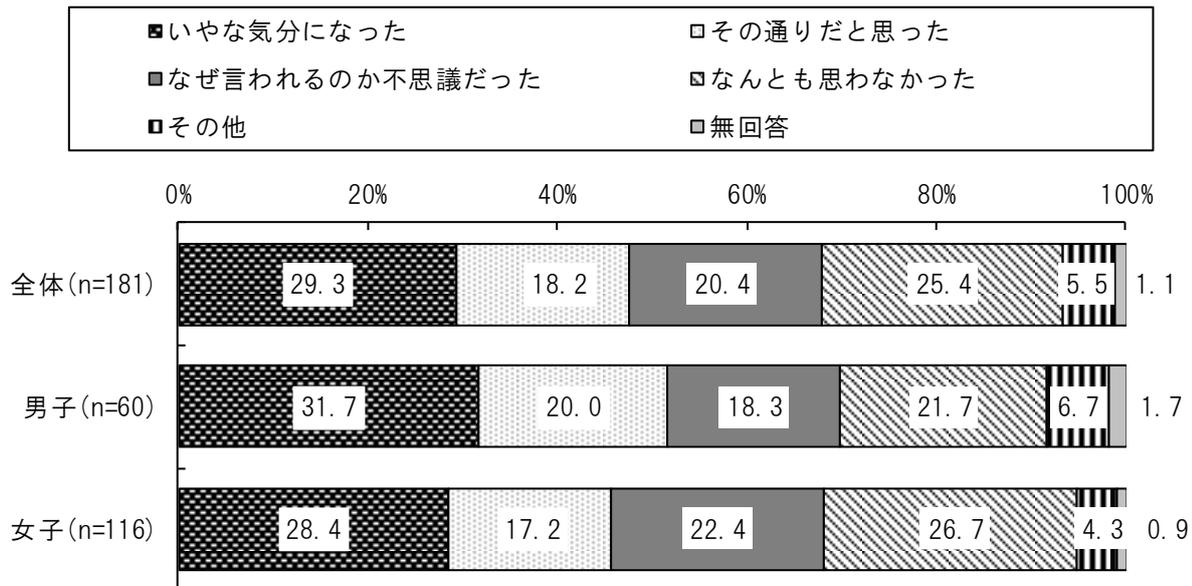
一方で女子では、「言葉づかい」(68.1%)で最も高く、「服装・身だしなみ」(61.2%)、「整理整とん」(43.1%)と続く。



問6-2 問6で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。
あなたはその時どんな気持ちになりましたか。（○は1つ）

男らしさや女らしさを要求されたときにどのような気持ちになったかについて、全体では「いやな気分になった」（29.3%）の割合が最も高く、「なんとも思わなかった」（25.4%）、「なぜ言われるのか不思議だった」（20.4%）と続く。

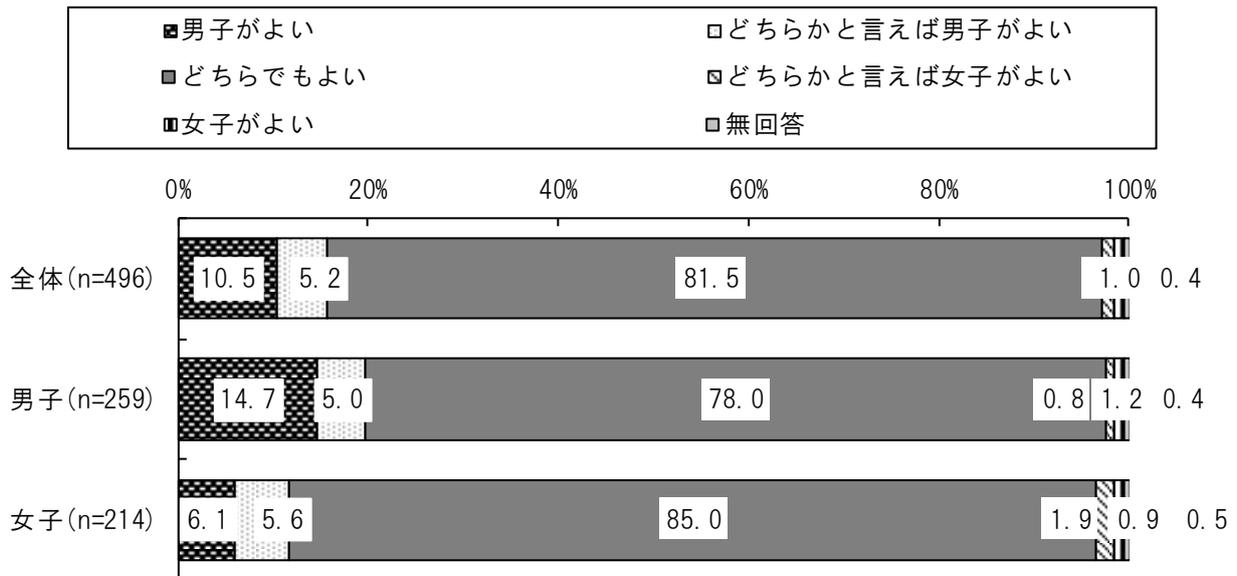
男女別にみると、全体と同様に男女ともに「いやな気分になった」の割合が最くなっているが、男子（31.7%）で女子（28.4%）よりわずかに高くなっている。



問7 あなたは、次の学校内の代表者は男女どちらがよいと思いますか。ア～オにおいて、あなたの考えに近いものを1～5の中からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。（○は1つ）

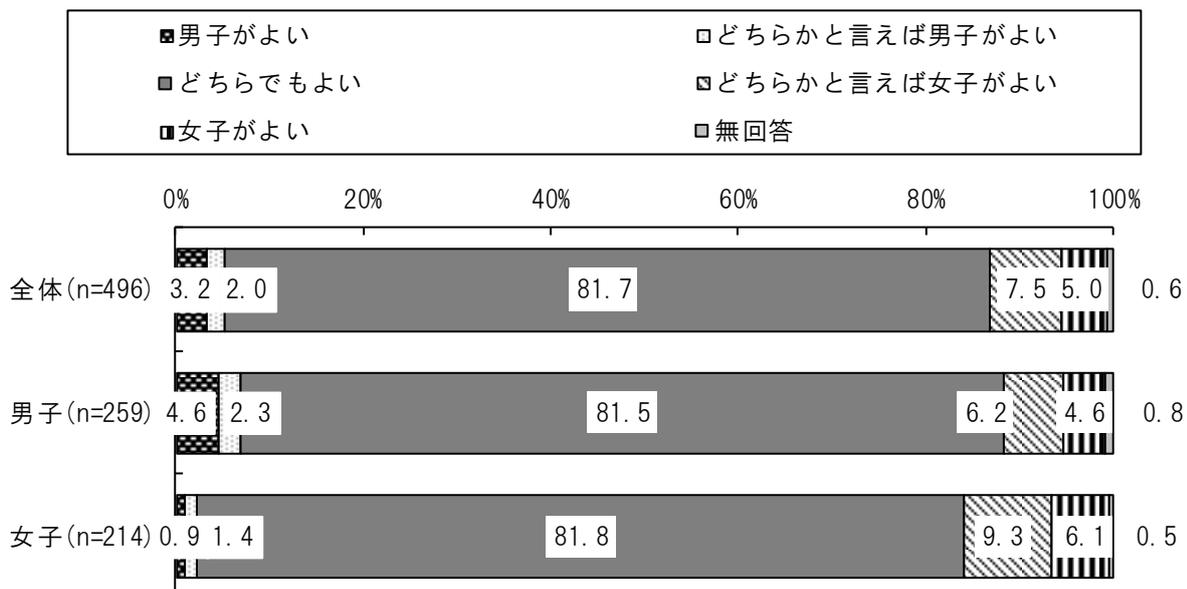
ア) 生徒会長

生徒会長について、全体では「どちらでもよい」(81.5%)の割合が最も高くなっている。男女別にみると、「男子がよい」では男子(14.7%)が女子(6.1%)よりも高くなっている。



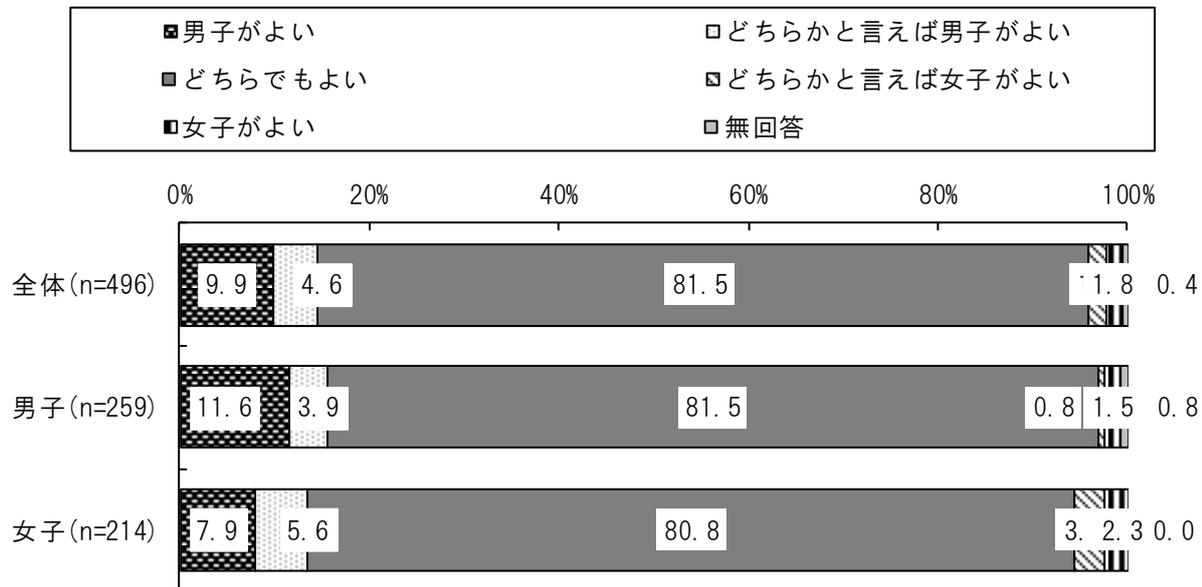
イ) 生徒会副会長

生徒会副会長について、全体では「どちらでもよい」(81.7%)で最も高くなっている。男女別にみると、全体と同様の傾向で男女ともに「どちらでもよい」の割合が高く、性別による差はあまりみられない。



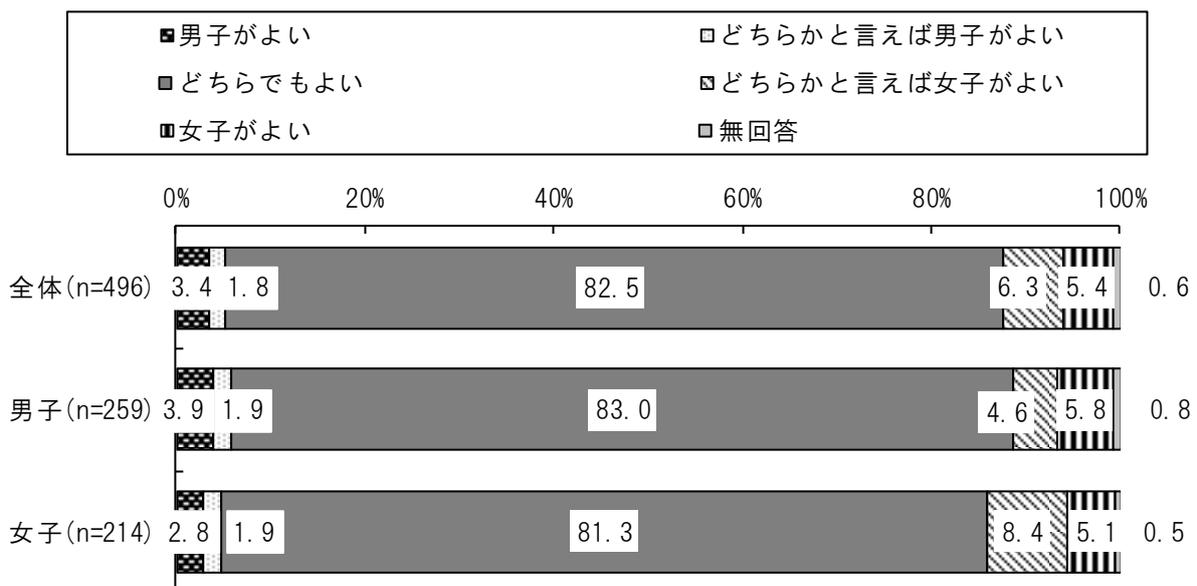
ウ) 学級委員長

学級委員長について、全体では「どちらでもよい」(81.5%)の割合が最も高くなっている。男女別にみると、全体と同様の傾向で男女ともに「どちらでもよい」の割合が高く、性別による差はみられない。



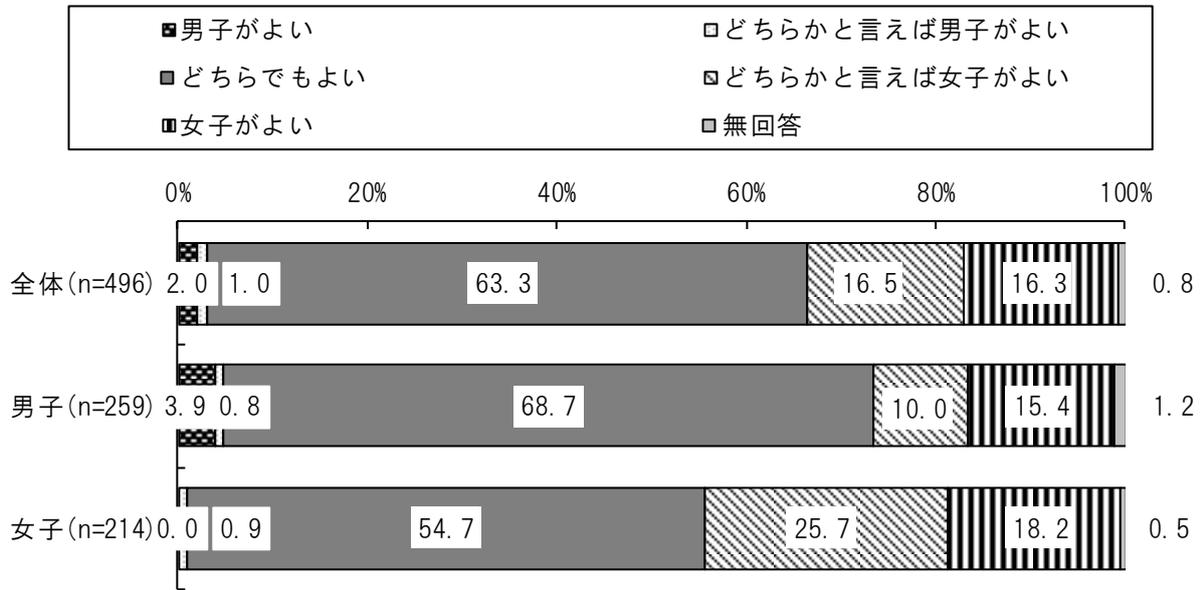
エ) 学級副委員長

学級副委員長について、全体では「どちらでもよい」(82.5%)の割合が最も高くなっている。男女別にみると、全体と同様の傾向で、男女ともに「どちらでもよい」の割合が高く、性別による差はみられない。



オ) 部活のマネージャー

部活のマネージャーについて、全体では「どちらでもよい」(63.3%)の割合が最も高くなっている。
 男女別にみると、女子では「どちらかと言えば女子がよい」と「女子がよい」を合わせた割合(43.9%)は男子(25.4%)よりも高くなっている。

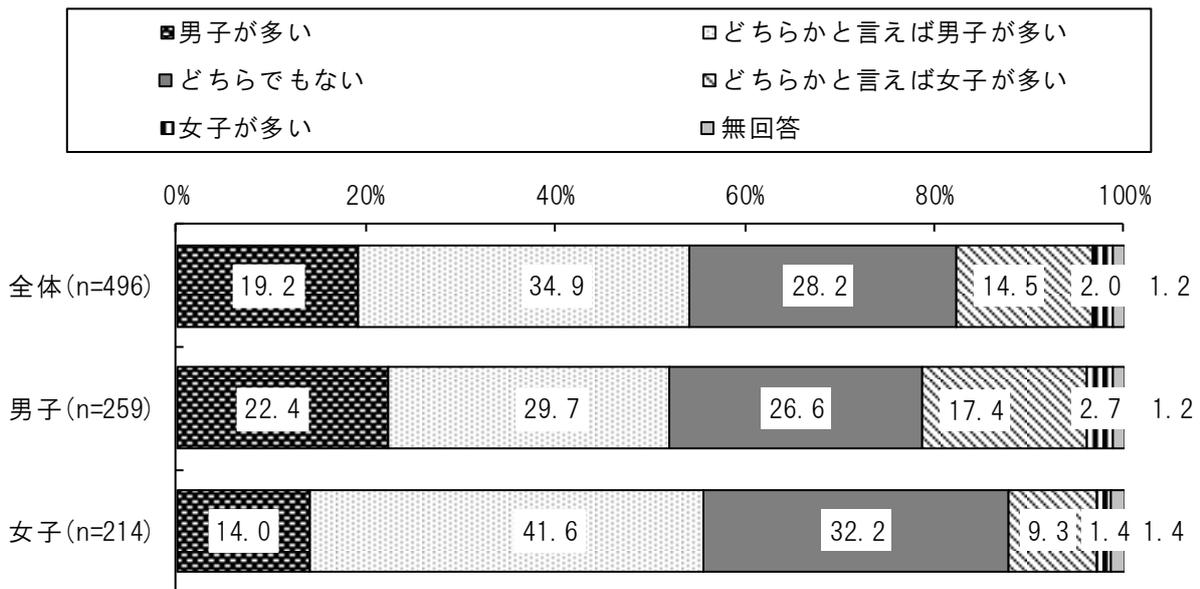


問7 あなたは、次の授業での場面で、積極的に参加している児童は、男女どちらが多いと思いますか。ア～ウにおいて、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。（○は1つ）

ア) 積極的な挙手や発言

積極的な挙手や発言について、全体では「どちらかと言えば男子が多い」（34.9%）が最も高く、「どちらでもない」（28.2%）、と続く。

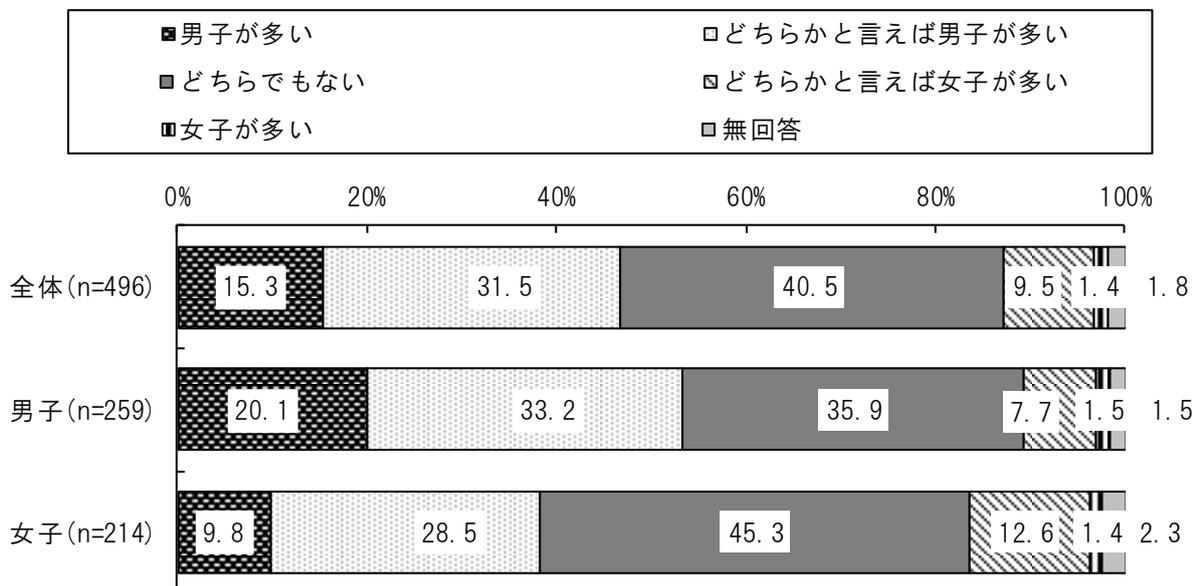
男女別にみると、「どちらかと言えば男子が多い」の割合は、女子（41.6%）が男子（29.7%）よりも高くなっている。



イ) 理科の実験

理科の実験について、全体では「どちらでもない」（40.5%）の割合が最も高く、「どちらかと言えば男子が多い」（31.5%）と続く

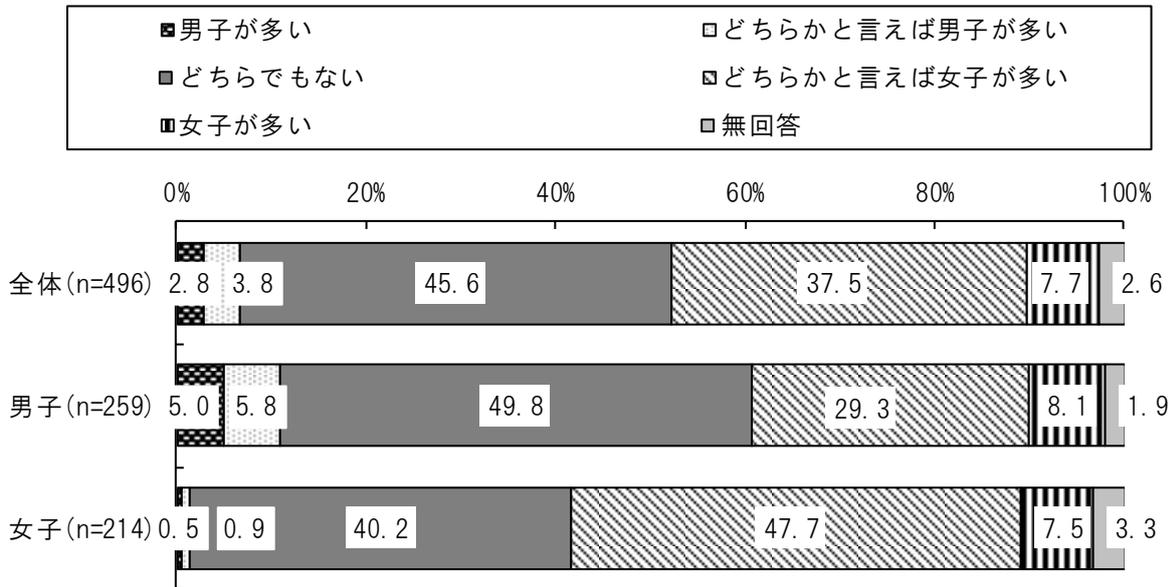
男女別にみると、男子では「男子が多い」と「どちらかと言えば男子が多い」を合わせた割合（53.3%）は女子（38.8%）よりも高くなっている。



ウ) 家庭科の調理実習

家庭科の調理実習について、全体では「どちらでもない」(45.6%)で最も高く、「どちらかと言えば女子が多い」と続く。

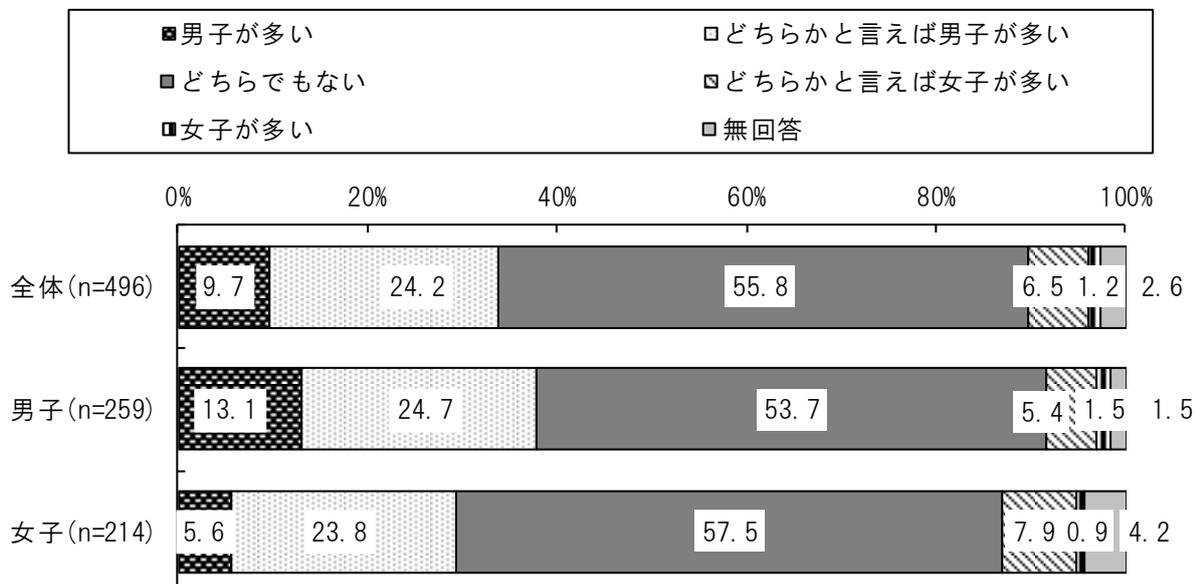
男女別にみると、女子では「どちらかと言えば女子が多い」と「女子が多い」とを合わせた割合(55.2%)は5割を越えており、男子(37.4%)も高くなっている。



エ) 技術科目の実習

技術科目の実習について、全体では「どちらでもない」(55.8%)の割合が最も高く、「どちらかと言えば男子が多い」と「男子が多い」を合わせると全体(33.9%)の3割で男子が多いと感じている。

男女別にみると、女子よりも男子で「男子が多い」感じている割合が高くなっている。



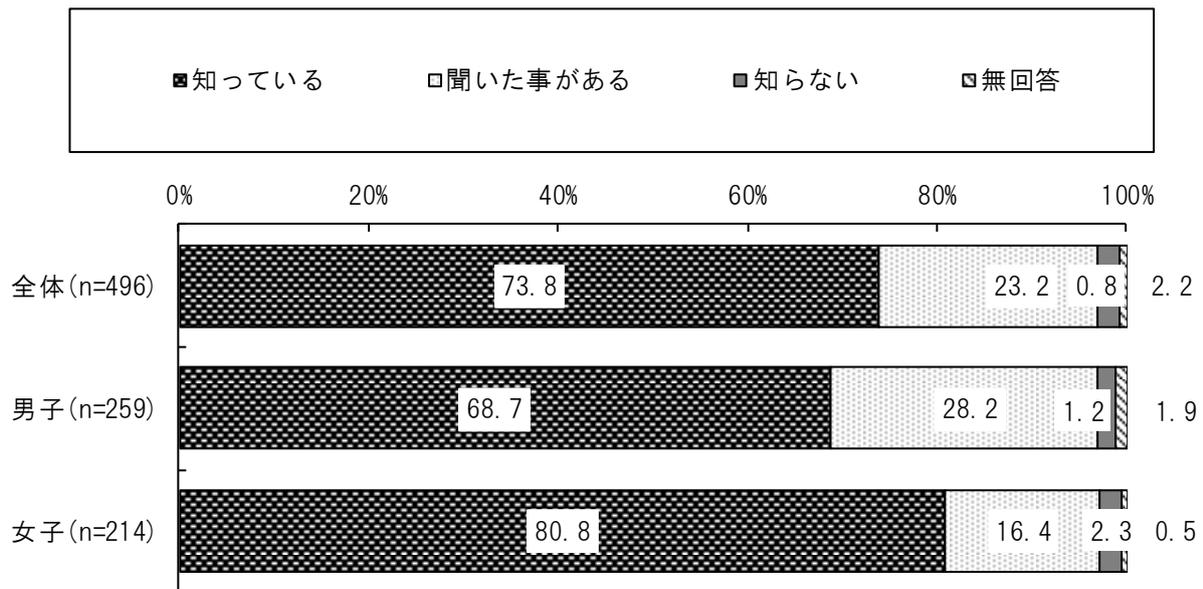
3. 男女共同参画について

問9 あなたは、次の言葉をしてしていますか。（○は1つ）

ア) セクハラ（セクシャル ハラスメント）

セクハラについて、全体では「知っている」（73.8%）で最も割合が高く、「聞いたことがある」と合わせると9割を超える。

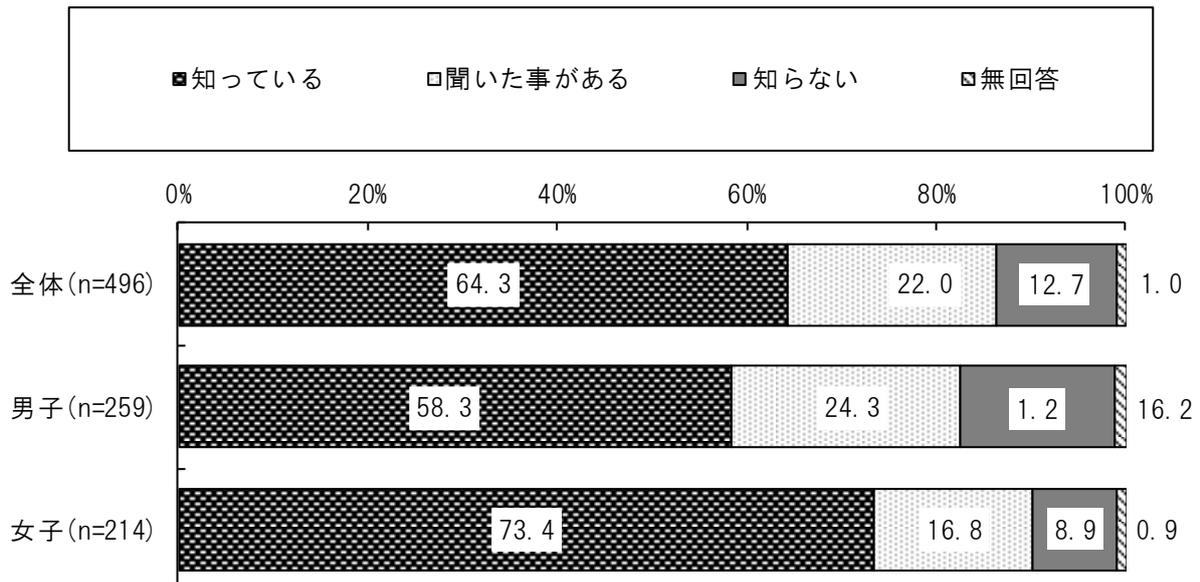
男女別にみると、「知っている」の割合は女子（80.8%）が8割を超えるのに対して、男子（68.7%）では7割弱と女子より低い。



イ) DV（ドメスティック バイオレンス）

DVについて、全体では「知っている」（64.3%）で6割、「聞いたことがある」と合わせると8割を超える。

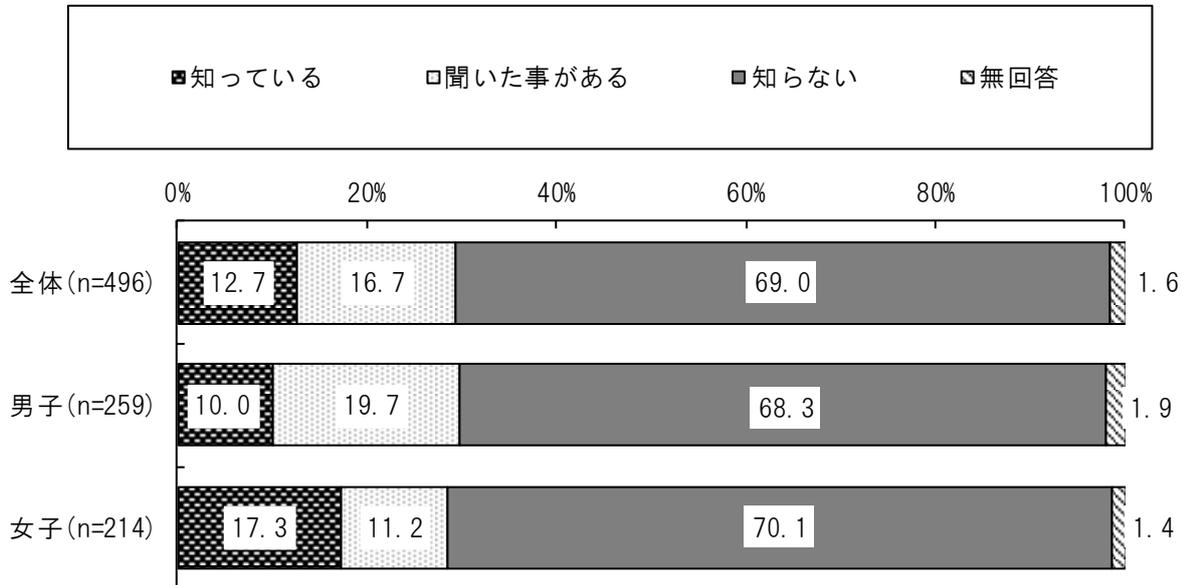
男女別にみると、「知っている」の割合は、女子（73.4%）が男子（58.3%）よりも高くなっている。



ウ) ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランスについて、全体では「知らない」(69.0%)が7割弱で最も高くなっている。

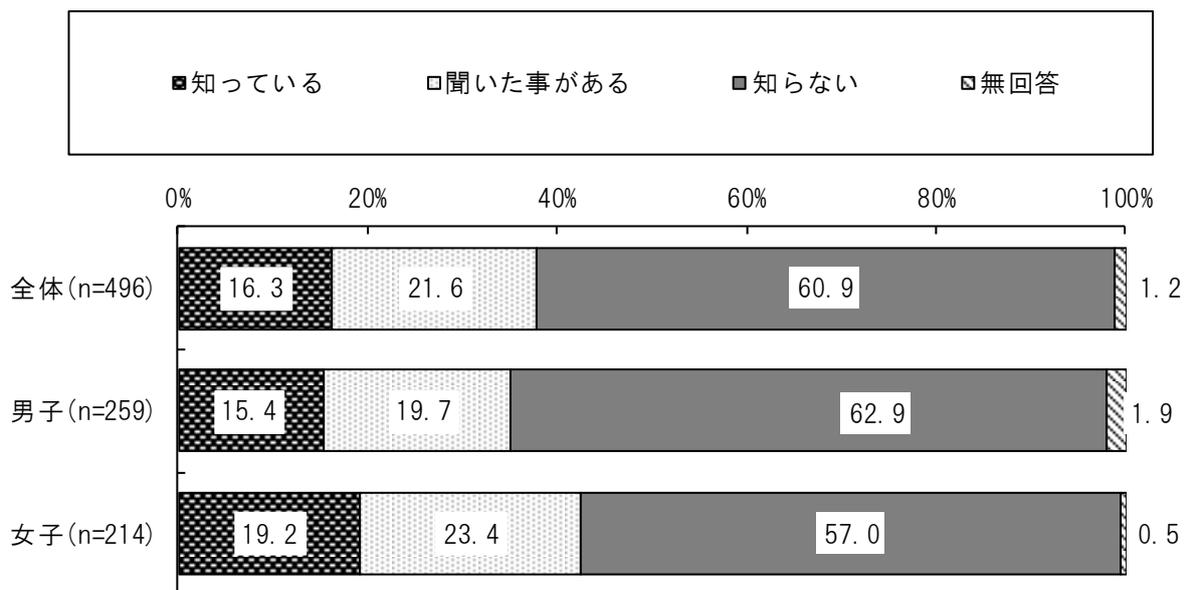
男女別にみると、全体の傾向と同様に「知らない」の割合が高いが、「知っている」では女子(17.3%)が男子(10.0%)よりも高い。



エ) 男女共同参画社会

男女共同参画社会について、全体では「知らない」(60.9%)が6割で最も高くなっている。

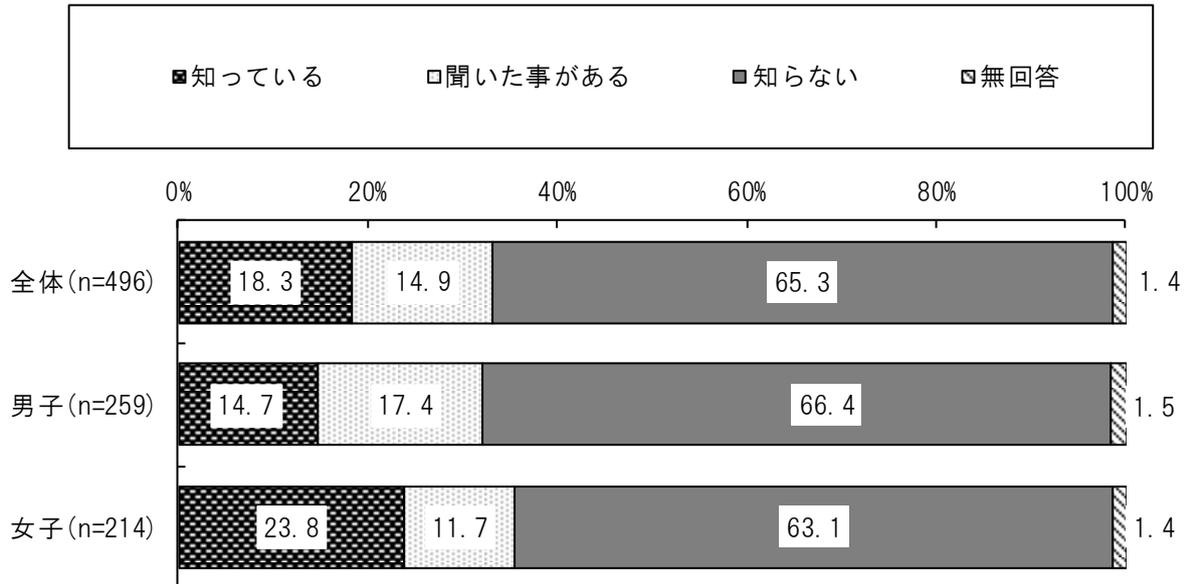
男女別にみると、全体の傾向と同様に「知らない」の割合が高く、特に男子(62.9%)では女子(57.0%)よりも高い。



オ) デートDV

デートDVについて、「知らない」(65.3%)が6割強と最も高くなっている。

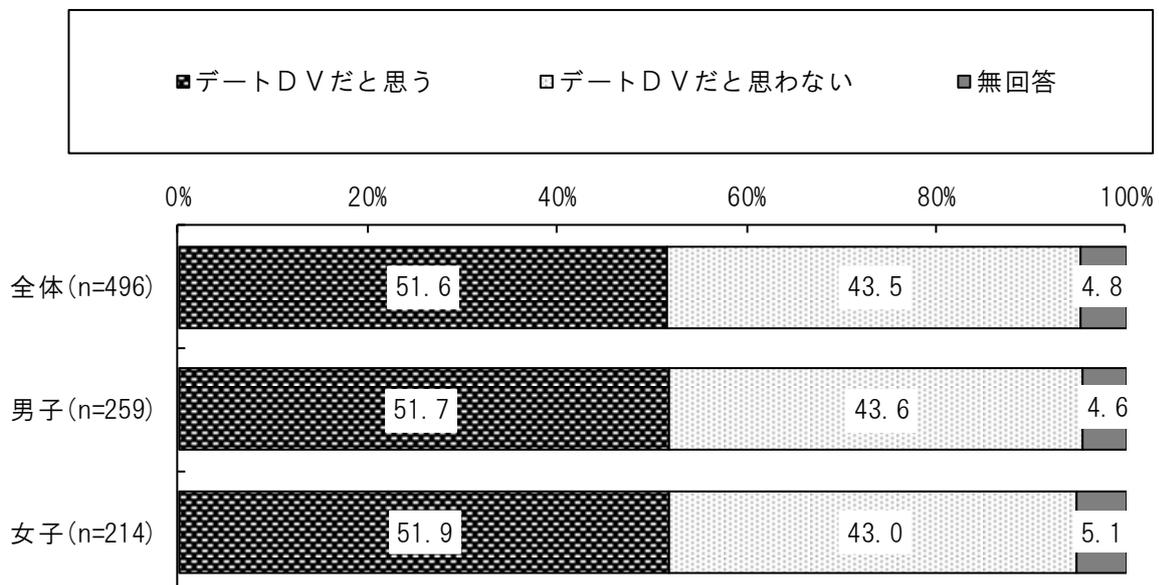
男女別にみると、全体の傾向と同様に「知らない」の割合が男女ともに高くなっているが、「知っている」では女子(23.8%)が男子(14.7%)よりも高い。



問7 デートDVだと思う行為について、ア～キにおいて、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。(○は1つ)

ア) 何を言っても無視する

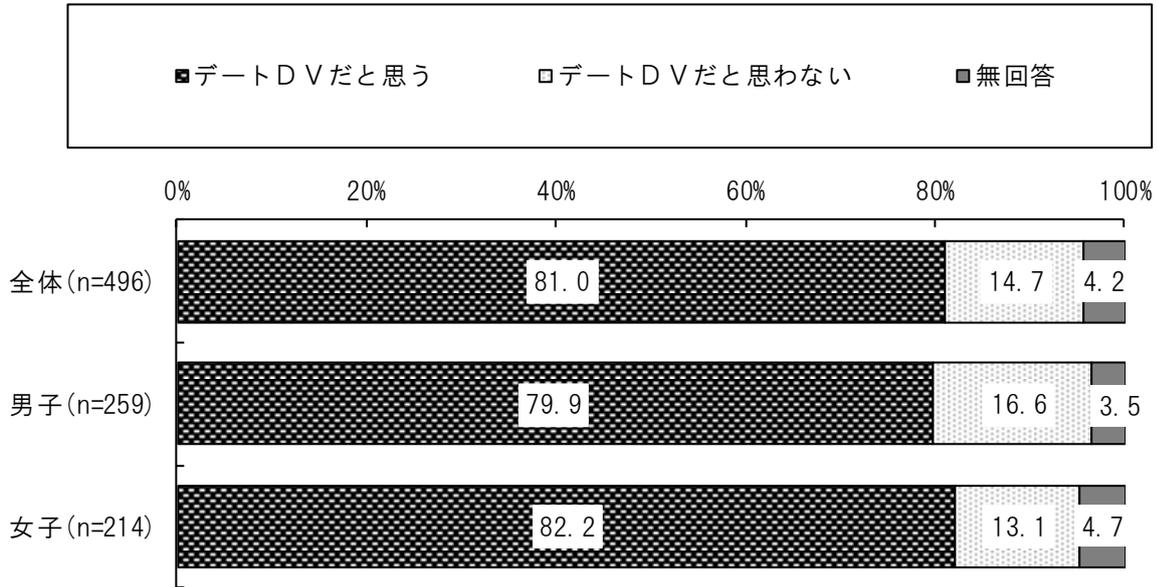
何を言っても無視することについて、全体の「デートDVだと思う」の割合は5割となっている。男女別にみると、性別による差はみられない。



イ) 行動を監視したり、友人関係を制限する

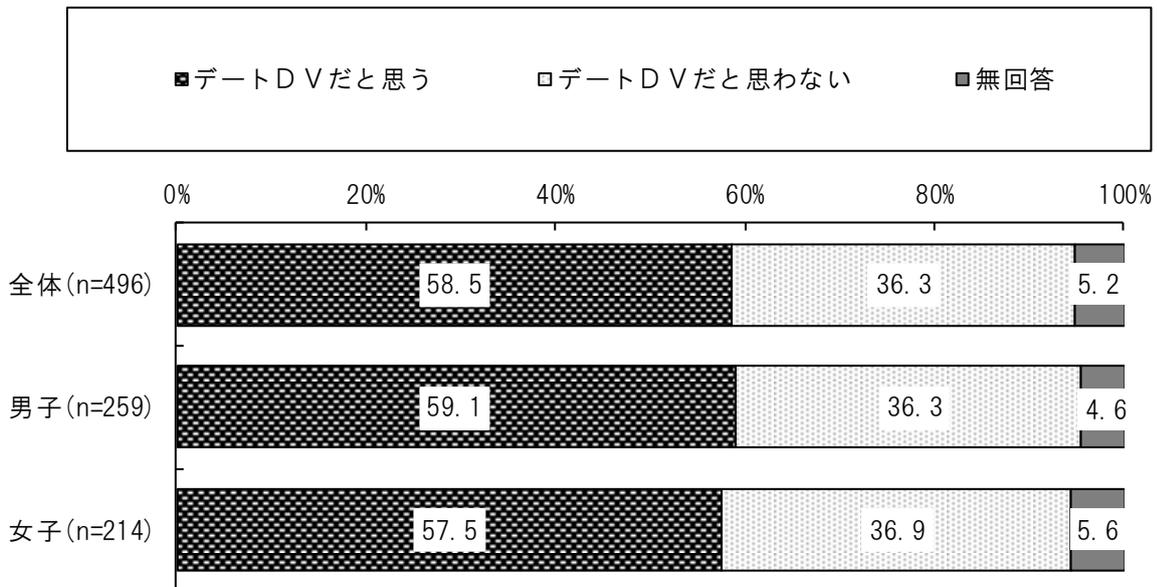
行動を監視したり、友人関係を制限することについて、全体の「デートDVだと思う」の割合は8割を越える。

男女別にみると、性別による差はあまりみられない。



ウ) 服装を指示する

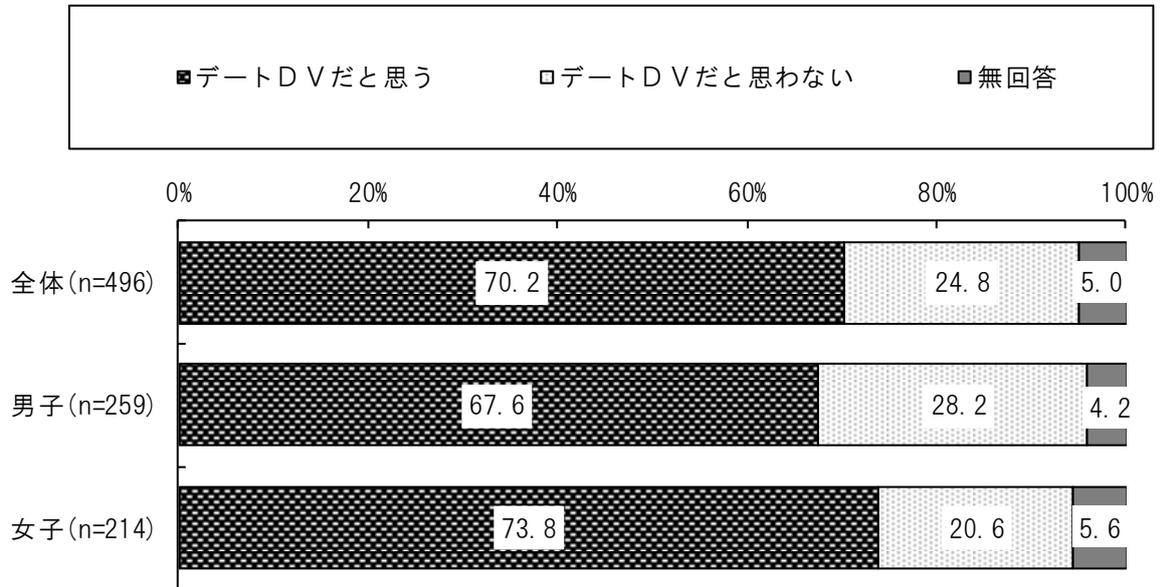
服装を指示することについてみると、全体の「デートDVだと思う」の割合は6割弱となっている。男女別にみると、性別による意識の差はみられない。



エ) 交友関係やメールをチェックする

交友関係やメールをチェックすることについて、全体で「デートDVだと思う」(70.2%)割合は7割となっている。

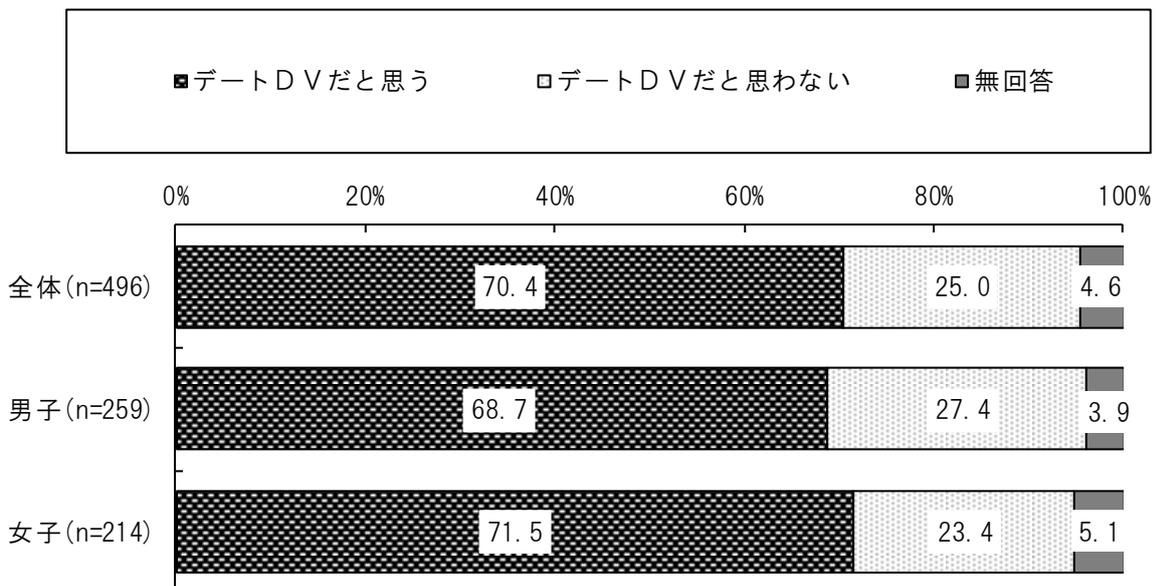
男女別にみると、「デートDVだと思う」では女子(73.8%)が男子(67.6%)より高くなっている。



オ) 人前でバカにする

人前でバカにすることについて、全体で「デートDVだと思う」(70.4%)は7割となっている。

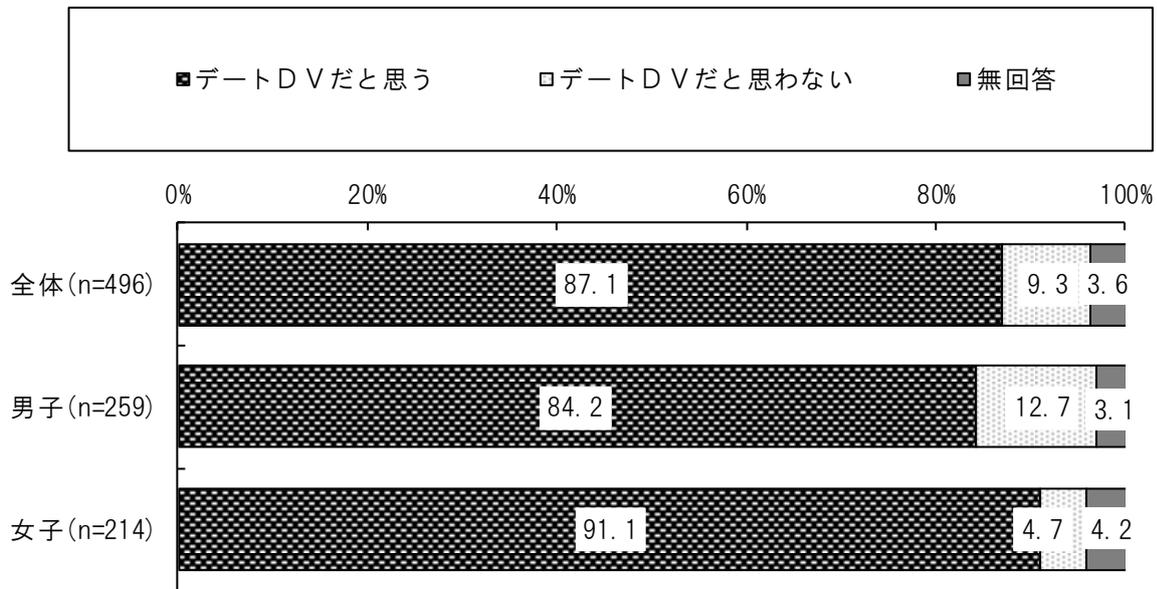
男女別にみると、「デートDVだと思う」は女子(71.5%)が男子(68.7%)よりわずかに高くなっている。



カ) 殴るふりするなどをして脅す^{おど}

殴るふりするなどをして脅すことについて、全体では「デートDVだと思う」(87.1%)は9割弱となっている。

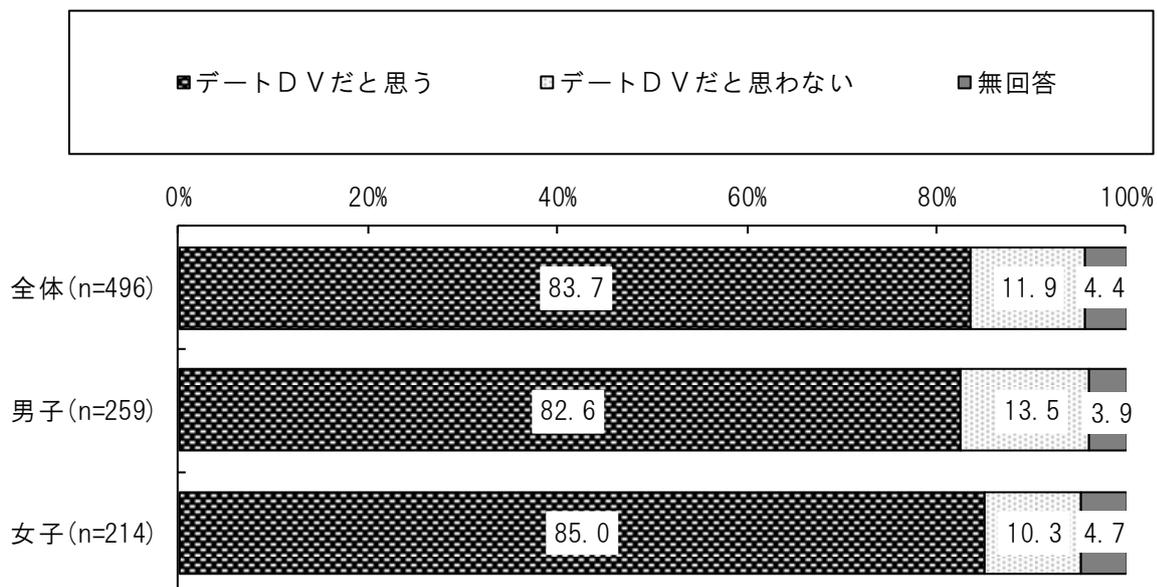
男女にみると、「デートDVだと思う」では女子(91.1%)では9割を超えるのに対し、男子(84.2%)では8割強と女子より低くなっている。



キ) お金を出させたり、借りたお金を返さない

お金を出させたり、借りたお金を返さないについてみると、「デートDVだと思う」の割合は全体で8割を超える。

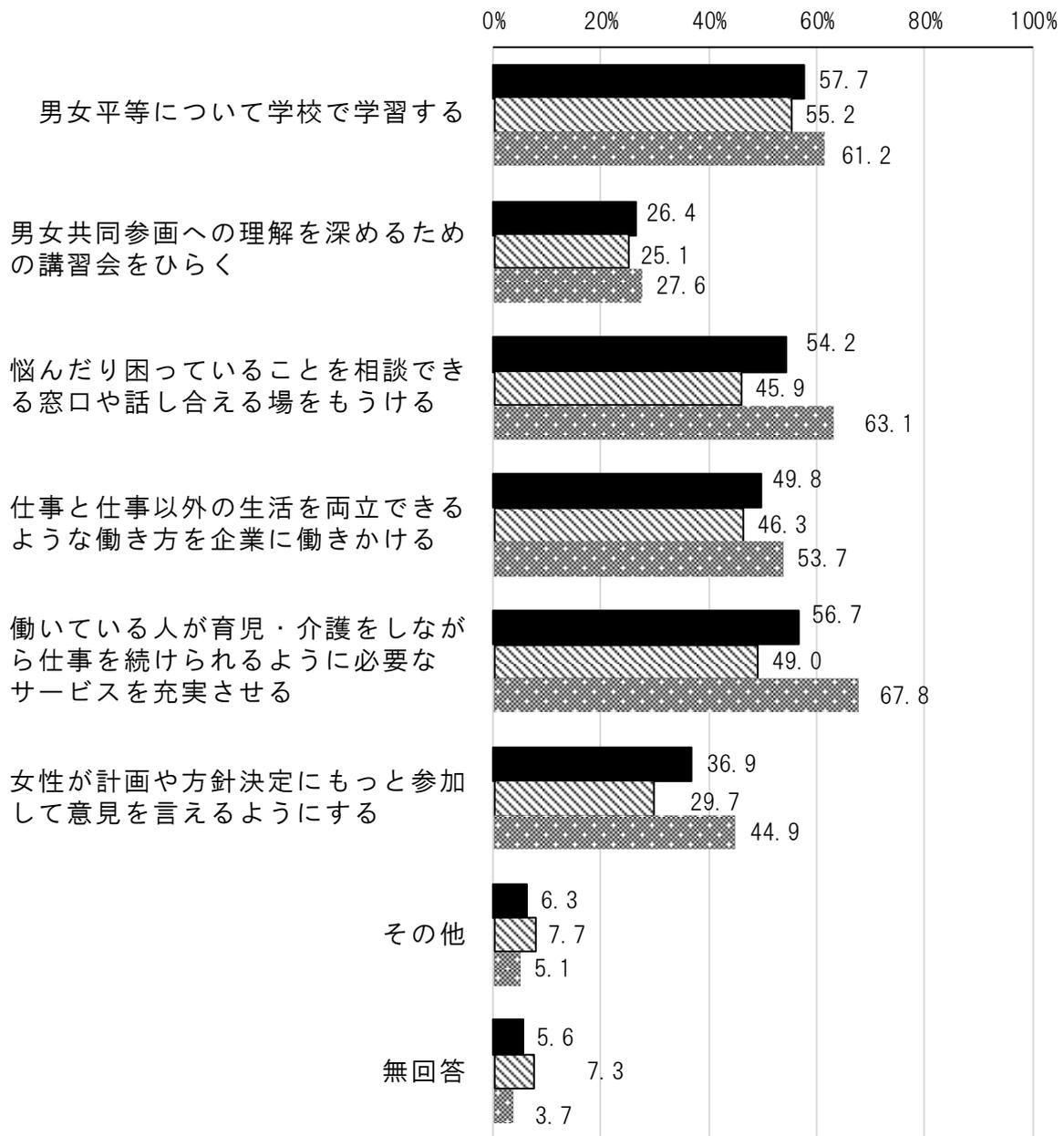
男女別にみると、性別による差はあまりみられない。



問10 石垣市では、すべての人々が個人として尊重され、性別にとらわれることなくのびやかに暮らせる社会を目指しています。あなたは、これから市がどのようなことに力を入れていくと良いと思いますか。（〇はいくつでも）

男女共同参画を目指して、今後市が力を入れていくべきことについて、全体では「男女平等について学校で学習する」（57.7%）で割合が最も高く、「働いている人が育児・介護をしながら仕事を続けられるように必要なサービスを充実させる」（56.7%）、「悩んだり困っていることを相談できる窓口や話し合える場をもうける」（54.2%）と続く。

男女別にみると、「悩んだり困っていることを相談できる窓口や話し合える場をもうける」、「働いている人が育児・介護をしながら仕事を続けられるように必要なサービスを充実させる」、「女性が計画や方針決定にもっと参加して意見を言えるようにする」の項目で、男子よりも女子で10%以上割合が高くなっている。



■全体(n=496) □男子(n=259) ▨女子(n=214)

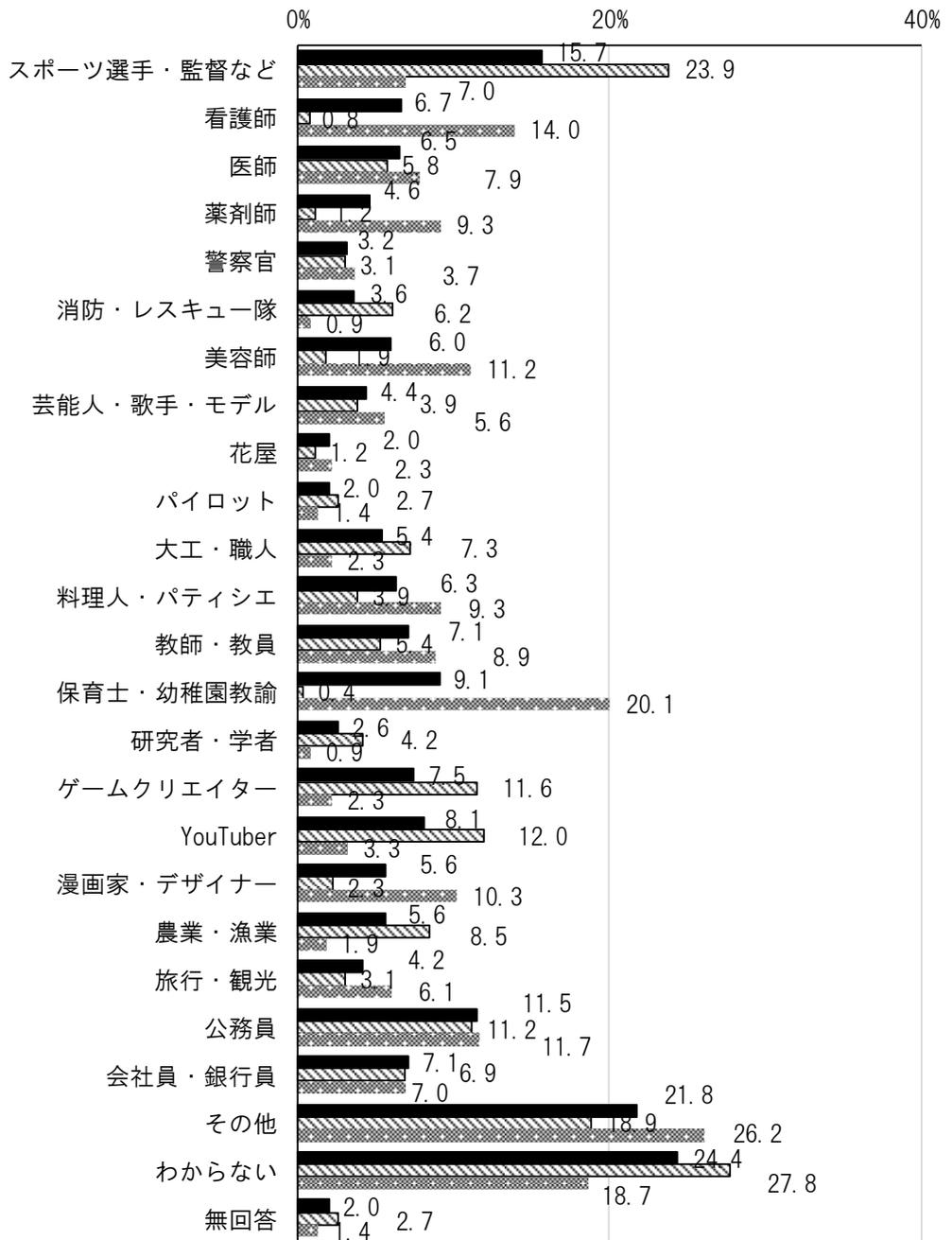
4. 将来について

問11 将来、どのような仕事に就きたいと思いますか。（〇は3つまで）

将来就きたい職業について、全体では「わからない」（24.4%）で最も高く、「その他」（21.8%）、
「スポーツ選手・監督」（15.7%）と続く。

男女別にみると、男子では「わからない」（27.8%）で最も高く、「スポーツ選手・監督」（23.9%）、
「その他」（18.9%）と続く。

一方、女子では「その他」（26.2%）で最も高く、「保育士・幼稚園教諭」（20.1%）、「わからない」（18.7%）と続く。



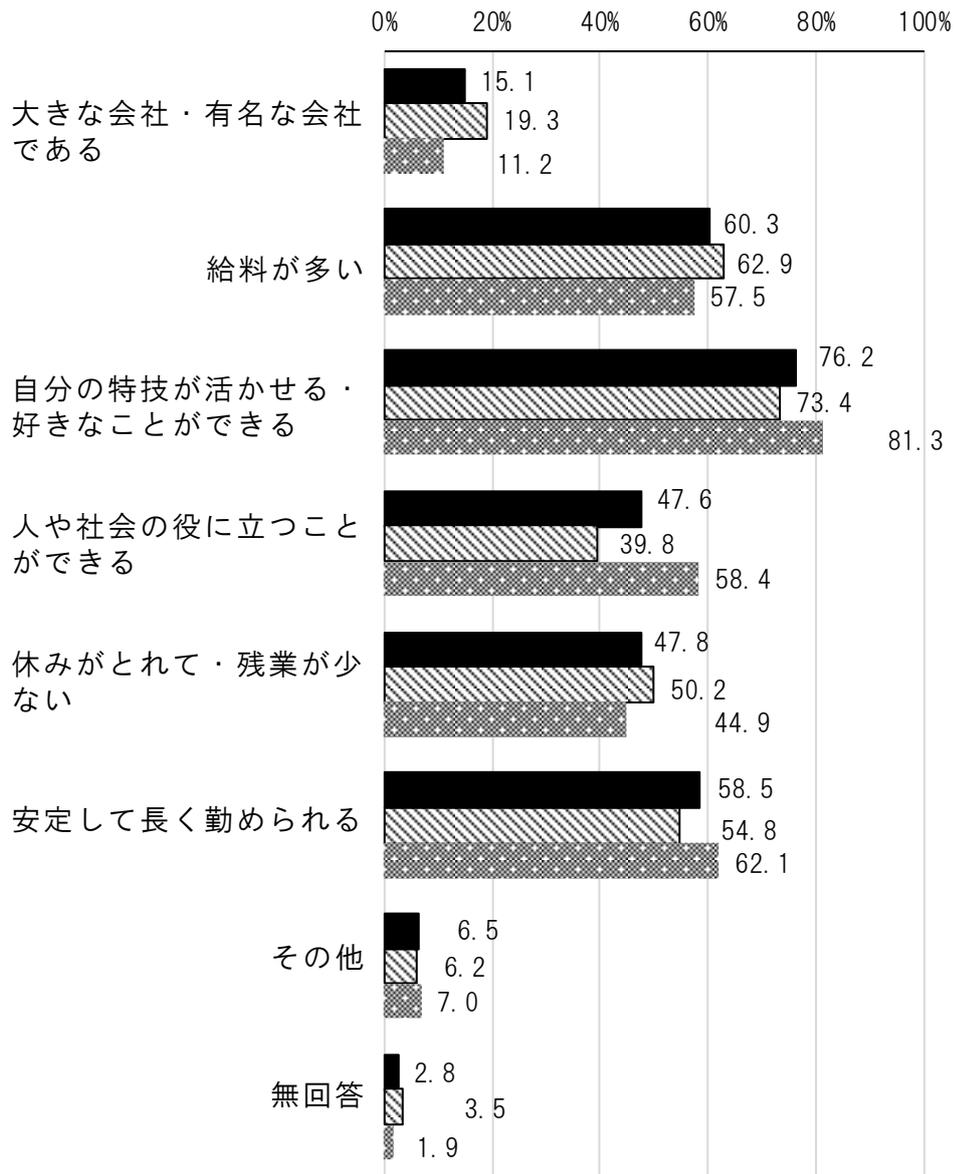
■ 全体 (n=496) □ 男子 (n=259) ▨ 女子 (n=214)

問12 将来の仕事を考える時に重視することは何ですか。（○はいくつでも）

将来の仕事を考える時に重視することについて、全体では「自分の特技が活かせる・好きな事ができる」(76.2%)で最も高く、「給料が多い」(60.3%)、「安定して長く勤められる」(58.5%)と続く。

男女別にみると、男子では「自分の特技が活かせる・好きな事ができる」(73.4%)で最も高く、「給料が多い」(62.9%)、「安定して長く勤められる」(54.8%)と続く。

一方、女子では「自分の特技が活かせる・好きな事ができる」(81.3%)で最も高く、「安定して長く勤められる」(62.1%)、「人や社会の役に立つことができる」(58.4%)と続く。



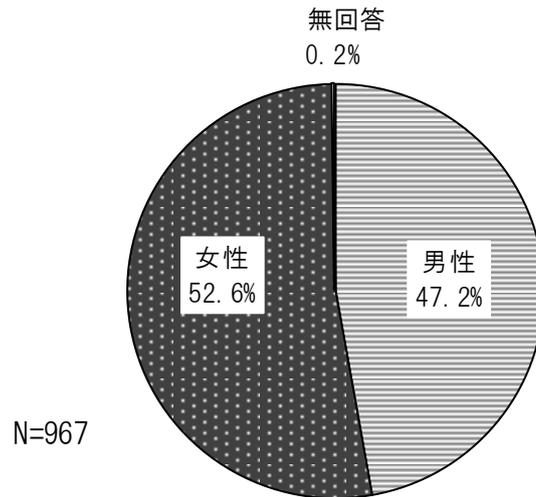
■全体 (n=496) □男子 (n=259) ▨女子 (n=214)

第6章 調査結果（職員意識調査）

1. 回答者の属性

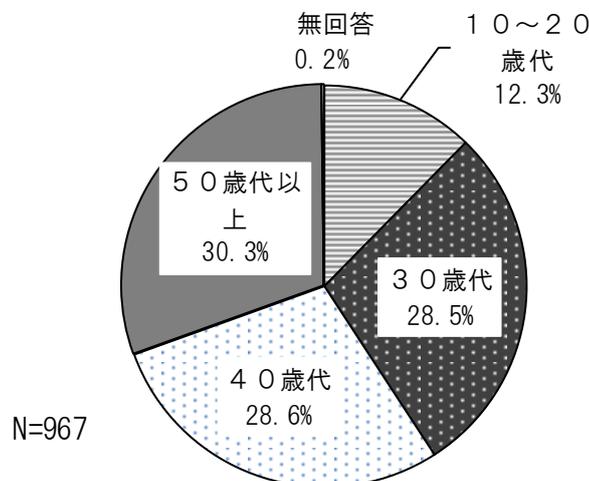
問1 あなたの性別を選んでください。（○は1つ）

回答者の性別をみると、男性が47.2%、女性が52.6%となっている。



問2 あなたの年齢はいくつですか。（○は1つ）

50歳代以上（30.3%）で割合が最も高く、「40歳代」（28.6%）、「30歳代」（28.5%）と続く。

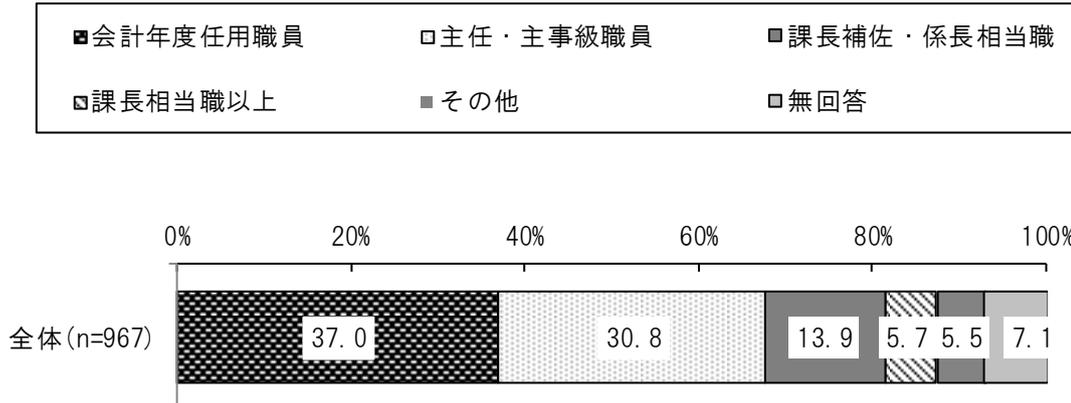


問11 あなたの現在の職位をお答えください。（○は1つ）

職位について、全体では「会計年度任用職員」（37.0%）で最も高く、「主任・主事級職員」（30.8%）、「課長補佐・係長相当職」（13.9%）と続く。

男女別にみると、男性では「主任・主事級職員」（42.3%）で、女性では「会計年度任用職員」（54.8%）で割合が最も高くなっている。

年齢別にみると、10～20歳代と50歳以上では「会計年度任用職員」が、30歳代では「主任・主事級職員」が、40歳代では「課長補佐・係長相当職」で割合が高くなっている。

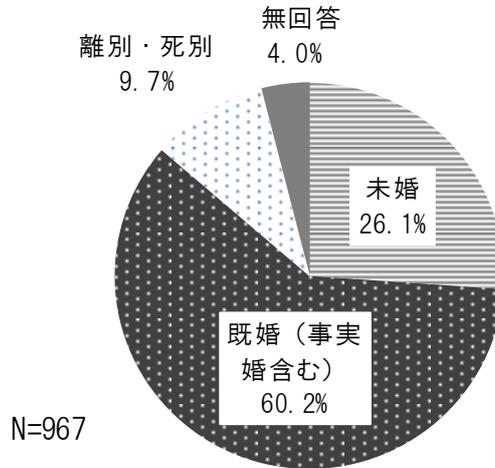


（上段：実数、下段：割合）

		全体	会計年度任用職員	主任・主事級職員	課長補佐・係長相当職	課長相当職以上	その他	無回答
性別	全体	967	358	298	134	55	53	69
		100.0	37.0	30.8	13.9	5.7	5.5	7.1
	男性	456	79	193	98	49	19	18
	100.0	17.3	42.3	21.5	10.7	4.2	3.9	
年齢	女性	509	279	105	36	6	34	49
		100.0	54.8	20.6	7.1	1.2	6.7	9.6
	10～20歳代	119	66	42	0	0	4	7
	100.0	55.5	35.3	0.0	0.0	3.4	5.9	
年齢	30歳代	276	94	167	1	1	9	4
		100.0	34.1	60.5	0.4	0.4	3.3	1.4
	40歳代	277	89	70	93	3	9	13
		100.0	32.1	25.3	33.6	1.1	3.2	4.7
	50歳以上	293	109	19	40	51	31	43
	100.0	37.2	6.5	13.7	17.4	10.6	14.7	

問3 あなたは、現在結婚していますか。（○は1つ）

婚姻状況について、「既婚（事実婚含む）」（60.2%）で割合が最も高く、「未婚」（26.1%）と続く。



問4 問3で「2. 既婚（事実婚含む）」と答えた方にお尋ねします。あなたは共働きですか。（出産、育児等で休業中の方は働いているものとみなします）（○は1つ）

既婚者の働き方について、「共働きである」（90.9%）と割合が最も高く、「夫のみ働いている」では1割弱となっている。

男女別にみると、「共働きである」は女性（96.7%）で、年齢では「40歳代」（94.7%）、職位では「会計年度任用職員」（95.0%）で割合が高くなっている。

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	共働きである	夫のみ働いている	妻のみ働いている
全 体		582 100.0	529 90.9	43 7.4	10 1.7
性 別	男性	278 100.0	235 84.5	43 15.5	0 0.0
	女性	304 100.0	294 96.7	0 0.0	10 3.3
年 齢	10～20歳代	33 100.0	28 84.8	5 15.2	0 0.0
	30歳代	165 100.0	154 93.3	10 6.1	1 0.6
	40歳代	189 100.0	179 94.7	10 5.3	0 0.0
	50歳以上	195 100.0	168 86.2	18 9.2	9 4.6
職 位	会計年度任用職員	200 100.0	190 95.0	4 2.0	6 3.0
	主任・主事級職員	187 100.0	168 89.8	19 10.2	0 0.0
	課長補佐・係長相当職	91 100.0	80 87.9	8 8.8	3 3.3
	課長相当職以上	46 100.0	40 87.0	6 13.0	0 0.0
	その他	28 100.0	22 78.6	5 17.9	1 3.6

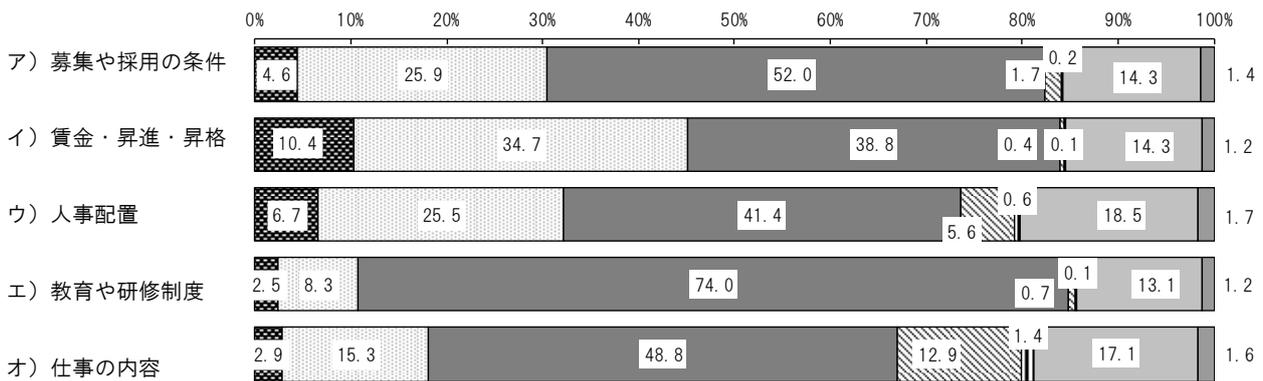
2. 男女平等に関する意識、慣習について

問5 次にあげる面で、性別によって差があると思いますか。ア～オの各面において、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。（○

次の場面で性別によって差があることについて、「平等」の割合をみると、『エ）教育や研修制度』（74.0%）で7割を越えて最も高く、『ア）募集や採用の条件』（52.0%）と続く。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかと言えば男性が優遇されている」を合わせた割合をみると、『イ）賃金・昇進・昇格』（45.1%）で4割を越えて高くなっている。

一方、「どちらかと言えば女性が優遇されている」では、『オ）仕事の内容』（12.9%）で他の項目よりも割合は高くなっている。



第6章 調査結果（職員意識調査票）

ア) 募集や採用の条件

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	ちらかと言 えば男性が 優遇されて いる	平等	どちらか と言えば女 性が優遇さ れている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		967 100.0	44 4.6	250 25.9	503 52.0	16 1.7	2 0.2	138 14.3	14 1.4
性 別	男性	456 100.0	20 4.4	126 27.6	256 56.1	7 1.5	1 0.2	40 8.8	6 1.3
	女性	509 100.0	24 4.7	124 24.4	247 48.5	9 1.8	1 0.2	98 19.3	6 1.2
年 齢	10～20歳代	119 100.0	2 1.7	19 16.0	76 63.9	3 2.5	0 0.0	19 16.0	0 0.0
	30歳代	276 100.0	11 4.0	57 20.7	158 57.2	7 2.5	1 0.4	40 14.5	2 0.7
	40歳代	277 100.0	15 5.4	77 27.8	135 48.7	1 0.4	0 0.0	45 16.2	4 1.4
	50歳以上	293 100.0	16 5.5	97 33.1	134 45.7	5 1.7	1 0.3	34 11.6	6 2.0
職 位	会計年度任用職員	358 100.0	12 3.4	83 23.2	178 49.7	8 2.2	1 0.3	73 20.4	3 0.8
	主任・主事級職員	298 100.0	16 5.4	68 22.8	179 60.1	6 2.0	0 0.0	27 9.1	2 0.7
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	6 4.5	36 26.9	77 57.5	0 0.0	0 0.0	12 9.0	3 2.2
	課長相当職以上	55 100.0	1 1.8	23 41.8	27 49.1	0 0.0	1 1.8	2 3.6	1 1.8
	その他	53 100.0	5 9.4	16 30.2	17 32.1	2 3.8	0 0.0	13 24.5	0 0.0

イ) 賃金・昇進・昇格

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	ちらかと言 えば男性が 優遇されて いる	平等	どちらか と言えば女 性が優遇さ れている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		967 100.0	101 10.4	336 34.7	375 38.8	4 0.4	1 0.1	138 14.3	12 1.2
性 別	男性	456 100.0	25 5.5	150 32.9	227 49.8	3 0.7	1 0.2	46 10.1	4 0.9
	女性	509 100.0	76 14.9	186 36.5	148 29.1	1 0.2	0 0.0	92 18.1	6 1.2
年 齢	10～20歳代	119 100.0	7 5.9	35 29.4	55 46.2	0 0.0	0 0.0	22 18.5	0 0.0
	30歳代	276 100.0	21 7.6	94 34.1	127 46.0	2 0.7	0 0.0	30 10.9	2 0.7
	40歳代	277 100.0	29 10.5	99 35.7	96 34.7	1 0.4	1 0.4	47 17.0	4 1.4
	50歳以上	293 100.0	44 15.0	108 36.9	97 33.1	1 0.3	0 0.0	39 13.3	4 1.4
職 位	会計年度任用職員	358 100.0	49 13.7	125 34.9	112 31.3	1 0.3	0 0.0	69 19.3	2 0.6
	主任・主事級職員	298 100.0	20 6.7	92 30.9	157 52.7	1 0.3	0 0.0	25 8.4	3 1.0
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	11 8.2	49 36.6	59 44.0	0 0.0	1 0.7	13 9.7	1 0.7
	課長相当職以上	55 100.0	8 14.5	23 41.8	21 38.2	2 3.6	0 0.0	1 1.8	0 0.0
	その他	53 100.0	6 11.3	21 39.6	12 22.6	0 0.0	0 0.0	14 26.4	0 0.0

第6章 調査結果（職員意識調査票）

ウ) 人事配置

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	ちらかと言 えば男性が 優遇されて いる	平 等	どちらか と言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		967 100.0	65 6.7	247 25.5	400 41.4	54 5.6	6 0.6	179 18.5	16 1.7
性 別	男性	456 100.0	17 3.7	100 21.9	223 48.9	41 9.0	6 1.3	62 13.6	7 1.5
	女性	509 100.0	48 9.4	147 28.9	177 34.8	13 2.6	0 0.0	117 23.0	7 1.4
年 齢	10～20歳代	119 100.0	3 2.5	23 19.3	60 50.4	4 3.4	0 0.0	29 24.4	0 0.0
	30歳代	276 100.0	11 4.0	63 22.8	123 44.6	24 8.7	1 0.4	51 18.5	3 1.1
	40歳代	277 100.0	30 10.8	66 23.8	106 38.3	18 6.5	5 1.8	47 17.0	5 1.8
	50歳以上	293 100.0	21 7.2	95 32.4	111 37.9	8 2.7	0 0.0	52 17.7	6 2.0
職 位	会計年度任用職員	358 100.0	32 8.9	88 24.6	132 36.9	10 2.8	0 0.0	91 25.4	5 1.4
	主任・主事級職員	298 100.0	10 3.4	67 22.5	153 51.3	24 8.1	3 1.0	39 13.1	2 0.7
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	11 8.2	34 25.4	57 42.5	13 9.7	3 2.2	15 11.2	1 0.7
	課長相当職以上	55 100.0	3 5.5	25 45.5	22 40.0	3 5.5	0 0.0	1 1.8	1 1.8
	その他	53 100.0	5 9.4	14 26.4	15 28.3	3 5.7	0 0.0	15 28.3	1 1.9

エ) 教育や研修制度

(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	ちらかと言 えば男性が 優遇されて いる	平 等	どちらか と言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		967 100.0	24 2.5	80 8.3	716 74.0	7 0.7	1 0.1	127 13.1	12 1.2
性 別	男性	456 100.0	8 1.8	28 6.1	371 81.4	4 0.9	1 0.2	39 8.6	5 1.1
	女性	509 100.0	16 3.1	52 10.2	345 67.8	3 0.6	0 0.0	88 17.3	5 1.0
年 齢	10～20歳代	119 100.0	0 0.0	3 2.5	96 80.7	1 0.8	0 0.0	19 16.0	0 0.0
	30歳代	276 100.0	5 1.8	11 4.0	226 81.9	3 1.1	0 0.0	29 10.5	2 0.7
	40歳代	277 100.0	9 3.2	30 10.8	197 71.1	1 0.4	1 0.4	36 13.0	3 1.1
	50歳以上	293 100.0	10 3.4	36 12.3	197 67.2	2 0.7	0 0.0	43 14.7	5 1.7
職 位	会計年度任用職員	358 100.0	13 3.6	28 7.8	232 64.8	2 0.6	0 0.0	81 22.6	2 0.6
	主任・主事級職員	298 100.0	4 1.3	16 5.4	258 86.6	2 0.7	0 0.0	16 5.4	2 0.7
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	3 2.2	11 8.2	110 82.1	2 1.5	1 0.7	6 4.5	1 0.7
	課長相当職以上	55 100.0	1 1.8	8 14.5	44 80.0	1 1.8	0 0.0	1 1.8	0 0.0
	その他	53 100.0	3 5.7	7 13.2	33 62.3	0 0.0	0 0.0	9 17.0	1 1.9

第6章 調査結果（職員意識調査票）

オ) 仕事の内容

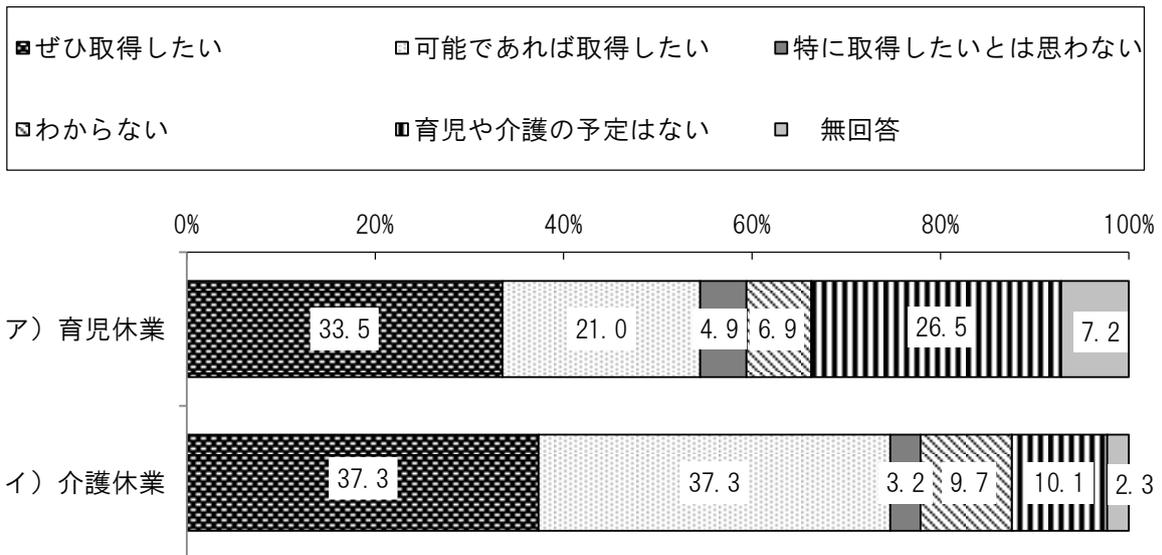
(上段：実数、下段：割合)

		全 体	男性の方が 優遇されて いる	ちらかと言 えば男性が 優遇されて いる	平 等	どちらか と言えば女 性が優遇さ れている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		967 100.0	28 2.9	148 15.3	472 48.8	125 12.9	14 1.4	165 17.1	15 1.6
性 別	男性	456 100.0	11 2.4	65 14.3	239 52.4	70 15.4	9 2.0	55 12.1	7 1.5
	女性	509 100.0	17 3.3	83 16.3	233 45.8	55 10.8	5 1.0	110 21.6	6 1.2
年 齢	10～20歳代	119 100.0	0 0.0	9 7.6	65 54.6	17 14.3	1 0.8	27 22.7	0 0.0
	30歳代	276 100.0	5 1.8	28 10.1	146 52.9	40 14.5	4 1.4	51 18.5	2 0.7
	40歳代	277 100.0	9 3.2	50 18.1	120 43.3	43 15.5	6 2.2	44 15.9	5 1.8
	50歳以上	293 100.0	14 4.8	61 20.8	141 48.1	25 8.5	3 1.0	43 14.7	6 2.0
職 位	会計年度任用職員	358 100.0	15 4.2	51 14.2	151 42.2	40 11.2	4 1.1	92 25.7	5 1.4
	主任・主事級職員	298 100.0	3 1.0	36 12.1	178 59.7	41 13.8	5 1.7	33 11.1	2 0.7
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	4 3.0	23 17.2	65 48.5	24 17.9	4 3.0	13 9.7	1 0.7
	課長相当職以上	55 100.0	0 0.0	16 29.1	28 50.9	9 16.4	0 0.0	2 3.6	0 0.0
	その他	53 100.0	3 5.7	12 22.6	20 37.7	5 9.4	1 1.9	11 20.8	1 1.9

3. 育児休業・介護休業の取得について

問6 あなたは、これから先機会があれば育児休業・介護休業を取得したいと思いますか。
（○は1つ）

育児休業・介護休業について、「ぜひ取得したい」と「可能であれば取得したい」を合わせると育児休業では44.5%が、介護休業では74.6%が取得したいとなっている。



ア) 育児休業

育児休業について、男女別にみると「ぜひ取得したい」の割合は女性で4割を越えて男性より高くなっているが、「ぜひ取得したい」と「可能であれば取得したい」を合わせた割合は、男性（56.1%）と女性（53.3%）での差はあまりみられない。

年齢別にみると、「ぜひ取得したい」の割合は10～20歳代と30歳代で5割を越える。

職位別にみると、「ぜひ取得したい」と「可能であれば取得したい」を合わせた割合では主任・主事級職員では7割を越えて他の職位よりも高くなっている。

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	ぜひ取得したい	可能であれば取得したい	特に取得したいとは思わない	わからない	育児や介護の予定はない	無回答
全 体		967 100.0	324 33.5	203 21.0	47 4.9	67 6.9	256 26.5	70 7.2
性別	男性	456 100.0	120 26.3	136 29.8	36 7.9	49 10.7	94 20.6	21 4.6
	女性	509 100.0	204 40.1	67 13.2	11 2.2	18 3.5	162 31.8	47 9.2
年齢	10～20歳代	119 100.0	62 52.1	33 27.7	2 1.7	11 9.2	10 8.4	1 0.8
	30歳代	276 100.0	157 56.9	66 23.9	15 5.4	14 5.1	22 8.0	2 0.7
	40歳代	277 100.0	73 26.4	67 24.2	19 6.9	18 6.5	91 32.9	9 3.2
	50歳以上	293 100.0	32 10.9	37 12.6	11 3.8	24 8.2	133 45.4	56 19.1
職位	会計年度任用職員	358 100.0	129 36.0	60 16.8	13 3.6	28 7.8	105 29.3	23 6.4
	主任・主事級職員	298 100.0	133 44.6	87 29.2	19 6.4	17 5.7	34 11.4	8 2.7
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	25 18.7	26 19.4	9 6.7	10 7.5	56 41.8	8 6.0
	課長相当職以上	55 100.0	7 12.7	10 18.2	3 5.5	5 9.1	27 49.1	3 5.5
	その他	53 100.0	16 30.2	10 18.9	2 3.8	3 5.7	16 30.2	6 11.3

イ) 介護休業

介護休業について、男女別にみると「ぜひ取得したい」の割合は、女性（44.8%）が男性（29.2%）より高くなっている。

年齢別にみると、「ぜひ取得したい」と「可能であれば取得したい」を合わせた割合では30歳代（81.1%）で8割を越える。

職位別にみると、「ぜひ取得したい」の割合は、会計年度任用職員（41.1%）や「主任・主事級職員」（41.1%）で他の職位よりも割合が高くなっている。

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	ぜひ取得したい	可能であれば取得したい	特に取得したいとは思わない	わからない	育児や介護の予定はない	無回答
全 体		967 100.0	361 37.3	361 37.3	31 3.2	94 9.7	98 10.1	22 2.3
性別	男性	456 100.0	133 29.2	182 39.9	27 5.9	57 12.5	46 10.1	11 2.4
	女性	509 100.0	228 44.8	179 35.2	4 0.8	37 7.3	52 10.2	9 1.8
年齢	10～20歳代	119 100.0	45 37.8	43 36.1	4 3.4	16 13.4	10 8.4	1 0.8
	30歳代	276 100.0	132 47.8	92 33.3	12 4.3	22 8.0	16 5.8	2 0.7
	40歳代	277 100.0	97 35.0	116 41.9	7 2.5	26 9.4	26 9.4	5 1.8
	50歳以上	293 100.0	87 29.7	110 37.5	8 2.7	30 10.2	46 15.7	12 4.1
職位	会計年度任用職員	358 100.0	147 41.1	125 34.9	6 1.7	35 9.8	41 11.5	4 1.1
	主任・主事級職員	298 100.0	121 40.6	118 39.6	12 4.0	26 8.7	20 6.7	1 0.3
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	43 32.1	61 45.5	6 4.5	14 10.4	10 7.5	0 0.0
	課長相当職以上	55 100.0	12 21.8	20 36.4	3 5.5	7 12.7	11 20.0	2 3.6
	その他	53 100.0	19 35.8	16 30.2	2 3.8	5 9.4	8 15.1	3 5.7

問7 あなたは、現在の職場環境で1か月以上の育児休業・介護休業を取得できると思いますか。（○は1つ）

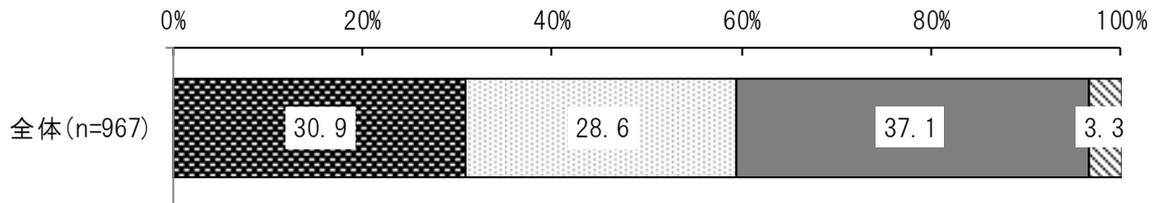
職場での休業取得について、「取得できるとは思わない」（37.1%）で最も高く、「取得できる」（30.9%）、「どちらともいえない」（28.6%）と続く。

男女別にみると、女性では「取得できると思う」（37.3%）が4割弱で割合が高いのに対し、男性では「取得できるとは思わない」（44.1%）が4割強と高くなっている。

年齢別にみると、「取得できるとは思わない」は40歳代（48.0%）で高い。

職位別にみると、課長補佐・係長相当職では「取得できるとは思わない」（42.5%）の割合が他の職位よりも高くなっている。

■取得できると思う □どちらともいえない ■取得できるとは思わない □無回答



（上段：実数、下段：割合）

		全 体	取得できる と思う	どちらとも いえない	取得できる とは思わない	無回答
全 体		967	299	277	359	32
		100.0	30.9	28.6	37.1	3.3
性別	男性	456	109	133	201	13
		100.0	23.9	29.2	44.1	2.9
	女性	509	190	144	158	17
		100.0	37.3	28.3	31.0	3.3
年齢	10～20歳代	119	49	36	33	1
		100.0	41.2	30.3	27.7	0.8
	30歳代	276	109	72	95	0
		100.0	39.5	26.1	34.4	0.0
	40歳代	277	66	71	133	7
		100.0	23.8	25.6	48.0	2.5
	50歳以上	293	75	98	98	22
		100.0	25.6	33.4	33.4	7.5
職位	会計年度任用職員	358	104	120	129	5
		100.0	29.1	33.5	36.0	1.4
	主任・主事級職員	298	106	67	122	3
		100.0	35.6	22.5	40.9	1.0
	課長補佐・係長相当職	134	34	41	57	2
	100.0	25.4	30.6	42.5	1.5	
	課長相当職以上	55	18	16	20	1
		100.0	32.7	29.1	36.4	1.8
	その他	53	23	12	15	3
		100.0	43.4	22.6	28.3	5.7

問8 問7で「3. 取得できるとは思わない」と答えた方にお尋ねします。
 あなたがそのように思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

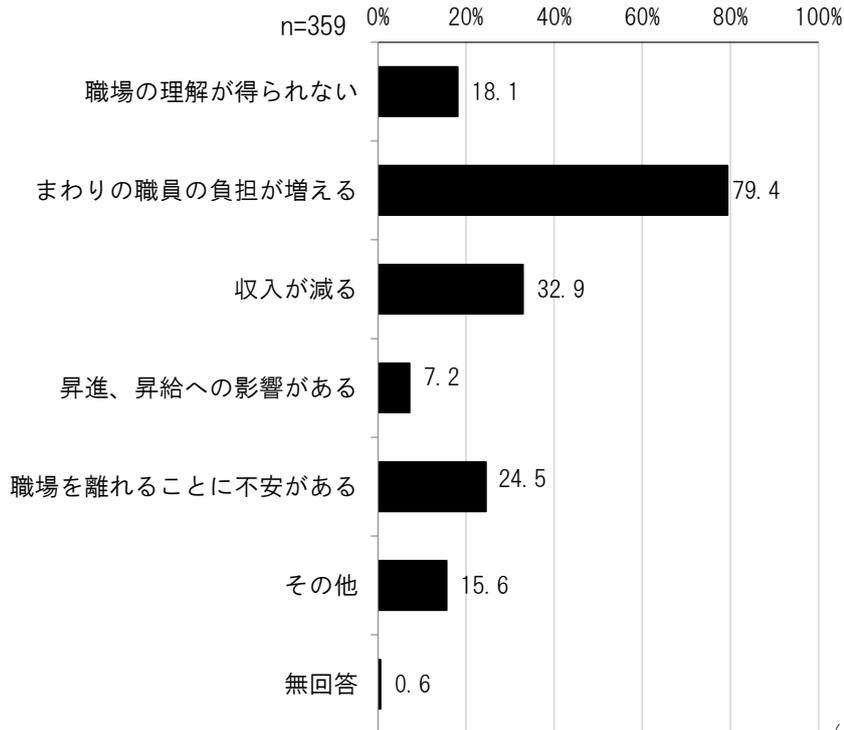
休業取得できない理由について、「まわりの職員の負担が増える」（79.4%）が7割強で最も高く、「収入が減る」（32.9%）、「職場を離れることに不安がある」（24.5%）と続く。

男女別にみると、男性では「周りの職員への負担が増える」（86.6%）や「職場を離れることに不安がある」（31.3%）で女性より割合が高い。

一方で、女性では「収入が減る」（44.3%）や「その他」（22.2%）で男性より高い。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「まわりの職員の負担が増える」の割合が高い。

職位別にみると、会計年度任用職員やその他の職員で「収入が減る」で5割弱となる。



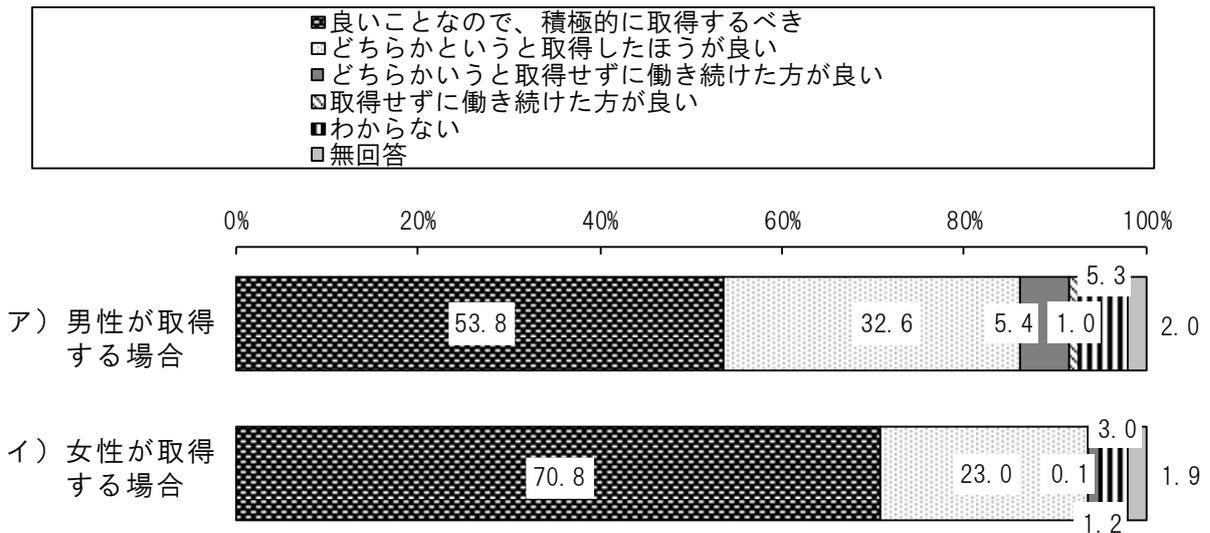
（上段：実数、下段：割合）

		全体	職場の理解 が得られ ない	まわりの職 員の負担が 増える	収入が減 る	昇進、昇給 への影響が ある	職場を離れ ることに不 安がある	その他	無回答
全体		359	65	285	118	26	88	56	2
		100.0	18.1	79.4	32.9	7.2	24.5	15.6	0.6
性別	男性	201	45	174	48	21	63	21	1
		100.0	22.4	86.6	23.9	10.4	31.3	10.4	0.5
	女性	158	20	111	70	5	25	35	1
		100.0	12.7	70.3	44.3	3.2	15.8	22.2	0.6
年齢	10～20歳代	33	5	23	11	3	9	5	0
		100.0	15.2	69.7	33.3	9.1	27.3	15.2	0.0
	30歳代	95	15	75	28	5	24	18	1
		100.0	15.8	78.9	29.5	5.3	25.3	18.9	1.1
	40歳代	133	26	106	45	15	40	22	0
	100.0	19.5	79.7	33.8	11.3	30.1	16.5	0.0	
	98	19	81	34	3	15	11	1	
	100.0	19.4	82.7	34.7	3.1	15.3	11.2	1.0	
職位	会計年度任用職員	129	19	79	64	3	19	31	1
		100.0	14.7	61.2	49.6	2.3	14.7	24.0	0.8
	主任・主事級職員	122	28	110	29	18	41	10	0
		100.0	23.0	90.2	23.8	14.8	33.6	8.2	0.0
	課長補佐・係長相当職	57	9	53	8	4	19	8	0
		100.0	15.8	93.0	14.0	7.0	33.3	14.0	0.0
課長相当職以上	20	5	19	1	0	1	1	0	
	100.0	25.0	95.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	
その他	15	3	13	7	1	4	3	0	
	100.0	20.0	86.7	46.7	6.7	26.7	20.0	0.0	

問9 同僚や部下、上司など、職場の仲間から育児休業や介護休業を取得したいと相談されたとき、あなたはどのように思いますか。男性が取得する場合と女性が取得する場合に分けてお答えください。（○は1つ）

職場の仲間から休業について相談された時の思いについて、「良いことなので、積極的に取得すべき」と「どちらかという取得したほうが良い」を合わせた割合をみると、男性が取得する場合は8割強で、女性が取得する場合は9割強となっている。

特に、「良いことなので、積極的に取得すべき」では、『ア）男性が取得する場合』（53.8%）では5割強に対し、『イ）女性が取得する場合』（70.8%）では7割を超える。



ア) 男性が取得する場合

男性が取得する場合について、男女別にみると「良いことなので、積極的に取得すべき」では男性（49.3%）より女性（58.0%）で割合が高くなっている。

年齢別についてみると、「良いことなので、積極的に取得すべき」では30歳代以下で6割を越えて高く、50歳以上（40.6%）と比較すると25%以上高くなっている。

職位別に見ると、「良いことなので、積極的に取得すべき」では主任・主事級職員で6割となっている。

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	良いことなので、積極的に取得すべき	どちらかという取得したほうが良い	どちらかいうと取得せずに働き続けた方が良い	取得せずに働き続けた方が良い	わからない	無回答
全 体		967 100.0	520 53.8	315 32.6	52 5.4	10 1.0	51 5.3	19 2.0
性別	男性	456 100.0	225 49.3	178 39.0	24 5.3	5 1.1	19 4.2	5 1.1
	女性	509 100.0	295 58.0	137 26.9	28 5.5	5 1.0	32 6.3	12 2.4
年齢	10～20歳代	119 100.0	81 68.1	33 27.7	1 0.8	0 0.0	2 1.7	2 1.7
	30歳代	276 100.0	182 65.9	75 27.2	9 3.3	1 0.4	9 3.3	0 0.0
	40歳代	277 100.0	138 49.8	85 30.7	24 8.7	5 1.8	22 7.9	3 1.1
	50歳以上	293 100.0	119 40.6	122 41.6	18 6.1	4 1.4	18 6.1	12 4.1
職位	会計年度任用職員	358 100.0	208 58.1	109 30.4	16 4.5	5 1.4	16 4.5	4 1.1
	主任・主事級職員	298 100.0	181 60.7	93 31.2	12 4.0	2 0.7	10 3.4	0 0.0
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	57 42.5	56 41.8	8 6.0	2 1.5	11 8.2	0 0.0
	課長相当職以上	55 100.0	22 40.0	26 47.3	6 10.9	1 1.8	0 0.0	0 0.0
	その他	53 100.0	30 56.6	12 22.6	6 11.3	0 0.0	4 7.5	1 1.9

イ) 女性が取得する場合

女性が取得する場合について、男女別にみると、「良いことなので、積極的に取得するべき」では女性（73.5%）が男性（68.2%）より割合が高くなっている。

年齢別にみると、「良いことなので、積極的に取得するべき」では30歳代以下では8割を越えており、40歳代以上よりも2割程高くなっている。

職位別にみると、「良いことなので、積極的に取得するべき」では主任・主事級職員（78.5%）で割合が最も高くなっている。

（上段：実数、下段：割合）

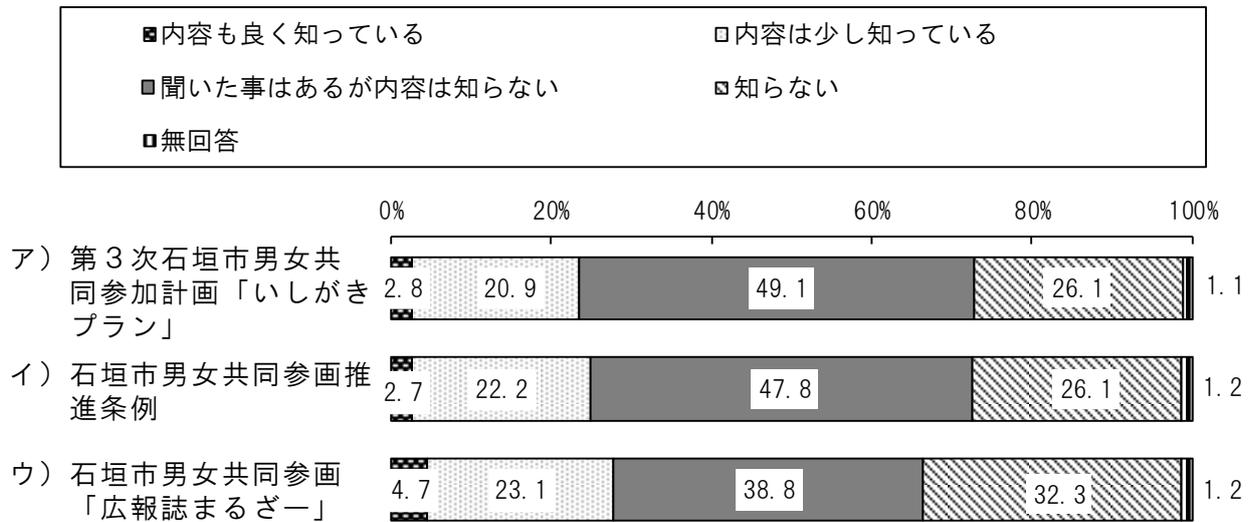
		全 体	良いことなので、積極的に取得するべき	どちらかというくと取得したほうが良い	どちらかというくと取得せずに働き続けた方が良い	取得せずに働き続けた方が良い	わからない	無回答
全 体		967 100.0	685 70.8	222 23.0	12 1.2	1 0.1	29 3.0	18 1.9
性別	男性	456 100.0	311 68.2	112 24.6	9 2.0	0 0.0	13 2.9	11 2.4
	女性	509 100.0	374 73.5	110 21.6	3 0.6	1 0.2	16 3.1	5 1.0
年齢	10～20歳代	119 100.0	101 84.9	15 12.6	0 0.0	0 0.0	2 1.7	1 0.8
	30歳代	276 100.0	227 82.2	44 15.9	1 0.4	0 0.0	4 1.4	0 0.0
	40歳代	277 100.0	181 65.3	72 26.0	4 1.4	1 0.4	16 5.8	3 1.1
	50歳以上	293 100.0	176 60.1	91 31.1	7 2.4	0 0.0	7 2.4	12 4.1
職位	会計年度任用職員	358 100.0	265 74.0	77 21.5	2 0.6	1 0.3	12 3.4	1 0.3
	主任・主事級職員	298 100.0	234 78.5	55 18.5	2 0.7	0 0.0	6 2.0	1 0.3
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	81 60.4	45 33.6	1 0.7	0 0.0	7 5.2	0 0.0
	課長相当職以上	55 100.0	33 60.0	17 30.9	4 7.3	0 0.0	0 0.0	1 1.8
	その他	53 100.0	38 71.7	10 18.9	1 1.9	0 0.0	1 1.9	3 5.7

問10 あなたは、次にあげる言葉を知っていますか。次のア～ウの言葉について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。（○は1つ）

男女共同参画に関連する言葉について、全ての項目で「聞いた事はあるが内容は知らない」が3～4割と最も割合が高くなっている。

「内容も良く知っている」と「内容は少し知っている」を合わせた割合をみると、ア～ウ）のいずれの言葉も3割弱となっている

ア）第3次石垣市男女共同参画計画「いしがきプラン」については、「知らない」（26.1%）が2割程である。



ア) 第3次石垣市男女共同参画計画「いしがきプラン」

男女別にみると、「知らない」の割合は女性（31.4%）が男性（20.2%）より1割程高くなっている。
 年齢別にみると、「内容は少し知っている」では年齢が上がるにつれて、割合も高くなっている。
 職位別にみると、「内容も良く知っている」では課長相当職以上（25.5%）で他の職位よりも割合が高くなっている。

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	内容も良く 知っている	内容は少し 知っている	聞いた事は あるが内容 は知らない	知らない	無回答
全 体		967 100.0	27 2.8	202 20.9	475 49.1	252 26.1	11 1.1
性別	男性	456 100.0	17 3.7	117 25.7	225 49.3	92 20.2	5 1.1
	女性	509 100.0	10 2.0	85 16.7	250 49.1	160 31.4	4 0.8
年齢	10～20歳代	119 100.0	1 0.8	8 6.7	58 48.7	51 42.9	1 0.8
	30歳代	276 100.0	4 1.4	43 15.6	149 54.0	80 29.0	0 0.0
	40歳代	277 100.0	6 2.2	66 23.8	134 48.4	69 24.9	2 0.7
	50歳以上	293 100.0	16 5.5	85 29.0	134 45.7	52 17.7	6 2.0
職位	会計年度任用職員	358 100.0	3 0.8	36 10.1	155 43.3	164 45.8	0 0.0
	主任・主事級職員	298 100.0	5 1.7	60 20.1	187 62.8	46 15.4	0 0.0
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	5 3.7	54 40.3	67 50.0	8 6.0	0 0.0
	課長相当職以上	55 100.0	14 25.5	27 49.1	14 25.5	0 0.0	0 0.0
	その他	53 100.0	0 0.0	12 22.6	24 45.3	16 30.2	1 1.9

イ) 石垣市男女共同参画推進条例

男女別にみると、「知らない」の割合は女性（32.4%）が男性（19.1%）より高くなっている。
 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「知らない」の割合が下がり、認知度が高くなっている。
 職位別にみると、「内容も良く知っている」と「内容は少し知っている」を合わせた割合は課長相当職以上で7割を越える。

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	内容も良く 知っている	内容は少し 知っている	聞いた事は あるが内容 は知らない	知らない	無回答
全 体		967 100.0	26 2.7	215 22.2	462 47.8	252 26.1	12 1.2
性別	男性	456 100.0	17 3.7	126 27.6	220 48.2	87 19.1	6 1.3
	女性	509 100.0	9 1.8	89 17.5	242 47.5	165 32.4	4 0.8
年 齢	10～20歳代	119 100.0	0 0.0	14 11.8	57 47.9	47 39.5	1 0.8
	30歳代	276 100.0	5 1.8	48 17.4	138 50.0	85 30.8	0 0.0
	40歳代	277 100.0	6 2.2	67 24.2	133 48.0	69 24.9	2 0.7
	50歳以上	293 100.0	15 5.1	86 29.4	134 45.7	51 17.4	7 2.4
職 位	会計年度任用職員	358 100.0	3 0.8	44 12.3	149 41.6	162 45.3	0 0.0
	主任・主事級職員	298 100.0	6 2.0	67 22.5	181 60.7	43 14.4	1 0.3
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	4 3.0	54 40.3	68 50.7	8 6.0	0 0.0
	課長相当職以上	55 100.0	13 23.6	28 50.9	12 21.8	2 3.6	0 0.0
	その他	53 100.0	0 0.0	11 20.8	21 39.6	20 37.7	1 1.9

ウ) 石垣市男女共同参画「広報誌まるごと」

男女別にみると、「知らない」では女性（36.1%）が男性（28.1%）より高くなっている。
 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて認知度が高くなっている。

職位別にみると、「内容も良く知っている」と「内容は少し知っている」を合わせた割合は課長相当職以上で7割を越えており、職位が上がるにつれて認知度も高くなっている。

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	内容も良く 知っている	内容は少し 知っている	聞いた事は あるが内容 は知らない	知らない	無回答
全 体		967 100.0	45 4.7	223 23.1	375 38.8	312 32.3	12 1.2
性 別	男性	456 100.0	22 4.8	113 24.8	187 41.0	128 28.1	6 1.3
	女性	509 100.0	23 4.5	110 21.6	188 36.9	184 36.1	4 0.8
年 齢	10～20歳代	119 100.0	0 0.0	7 5.9	45 37.8	66 55.5	1 0.8
	30歳代	276 100.0	8 2.9	42 15.2	106 38.4	120 43.5	0 0.0
	40歳代	277 100.0	10 3.6	82 29.6	111 40.1	72 26.0	2 0.7
	50歳以上	293 100.0	27 9.2	92 31.4	113 38.6	54 18.4	7 2.4
職 位	会計年度任用職員	358 100.0	6 1.7	44 12.3	122 34.1	186 52.0	0 0.0
	主任・主事級職員	298 100.0	8 2.7	64 21.5	149 50.0	76 25.5	1 0.3
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	7 5.2	65 48.5	54 40.3	8 6.0	0 0.0
	課長相当職以上	55 100.0	16 29.1	24 43.6	13 23.6	2 3.6	0 0.0
	その他	53 100.0	2 3.8	13 24.5	17 32.1	20 37.7	1 1.9

問12 問11で「2. 主任・主事級職員」「3. 課長補佐・係長相当職」「4. 課長相当職以上」と答えた方にお尋ねします。

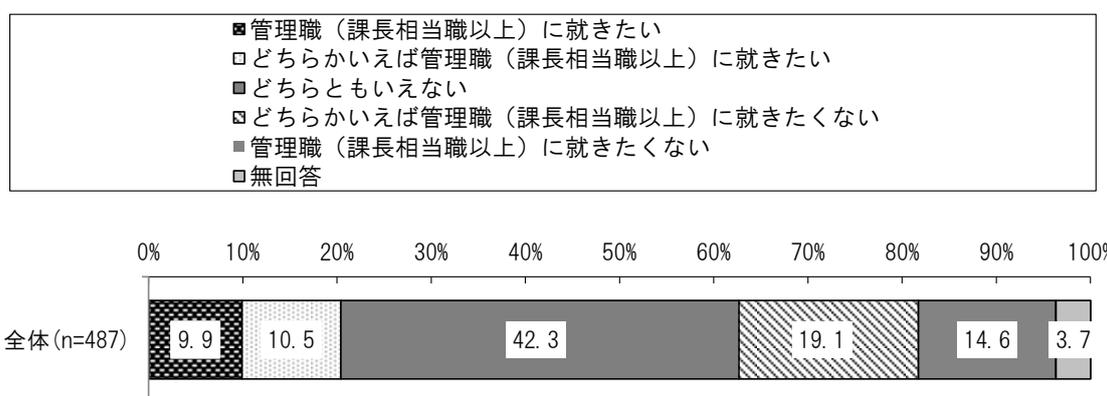
あなたは、管理職（課長相当職以上）に就きたいですか。（○は1つ）

管理職への意向について、「どちらともいえない」（42.3%）が最も高く、「どちらかと言えば管理職に就きたくない」と「管理職に就きたくない」を合わせた割合は3割を超える。一方で、「管理職に就きたい」と「どちらかといえば管理職に就きたい」を合わせた就きたい割合は2割程となっている。

男女別にみると、「どちらかと言えばつきたくない」と「就きたくない」を合わせた割合は女性（51.0%）が男性（26.2%）より高くなっている。

年齢別にみると、「どちらともいえない」では10～20歳代で5割強となっている。

職位別にみると、課長相当職以上での就きたい割合が3割と、他の職位よりも高くなっている。



（上段：実数、下段：割合）

	全 体	意向					無回答	
		管理職（課長相当職以上）に就きたい	どちらかといえば管理職（課長相当職以上）に就きたい	どちらともいえない	どちらかといえば管理職（課長相当職以上）に就きたくない	管理職（課長相当職以上）に就きたくない		
全 体	487 100.0	48 9.9	51 10.5	206 42.3	93 19.1	71 14.6	18 3.7	
性別	男性	340 100.0	43 12.6	38 11.2	155 45.6	51 15.0	38 11.2	15 4.4
	女性	147 100.0	5 3.4	13 8.8	51 34.7	42 28.6	33 22.4	3 2.0
年齢	10～20歳代	42 100.0	5 11.9	7 16.7	22 52.4	4 9.5	4 9.5	0 0.0
	30歳代	169 100.0	19 11.2	21 12.4	62 36.7	32 18.9	29 17.2	6 3.6
	40歳代	166 100.0	11 6.6	15 9.0	75 45.2	34 20.5	26 15.7	5 3.0
	50歳以上	110 100.0	13 11.8	8 7.3	47 42.7	23 20.9	12 10.9	7 6.4
職位	会計年度任用職員	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	主任・主事級職員	298 100.0	29 9.7	34 11.4	122 40.9	58 19.5	47 15.8	8 2.7
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	7 5.2	12 9.0	62 46.3	30 22.4	22 16.4	1 0.7
	課長相当職以上	55 100.0	12 21.8	5 9.1	22 40.0	5 9.1	2 3.6	9 16.4
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

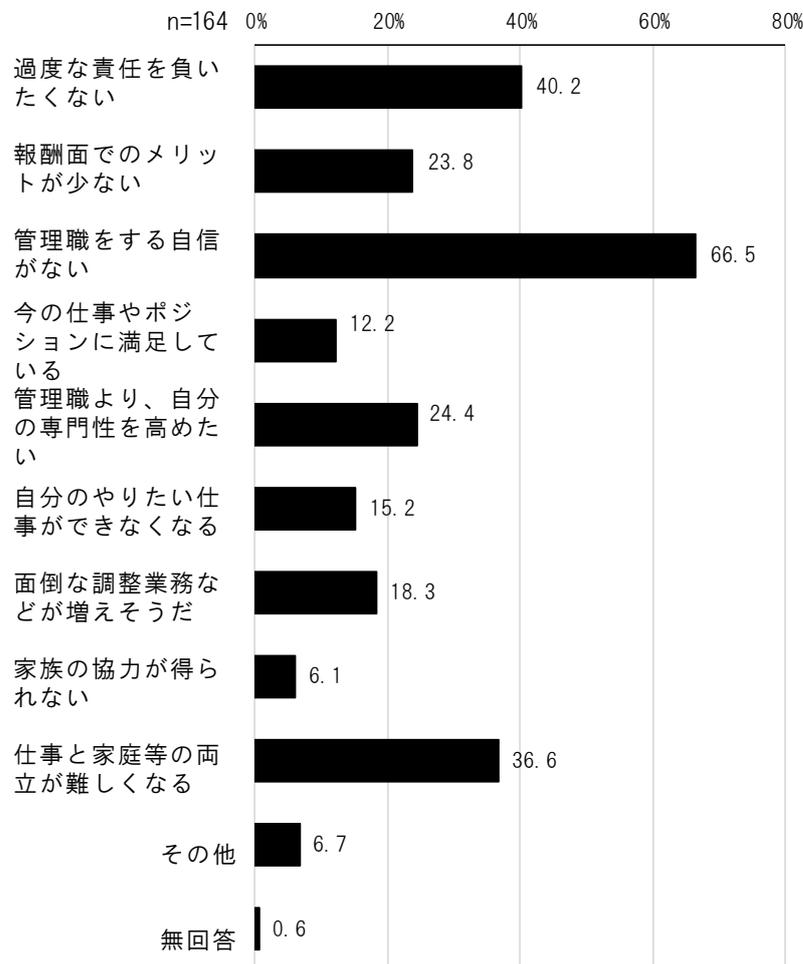
問13 問12で就きたくないと答えた方にお尋ねします。
 あなたがそのように思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

管理職に就きたくない理由について、「管理職をする自身がない」（66.5%）が最も高く、「過度な責任を負いたくない」（40.2%）、「仕事と家事等の両立が難しくなる」（36.6%）と続く。

男女にみると、「管理職をする自身がない」や「仕事と家事等の両立が難しくなる」の項目で男性より女性の割合が高くなっている。

年齢別にみると、「過度な責任を負いたくない」は30歳代で5割弱となっている。

職位別にみると、どの職位でも「管理職をする自身がない」の項目で最も高くなっているが主任・主事級職員では「過度な責任を負いたくない」や「仕事と家事等の両立が難しくなる」で4割前後となっている。



第6章 調査結果（職員意識調査票）

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	過度な責任を負いたくない	報酬面でのメリットが少ない	管理職をやる自信がない	今の仕事やポジションに満足している	管理職より、自分の専門性を高めたい	自分のやりたい仕事ができなくなる
全 体		164 100.0	66 40.2	39 23.8	109 66.5	20 12.2	40 24.4	25 15.2
性別	男性	89 100.0	39 43.8	27 30.3	50 56.2	12 13.5	23 25.8	18 20.2
	女性	75 100.0	27 36.0	12 16.0	59 78.7	8 10.7	17 22.7	7 9.3
年齢	10～20歳代	8 100.0	2 25.0	1 12.5	6 75.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5
	30歳代	61 100.0	30 49.2	19 31.1	42 68.9	7 11.5	15 24.6	8 13.1
	40歳代	60 100.0	21 35.0	16 26.7	37 61.7	9 15.0	14 23.3	12 20.0
	50歳以上	35 100.0	13 37.1	3 8.6	24 68.6	4 11.4	9 25.7	4 11.4
職位	会計年度任用職員	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	主任・主事級職員	105 100.0	47 44.8	25 23.8	71 67.6	16 15.2	23 21.9	15 14.3
	課長補佐・係長相当職	52 100.0	15 28.8	13 25.0	33 63.5	4 7.7	16 30.8	9 17.3
	課長相当職以上	7 100.0	4 57.1	1 14.3	5 71.4	0 0.0	1 14.3	1 14.3
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		全 体	面倒な調整業務などが増えそうだ	家族の協力が得られない	仕事と家庭等の両立が難しくなる	その他	無回答	
全 体		164 100.0	30 18.3	10 6.1	60 36.6	11 6.7	1 0.6	
性別	男性	89 100.0	22 24.7	5 5.6	20 22.5	6 6.7	1 1.1	
	女性	75 100.0	8 10.7	5 6.7	40 53.3	5 6.7	0 0.0	
年齢	10～20歳代	8 100.0	1 12.5	0 0.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	
	30歳代	61 100.0	11 18.0	5 8.2	22 36.1	2 3.3	0 0.0	
	40歳代	60 100.0	12 20.0	2 3.3	20 33.3	5 8.3	1 1.7	
	50歳以上	35 100.0	6 17.1	3 8.6	13 37.1	3 8.6	0 0.0	
職位	会計年度任用職員	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	主任・主事級職員	105 100.0	19 18.1	7 6.7	41 39.0	5 4.8	1 1.0	
	課長補佐・係長相当職	52 100.0	10 19.2	3 5.8	17 32.7	5 9.6	0 0.0	
	課長相当職以上	7 100.0	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

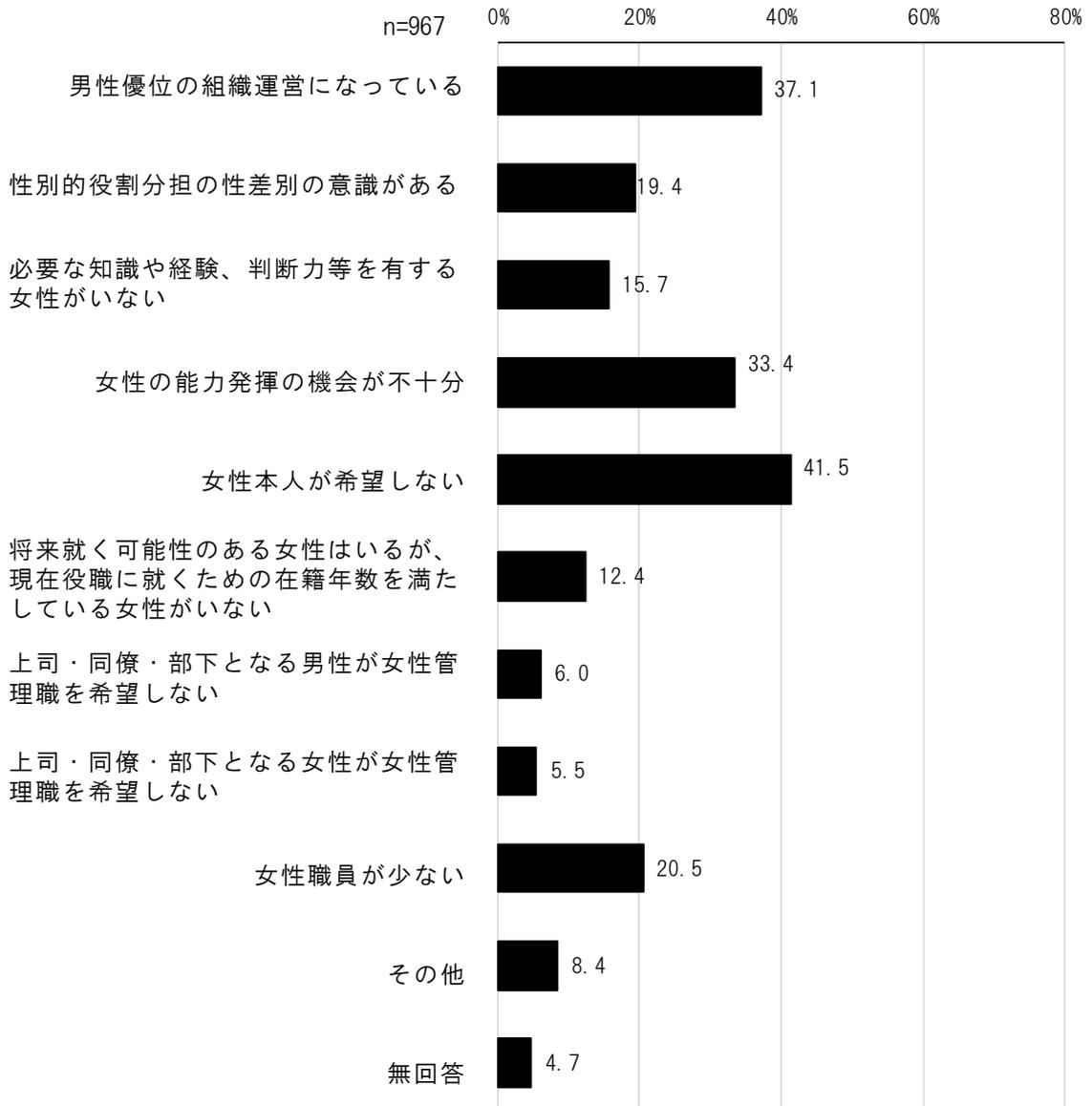
問14 「第3次石垣市男女共同参画計画」では、市管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合を令和7年度までに20%とすることを目標にしています（令和元年度現在：10.0%）。あなたは、市役所において女性の管理職登用が進んでいない理由はなぜだと思いますか。（〇はいくつでも）

女性の管理職登用が進んでいない理由について、「女性本人が希望しない」（41.5%）の割合で最も高く、「男性優位の組織運営になっている」（37.1%）、「女性の能力発揮の機会が不十分」（33.4%）と続く。

男女別にみると、「男性優位の組織運営になっている」では、女性（47.2%）が男性（26.1%）より21.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「女性本人が希望しない」では、30歳代、40歳代で4割を越えて他の年齢より高い。

職位別にみると、「男性優位の組織運営になっている」では、その他（58.5%）と他の職位よりも最も高くなっている。



第6章 調査結果（職員意識調査票）

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	男性優位の 組織運営に なっている	性的役割 分担の性差 別の意識が ある	必要な知識 や経験、判 断力等を有 する女性 が少ない	女性の能力 発揮の機会 が不十分	女性本人が 希望しない	将来就く可 能性のある 女性はある が、現在役 職に就くた めの在籍年 数を満たし ている女性 が少ない
全 体		967 100.0	359 37.1	188 19.4	152 15.7	323 33.4	401 41.5	120 12.4
性別	男性	456 100.0	119 26.1	84 18.4	61 13.4	141 30.9	188 41.2	48 10.5
	女性	509 100.0	240 47.2	104 20.4	91 17.9	182 35.8	213 41.8	72 14.1
年齢	10～20歳代	119 100.0	38 31.9	19 16.0	15 12.6	30 25.2	40 33.6	16 13.4
	30歳代	276 100.0	92 33.3	57 20.7	42 15.2	85 30.8	131 47.5	47 17.0
	40歳代	277 100.0	109 39.4	59 21.3	42 15.2	75 27.1	123 44.4	32 11.6
	50歳以上	293 100.0	120 41.0	53 18.1	53 18.1	133 45.4	107 36.5	25 8.5
職位	会計年度任用職員	358 100.0	166 46.4	75 20.9	53 14.8	141 39.4	117 32.7	38 10.6
	主任・主事級職員	298 100.0	77 25.8	56 18.8	42 14.1	74 24.8	148 49.7	53 17.8
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	47 35.1	22 16.4	23 17.2	44 32.8	72 53.7	14 10.4
	課長相当職以上	55 100.0	11 20.0	9 16.4	5 9.1	24 43.6	29 52.7	5 9.1
	その他	53 100.0	31 58.5	13 24.5	14 26.4	19 35.8	15 28.3	6 11.3
全 体		967 100.0	58 6.0	53 5.5	198 20.5	81 8.4	45 4.7	
性別	男性	456 100.0	15 3.3	25 5.5	124 27.2	33 7.2	23 5.0	
	女性	509 100.0	43 8.4	28 5.5	74 14.5	48 9.4	20 3.9	
年齢	10～20歳代	119 100.0	5 4.2	5 4.2	33 27.7	10 8.4	4 3.4	
	30歳代	276 100.0	8 2.9	16 5.8	65 23.6	18 6.5	10 3.6	
	40歳代	277 100.0	17 6.1	13 4.7	57 20.6	34 12.3	15 5.4	
	50歳以上	293 100.0	28 9.6	19 6.5	43 14.7	19 6.5	14 4.8	
職位	会計年度任用職員	358 100.0	30 8.4	18 5.0	60 16.8	29 8.1	11 3.1	
	主任・主事級職員	298 100.0	8 2.7	21 7.0	77 25.8	24 8.1	13 4.4	
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	6 4.5	4 3.0	25 18.7	13 9.7	6 4.5	
	課長相当職以上	55 100.0	2 3.6	4 7.3	18 32.7	3 5.5	1 1.8	
	その他	53 100.0	8 15.1	3 5.7	9 17.0	5 9.4	2 3.8	

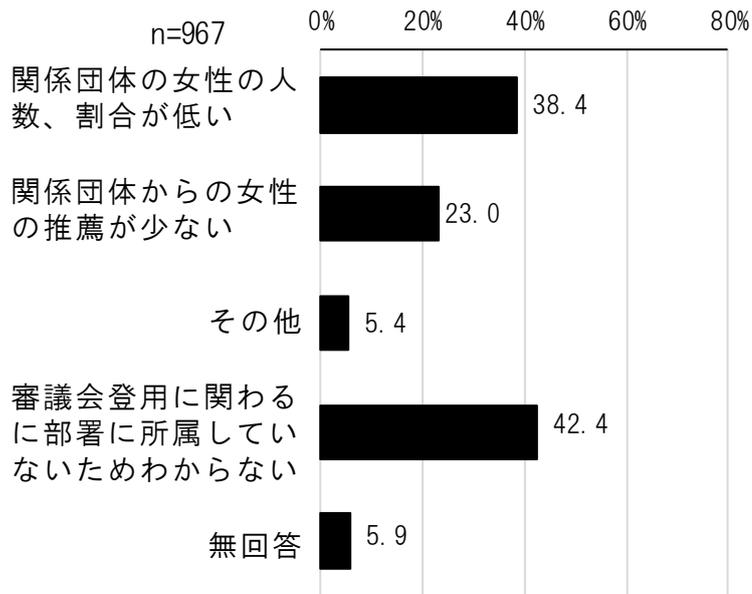
問15 「第3次石垣市男女共同参画計画」では、審議会等、方針決定の場に占める女性委員の割合を令和7年度までに35%～65%とすることを目標にしています（令和元年度現在：24.7%）。あなたは、審議会等での女性委員登用が進んでいない理由はなぜだと思いますか。（〇はいくつでも）

審議会等での女性委員登用が進んでいない理由について、「審議会登用に関わる部署に所属していないためわからない」(42.4%)で割合が最も高く、「関係団体の女性の人数、割合が低い」(38.4%)、「関係団体からの女性の推薦が少ない」(23.0%)となっている。

男女別にみると、「関係団体からの女性の推薦が少ない」では男性(46.7%)が女性(31.0%)より高くなっている。

年齢別にみると、「審議会登用に関わる部署に所属していないためわからない」で30歳代以降では年齢が上がるにつれて、割合は下がっている。

職位別にみると、「関係団体からの女性の推薦が少ない」では、職位が上がるにつれて割合も高くなり、課長相当職以上では7割弱となっている。



第6章 調査結果（職員意識調査票）

（上段：実数、下段：割合）

		全 体	関係団体の 女性の人数、割合が 低い	関係団体か らの女性の 推薦が少ない	その他	審議会登用 に関わるに 部署に所属 していない ためわから ない	無回答
全 体		967 100.0	371 38.4	222 23.0	52 5.4	410 42.4	57 5.9
性別	男性	456 100.0	213 46.7	117 25.7	26 5.7	157 34.4	27 5.9
	女性	509 100.0	158 31.0	105 20.6	26 5.1	253 49.7	28 5.5
年齢	10～20歳代	119 100.0	48 40.3	21 17.6	4 3.4	53 44.5	5 4.2
	30歳代	276 100.0	98 35.5	63 22.8	17 6.2	130 47.1	10 3.6
	40歳代	277 100.0	106 38.3	58 20.9	17 6.1	121 43.7	14 5.1
	50歳以上	293 100.0	119 40.6	80 27.3	14 4.8	106 36.2	26 8.9
職位	会計年度任用職員	358 100.0	86 24.0	67 18.7	17 4.7	207 57.8	19 5.3
	主任・主事級職員	298 100.0	137 46.0	67 22.5	16 5.4	115 38.6	14 4.7
	課長補佐・係長相当職	134 100.0	71 53.0	39 29.1	9 6.7	37 27.6	2 1.5
	課長相当職以上	55 100.0	38 69.1	20 36.4	2 3.6	9 16.4	2 3.6
	その他	53 100.0	18 34.0	15 28.3	3 5.7	20 37.7	5 9.4

第7章 参考資料（各種調査票）

1. 市民意識調査票

石垣市男女共同参画に関する市民アンケート

～ 調査へのご協力をお願い ～

市民の皆さまには日頃より、石垣市のまちづくりへのご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

石垣市では、性別にかかわらず、全ての人々が互いを尊重し、共に責任を果たす男女共同参画社会をめざすために、平成27年度に「第3次石垣市男女共同参画計画（いしがきプラン）」を策定し、各種取り組みを推進しています。

この調査は、計画の見直しにあたり、「第3次石垣市男女共同参画計画（改定版）」策定の基礎資料とするため、男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握することを目的としており、調査対象につきましては、本市にお住まいの20歳～70歳未満の市民2,000人を無作為に抽出しています。

なお、ご回答いただきました調査の結果につきましては、統計資料作成のみに用いるもので個人の名前がでることは絶対にございませぬ。ご多忙のところ恐れ入りますが、住みよい石垣市、魅力ある石垣市をつくるための調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和2年（2020）9月 石垣市長 中山 義隆

【ご記入にあたって】

- ◎回答は、あて名のご本人がお答えください。
- ◎質問ごとに、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。複数選んでいただく場合もあります。「その他」の場合は、（ ）になるべく具体的にご記入ください。
- ◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にて、

9月30日（水）までにご返送ください。封筒に、氏名・住所の記入は不要です。

この調査に関するご質問などは、下記までお願いします。
石垣市役所 市民保健部 平和協働推進課 男女共同参画担当
電話：0980-82-1253（直通）

1. あなた自身のことやご家族のことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)(自認している性別)

1. 男性 2. 女性

問2 年齢はおいくつですか。(〇は1つ)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代

問3 あなたは、現在結婚していますか。(〇は1つ)

1. 結婚している
2. 結婚していないがパートナーと暮らしている
3. 離別 4. 死別 5. 未婚

問3-1 【問3で「1. 結婚している」または「2. 結婚していないがパートナーと暮らしている」と答えた方へお尋ねします】 3、4、5の方は問4へお進みください。
あなたは共働きですか。(出産、育児等で休業中の方は働いているものとみなします)
(〇は1つ)

1. 共働きである 2. 夫のみ働いている 3. 妻のみ働いている 4. 夫婦とも無職

問4 あなたはお子さんがいますか。(〇は1つ)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 子供はいない

問4-1 【問4で1、2、3、4のお子さんがいる方にお尋ねします】
5の方は問5へお進みください。
お子さんはどちらにあたりますか。(〇はいくつでも)

1. 就学前 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. 18歳以上

問5 あなたは現在どのような家族構成ですか。(〇は1つ)

1. ひとり暮らし 2. 夫婦(パートナー) 3. 夫婦と子ども
4. 夫婦と親のみ 5. 母子家庭 6. 父子家庭
7. 三世帯同居 8. 兄弟・姉妹の世帯 9. その他()

問6 あなたの職業は何ですか。次の1～14の中から1つお選びください。(〇は1つ)
(出産、育児等で休業中の方は働いているものとみなします)

雇用者	1. 正社員（一般職）	家庭従業員・ 事業主・	9. 農業・林業・漁業
	2. 正社員（技術職）		10. 商工業・サービス業 (卸・小売店、飲食店等サービス)
	3. 管理職・会社役員		11. 自由業 (開業医師、弁護士、芸術家)
	4. 公務員		12. 主夫・主婦
	5. 契約社員、派遣社員	その他	13. 学生
	6. 常勤パートタイマー		14. 無職
	7. 臨時・アルバイト		
	8. 内職		

問6-1 【問6で「14. 無職と答えた方にお尋ねします】

該当されない場合は⇒問7へお進みください。

現在、仕事をしていない理由をお答えください。(〇は1つ)

1. 定年退職 2. やりたい仕事がない 3. 就職活動中 4. 健康上の問題がある
5. 働く必要がない 6. その他 ()

2. 男女平等に関する意識、慣習について

問7 あなたは、次にあげるア～クの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの分野について、あなたの考えに近いものを1～6の中からそれぞれ1つずつ選んで、〇をつけてください。

	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と言えば 男性の方が 優遇されて いる	平等	どちらか と言えば 女性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	わからない
ア) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
イ) 職場で	1	2	3	4	5	6
ウ) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
エ) 地域活動・ 社会活動の場で	1	2	3	4	5	6
オ) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
カ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
キ) 社会通念・慣習・ しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
ク) 社会全体でみた場合	1	2	3	4	5	6

問8 男女の不平等が生じる原因は何だと思えますか。特に感じることを1つ選んで、○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 男女の仕事内容や役割の違い | 2. 給与・賃金の男女差 |
| 3. 社会的なしきたりや習慣 | 4. 男女の能力や体力の差 |
| 5. 女性の認識が欠けている | 6. 男性の認識が欠けている |
| 7. 不平等の実態はない | 8. その他() |

3. 家庭生活などについて

【配偶者・パートナーのいる方にお尋ねします】※該当されない場合は⇒問12へお進みください。

問9 あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の事ごらを、現在主にどなたが行っていますか。ア～クの各項目において、それぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	主に夫(男性)が行う	主に夫(男性)が行い 妻(女性)が一部分担	夫(男性)と妻(女性)が 同じ程度分担	主に妻(女性)が行い 夫(男性)が一部分担	主に妻(女性)が行う	その他※1	該当しない※2
ア)家計を支える(生活費を稼ぐ)	1	2	3	4	5	6	7
イ)家事をする(掃除・洗濯・炊事)	1	2	3	4	5	6	7
ウ)家計の管理	1	2	3	4	5	6	7
エ)子どもの世話・しつけ	1	2	3	4	5	6	7
オ)病人・老親の世話(介護)	1	2	3	4	5	6	7
カ)子どもの教育方針・進学の設定	1	2	3	4	5	6	7
キ)高額商品の購入(不動産等)	1	2	3	4	5	6	7
ク)家庭の問題の最終的な決定	1	2	3	4	5	6	7

※1「その他」とは、その他の家族が行っていたり、家事支援サービス等を利用している場合など

※2「該当しない」とは、ご家庭に子どもや介護が必要な方がいない場合など

問10 あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の事ごらを、今後主にどなたに行ってもらいたいと思いますか。ア～クの各項目において、それぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	主に夫(男性)が行う	主に夫(男性)が行い、妻(女性)が一部分担	夫(男性)と妻(女性)が同じ程度分担	主に妻(女性)が行い、夫(男性)が一部分担	主に妻(女性)が行う	その他※1	該当しない※2
ア)家計を支える(生活費を稼ぐ)	1	2	3	4	5	6	7
イ)家事をする(掃除・洗濯・炊事)	1	2	3	4	5	6	7
ウ)家計の管理	1	2	3	4	5	6	7
エ)子どもの世話・しつけ	1	2	3	4	5	6	7
オ)病人・老親の世話(介護)	1	2	3	4	5	6	7
カ)子どもの教育方針・進学の設定	1	2	3	4	5	6	7
キ)高額商品の購入(不動産等)	1	2	3	4	5	6	7
ク)家庭の問題の最終的な設定	1	2	3	4	5	6	7

※1「その他」とは、その他の家族が行っていたり、家事支援サービス等を利用する場合など

※2「該当しない」とは、ご家庭に子どもや介護が必要な方がいない場合など

問11 あなたは、次のような事柄についてどのくらいの時間をかけていますか。ア～カの各項目において、それぞれおよそ何時間くらい時間を割いているか、数字を記入してください。平日と休日を分けてご回答ください。(※なしの場合は「0」、30分の場合は「0.5」等をご記入ください)

	平日	休日
ア)家事(炊事・洗濯・買物等)	約()時間	約()時間
イ)育児・子どもの学習等	約()時間	約()時間
ウ)病人・高齢者等の世話	約()時間	約()時間
エ)睡眠	約()時間	約()時間
オ)就労時間(通勤・休憩時間含む)	約()時間	約()時間
カ)自由時間(余暇)	約()時間	約()時間

問12 結婚や家庭生活に関するア～クのことについて、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	わからない
ア) 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
イ) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
ウ) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
エ) 結婚して相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
オ) 夫婦が別々の姓を名乗ること(選択的夫婦別姓)を認める方がよい	1	2	3	4	5
カ) 家事は男女の区別なく同じように行った方がよいと思う	1	2	3	4	5
キ) 結婚しても夫も妻も同程度仕事をするのがよい	1	2	3	4	5
ク) 結婚しても夫も妻も同程度家庭の事をするのがよい	1	2	3	4	5

4. 仕事のことについて

【現在働いている方(産休・育休中、パートやアルバイトを含む)にお尋ねします】
該当されない場合は ⇒問17 へお進みください。

問13 あなたが働いている理由について、あてはまるものを次の中から選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 社会に役立ちたい | 2. 自分の能力、技術をいかす |
| 3. 視野を広げるため | 4. 時間的に余裕があるため |
| 5. 働くのは人間としてあたりまえだから | 6. 家業だから |
| 7. 生計の維持 | 8. 子どもの教育費 |
| 9. 住宅資金の貯蓄やローン返済 | 10. 老後の蓄え |
| 11. 自分の自由に使えるお金がほしいから | 12. 家族旅行等のレジャー資金 |
| 13. その他 () | |

問14 あなたの職場では、次にあげる場面で、性別によって差があると思いますか。
ア～カの各場面において、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、
○をつけてください。

	男性の方が 優遇されて いる	どちらか と言えば男性 が優遇され ている	平等	どちらか と言えば女性 が優遇され ている	女性の方が 優遇されて いる	わからない
ア) 募集や採用の条件	1	2	3	4	5	6
イ) 賃金・昇進・昇格	1	2	3	4	5	6
ウ) 人事配置	1	2	3	4	5	6
エ) 教育や研修制度	1	2	3	4	5	6
オ) 仕事の内容	1	2	3	4	5	6
カ) 全体的に	1	2	3	4	5	6

問15 あなたが仕事をする上での仕事に関する悩みや不安について、次の中からあてはまるものを
すべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 就労時間が長い、残業が多い | 2. 賃金に男女差がある |
| 3. 賃金が安い | 4. 昇進・昇格に男女差がある |
| 5. 仕事がきつい | 6. 仕事の内容面で男女差別がある |
| 7. 仕事がむいていない、つまらない | 8. 転勤がある |
| 9. 職場に結婚退職・出産退職の習慣がある | 10. 上司に理解がない |
| 11. 人間関係がうまくいってない | |
| 12. 上司や同僚によるセクハラ(性的嫌がらせ)がある | |
| 13. その他() | |
| 14. 悩みや不安はない | |

問16 あなたが仕事を続けていく上で、仕事以外のことで悩み・不安等がありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 自分の健康が思わしくない
2. 家族が病気の時、仕事を休まなくてはならない
3. 保育所、幼稚園、学校等の行事に参加できない
4. 保育所の保育時間が短すぎる
5. 高齢者の世話が十分にできない
6. 祖先のまつりごと等が十分にできない
7. 親戚・近所づきあいに義理をかく
8. 家事が休日に集中して休養ができない
9. 家事や育児に疲れて仕事にさしつかえる
10. 配偶者の転勤がひんぱんにある
11. 配偶者の理解と協力が得にくい
12. 家族(配偶者以外)の協力が得にくい
13. その他()
14. 特にない

5.女性の活躍について

問17 一般的に、女性が仕事を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 女性は仕事を持たない方がよい
2. 結婚するまでは、仕事を持つ方がよい
3. 結婚して子どもができるまでは、仕事を持つ方がよい
4. 結婚、出産に関わらず、ずっと仕事を持っている方がよい
5. 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
6. 本人の意思が尊重される方がよい
7. その他()
8. わからない

問18 あなたの職場での女性管理職(係長以上)登用状況について、1つだけ選んでください(〇は1つ)

1. すでに女性の管理職がいる
2. 現在はいないが、別に女性が管理職になる障害はない
3. 女性が管理職になることは難しい
4. 管理職のない職場なので該当しない

問19 女性の社会進出は進みつつありますが、今後さらに、女性が社会進出するために、特に重要だと思うものを次の中から選んでください。(〇は2つまで)

1. 女性自身が努力する
2. 男性の理解と協力
3. 家事や育児の分担
4. 女性が社会活動に参加する
5. 女性が経済力をもつ
6. 女性の能力開発
7. 古い慣習やしきたりをなくす
8. 家事労働を適正に評価する
9. 仕事や賃金面の男女差をなくす
10. 法律や制度を整える
11. 女性を管理職・審議会等に積極的に登用する
12. その他 ()

問20 女性が仕事を続けていくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1. 男性の家事・育児・介護などへの参加を促進させる
2. 育児や介護のための施設・サービスを拡充する
3. 育児休業・介護休業制度を普及・促進する
4. 結婚・出産・介護などの場合で、一度退職した人に利用しやすい環境の再雇用制度を普及・促進する
5. 雇用・労働条件での女性差別をなくす
6. 週休2日制や労働時間の短縮を進める
7. 能力開発や技術習得のための講座・研修会を実施する
8. 求人・職業情報を積極的に供給する
9. 職業に関する相談窓口を充実させる
10. これから起業しようとする人への支援を充実させる
11. 在宅勤務やリモートワーク、フレックスタイム制度などの柔軟な勤務制度を導入する
12. 家庭など周囲の理解と協力
13. その他 ()
14. 特に環境整備は必要ない

問25 【問24 で、ア～カの項目で「1、2回あった」又は「何回もあった」と答えた方にお尋ねします。】 該当されない場合は ⇒問26 へお進みください。
あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 警察に連絡・相談した
2. 法務局や人権擁護委員に相談した
3. 配偶者暴力相談支援センター、女性相談所、男女共同参画センターなどに相談した
4. その他の公的機関に相談した
5. 民間（NPOを含む）の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセリング機関、民間シェルター）などに相談した
6. 医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した
7. 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した
8. 家族や親せきに相談した
9. 友人・知人に相談した
10. その他（)
11. どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）

問25-1 【問25で、「11. どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）」と答えた方にお尋ねします】 該当されない場合は ⇒問26へお進みください
どこにも（誰にも）相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. どこに（誰に）相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 相談してもムダだと思ったから
4. 相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 世間体が悪いから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. そのことについて思い出したくなかったから
10. 自分にも悪いところがあると思ったから
11. 相談するほどのことではないと思ったから
12. その他（)

7. 男女共同参画行政について

問26 あなたは次にあげる言葉を知っていますか。次のア～スの言葉について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	内容も良く 知っている	内容は少し 知っている	聞いた事は あるが内容 は知らない	知らない
ア) 男女共同参画週間	1	2	3	4
イ) 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
ウ) 育児・介護休業法	1	2	3	4
エ) 男女共同参画基本法	1	2	3	4
オ) 女性活躍推進法	1	2	3	4
カ) DV※1（配偶者、交際相手等に対する身体的、精神的、性的な暴力）	1	2	3	4
キ) ジェンダー（社会的文化的に作られる性別）	1	2	3	4
ク) アンコンシャス・バイアス※2（無意識の偏見）	1	2	3	4
ケ) 第3次石垣市男女共同参画計画「いしがきプラン」	1	2	3	4
コ) 石垣市男女共同参画推進条例	1	2	3	4
サ) 石垣市男女共同参画「広報誌まるざー」	1	2	3	4
シ) 石垣市女性相談室・家庭児童相談室	1	2	3	4
ス) 石垣市女性団体ネットワーク会議 まるざーフェスティバル	1	2	3	4

※1) DV＝ドメスティック・バイオレンス（domestic violence）の略称

※2) アンコンシャス・バイアス＝自分自身が気づいていないものの見方や捉え方のゆがみ・偏り

問27 男女共同参画社会の実現を目指して、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1. 学校現場における男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 生涯学習の場における男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
3. 広報誌やパンフレットで男女の平等と相互の理解や協力についての啓発を充実する
4. 男性に対する意識啓発を充実する
5. 女性に対する意識啓発を充実する
6. 女性の就業支援のため、就業情報の提供や職業訓練を充実する
7. 職場における男女格差是正、労働時間短縮、育児・介護休業制度の普及促進を図る
8. 育児・介護の支援充実や就労環境の整備など、仕事と家庭・地域生活の両立を支援する
9. 配偶者等に対する暴力（セクハラ・DVなど）の根絶と被害者に対する支援を充実する
10. 女性の社会参画を促進するための研修などを充実する
11. 相談窓口を充実する
12. 市の審議会など、政策・方針を決定する場への積極的な女性の登用を図る
13. 防災や感染症対策などにおいて、男女共同参画を推進する
14. その他（)

8.自由意見

これからの石垣市の男女共同参画行政について、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

同封の返信用封筒（切手不要）にて、9月30日（水）までにご返送ください

2. 事業所意識調査票

石垣市男女共同参画に関する事業所意識調査

～ 調査へのご協力のお願い ～

事業所の皆さまには日頃より、石垣市におけるご活躍及び市のまちづくりへのご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

石垣市では、性別にかかわらず、全ての人が互いを尊重し、共に責任を果たす男女共同参画社会をめざすために、平成27年度に「第3次石垣市男女共同参画計画（いしがきプラン）」を策定し、各種取り組みを推進しています。

この調査は、計画の見直しにあたり、「第3次石垣市男女共同参画計画（改定版）」策定の基礎資料とするため、男女共同参画に関する意識や実態を把握することを目的としており、調査対象につきましては、石垣市商工会加盟企業のうち、個人事業所を除く約300企業を対象としています。（企業名簿につきましては、石垣市商工会よりご提供いただきました。）

なお、ご回答いただきました調査の結果につきましては、統計資料作成のみに用いるもので個人及び事業所の氏名・名称等ができることは絶対にございませぬ。ご多忙のところ恐れ入りますが、住みよい石垣市、魅力ある石垣市をつくるための調査にご協力いただきますようお願いいたします。

令和2年（2020）9月 石垣市長 中山 義隆

【ご記入にあたって】

- ◎回答は、事業主様がお答えください。
- ◎質問ごとに、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。複数選んでいただく場合もあります。「その他」の場合は、（ ）になるべく具体的にご記入ください。
- ◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にて、

9月30日（水）までにご返送ください。封筒に、氏名・住所の記入は不要です。

この調査に関するご質問などは、下記までお願いします。
石垣市役所 市民保健部 平和協働推進課 男女共同参画担当
電話：0980-82-1253（直通）

1. 事業所の概要について

問1 貴事業所の主な業種はなんですか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|--------|----------|
| 1. 飲食業 | 2. 卸売業 | 3. 漁業 |
| 4. 建設業 | 5. 小売業 | 6. サービス業 |
| 7. 宿泊業 | 8. 製造業 | 9. 農業 |
| 10. その他 () | | |

問2 貴事業所の雇用状況と管理職数についてご回答ください。(いない場合は「0」を記入)

区分	正規従業員（総数）	非正規従業員（パート・アルバイト・嘱託・派遣社員）	管理職（配下の従業員を指揮・監督する立場にある役職）
男性	人	人	人
女性	人	人	人

問3 事業主様の性別はどちらですか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 貴事業所には、労働組合がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

2. 事業所の男女共同参画への取り組みについて

問5 貴事業所では、職場において、女性も男性も平等に働ける環境づくりに向けてどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | |
|--|
| 1. 女性の活用に関する担当部局、担当者を設けるなど、企業内での推進体制を整備している |
| 2. 女性の少ない職場・職種に女性従業員を配置したり女性を積極的に雇用したりするなどしている |
| 3. 性別により評価することがないよう、人事評価基準を明確に定めている |
| 4. 業務に必要な知識や能力、資格取得のための教育や研修を、性別に関係なく実施している |
| 5. 男性管理職に対し、女性活用の重要性についての啓発を行っている |
| 6. 体力面での個人差を補う器具や設備等を設置する等、働きやすい職場環境づくりを行っている |
| 7. 男女共に仕事と家庭を両立させるための制度を充実させている |
| 8. 特に何もしていない |
| 9. その他 () |

問6 貴事業所では、女性も男性も同じような環境で働いていくために、特に女性にとって課題となっていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 女性はすぐ辞めてしまうので、人材として育てられない
2. 女性には家事・育児等に伴い配置や残業に制約がある
3. 女性自身が、昇進・昇格を望まず、仕事に消極的である
4. 男性の認識、理解が不十分である
5. 業務の内容によっては、女性には任せられない、あるいは女性には向いていないことが多い
6. 将来管理職になる可能性のある女性はいるが、現在のところ在職年数などを満たしていない
7. 目標となる女性の先輩がいないので、イメージがつかめない
8. 顧客が女性管理職をいやがる
9. 管理職に女性を登用する機運がまだ低い
10. その他 ()
11. 女性にとって課題となるものは特にない

問7 貴事業所では、次にあげる面で、性別によって差があると思いますか。ア～カの各面において、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性が優遇されている	平等	どちらかと言えば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
ア) 募集や採用の条件	1	2	3	4	5	6
イ) 賃金・昇進・昇格	1	2	3	4	5	6
ウ) 人事配置	1	2	3	4	5	6
エ) 教育や研修制度	1	2	3	4	5	6
オ) 仕事の内容	1	2	3	4	5	6
カ) 全体的に	1	2	3	4	5	6

3. 仕事のことについて

問8 「ポジティブ・アクション」を知っていますか。(○は1つ)

1. 良く知っていて、具体的な取り組みもしている
2. 良く知っているが、具体的な取り組みはまだない
3. 言葉だけは聞いたことがある
4. 知らない

【ポジティブ・アクションとは】

これまでの慣行や性別による役割分担意識などから、男女の労働者の間に格差が生じている場合（例えば、営業職に女性がほとんどいない、課長以上の管理職は男性が大半であるなど）、このような格差を解消するために個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組みをいいます。

問9 貴事業所では、男女がともに働きやすいような職場環境づくりのために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 女性のみにお茶くみや清掃その他雑用を課すといった慣行の見直し
2. ハラスメント防止のための取り組み
3. 結婚後も、希望による旧姓の使用承認
4. 女性が結婚後や出産後も勤務することの奨励
5. 男女共同参画をテーマにした研修や講演会、懇談会等
6. 職場環境改善についての従業員による提案の募集
7. その他 ()
8. 特に取り組んでいない

問10 男女共同参画社会を形成していくために、今後、貴事業所としてどのように取り組んでいくべきだと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働時間短縮の枠組みづくりを進める
2. 男女がともに育児・介護休暇等を取得しやすい職場環境づくり
3. 女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野等へ女性の登用を進めるため、職業教育や職業訓練を充実させる
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて、周知徹底を行う
5. 女性を方針決定の場に積極的に登用する
6. 男女共同参画に関する社内研修・セミナー等の開催
7. その他 ()

問11 貴事業所では、女性活躍推進法等に基づく「一般事業主行動計画」を策定していますか。(○は1つ)

1. 行動計画を策定している
2. 行動計画のことは知っているが、策定はしていない(今後策定予定あり)
3. 行動計画のことは知っているが、策定はしていない(今後も策定予定なし)
4. 行動計画のことは知らなかった

【女性活躍推進法 一般事業主行動計画】

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)により、常時雇用する労働者の数が301人以上の事業主は、女性労働者の活躍推進に関する取組として「一般事業主行動計画」を策定し、公表することが義務づけられています。(労働者300人以下の事業主は努力義務)
令和4(2022)年4月からは、一般事業主行動計画の策定・公表の義務が、常時雇用する労働者の数が「101人以上」の事業主まで拡大されます。

4. ハラスメントについて

問12 あなたは以下のハラスメントを知っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	内容も良く知っている	内容は少し知っている	聞いた事はあるが内容は知らない	知らない
ア) セクシャル・ハラスメント (セクハラ)	1	2	3	4
イ) パワー・ハラスメント (パワハラ)	1	2	3	4
ウ) マタニティ・ハラスメント (マタハラ)	1	2	3	4
エ) パタニティ・ハラスメント (パタハラ)	1	2	3	4

【セクシャル・ハラスメント】
性的ないやがらせ。相手の意思に反して不快や不安な状態に追い込む性的な言動のこと

【パワー・ハラスメント】
同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為のこと

【マタニティ・ハラスメント】
働く女性が妊娠・出産に関連し職場において受ける精神的・肉体的いやがらせのこと

【パタニティ・ハラスメント】
働く男性が育児をすることに対して職場において受ける精神的・肉体的いやがらせのこと

問13 貴事業所では、ハラスメントの防止に向け取り組んでいることはありますか。
(あてはまるものをすべてに○)

1. 社内報やポスターにてハラスメントに関する方針等を記載、配布しPRしている
2. 管理職を含めた社員に対しハラスメント防止のための研修や講習を実施している
3. ハラスメント等に関する相談や苦情に対する窓口・担当者を定めている
4. 特に実施していない
5. その他 ()

5. 育児・介護休業について

問14 貴事業所では、下記のア～ウまでの各種休業制度の規定がありますか。制度が「ある」場合は、取得できる職員の範囲(正社員、派遣・契約社員、パート・アルバイト)について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	ある ⇒問15へ			ない ⇒問16	検討中 ⇒問16
	正社員	派遣・契約社員	パート・アルバイト		
ア) 産前・産後休業制度	1	2	3	4	5
イ) 育児休業制度	1	2	3	4	5
ウ) 介護休業制度	1	2	3	4	5

問15 産前・産後休業、育児休業、介護休業の取得状況について、雇用形態別（正規雇用・非正規雇用）及び男女別にお答えください。（いない場合は「0」人と記入して下さい）

昨年度（令和元年度）中 に出産した女性従業員	正規（ ）人	昨年度（令和元年度）中 に配偶者が出産した男性 従業員	正規（ ）人	
	非正規（ ）人		非正規（ ）人	
うち、産前・産後休業を 取得した女性従業員	正規（ ）人			
	非正規（ ）人			
うち、育児休業を 取得した女性従業員	正規（ ）人		うち、育児休業を 取得した男性従業員	正規（ ）人
	非正規（ ）人			非正規（ ）人
介護休業を 取得した女性従業員	正規（ ）人		介護休業を 取得した男性従業員	正規（ ）人
	非正規（ ）人			非正規（ ）人

問16 次の多様な働き方の実施状況と今後の導入意向について、次のア～ウについて、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	実施している	今後導入予定	導入予定なし	検討中
ア) リモートワーク （在宅勤務）	1	2	3	4
イ) 時差出勤	1	2	3	4
ウ) フレックスタイム制	1	2	3	4

<p>【リモートワーク】 会社のオフィス以外で勤務にあたる働き方</p> <p>【時差出勤】 始業時間を変更した働き方で、通勤に伴う諸問題の解決を目的とする制度</p> <p>【フレックスタイム制】 従業員が始業時間と就業時間をある程度自由に選べる制度</p>

問19 男女共同参画社会の実現を目指して、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1. 政策決定の場等への女性の積極的な登用
2. 生涯を通じた女性の健康支援
3. 職場における男女格差の是正、育児休業制度・介護休業制度の普及
4. 女性の就労機会づくりと職業訓練・教育の充実
5. 保育や介護にかかる施設・サービスの充実
6. 学校教育における男女共同参画意識の育成
7. 男女平等や相互理解協力についての学習機会の充実
8. DV等あらゆる暴力の根絶
9. 男女共同参画に関する情報提供や相談・交流などのセンターの設置
10. 国際交流の推進により、人種や性別に捉われず多様性を認め合う意識の育成
11. 「広報誌まるざー」やパンフレット等による意識啓発
12. その他()
13. 特にない

問20 男女共同参画社会の実現を目指して取り組むうえで、今後、どのような後押し(制度等)があれば、貴事業所として取り組みを推進していくことができると思いますか。あてはまるものを次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1. 男女共同参画に力を入れている企業への優遇制度の創設(表彰、認定、助成金等)
2. ワーク・ライフ・バランスや育児休業制度、介護休業制度をはじめとする各種法制度、企業のポジティブ・アクションの事例等に関する出張講座・講演会の実施
3. 男女がともに働きやすい環境づくりのための専門家(コンサルタント等)派遣支援
4. その他()
5. 特にない

7. 自由意見

これからの石垣市の男女共同参画行政について、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

同封の返信用封筒(切手不要)にて、9月30日(水)までにご返送ください

3. 小生意識調査票

いしがきしだんじょきょうどうさんかく かん しょうがくせい い しきちょう さ 石垣市男女共同参画に関する小生意識調査 ちょう さ きょうりょく ねが ～アンケート調査ご協力のお願い～

しょうがく ねんせい
小学5年生のみなさん、こんにちは！

これはテストではありません。

この調査は、いしがきしな い しょうがっこう ねんせい だんじょびょうどう
この調査は、石垣市内の小学校5年生のみなさんが、男女平等をどのように
かんが かん し じぶん す
考え、どのように感じているのかを知り、だれでも自分らしく住みよいまちに
おこな
するために 行っています。

あなたのなまえ か こと せんせい ほか ひと し
あなたの名前は書かなくてよいので、答えは先生や他の人に知られることは
ありません。あなたがいつも思っていることをそのまま答えてください。

こと かた 答え方

1. しょうもん たい あ こと ばんごう
質問に対して、当てはまる答えの番号に○をつけてください。
2. ○はいくつでもと書いている質問は、すべてに○をつけてください。
3. 「その他」に○をしたときは、() のなか じぶん かんが こと
の中に自分で考えた答えを
か
書いてください。
4. い み わ こと しょうもん こと つぎ しょうもん
意味が分からなかったり、答えたくない質問は答えず、次の質問に
すす
進んでください。



いしがきし しみんほけんぶ へいわきょうどうすいしんか
石垣市 市民保健部 平和協働推進課

問6 あなたは、「男の子だから〇〇しなさい」や「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(〇は1つ)

1. よく言われる 2. ときどき言われる 3. あまり言われない 4. 言われたことがない

問6-1 問6で「1. よく言われる」または「2. ときどき言われる」と答えた方に聞きます。どんなことについて言われましたか。(〇はいくつでも)

1. 言葉づかい 2. 服装・身だしなみ 3. 性格
 4. 整理整頓 5. お手伝い 6. 食事の仕方
 7. 勉強 8. 見るテレビ番組 9. 友だち関係
 10. あそび方 11. キャラクターや色選び 12. その他 ()

問6-2 問6で「1. よく言われる」または「2. ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちになりましたか。(〇は1つ)

1. いやな気分になった
 2. その通りだと思った
 3. なぜ言われるのか不思議だった
 4. なんとおもわなかった
 5. その他 ()

問7 あなたは、次の学校内の代表者は男女どちらがよいと思いますか。ア～エにおいて、あなたの考えに近いものを1～5の中からそれぞれ1つずつ選んで、〇をつけてください。(〇は1つ)

	男子がよい	どちらかといえば男子がよい	どちらでもよい	どちらかといえば女子がよい	女子がよい
ア) 児童会長	1	2	3	4	5
イ) 児童会副会長	1	2	3	4	5
ウ) 学級委員長	1	2	3	4	5
エ) 学級副委員長	1	2	3	4	5

問8 あなたは、次の授業での場面で、積極的に参加している児童は、男女どちらが多いと思いますか。ア～ウにおいて、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。(○は1つ)

	男子が多い	どちらかといえば男子が多い	どちらでもない	どちらかといえば女子が多い	女子が多い
ア) 積極的に手を挙げたり、発言したりすること	1	2	3	4	5
イ) 理科の実験	1	2	3	4	5
ウ) 家庭科の調理実習	1	2	3	4	5

3. 将来について

問9 将来、どのような仕事に就きたいと思いますか。(○は3つまで)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. スポーツ選手・監督など | 2. 看護師 | 3. 医師 |
| 4. 薬剤師 | 5. 警察官 | 6. 消防・レスキュー隊 |
| 7. 美容師 | 8. 芸能人・歌手・モデル | 9. 花屋 |
| 10. パイロット | 11. 大工・職人 | 12. 料理人・パティシエ |
| 13. 教師・教員 | 14. 保育士・幼稚園教諭 | 15. 研究者・学者 |
| 16. ゲームクリエイター | 17. ユーチューバー | 18. 漫画家・デザイナー |
| 19. 農業・漁業 | 20. その他 () | 21. わからない |

問10 将来の仕事を考える時に大事に考えることは何ですか。(○はいくつでも)

- 大きな会社・有名な会社である
- 給料が多い
- 自分の特技が活かせる・好きなことができる
- 人や社会の役に立つことができる
- 休みがとれて・残業が少ない
- 安定して長く勤められる
- その他 ()

問11 このアンケートに答えてみて気づいたことや意見があれば自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました



4. 中学生意識調査票

石垣市男女共同参画に関する中学生意識調査

～アンケート調査ご協力のお願い～

中学2年生のみなさん、こんにちは！

これはテストではありません。

この調査は、石垣市内の中学校2年生のみなさんが、男女平等をどのように考え、どのように感じているのかを知り、だれもが自分らしくいきいき生活できる『だんじょきょうどうさんかくしゃかい男女共同参画社会』を目指すために行っています。

名前の記入は必要ありませんので、答えは先生や他の人に知られることはありません。あなたがいつも思っていることをそのまま答えてください。

答え方

1. 質問に対して、当てはまる答えの番号に○をつけてください。
2. ○はいくつでもと書いている質問は、すべてに○をつけてください。
3. 「その他」に○をしたときは、()の中に自分で考えた答えを書いてください。
4. 意味が分からなかったり、答えたくない質問は答えず、次の質問に進んでください。



いしがきし しみんほけんぶ へいわきょうどうすいしんか
石垣市 市民保健部 平和協働推進課

問5 あなたは家で、どのような手伝いをしていますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 買い物 | 2. 食事の準備 | 3. 食事の後片づけ |
| 4. 部屋の掃除 | 5. トイレ掃除 | 6. 風呂掃除 |
| 7. ゴミ出し | 8. 洗濯 | 9. きょうだいの世話 |
| 10. なんもしない | 11. その他 () | |

問6 あなたは、「男の子だから〇〇しなさい」や「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|--------------|
| 1. よく言われる | 2. ときどき言われる | 3. あまり言われない | 4. 言われたことがない |
|-----------|-------------|-------------|--------------|

問6-1 問6で「1. よく言われる」または「2. ときどき言われる」と答えた方に聞きます。どんなことについて言われましたか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|----------------|-------------|
| 1. 言葉づかい | 2. 服装・身だしなみ | 3. 性格 |
| 4. 整理整頓 | 5. 手伝い | 6. 食事の仕方 |
| 7. 勉強 | 8. 見るテレビ番組 | 9. 友達関係 |
| 10. 遊び方 | 11. キャラクターや色選び | 12. その他 () |

問6-2 問6で「1. よく言われる」または「2. ときどき言われる」と答えた方に聞きます。あなたはその時どんな気持ちがありましたか。(〇は1つ)

1. いやな気分になった
2. その通りだと思った
3. なぜ言われるのか不思議だった
4. なんとも思わなかった
5. その他 ()

問7 あなたは、次の学校の各役割は男女どちらがよいと思いますか。ア～オにおいて、あなたの考えに近いものを1～5の中からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。
(○は1つ)

	男子がよい	どちらかといえば男子がよい	どちらでもよい	どちらかといえば女子がよい	女子がよい
ア) 生徒会長	1	2	3	4	5
イ) 生徒会副会長	1	2	3	4	5
ウ) 学級委員長	1	2	3	4	5
エ) 学級副委員長	1	2	3	4	5
オ) 部活のマネージャー	1	2	3	4	5

問8 あなたは、次の授業での場面で、積極的に参加している生徒は、男女どちらが多いと思いますか。ア～エにおいて、あなたの考えに近いものを1～5の中からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。(○は1つ)

	男子が多い	どちらかといえば男子が多い	どちらでもない	どちらかといえば女子が多い	女子が多い
ア) 積極的な挙手や発言	1	2	3	4	5
イ) 理科の実験	1	2	3	4	5
ウ) 家庭科の調理実習	1	2	3	4	5
エ) 技術科目の実習	1	2	3	4	5

3. 男女共同参画について

問9 あなたは、次の言葉を知っていますか。(○は1つ)

	知っている	聞いた事がある	知らない
ア) セクハラ (セクシャル ハラスメント)	1	2	3
イ) DV (ドメスティック バイオレンス)	1	2	3
ウ) ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
エ) 男女共同参画社会	1	2	3
オ) デートDV	1	2	3

【セクハラ (セクシャル ハラスメント)】

- ・性的な言動により相手方の生活や環境を害すること

【DV (ドメスティック バイオレンス)】

- ・夫婦やカップル、パートナーなどのおきる暴力のこと

【ワーク・ライフ・バランス】

- ・「仕事」と「仕事以外の生活」の両方を大切にしようという考え方

【男女共同参画社会】

- ・性別にかかわらず、だれもが自分らしくいきいきと、個性と能力を発揮し、責任を分かちあいながら共につくる社会のこと

【デートDV】

- ・交際相手からの心と体への暴力。一方が優位な立場に立ち、相手を支配する状態のこと

問9-1 デートDVだと思う行為について、ア～キにおいて、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。(○は1つ)

	デートDVだと思う	デートDVだと思わない
ア) 何を言っても無視する	1	2
イ) 行動を監視したり、友人関係を制限する	1	2
ウ) 服装を指示する	1	2
エ) 交友関係やメールをチェックする	1	2
オ) 人前でバカにする	1	2
カ) 殴るふりするなどをして脅す	1	2
キ) お金を出させたり、借りたお金を返さない	1	2

問10 石垣市では、すべての人々が個人として尊重され、性別にとらわれることなくのびやかに暮らせる社会を目指しています。あなたは、これから市がどのようなことに力を入れていくと良いと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女平等について学校で学習する
2. 男女共同参画への理解を深めるための講習会をひらく
3. 悩んだり困っていることを相談できる窓口や話し合える場をもうける
4. 仕事と仕事以外の生活を両立できるような働き方を企業に働きかける
5. 働いている人が育児・介護をしながら仕事を続けられるように必要なサービスを充実させる
6. 女性が計画や方針決定にもっと参加して意見を言えるようにする
7. その他 ()

4. 将来について

問11 将来、どのような仕事に就きたいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. スポーツ選手・監督など | 2. 看護師 | 3. 医師 |
| 4. 薬剤師 | 5. 警察官 | 6. 消防・レスキュー隊 |
| 7. 美容師 | 8. 芸能人・歌手・モデル | 9. 花屋 |
| 10. パイロット | 11. 大工・職人 | 12. 料理人・パティシエ |
| 13. 教師・教員 | 14. 保育士・幼稚園教諭 | 15. 研究者・学者 |
| 16. ゲームクリエイター | 17. YouTuber | 18. 漫画家・デザイナー |
| 19. 農業・漁業 | 20. 旅行・観光 | 21. 公務員 |
| 22. 会社員・銀行員 | 23. その他 () | |
| 24. わからない | | |

問12 将来の仕事を考える時に重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 大きな会社・有名な会社である
2. 給料が多い
3. 自分の特技が活かせる・好きなことができる
4. 人や社会の役に立つことができる
5. 休みがとれて・残業が少ない
6. 安定して長く勤められる
7. その他 ()

問13 最後に、学校や家庭、地域の中で「男女平等」について気づいたことや意見があれば自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました



5. 職員意識調査票

石垣市男女共同参画に関する職員意識調査

問1 あなたの性別を選んでください。(〇は1つ)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢はいくつですか。(〇は1つ)

1. 10～20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳以上

問3 あなたは、現在結婚していますか。(〇は1つ)

1. 未婚 2. 既婚(事実婚含む) 3. 離別・死別



問4 問3で「2. 既婚(事実婚含む)」と答えられた方にお尋ねします。あなたは共働きですか。
(出産、育児等で休業中の方は働いているものとみなします)(〇は1つ)

1. 共働きである 2. 夫のみ働いている 3. 妻のみ働いている

問5 次にあげる面で、性別によって差があると思いますか。ア～オの各面において、
あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、〇をつけてください。(〇は1つ)

	男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性が優遇されている	平等	どちらかと言えば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
ア) 募集や採用の条件	1	2	3	4	5	6
イ) 賃金・昇進・昇格	1	2	3	4	5	6
ウ) 人事配置	1	2	3	4	5	6
エ) 教育や研修制度	1	2	3	4	5	6
オ) 仕事の内容	1	2	3	4	5	6

問10 あなたは、次にあげる言葉を知っていますか。次のア～ウの言葉について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。(○は1つ)

	内容も良く 知っている	内容は少し 知っている	聞いた事 はあるが内容 は知らない	知らない
ア) 第3次石垣市男女共同参画計画「いしがきプラン」	1	2	3	4
イ) 石垣市男女共同参画推進条例	1	2	3	4
ウ) 石垣市男女共同参画「広報誌まるごと」	1	2	3	4

問11 あなたの現在の職位をお答えください。(○は1つ)

1. 会計年度任用職員 2. 主任・主事級職員 3. 課長補佐・係長相当職 4. 課長相当職以上
5. その他(1～4以外)



問11で、「1. 会計年度任用職員」と「5. その他(1～4以外)」と答えた方は問14へお進みください。

問12 問11で「2. 主任・主事級職員」「3. 課長補佐・係長相当職」「4. 課長相当職以上」と答えた方にお尋ねします。

あなたは、管理職(課長相当職以上)に就きたいですか。(○は1つ)

1. 管理職(課長相当職以上)に就きたい
2. どちらかといえば管理職(課長相当職以上)に就きたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば管理職(課長相当職以上)に就きたくない
5. 管理職(課長相当職以上)に就きたくない



問13 問12で就きたくないと答えた方にお尋ねします。

あなたがそのように思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 過度な責任を負いたくない
2. 報酬面でのメリットが少ない
3. 管理職をする自信がない
4. 今の仕事やポジションに満足している
5. 管理職より、自分の専門性を高めたい
6. 自分のやりたい仕事ができなくなる
7. 面倒な調整業務などが増えそう
8. 家族の協力が得られない
9. 仕事と家庭等の両立が難しくなる
10. その他()

